

# HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.10

---

## HP Project Management ユーザーズガイド

ドキュメントリリース日: 2010年9月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2010年9月 (英語版)



## ご注意

### 保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付属する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最近更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

## バージョン番号が9.10である理由

PPM Centerは、HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオに組み込まれています。このバージョン番号を使用するのは、PPM Centerのバージョンと、同時期にリリースされる他の製品のバージョンを揃えるためです。PPM Center 9.10はPPM Center 8.0xをベースとしており、このバージョンの製品ファミリーを拡張した製品となっています。HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオ内でリリースされる製品では、共有のテクノロジー、共通のプラットフォーム、統合、ソリューション、アップグレードツール、プロフェッショナルサービスが提供されます。

## サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/>

HPソフトウェアサポートオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は、次のWebサイトを参照してください。

[http://support.openview.hp.com/access\\_level.jsp](http://support.openview.hp.com/access_level.jsp)

HP PassportのIDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

# 目次

1	はじめに	15
	HP Project Management の概要	15
	関連ドキュメント	18
2	セットアップに関する一般的な考慮事項	19
	セットアップに関する一般的な考慮事項の概要	19
	リソースのセットアップ	22
	地域のセットアップ	24
	HP Project Management の検証設定	24
	[プロジェクトの詳細] タブの設定	27
	プロジェクトプロセスの設定	28
	プロジェクトコントロールプロセス	28
	プロジェクトタイプのセットアップ	30
	アクティビティのセットアップ	31
	HP Time Management との統合セットアップ	31
	Microsoft Project との統合セットアップ	32
	タスクユーザデータのセットアップ	32
3	プロジェクトタイプの設定	33
	プロジェクトタイプの設定の概要	33
	プロジェクトタイプ	33
	プロジェクトポリシー	34
	プロジェクトポリシーの適用	34
	プロジェクトタイプの使い方	36
	プロジェクトポリシーの設定	36

プロジェクトフィールド	37
作業計画	39
作業計画のアクセス	39
作業計画テンプレート	42
リクエストタイプ	43
スケジューリング	44
デフォルトの開始日	45
リソースの依存関係	45
クリティカルパスのしきい値	45
スケジュール警告ルール	46
スケジュールヘルス	47
スケジュールヘルスインジケータ	47
スケジューリング例外ルール	48
コストと工数	49
リソース負荷の設定	51
Time Management	52
Financial Management	53
コストとアーンドバリュールヘルス	55
Microsoft Project 統合	56
スタッフィングプロファイルアサイン	58
プロジェクトヘルス	59
問題ヘルス	60
タスクの監査	62
プロジェクトの概要のレイアウト	63
プロジェクトセキュリティ	67
HP Service Manager	68
<b>4 プロジェクトの作成</b>	<b>69</b>
プロジェクトの作成の概要	69
プロジェクトの作成	71
[プロジェクトの概要] ページの使い方	72
プロジェクト設定の調整	74
プロジェクト参加者の定義	74
プロジェクトの詳細の入力	76
スタッフィングプロファイルの作成	76
財務サマリの使い方	77
作業計画の作成	77

<b>5 作業計画の作成</b> .....	79
作業計画の作成の概要 .....	79
空の作業計画の作成 .....	79
別プロジェクトからの作業計画の作成 .....	80
タスクの追加と作業計画構造の作成 .....	82
作業計画へのタスクの追加 .....	83
作業計画のインポート .....	84
作業計画階層の作成 .....	86
先行タスクのセットアップ .....	88
スケジュールビューで便利なキーボードショートカット .....	93
マイルストーンの作成 .....	93
作業計画のスケジューリング .....	94
スケジュールの生成 .....	95
サマリタスクのスケジューリング .....	96
スケジューリングエラー .....	97
スケジューリング警告 .....	97
作業計画情報の表示 .....	100
レベルの展開/折りたたみ .....	100
作業計画ビュー .....	101
スケジュールビュー .....	101
実績ビュー .....	102
コスト設定ビュー .....	103
アーンドバリュビュー .....	105
ガントビュー .....	106
印刷ビュー .....	107
フィルタ .....	107
タスクの詳細の編集 .....	109
大きな作業計画の表示 .....	109
パーソナルページサイズプリファレンスの調整 .....	109
リソースの使用状況 .....	110
列の追加/削除 .....	111
作業計画のクリティカルパスの表示 .....	113
タスクの設定 .....	114

<b>6</b>	<b>タスクの設定</b>	115
	タスクの要素	115
	通知	116
	参照情報	116
	アクティビティ	116
	タスクステータス	117
	作業計画へのタスクの追加	118
	マイルストーンの作成	119
	タスクの詳細の編集	120
	リソースのアサイン	121
	[タスクの追加] ページからのリソースのアサイン	122
	[作業計画] ページからのリソースのアサイン	122
	[タスクの詳細] ページからのリソースのアサイン	122
	スケジュールされた工数の管理	123
	スキルまたはロールのアサイン	124
	タスクの先行タスクの設定	125
	スケジューリングの制限の設定	125
	メモの追加	128
	通知のセットアップ	129
	コストデータの入力	131
	タスクへの参照情報の追加	131
	既存リクエストの追加	132
	新規リクエストの追加	133
	既存パッケージの追加	134
	新規パッケージの追加	134
	タスクの追加	135
	リリースの追加	136
	ドキュメントの追加	136
	URLの追加	137
	タスクステータスの変更	138
<b>7</b>	<b>プロジェクトの管理</b>	139
	プロジェクトの管理の概要	139
	プロジェクトのセットアップ	141
	プロジェクトのステータス	142
	作業計画へのタスクの追加	143
	ベースラインの取得	143



作業計画の更新 .....	144
作業計画階層の表示と修正 .....	144
作業計画ステータス .....	145
ステータスの変更 .....	146
[作業計画] ページからのタスク詳細の編集 .....	148
複数タスクの同時設定と編集 .....	150
複数タスクに対する実績の同時編集 .....	151
複数タスクに対するリソースアサインの同時編集 .....	152
複数タスクに対するアサイン済みロールの同時編集 .....	153
複数タスクにスケジュールされた日付の同時移動 .....	154
先行タスクとしての複数タスクの迅速なリンク付け .....	155
複数タスクに対するステータスの同時設定 .....	155
スケジュールと依存関係の更新 .....	156
スケジュールされた期間、開始日、終了日、および工数の変更 .....	156
先行タスクの変更 .....	157
スケジュールの改訂 .....	157
作業計画の同時編集 .....	158
競合の回避 .....	158
実績の計算 .....	159
プロジェクトのクリティカルパスの表示 .....	159
プロジェクトの概要の使用 .....	163
プロジェクトの検索 .....	164
サーチボックス .....	164
[プロジェクトの検索] ページ .....	165
作業計画の表示 .....	166
プロジェクトヘルスの表示 .....	167
プロジェクトヘルスのオーバーライド .....	168
マイルストーンの表示 .....	169
プロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析の表示 .....	170
プロジェクトコントロールアイテムの表示 .....	170
プロジェクトスタッフリングの表示 .....	171
プログラム関連の表示 .....	171
プロジェクトコストデータの表示 .....	172
プロジェクト時間の承認 .....	173
例外と警告の表示 .....	173
[プロジェクトの概要] ページからの例外の表示 .....	174
スケジュールビューでの例外の表示 .....	175
スケジュールビューでのスケジュール警告インジケータのクリア .....	176

[プロジェクトの概要] ページのPDFへのエクスポート .....	177
PPM Dashboardを使った進捗状況の表示 .....	177
プロジェクトコントロールエンティティの登録 .....	178
問題のロギング .....	178
リスクのロギング .....	180
スコープ変更のロギング .....	182
プロジェクト設定と参加者の表示 .....	184
プロジェクトの日付制御 .....	184
ベースラインの操作 .....	185
ベースラインの取得 .....	186
ベースラインの管理 .....	187
ベースラインの比較 .....	188
作業計画でのベースラインデータの表示 .....	188
プロジェクトコストのトラッキングと分析 .....	188
作業計画のエクスポートと印刷 .....	189
PDFファイルへのエクスポート .....	189
Microsoft Excel ファイルへのエクスポート .....	190
Microsoft Internet Explorerのインターネットオプションの設定 .....	191
作業計画の監査履歴のトラッキング .....	192
プロジェクトの完了、キャンセル、および削除 .....	194
作業計画の完了 .....	194
作業計画のキャンセル .....	195
プロジェクトの削除 .....	195
<b>8 タスクの更新: リソースアクティビティ .....</b>	<b>197</b>
タスクの検索 .....	197
[マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索 .....	198
タスクとプロジェクトの検索 .....	198
タスクの検索 .....	199
プロジェクトの検索 .....	202
通知を使ったタスクの検索 .....	202
プロジェクト情報の表示 .....	202
プロジェクトの概要の表示 .....	202
プロジェクトのガントチャートの表示 .....	205
プロジェクトのマイルストーンの表示 .....	206
プロジェクトの詳細の表示 .....	206
例外の表示 .....	207
プロジェクトの参照情報の表示 .....	208

リソース情報の表示	209
タスクスケジュールのエクスポート	210
タスクの更新	211
[マイタスク] ポートレットの使用	211
マイタスクポートレットの検索	212
HP Time Management との統合	212
[タスク] ページの使用	213
参照情報の表示と修正	214
タスクへの参照情報の追加	214
ファイルの追加	214
URLの追加	215
参照情報の表示と編集	216
参照情報の削除	217
<b>9 作業計画テンプレートの使用</b>	<b>219</b>
作業計画テンプレートのセットアップ	219
作業計画テンプレートの作成と管理	220
作業計画テンプレートへのタスクの追加	220
作業計画テンプレートでのタスクの設定	221
作業計画テンプレートへのアクセスの設定	221
既存作業計画からの作業計画テンプレートの作成	221
作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細	223
作業計画テンプレートからの作業計画の作成	224
<b>10 HP Project Management と Microsoft Project との統合</b>	<b>225</b>
HP Project Management と Microsoft Project との統合の概要	225
はじめに	226
Plug-in for PPM のインストールとアップグレード	228
Plug-in for PPM の要件	228
サーバ側の要件	228
クライアント側の要件	229
インストール手順	229
サイレントインストール	231
Plug-in for PPM のアップグレード	232
Plug-in for PPM の削除	233
同期モード	234
HP Project Management-制御	234
Microsoft Project 制御	235
共有制御	235

HP Project Management と Microsoft Project の同期 .....	235
アプリケーション間のフィールドのマッピング .....	238
フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響 .....	240
情報の同期の仕組み .....	242
条件付き編集サマリテーブル .....	259
適切な同期モードの選択 .....	260
既存の Microsoft Project 計画を基にした新規 HP Project Management プロジェクトの作成 .....	260
HP Project Management での既存 Microsoft Project 計画の表示 .....	261
既存 Microsoft Project 計画の HP Project Management プロジェクトへの変換 .....	261
HP Project Management 公開による Microsoft Project の補強 .....	261
HP Project Management で実績を収集することによる Microsoft Project の補強 .....	262
同期モードの変更 .....	263
SQL Server データベースに格納された Microsoft Project 情報の同期 .....	264
HP Project Management の方針 .....	264
Microsoft Project を介した HP Project Management 作業計画の公開 .....	264
HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開 .....	265
両方のアプリケーションを使用したさまざまなプロジェクトデータのトラック .....	266
統合のためのプロジェクトレベルの設定 .....	267
統合モード .....	269
HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設定 .....	269
同期モードとプロジェクトカレンダーの変更 .....	271
Microsoft への PPM Center 情報の転送 .....	272
PPM Center システム情報のための Microsoft ストレージの場所 .....	274
Microsoft フィールドマッピング .....	274
XML マッピングファイルの作成 .....	275
XML マッピングファイルのアップロード .....	276
同期モード .....	277
Microsoft フィールドマッピングの無効化 .....	277
メモの同期 .....	277
HP Project Management メモについて .....	277
HP Project Management 制御で同期されるメモについて .....	278
Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期 .....	278
Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期 .....	278
HP Project Management と Microsoft Project メモの同期モード .....	279
Microsoft Project から HP Project Management に作業計画情報を送信するときのメモの同期について .....	280
同期モードを変更するときのメモの同期について .....	281

HP Project Management アクティビティの同期 .....	281
Microsoft Project 統合オプションの有効化: アクティビティの同期とマッピング .....	282
HP Project Management と Microsoft Project アクティビティの同期モード .....	282
Microsoft Project でのアクティビティ同期の動作 .....	283
アクティビティの継承の動作 .....	284
サービスサポートフォリオ管理のサポート .....	285
HP Project Management 制御 .....	285
Microsoft Project 制御または共有制御 .....	286
コストと工数ポリシーおよび HP Time Management .....	287
Plug-in for PPM のユーザプリファレンス .....	288
Microsoft Project オプション .....	288
Plug-in for PPM の言語の設定 .....	288
保存プロンプトの無効化 .....	289
HP Project Management により制御される作業計画の強調表示の有効化 .....	290
オンデマンドでの Plug-in for PPM の読み込み .....	291
Microsoft Project ファイルのバックアップ .....	291
同期ログの有効化 .....	292
PPM Center オプション .....	292
PPM Server 接続の変更 .....	293
カスタム HTTP ヘッダーの設定 .....	294
Plug-in for PPM のプロキシサーバの構成 .....	295
Microsoft Project Server オプション .....	296
Plug-in for PPM 用 Microsoft Project Server の設定 .....	296
作業計画の作成と管理 .....	297
HP Project Management を使用して Microsoft Project で作業計画を開く .....	298
Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開く .....	299
HP Project Management への Microsoft Project ファイル作業計画の送信 .....	301
HP Project Management からの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management 制御モード) .....	304
HP Project Management からの実績の取得 (共有制御モード) .....	304
Microsoft Project から HP Project Management への作業計画 (計画) 情報の送信 (共有制御モード) .....	306
HP Project Management への関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project 制御モード) .....	307
アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード) .....	309
手動でリソースをマップする方法 .....	310
アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング .....	311
エンタープライズリソースをマップするときの [リソースのマップ] ダイアログでの相違点 .....	313
エンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可 .....	313

HP Project Management で許可される条件付き編集 .....	314
HP Project Management 制御プロジェクトの編集 .....	314
Microsoft Project 制御プロジェクトの編集 .....	314
共有制御モードでの編集 .....	315
Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの削除 .....	316
Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの復元 .....	317
Microsoft Project と HP Project Management の関連付けのリフレッシュ .....	318
Microsoft Project Server を使用するプロジェクトの操作 .....	319
Microsoft Enterprise Project Management を使用するプロジェクトの操作 .....	320
複数 Microsoft Project Server インスタンスの使用 .....	322
Project Web Access を使用するプロジェクトの操作 .....	322
トラブルシューティング .....	323
エラーと警告 .....	323
Windows Vista や Windows 7 への Visual Studio Tools for Office (VSTO) のインストール .....	323
HP PPM Center メニューが表示されないときの Plug-in for PPM の再有効化方法 .....	324
無効な SSL 証明書での PPM Server への接続 .....	324
システムへのシングルサインオンと Microsoft Internet Explorer .....	325
HP PPM Center メニュー .....	325
PPM Center から Microsoft Project で作業計画を開く .....	325
Microsoft Project での手動スケジュールモード .....	326
ロールアップ値が Microsoft Project で再計算されません .....	326
同期の失敗 .....	327
必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除 .....	327
Microsoft Project の関連付けを使用する削除済みタスクの復元 .....	328
リンクが解除されたファイルからのリソースマッピングの削除方法 .....	328
<b>11 HP Time Management との統合 .....</b>	<b>329</b>
HP Time Management 統合の概要 .....	329
プロジェクトの Time Management の有効化 .....	331
マイタスクポートレットの使用 .....	332
<b>索引 .....</b>	<b>335</b>

# 1 はじめに

## HP Project Managementの概要

HP Project Managementでは、テンプレートベースの共同アプローチを使って、プロジェクトアクティビティ管理の合理化と標準化が行えます。

HP Project Managementでは、特定タスクの遂行および成果物の完成に必要なプロセスが段階的に定義されており、標準化チェックリストの実行や添付ドキュメントを使用した成果物の収集といったユーザのアクティビティを、ダイナミックな自己文書化プロセスを使ってサポートしています。プロジェクトプロセスと関連項目のセットアップの詳細については、[第2章「セットアップに関する一般的な考慮事項」\(19 ページ\)](#)を参照してください。

プロジェクトタイプを使用すると、1つまたは複数のプロジェクトを管理するビジネスルールを正式に作成できます。スケジュールヘルス、タスク監査、およびプロジェクトセキュリティなど、プロジェクトの各種要素を管理するポリシーが設定可能です。プロジェクトの作成および管理は、事前にプロジェクトタイプを最低1つ作成しておかないと実行できません。プロジェクトタイプのセットアップの詳細については、[第3章「プロジェクトタイプの設定」\(33 ページ\)](#)を参照してください。

プロジェクトの作成時には、作業計画やスタッフィングプロファイルを含めるかどうかを決められるほか、プロジェクトタイプで決められたポリシーを調整できます。また、プロジェクトセキュリティも定義可能です。プロジェクトの作成の詳細については、[第4章「プロジェクトの作成」\(69 ページ\)](#)を参照してください。

作業計画は、タスクやアクティビティを論理的にグループ化して組織化するサマリタスクの階層構造として定義できます。作業計画の作成の詳細については、第 5 章「作業計画の作成」(79 ページ)を参照してください。作業計画構造の完成後は、タスク詳細を設定できます。変更の内容によって、まとめて設定することも、個別に設定することも可能です。タスクからタスクへの移動の詳細については、第 6 章「タスクの設定」(115 ページ)を参照してください。

すぐに使えるプリセット作業計画構造の作成には、作業計画テンプレートも使用できます。既存作業計画をテンプレートに変換する方法など、作業計画テンプレートの使い方の詳細については、第 9 章「作業計画テンプレートの使用」(219 ページ)を参照してください。

プロジェクトの実施中、管理者は、[プロジェクトの概要] ページを使用して、ヘルスインジケータ、マイルストーン、および問題点など、プロジェクトの重要なメトリクスをいつでも確認できます。ベースラインの取得および作業計画の修正といったプロジェクト管理アクティビティのほか、[プロジェクトの概要] ページの使い方の詳細については、第 7 章「プロジェクトの管理」(139 ページ)を参照してください。

作業計画アクティビティは、チームの内外を問わず、メンバ全員が直感的なインターフェースを用いてお互いに共同、協力して作業に当たれるため、技術連鎖にとらわれずにプロジェクトチームが簡単に管理できます。プロジェクトのリソースの検索、更新、変更、およびリソースがアサインされたタスクに関するレポートについては、第 8 章「タスクの更新: リソースアクティビティ」(197 ページ)で説明します。

たとえば、ビジネスシステムの新規バージョンや更新バージョンを作成する場合、作成にかかる工数は、個々の主要機能エリアのサマリタスクに分類分けできます。

- 機能サマリタスクは、それぞれについて、Web コンテンツ、アプリケーション、およびデータベースタスクなどのエリアにさらに分類可能です。
- タスクは、HP Demand Management や HP Deployment Management からのリクエストやパッケージにリンクできるため、作業計画全体をサポートするアクティビティの詳細を瞬時に表示できます。また、タスクには制限や通知を個別に設定可能です。詳細については、第 6 章「タスクの設定」(115 ページ)を参照してください。



- HP Resource Management を併用すると、ロールやスキルのアサインを利用可能なリソースに照らし合わせてトラックできます。リソースの使用状況の、測定、視覚化、最適化も行えます。

すべての機能を利用するには、HP Project Management を使用する前に、リソースとリソース関連設定を HP Resource Management でセットアップしておきます。詳細については、[第 2 章「セットアップに関する一般的な考慮事項」\(19 ページ\)](#) または『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

- HP Time Management を併用すると、プロジェクト関連作業の実績レポートにタイムシートを使用できます。詳細については、[第 11 章「HP Time Management との統合」\(329 ページ\)](#) を参照してください。
- プロジェクトの実施中、リスク、問題、および提案範囲の変更は、事前設定済みのプロジェクトコントロールプロセスに従って送信し、プロジェクトの概要レベルでトラッキングできます。
- プロジェクトの実施中は、別のユーザセットを要求し、事前に定義済みのライフサイクルに沿ってプロジェクトの評価と移動が行えます。
- 作業計画のベースラインは、いつでも取得が可能なため、作業計画のパフォーマンスを比較する基盤として利用できます。
- 作業計画コストデータは、タスクレベルでトラッキングされ、出来高分析を使った傾向とパターンの分析に使用できます。コストは、自動算出も手動指定も可能で、実際のコストは自動的にプロジェクトの財務サマリーにロールアップされます。
- HP Project Management では、Microsoft® Project との統合も標準でサポートされているため、タスクのスケジューリングやリソース管理などの機能は、作業計画の実施中いつでも使用できます。詳細については、[第 10 章「HP Project Management と Microsoft Project との統合」\(225 ページ\)](#) を参照してください。

## 関連ドキュメント

本書に関連するドキュメントを次に示します。

- 『HP Demand Management ユーザーガイド』
- 『HP Deployment Management ユーザーガイド』
- 『HP Project Management Configuration Guide』
- 『HP Resource Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management Configuration Guide』
- 『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』

## 2 セットアップに関する一般的な考慮事項

### セットアップに関する一般的な考慮事項の概要

HP Project Management の使用を始める前に、やっておくべき設定手順がいくつかあります。その中には、HP Project Management 機能をフル活用するために必要な手順もあれば、HP Project Management をビジネスプロセスに組み込む程度によって必要の有無が決まるオプション手順もあります。

通常の設定およびセットアップ作業を次に示します。

#### 1. リソースおよびリソースプールのセットアップ

HP Resource Management では、個々の HP Project and Portfolio Management Center ユーザについて、次のような詳細リソース情報を作成できます。

- ロール
- スキルプロファイル
- 組織ユニット
- 個別リソースカレンダー

プロジェクトのスタッフィングプロファイルや作業計画には、自分が管理しているリソースプールに属するリソースしか割り当てられません。他のリソースプールに属するリソースは、標準スタッフィングプロファイル機能を使ってリクエストできます。

この手順の詳細については、「リソースのセットアップ」(22 ページ)を参照してください。

## 2. 地域のセットアップ

地域は、各プロジェクトとリソースに関連づけられており、次のような属性を定義します。

- カレンダー
- 休日
- 通常の営業日と営業時間
- デフォルト通貨

この手順の詳細については、「[地域のセットアップ](#)」(24 ページ)を参照してください。

## 3. HP Project Management の検証設定 (オプション)

特定のフィールドに使用する値のリストは、検証を行ってビジネスニーズに合うように調整でき、PPM Workbench で編集可能です。

この手順の詳細については、「[HP Project Management の検証設定](#)」(24 ページ)を参照してください。

## 4. [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブに表示されるフィールドの設定 (オプション)

[**プロジェクトの詳細**] タブのフィールドの内容は事前に設定されていますが、ビジネスニーズに合わせて変更できます。これらのフィールドのセキュリティ設定だけは、確認するようにしてください。

この手順の詳細については、「[\[プロジェクトの詳細\] タブの設定](#)」(27 ページ)を参照してください。

## 5. PPM Workbench でのプロジェクトプロセスの設定 (オプション)

プロジェクトプロセスは事前設定済みのワークフローでモデル化されており、このワークフローは、ビジネスニーズに合わせて PPM Workbench で設定できます。ワークフローと手順のセキュリティ設定だけは、少なくとも確認してください。

この手順の詳細については、「[プロジェクトプロセスの設定](#)」(28 ページ)を参照してください。

## 6. プロジェクトコントロールプロセスの設定 (オプション)

プロジェクトの問題は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意問題として提起できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。プロジェクト問題のフィールドや動作は、基本のワークフロー同様、ビジネスニーズに合わせてPPM Workbenchで設定できます。プロジェクトのリスクや範囲の変更についても、同様の管理ツールが用意されています。

この手順の詳細については、「[プロジェクトコントロールプロセス](#)」(28 ページ)を参照してください。

## 7. プロジェクトタイプのセットアップ

各プロジェクトは、プロジェクトタイプから作成します。プロジェクトにはプロジェクトポリシーが含まれており、プロジェクトポリシーは、使い勝手が良くなるように事前設定できるほか、必要に応じてロックもできます。プロジェクトは、プロジェクトタイプを少なくとも1つ先に設定しないと作成できません。エンタープライズプロジェクトタイプは事前に設定されていますが、ビジネスニーズに合っていることを確認してください。

この手順の詳細については、「[プロジェクトタイプのセットアップ](#)」(30 ページ)を参照してください。

## 8. アクティビティのセットアップ (オプション)

プロジェクト作業計画内のタスクは、アクティビティとの関連付けが可能で、タスクの実行時に資本金または事業費として分類するSOP (Statement of Position) 98-1トラッキングに使用できます。SOP 98-1トラッキングをアクティブにしない場合でも、アクティビティは、分類ツールとしてタスクに関連付けることができます。

この手順の詳細については、「[アクティビティのセットアップ](#)」(31 ページ)を参照してください。

## 9. HP Time Management との統合セットアップ (オプション)

HP Time Management との統合セットアップの大半は、プロジェクトタイプレベルで行います。ただし、プロジェクト関連の作業アクティビティのレポートにHP Time Managementを使用する前に、各リソースに適切な権限と委任権がHP Time Managementで設定されていることを確認してください。詳細については、『HP Time Management ユーザーガイド』および『HP Time Management Configuration Guide』を参照してください。

## 10. Microsoft Project との統合セットアップ (オプション)

HP Project Management は、Microsoft Project と統合できます。この統合を活用するには、適切なサーバの設定が必要です。

この手順の詳細については、「[Microsoft Project との統合セットアップ](#)」(32 ページ)を参照してください。

## 11. タスクユーザデータのセットアップ (オプション)

タスクユーザデータは、個々のタスクとの関連付けを HP Project Management で行えるカスタムフィールドです。

この手順の詳細については、「[HP Time Management との統合セットアップ](#)」(31 ページ)を参照してください。

# リソースのセットアップ

HP Project Management のリソースは、HP Resource Management を使ってトラッキングして、時間と機能を最適化できます。HP Resource Management を使用すると、プロジェクトマネージャは次のことが行えます。

- 休日指定のほか、全体の可用性を決める各リソースのカレンダー設定
- リソースへのプライマリスキルとロールのアサイン (オプション)
- リソース負荷の期間別、作業計画別、個人別表示
- リソースの可用性の分析と検索

リソースプールは、リソース供給のトラッキングに使用でき、作業計画のアサインにも必要です。プロジェクトのスタッフィングプロファイル、または直接作業計画にアサインされている個々のリソースは、プロジェクトマネージャが管理するリソースプールに属している必要があります。プロジェクトのリソース管理戦略は、次のいずれかの場合に使用できます。

- リソース管理が活発に行われていない場合は、利用可能なすべてのプロジェクトリソースを1つのリソースプールにまとめ、プロジェクトマネージャ全員をリソースプールの管理者として指定できます。これにより、プロジェクトのスタッフィングプロファイルや作業計画に、すべてのリソースが選択できるようになります。



この戦略は、リソースの数が多い場合にはお勧めできません。多数のリソースを単独のリソースプールから管理すると、パフォーマンスやサーバの安定性に影響を及ぼします。

- リソース管理が活発に行われており、リソースの管理者が使用時間をリクエストしなければならないような場合は、スタッフィングプロファイルを使用します。これにより、**HP Resource Management**機能を使って、自分が管理していないリソースプールからリソースをリクエストできるようになります。リクエストに対する認否は、リソースの管理者が行います。

リソース (カレンダー情報など) とリソースプールは、**HP Project Management**でプロジェクトを作成する前に、**HP Resource Management**でセットアップしておきます。また、リソースと関連付けたくない場合でも、ロールとスキルはセットアップしておきます。

これらのタスクを実行する方法についての詳細は、『**HP Resource Management ユーザーガイド**』を参照してください。

個々のリソースのコストレートは、コストレートルールを使って設定し、**HP Financial Management**で制御します。コストレートルールとそのセットアップ方法の詳細については、『**HP Financial Management ユーザーガイド**』を参照してください。

**HP Resource Management**を使って行えるタスクを次に示します。

- 組織モデルへのリソースのマッピング、およびセキュリティグループへの組織ユニットの関連付け
- スタッフィングプロファイルを使ったリソース割り当ての長期計画

詳細については、『**HP Resource Management ユーザーガイド**』を参照してください。

## 地域のセットアップ

地域は、HP Resource Management でセットアップされ、それぞれに固有のカレンダーを備えています。地域カレンダーの指定内容を次に示します。

- 1 営業日当たりの営業時間
- 1 週間当たりの営業日数
- 休日

1つのプロジェクトは1つの地域に関連付けられ、プロジェクトとリソースの正確なスケジューリングが行われます。

地域および地域カレンダーのセットアップの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

## HP Project Management の検証設定

PPM Center の特定フィールドの値は、設定や拡張が可能な検証によって決まります。フィールドで使用可能な値のリストを変更するには、PPM Workbench で対応する検証を開き、そこから編集します。



設定や拡張が可能な検証は、[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブとプロジェクトコントロールプロセスで関連付けられたフィールドにのみ設定できます。作業計画フィールドの値は変更できません。

[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブの [ビジネスユニット] フィールドは、固定リスト検証の一例で、これによってユーザが固定リストのオプションを使えるようになっています。固定リスト検証には、ドロップダウン形式またはオートコンプリート形式のリストコンポーネントを使用できます。



PPM Center のインスタンスで複数の言語がサポートされている場合、作成する検証は、ログイン時に選択した言語 (セッション言語) ですべて定義されます。作成した検証の修正は、定義した言語でのみ行えます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。



検証に値を追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM CenterにログオンしてPPM Workbenchを開きます。
2. ショートカットバーから **[構成]** > **[検証]** をクリックします。
3. **[検証Workbench]** ウィンドウの **[クエリ]** タブで、**[リスト]** をクリックします。  
**[結果]** タブが開き、検索結果が表示されます。
4. **[PFM - ビジネスユニット]** を選択し、**[開く]** をクリックします。  
**[ビジネスユニット]** フィールドに検証が読み込まれた **[検証]** ウィンドウが開きます。
5. **[新規]** をクリックします。  
**[検証値の追加]** ウィンドウが開きます。
6. 次の表に従って検証値の情報を指定します。

フィールド	定義
コード	検証値の基本コード。データベースに保存されている値、または内部機能に渡される値ですが、まれにしか表示されません。
意図	ドロップダウンリストまたはオートコンプリートの検証値に対して表示させる意味
説明	検証値の説明
有効	検証値が有効かどうかを決定します。フィールドに値を表示させる場合はチェックが必要です。
デフォルト	値がリストのデフォルト値かどうかを決定します。ドロップダウンリストには、この値が最初に表示されます (オートコンプリートリストには使用されません)。デフォルト値は、1つのリスト当たり1つしか使用できません。

7. **[デフォルト]** フィールドを選択して検証値をデフォルトとして設定します (オプション)。

デフォルトオプションは、ドロップダウンリストにのみ使用できます。

8. **[OK]** をクリックしてウィンドウを閉じ、検証に値を追加します。**[追加]** をクリックして値を追加し、**[検証値の追加]** ウィンドウを開いたままにします。

検証値の順番は、上下矢印のアイコンを使って変更できます。検証値の順番によって、リストに表示される値の順番が決まります。

9. 検証に値を追加したら、**[検証]** ウィンドウの **[保存]** または **[OK]** をクリックして新しい値を保存します。

▶ 他の検証で定義されている既存の値は、**[コピー元]** ボタンでコピーできます。**[コピー元]** をクリックしてリスト検証済みの既存検証のクエリを行い、検証値を選択します。**[コピー元]** ウィンドウの **[追加]** または **[OK]** をクリックし、選択した1つまたは複数の値をリストに追加します。

▶ リストで検証済みの検証 (ドロップダウンリストおよびオートコンプリートリスト) は、注意して作成してください。値を変更するたびに検証の更新が必要になります。この方法の代わりに、データベーステーブルから値を取得する SQL クエリや PL/SQL 機能を使った検証方法を検討してみてください。

各種検証の編集と作成の詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

# [プロジェクトの詳細] タブの設定

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブには、プロジェクトに対して事前に設定された内容のフィールドがあります。

図 2-1. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトの詳細] タブ

プロジェクトの監査履歴 PDFにエクスポート

プロジェクト: Developer Tools improvements  緑

プロジェクト設定 参加者の設定 プロジェクトの削除

プロジェクト ステータス: 計画  
プロジェクト マネージャ: Admin User  
プロジェクトの計画期間: 9月 2010 ~ 12月 2010

フェーズ: プロジェクト  
プロジェクト 地域: Enterprise

ステータス: 2011/01/12  
 緑

スケジュール	問題	コスト
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ヘルスのオーバーライド

プロジェクト サマリ | **プロジェクトの詳細** | 参照

説明:  
リクエスト ステータス: 計画中 (完全なステータスを表示)

利用できるアクション

計画中

開始 キャンセル 保留

すべて展開する すべて折りたたむ

このプロジェクトの詳細を変更した(後)、このタブから他の場所へ移動する前に [保存] ボタンをクリックする必要があります。

保存

ヘッダー  
サマリ

プロジェクト番号: 30144

プロジェクト名: Developer Tools improv... プロジェクト マネージャ: Admin User

計画開始期間: 9月 2010 計画終了期間: 12月 2010

プロジェクト ステータス: 計画中 プロジェクト ヘルス: 緑

説明:

PFM プロジェクト

ビジネス目標: ビジネス ユニット: プロジェクトの依存関係:

スタッフィング プロファイル: (スタッフィング プロファイルなし)

意味現在価値: 0

財務サマリ: Developer Tools improvements

関連付けられたプログラム: (関連付けられたプログラムなし)

詳細

メモ: メモが存在しません

ステータス

このプロジェクトの詳細を変更した(後)、このタブから他の場所へ移動する前に [保存] ボタンをクリックする必要があります。

保存

このようなフィールドには、**HP Project Management**の使用を開始する前にセットアップや変更を行う必要はありませんが、変更したい場合は、ビジネスニーズに合わせて次のようにカスタマイズできます。

- 個々のフィールド名と値は変更可能です。
- フィールド自体は、「[プロジェクトプロセスの設定](#)」で説明するワークフローによって決まるプロジェクトプロセスの段階に応じて非表示、表示、または読み取り専用を設定可能です。

フィールドおよびフィールドとワークフローとの相互関係は、**PPM Workbench**で変更可能なリクエストタイプによって収容、定義されています。

リクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細については、『**HP Project Management Configuration Guide**』を参照してください。

## プロジェクトプロセスの設定

プロジェクトプロセスは、**PPM Center**のワークフローによって決まります。このワークフローは、**HP Project Management**ですぐに使えるベストプラクティスコンテンツとして提供されますが、変更したい場合は、組織のプロジェクト実行プロセスに合うようにカスタマイズできます。ワークフローの各ステップも、[プロジェクトの概要] ページの [[プロジェクトの詳細](#)] タブのフィールドと連動するように、表示または編集可に設定可能です。

リクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細については、『**HP Project Management Configuration Guide**』を参照してください。

## プロジェクトコントロールプロセス

**HP Project Management**は、**HP Demand Management**からのリクエストに応じて、プロジェクトの実施中に送信、管理できる特別のプロジェクトコントロールアイテムを備えています。

- 問題は、特定のプロジェクトに対して要注意問題として提起できます。

- リスクは、プロジェクトの実行の妨げとなり得るリスクが目立つように提起できます。
- 範囲の変更は、プロジェクトの範囲を調整する場合にリクエストできます。

図 2-2. プロジェクト範囲の変更

新規 プロジェクトのスコープ変更リクエスト の作成

すべて展開する [すべて折りたたむ](#) 送信 キャンセル

ヘッダー  
サマリ

スコープ変更ステータス: 未送信

作成者: Admin User      アサイン先:

プロジェクト:

優先度:  ▼      \*CRレベル:  ▼      ビジネス インパクトの重大度:  ▼

説明:

詳細  
スコープ変更の詳細

アサイン先リリース:       実装目標日:

詳細な説明:

提案された変更のベネフィット:

代替:

インパクトを受ける成果物のリスト:

インパクト サマリ:

財務上のインパクト:       スケジュール上のインパクト (旧数):

メモ  
保存時に追加されるメモ:

参照 送信 キャンセル

これらのリクエストは、送信後、独自のワークフローに従って解決されます。個々のリクエストタイプは、すぐに使えるベストプラクティスコンテンツとして提供されますが、変更したい場合は、プロジェクトコントロールプロセスに合うようにカスタマイズできます。ビジネスニーズに合わせて変更可能なプロジェクトコントロールリクエストの要素を次に示します。

- 個々のフィールドと使用可能な値は変更可能です。
- フィールド自体は、ワークフローの段階に応じて非表示、表示、または読み取り専用を設定可能です。
- ワークフローは変更可能です。

プロジェクトコントロールリクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## プロジェクトタイプのセットアップ

すべてのプロジェクトは、プロジェクトタイプから作成します。プロジェクトタイプは、新規プロジェクトの管理に使用するビジネスルールを適用するかどうかの指定に使用します。プロジェクトタイプには、プロジェクト管理用の異なる要素に対する、次のようなポリシーが含まれます。

- 収集する実績のタイプ
- プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用するかどうか
- プロジェクト内の作業計画の有無

プロジェクトタイプとポリシーは、プロジェクトの作成を始める前にセットアップしておいてください。プロジェクトタイプの設定の詳細については、[第3章「プロジェクトタイプの設定」\(33 ページ\)](#)を参照してください。

## アクティビティのセットアップ

アクティビティは、プロジェクト作業計画のタスクに関連付けることができるシンプルな設定エンティティです。資本計上と表示されたアクティビティが、このSOP (Statement of Position) 98-1トラッキング用のキャパシティでは使用され、プロジェクトが資本計上をサポートする場合は関連タスクのコストが資本金として分類されます。SOP 98-1トラッキングをアクティブにしない場合でも、アクティビティは、分類ツールとしてタスクに関連付けることができ、関連コストは事業費とみなされます。

SOP 98-1トラッキングに興味がない場合や、タスクカテゴリをこれほどきめ細かくトラッキングしたくない場合は、アクティビティの設定やタスクとの関連付けは不要です。HP Project Managementは、一般的なSOP 98-1カテゴリに対応するアクティビティが事前に定義されており、このカテゴリをタスクに使用するように設定できます。

アクティビティおよびアクティビティ動作の設定の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## HP Time Managementとの統合セットアップ

HP Time Managementでは、HP Project Managementとの併用により、タイムシートを使って時間と工数の実績を詳細に入力できます。タイムシートは、独自の認証者と認証プロセスを備えており、さらにきめ細かいコストレポートに使用できます。

HP Time Managementとの統合セットアップの大半はプロジェクトタイプレベルで行われますが、プロジェクト関連の作業アクティビティのレポートにHP Time Managementを使用する前に、各リソースに適切な権限と委任権がHP Time Managementで設定されていることを確認してください。詳細については、『HP Time Management ユーザーガイド』および『HP Time Management Configuration Guide』を参照してください。

設定タスクの一部は、HP Project ManagementでHP Time Managementを使用する前に完了しておく必要があります。該当する設定タスクを次に示します。

- HP Time Management を使ってプロジェクトの実績を更新するユーザに適切なライセンスとアクセス権があることを確認する
- ユーザが送信するタイムシートを承認する適切なアクセス権がプロジェクトマネージャにあることを確認する
- 各プロジェクトについて、HP Time Management との統合が正しく設定されていることを確認する

HP Time Management との統合の詳細については、[第 11 章「HP Time Management との統合」\(329 ページ\)](#)を参照してください。

## Microsoft Project との統合セットアップ

HP Project Management は、Microsoft Project との統合が可能のため、いずれのアプリケーションでも作業計画を作成し、スケジューリング情報と実績情報を互いに同期させることができます。たとえば、Microsoft Project での作業計画の作成の方が慣れている一方で、HP Project Management のプロジェクト参加者機能 (マイタスクポートレットなど) を利用したい場合、Microsoft Project で作業計画を作成してから HP Project Management に送ることができます。

一部のタスクは、Microsoft Project で HP Project Management を併用する前に完了しておく必要があります。詳細については、『[HP Project Management Configuration Guide](#)』を参照してください。

Microsoft Project との統合の詳細については、[第 3 章「プロジェクトタイプの設定」\(33 ページ\)](#)を参照してください。

## タスクユーザデータのセットアップ

タスクユーザデータは、個々のタスクとの関連付けを作業計画上で行えるカスタムフィールドです。作業計画にタスクのカスタムフィールドが必要ない場合、タスクユーザデータの設定は不要です。

タスクユーザデータのセットアップの詳細については、『[HP Project Management Configuration Guide](#)』を参照してください。



## 3 プロジェクトタイプの設定

### プロジェクトタイプの設定の概要

この章では、プロジェクトタイプとプロジェクトポリシーについて、またその作成方法や修正方法について説明します。

#### プロジェクトタイプ

各プロジェクトは、作成時にプロジェクトタイプと関連付けられます。プロジェクトタイプは、新規プロジェクトの管理に使用するビジネスルール、つまりプロジェクトポリシーを適用するかどうかの指定に使用します。HP Project Managementにはインストール時にエンタープライズプロジェクトタイプが設定されますが、HP Project Managementでプロジェクトを作成するには、プロジェクトタイプを少なくとも1つ作成しておく必要があります。

各プロジェクトタイプに所有者を定義できるため、そのプロジェクトタイプを変更できるユーザを決めることができます。これは、1つのビジネスで複数の組織が独自のプロジェクトタイプを保持する場合に有用です。また、特定のプロジェクトタイプを使ってプロジェクトを作成できるユーザを限定することもできます。プロジェクトタイプはコピーできます。また、プロジェクトタイプは無効にもできますが、そのプロジェクトタイプを現在使用しているプロジェクトに影響を与えることはありません。

## プロジェクトポリシー

プロジェクトタイプには、プロジェクトの次の点についてのポリシーが設定されています。

- 各ヘルス色のしきい値のほか、プロジェクトについてトラッキングするヘルスマトリクスの種類
- プロジェクトのセキュリティと監査の制御
- [プロジェクトの詳細] タブのフィールドを定義し、プロジェクトプロセスを推進させるリクエストタイプ
- コストとアーンドバリュー違反を示すインジケータの計算に使用するコストの例外ルール
- プロジェクト内の作業計画の有無
- 収集する実績のタイプ
- 作業計画のスケジューリングを管理するルール
- スケジューリングの問題を示すインジケータの計算に使用するスケジューリング例外ルール
- プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用するかどうか
- Microsoft Projectとの統合用設定
- プロジェクトに使用するリソースの作業負荷としてカウントされるアイテムを決める設定
- Service Managerの変更リクエスト (RFC) を作成する機能

プロジェクトタイプとポリシーによりプロジェクトの設定が決まります。

### プロジェクトポリシーの適用

個々のポリシーについて、プロジェクトタイプを使用しているプロジェクトの関連設定を変更できるかどうかは、プロジェクトタイプによって決まります。オーバーライド可能なプロジェクトタイプを使ったプロジェクトの作成時には、そのプロジェクトに関する設定を必要に応じて変更できます。

たとえば、「Alpha Project」というプロジェクトタイプが「Company A」に作成されているとします。「Alpha Project」には、オーバーライド可能な**コストと工数**ポリシーが設定されています。管理者は、「Alpha Project」タイプを使ったプロジェクトを作成し、プロジェクトの当面のニーズに合わせて**コストと工数**設定を変更できます。他の設定は、オーバーライド可能ではないため変更できません。

すでに進行中のプロジェクトのプロジェクトタイプポリシーやオーバーライドステータスを変更すると、次のような結果になります。

- オーバーライド可能なポリシーをオーバーライド不可に変更すると、設定変更が事前に行われていた場合は、進行中のプロジェクトのポリシーの設定が新しいポリシーと一致するように変更されます。
- オーバーライド不可のポリシーをオーバーライド可能なポリシーに変更しても、進行中のプロジェクトには何の影響も与えません。
- オーバーライド不可のポリシーの内容を変更すると、進行中のプロジェクトの設定が新しいポリシーと一致するように変更されます。
- オーバーライド可能なポリシーの内容を変更しても、進行中のプロジェクトには何の影響も与えません。

プロジェクトタイプの変更によってデータの再計算が必要となる場合（例外しきい値の変更など）は、計算が延期されます。

#### プロパゲートしないポリシーの変更

ポリシーの中には、オーバーライド不可に設定されていても既存ポリシーに変更内容をプロパゲートしないものがあります。次のポリシーがそれに当たります。

- プロジェクトフィールド
- コストと工数
- Microsoft Project 統合
- 作業計画テンプレート（変更内容がプロパゲートされず、既存の作業計画も変更されません）

プロパゲートしないプロジェクトタイプポリシーを変更する場合は、次に大まかに示す一般的な手順に従って変更します。

1. システムのアクティビティが少ない時間を特定します。
2. プロジェクトタイプ上でプロジェクトポリシーのロックを解除します。
3. 既存のプロジェクトを開き、変更可能な設定をそれぞれ修正します。
4. プロジェクトタイプ上でプロジェクトポリシーをロックします。

## プロジェクトタイプの使い方

プロジェクトタイプを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[作成]** > **[管理]** > **[プロジェクトタイプ]** を選択します。  
[プロジェクトタイプの作成] ページが開きます。
3. **[プロジェクトタイプ名]** と、オプションで **[説明]** に入力します。
4. 「**プロジェクトポリシーの設定**」の説明に従って、任意のプロジェクトポリシーを設定します。
5. **[作成]** をクリックします。

## プロジェクトポリシーの設定

プロジェクトポリシーは、関連エリアごとにグループ化されています。これらのポリシーは、それぞれが属するプロジェクトタイプから作成されたプロジェクトの設定内容になります。

プロジェクトポリシーを設定するには、編集するポリシーに対応するボタンをクリックし、必要な変更を加えてから **[保存]** をクリックします。

## プロジェクトフィールド

プロジェクトフィールドポリシーでは、作業計画でトラッキングするフィールドが決まります。フィールドの横のチェックボックスまたはオプションを選択すると、フィールドが有効になります。プロジェクトフィールドポリシーの一部のフィールドは、HP Project Management の機能を利用するためには必須で、有効にしておきます。

図 3-1. プロジェクトフィールドポリシー

**プロジェクト フィールド**

プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする  はい  いいえ

一部のフィールドは、Project Management が使用する必要があるため常に有効です。

---

**スケジュール フィールド**

ここで有効にしたフィールドは、作業計画で入力および表示が可能になります。スケジュールされた工数フィールドは、コストと工数ポリシーによって有効または無効に設定されます。

- スケジュールされた開始日
- スケジュールされた終了日
- スケジュールされた期間
- スケジュールされた工数 (コストと工数ポリシーによる制御)

---

**実績フィールド**

実績フィールドは、作業計画の実行の進捗状況をトラッキングします。ここで有効にしたフィールドは、作業計画で入力および表示が可能になります。工数フィールドは、コストと工数ポリシーによって有効または無効に設定されます。

- 達成率 (%)
- 実績の開始日
- 実績の終了日
- 実績の期間 (常にシステムによる計算)
- 実績工数 (コストと工数ポリシーによる制御)
  - 見積もり残存工数 (コストと工数ポリシーによる制御)
- 予想終了日

---

**追加のフィールド**

- サービス (サービスのカテゴリに使用)  が必要です
- アクティビティ (タスクのカテゴリに使用され、資本化に推奨)
- ロール (リソースのカテゴリに使用され、作業負荷とプロジェクト スタッフングに推奨)

---

**マイルストーン表示**

プロジェクトの概要ページのマイルストーン タイルに表示するマイルストーンを制御できます。マイルストーンは、タスク編集ページで主要なマイルストーンとして特定されます。

- 主要なマイルストーンのみ表示

プロジェクトフィールドポリシーで決まるフィールドを表 3-1 に示します。

表 3-1. プロジェクトフィールドポリシー (1/2 ページ)

フィールド名	説明
<b>[スケジュールフィールド] セクション</b>	
スケジュールされた開始日	スケジュールされたタスクの開始日
スケジュールされた終了日	スケジュールされたタスクの終了日
スケジュールされた期間	スケジュールされたタスクの期間
スケジュールされた工数	スケジュールされた工数をタスク単位に指定できます。このフィールドは、コストと工数ポリシーによって決まります。


表 3-1. プロジェクトフィールドポリシー (2/2 ページ)

フィールド名	説明
[実績フィールド] セクション	
達成率 (%)	すでに完了したタスクの割合
実際の開始日	タスクの作業が実際に開始した日付
実際の終了日	タスクの作業が実際に終了した日付
実際の期間	実際の開始日と終了日から算出された実際のタスク期間
実績工数	各タスクの実績工数値を指定できます。このフィールドは、コストと工数ポリシーによって決まります。
見積もり残存工数	各タスクの見積もり残存工数値を指定できます。このフィールドは、コストと工数ポリシーによって決まります。
予想終了日	各タスクの予想終了日を指定できます。
[追加のフィールド] セクション	
サービス	タスクのビジネスサービスのトラッキング、カテゴリ化、および分析が行えます。このフィールドは、[サービス]と[PFM プロジェクト] フィールドグループを有効化しないと使用できません。
が必要です	[サービス] フィールドを必須フィールドにできます。
アクティビティ	タスクにアクティビティを割り当てます。主に SOP 98-1 トラッキングに使用します。
ロール	各タスクのロールを指定できます。
[マイルストーン表示] セクション	
主要なマイルストーンのみ表示	[プロジェクトの概要] ページに表示される「主要なマイルストーン」としてタスクを識別させることができます。

## 作業計画

作業計画ポリシーでは、プロジェクトでの作業計画の有無、作業計画にアクセスできるユーザ、および実績を確認できるユーザを指定できるほか、プロジェクトタイプに使用する特定の作業計画テンプレートの提案や適用が行えます。

図 3-2. 作業計画ポリシー

作業計画
プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
<input checked="" type="checkbox"/> このプロジェクトには作業計画は含まれない
作業計画にアクセス可能なユーザ:
<input checked="" type="radio"/> すべてのユーザ
<input type="radio"/> プロジェクト マネージャ、サマリ タスクのオーナー、および利害関係者
<input type="radio"/> プロジェクト マネージャのみ
<input type="checkbox"/> 作業計画で制限されたリソースは、[タスクの詳細] ページの実績のみ表示できます。
作業計画テンプレート
<small>新規作業計画を作成する際に使用するデフォルトの作業計画テンプレートを選択してください。ここで選択した作業計画テンプレートは、ユーザに対し、プロジェクトの作業計画を作成する際のガイダンスを提供します。このポリシーを適用すると、新規プロジェクト作業計画はこのテンプレートからしか作成できなくなります。この設定への変更は、ポリシーを適用した場合も、既存のプロジェクト作業計画には影響しません。</small>
作業計画テンプレート: <input type="text"/> 

### 作業計画のアクセス

作業計画と実績を確認できるユーザは、表 3-2に示す作業計画ポリシー設定を使って [タスクの詳細] ページで制限できます。

プロジェクトマネージャは、常に作業計画にアクセスして実績を確認できます。プロジェクトマネージャによる作業計画と実績のアクセスや確認を制限することはできません。



ユーザは常に自分の実績を確認できます。ただし、確認できる実績が自分の実績のみに制限されている場合があります。

表 3-2. 作業計画ポリシー：作業計画と実績のアクセス設定

フィールド名	説明
作業計画にアクセス可能なユーザ	<p>作業計画にアクセスできるユーザを制限します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>すべてのユーザ</b>: デフォルト。すべての PPM Center ユーザが作業計画を確認できます。</li> <li>● <b>プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、および利害関係者</b>: プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、または利害関係者のみが作業計画を確認できます。</li> <li>● <b>プロジェクトマネージャのみ</b>: プロジェクトマネージャのみが作業計画を確認できます。</li> </ul>
作業計画で制限されたリソースは、[タスクの詳細] ページの実績のみ表示できます。	<p>[タスクの詳細] ページで自分の実績しか確認できないようにユーザを制限する設定を有効にします。有効時は、ユーザの実績が「<b>制限付き</b>」と表示されます。無効時は、他のユーザの実績を確認できます。</p>

表 3-3 に、アクセスや確認が行える PPM Center ユーザ (エンドユーザ、サマリタスクのオーナー/利害関係者、またはプロジェクトマネージャ) を選択された設定ごとに示します。

表 3-3. 作業計画と実績のユーザアクセス (1/2 ページ)

選択された設定		ユーザが行えること	
作業計画にアクセス可能なユーザ	作業計画で制限されたリソースは、[タスクの詳細] ページの実績のみ表示できます。	作業計画のアクセス	[タスクの詳細] ページにおける他の実績の確認
ユーザ: エンドユーザ <sup>a</sup>			
すべてのユーザ	該当なし	可	可
プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、および利害関係者		不可	可
	×	不可	不可
プロジェクトマネージャのみ		不可	可
	×	不可	不可



表 3-3. 作業計画と実績のユーザアクセス (2/2 ページ)

選択された設定		ユーザが行えること	
作業計画にアクセス可能なユーザ	作業計画で制限されたりソースは、[タスクの詳細] ページの実績のみ表示できます。	作業計画のアクセス	[タスクの詳細] ページにおける他の実績の確認
ユーザ: サマリタスクのオーナーまたは利害関係者			
すべてのユーザ	該当なし	可	可
プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、および利害関係者		可	可
	×	可	可
プロジェクトマネージャのみ		不可	可
	×	不可	不可 <sup>b</sup>
ユーザ: プロジェクトマネージャ			
すべてのユーザ	該当なし	可	可
プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、利害関係者		可	可
	×	可	可
プロジェクトマネージャのみ		可	可
	×	可	可

a. エンドユーザは、サマリタスクのオーナー、利害関係者、プロジェクトマネージャ以外のすべてのPPM Centerユーザです。

b. サマリタスクのオーナーまたは利害関係者は、所有権が自分がない限り、下位タスクの実績を見ることはできません。

たとえば、プロジェクトの作業計画ポリシーの [作業計画にアクセス可能なユーザ] フィールドに [プロジェクトマネージャのみ] が設定されていて、[作業計画で制限されたリソースは、[タスクの詳細] ページの実績のみ表示できます。] フィールドが有効になっている場合、PPM Center にログオン済みでプロジェクトにアクセスできるサマリタスクのオーナーは、作業計画にはアクセスできません。サマリタスクのオーナーは [プロジェクトの詳細] ページで自分の実績は確認できますが、他人の実績を見ることはできません。

## 作業計画テンプレート

作業計画テンプレートとオーバーライド動作を次に示します。

- **〔作業計画テンプレート〕** フィールドで作業計画テンプレートを指定し、ポリシーをオーバーライド不可に設定すると、このプロジェクトタイプから作成されたプロジェクトでは、この作業計画テンプレートに基づいた作業計画しか作成できません。また、デフォルトの作業計画テンプレートは変更できません。
- **〔作業計画テンプレート〕** フィールドで作業計画テンプレートを指定し、ポリシーをオーバーライド可能に設定すると、このプロジェクトタイプから作成されたプロジェクトの管理者は、デフォルトテンプレートや別のテンプレートを使って、あるいは手動で設定して作業計画を作成できます。
- 作業計画テンプレートを指定しないと、ポリシーはデフォルトでオーバーライド可能に設定されます。特定の作業計画テンプレートを必要としないプロジェクトタイプには、作業計画テンプレートを指定しません。

作業計画テンプレートの詳細については、[第 9 章「作業計画テンプレートの使用」](#) (219 ページ) を参照してください。

## リクエストタイプ

リクエストタイプポリシーでは、次のアイテムを指定します。

- [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブに表示するフィールドを決めるリクエストタイプ。このリクエストタイプは、プロジェクトプロセス全体を推進させるワークフローとも関連付けられています。このアイテムは必須です。


HP Portfolio Management がインストールされている場合は、このリクエストタイプは、ポートフォリオ内のプロジェクトも表します。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。

- プロジェクトの問題のレポートや解決に使用するリクエストタイプ (暗示的に関連ワークフローも同様)
- プロジェクトのリスクのレポートや解決に使用するリクエストタイプ (暗示的に関連ワークフローも同様)
- プロジェクト範囲の変更のレポートや解決に使用するリクエストタイプ (暗示的に関連ワークフローも同様)

図 3-3. リクエストタイプポリシー


### リクエストタイプ


このポリシーは、このプロジェクトに関連付けられたリクエストタイプを特定します。プロジェクト プロセス リクエストタイプは、プロジェクトのプロセス全体およびプロジェクトレベルのデータフィールドをモデル化するリクエストタイプ (およびワークフロー) を特定します。プロジェクトを作成すると、このリクエストタイプを使用するリクエストも作成されます。Portfolio Management を使用している場合、このリクエストはプロジェクトを特定するために Portfolio Management によって使用されます。プロジェクトに関連付けられたプロジェクト プロセス リクエストタイプは、プロジェクトを作成した後には変更することができません。


**プロジェクト プロセス リクエストタイプ:**  

---

プロジェクト コントロール プロセスに使用するリクエストタイプを特定します。ここで指定したリクエストタイプは、プロジェクトの概要ページから問題、リスク、スコープ変更を作成する際に使用されます。

**問題リクエストタイプ:**  

**リスクリクエストタイプ:**  


**スコープ変更リクエストタイプ:**  

## スケジューリング

スケジューリングポリシーでは、作業計画のスケジューリングを管理する、次のようなオプションを指定します。

- 作業計画を開始するデフォルトの開始日
- リソースの依存関係
- クリティカルパスのしきい値
- スケジューリング警告ルール

図 3-4. スケジューリングポリシー

スケジューリング	
スケジューリング設定は、作業計画をスケジュールするためにスケジューラが既存のデータを解釈する方法を制御します。	
作業計画スケジューラを実行すると、作業計画スケジューラは、作業計画で定義されている制限と依存関係を考慮して、開始日から開始されるようにプロジェクトをスケジュールします。スケジュールの開始日となるデフォルトの日付を指定できます。	
必要に応じて、プロジェクトをスケジュールするときに任意の実際の開始日と終了日を考慮し、これらの日付に基づいてプロジェクト作業を再調整するようにスケジューラを設定することができます。	
デフォルトの開始日:	<input type="text"/> 
<input checked="" type="checkbox"/> 可能であれば実際の開始日と実際の終了日を使用する	
次の場合に、スケジュールに日を含める:	
<input checked="" type="radio"/> すべてのリソースが使用できる	
<input type="radio"/> 1つ以上のリソースが使用できる	
<input type="radio"/> カレンダー内のすべての就業日を含める(リソースの可用性は無視する)。	
クリティカルパスのしきい値:	<input type="text"/> 日
スケジュール警告ルール	
スケジュール警告は、作業計画内の構造的な問題または不整合を特定します。これらの警告は、作業計画がスケジュールされた後(その作業計画のスケジュール情報に対する変更が保存された場合に、作業計画内)に表示されます。作業計画内での表示の構成オプション経由の警告の表示を有効にします。	
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>プロジェクト日の整合</b> この警告は、作業計画の日付がプロジェクトの計画開始期間または計画終了期間を超える则表示されます。また、この警告は、タスクに対して定義されている制限がプロジェクトの計画開始期間または計画終了期間の範囲以外であると表示されます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>依存関係の整合</b> これらの警告は、タスクに対して定義された先行タスクの依存関係が他の制限やタスク情報によって妨げられたために受け入れられなかった場合に表示されます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>制限の継承の整合</b> これらの警告は、タスクに定義されている制限とその上位タスクに定義されている制限との間に直接的な整合があり、どちらか一方のタスクに定義されている制限を満たすことができないうちに発生します。両方に関連するタスクがマークされます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>リソースをスケジュールできませんでした</b> スケジューラは、アサインされたリソースがタスクをスケジュールするのに十分な就業日数を特定できませんでした。この警告は、スケジューラを実行したときのみ評価されます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>タスク制限を満たすことができませんでした</b> この警告は、タスクに定義されている制限がその他の整合情報が優先されるために受け入れられなかった場合に表示されます。
<input type="checkbox"/>	<b>タスクに対する工数がしきい値を超えています</b> 許容範囲: <input type="text"/> % このタスクに対する合計工数 (実績工数終了日と見積もり残存工数との合計)とスケジュール工数との差が、指定した許容範囲を超えています。合計工数に対して、スケジュールされた工数より大幅な増加(減少)が必要であることが判明したために、タスクがアサインされた担当者によって見積もり残存工数が更新されたか、あるいは実績工数が合計工数と調整されることなく増減が実施されたかです。

## デフォルトの開始日

タスク開始がスケジュールされているデフォルトの開始日は、**スケジューリング**ポリシーのこの部分で決まります。この設定は、ポリシー設定がオーバーライド不可かどうかに関係なく、各プロジェクトに対して行います。計画プロセス中に何が起こっても必ず作業計画を開始する日付の設定に使用します。

既存のタスクを実際に開始した日と終了した日をスケジュールの再設定時にスケジューラに考慮させるかどうかは、ポリシーで決定します。デフォルトでは、実際の日付を考慮させることになっています。

たとえば、作業計画が「アクティブ」になると、タスクには「進行中」と表示されます。タスクに「進行中」と表示された場合は、そのタスクには実際の開始日が指定されています。スケジューリングでプロジェクトが実際の開始日と終了日を使用するように設定されている場合は、実際の開始日に開始するように「**進行中**」のタスクが移動されます。

## リソースの依存関係

すべてのビジネスイニシアチブには、いくつかのリソースが最低でも必要で、通常は利用可能な人材という形式のリソースが必要です。HP Project Managementでは、営業日にリソースが必ずアサインされるよう、チェックが行われます。作業計画スケジュールの作成時には、リソース要件を考慮するように「**次の場合に、スケジュールに日を含める**」オプションを設定できます。たとえば、プロジェクトがリソースの可用性を無視してスケジュールするように、**スケジューリング**ポリシーで設定することも可能です。

デフォルト設定では、どの日にもリソースがすべて必要になるよう設定されています。作業計画のスケジュール作成時、HP Project Managementは、すべてのリソースがそろっている日のみ考慮の対象とします。

## クリティカルパスのしきい値

作業計画のクリティカルパスとは、プロジェクトの期間を決める一連のタスクのことです。**クリティカルパスのしきい値**は、タスクをクリティカルパスの一部として特定するためのしきい値として指定された余裕期間（プロジェクトを遅らせることなくタスクの開始を遅延できる時間）の長さです。余裕期間がこの値以下のタスクが、クリティカルパス上にあることになります。しきい値を使用すると、プロジェクトマネージャは、作業計画の管理で認められるリスクの程度を決めることができます。

## スケジュール警告ルール

作業計画のスケジュール時には、プロジェクトマネージャに対する潜在的な構造問題の警告に使用する**スケジュール警告ルール**を選択できます。スケジュール警告はタスクデータの保存時に必ず計算されるため、スケジューラなしでも使用できます。



HP Project Managementは、ユーザが選択したスケジュール警告に基づいた警告のみ発します。

### 許容範囲

許容範囲は、リソースが(タスクの実績を更新することで)見積もり残存工数に影響を与え、全工数とスケジュールされた工数が大幅に異なる結果となるかどうかを決めるのに使用します。この警告を受けて、プロジェクトマネージャはスケジュールまたはリソース割り当てを調整する必要に迫られる場合があります。

許容範囲とは、スケジュールされた工数と全工数(実績工数と見積もり残存工数の和)の差をスケジュールされた工数の割合で表したもので、次の計算式で算出されます。 $((SE - (AE + ERE)) / (SE)) \times 100$ 。スケジュールされた工数と全工数の差が、このしきい値より大きいと、警告インジケータが作業計画のスケジュール警告列に追加されます。

値が指定されている場合、計画した工数と全工数の差が指定した許容範囲以上にならないければ、警告はクリアされます。値が指定されていない場合は、警告の計算は行われず、既存の警告がクリアされます。

この値は、整数値で指定します。

## スケジュールヘルス

スケジュールヘルスポリシーでは、プロジェクトで有効な例外ルールのほか、プロジェクトのスケジュールヘルスインジケータが決まります。

図 3-5. スケジュールヘルスポリシー

## スケジュールヘルスインジケータ

プロジェクトのスケジュールヘルスインジケータは、作業計画のヘルスを単に色で示すインジケータです。スケジュールヘルスインジケータは、作業計画が「**アクティブ**」のときのみプロジェクトに付与され、作業計画が完了するか、「**保留中**」になると消滅します。プロジェクトのスケジュールヘルスインジケータの色は最初は緑色で、作業計画のヘルスに関与していると特定されたタスクが例外をトリガした割合によって、黄色や赤色に変化します(完了済みのタスクは無視されます)。この割合は、このポリシーで設定します。プロジェクトのスケジュールヘルスインジケータは、プロジェクトが保存されるまで計算されません。

たとえば、黄色のしきい値を30%に設定する**スケジュールリング例外ルール**ポリシーを持つプロジェクトタイプでプロジェクトが作成されているとします。合計10個のタスクからなる作業計画のうち、4個のタスクが例外をトリガします。スケジュールヘルスインジケータが黄色に変わり、最低2個のタスクが改訂されて例外をトリガしなくなる(開始日の変更、リソースの修正、またはタ

スクの開始で実現できます)まで、黄色のままになります。例外がなくなると、スケジュールヘルスインジケータが緑色に変わります。

## スケジュールリング例外ルール

プロジェクトは、事前定義された例外ルールを一式備えています。**スケジュールヘルス**ポリシーでは、例外ルールのトリガに必要な基準のほか、有効にする例外ルールを指定します。前述のとおり、このポリシーでは、プロジェクトのスケジュールヘルスを単に色で示すインジケータである、スケジュールヘルスインジケータも設定できます。スケジュールヘルスインジケータは、トリガされたスケジュール例外を監視し、ポリシーに従って表示色を変更します。

これは、ハイリスクのプロジェクトを管理するのに良い方法です。たとえば、エラーに対する余裕が少ないプロジェクトタイプには、トリガされた例外の割合が20になるとスケジュールヘルスインジケータを赤色に変更して早い段階で明確に問題を警告するよう、ポリシーで設定できます。

**スケジュールヘルス**ポリシーでは、プロジェクトのスケジュールリングと実行に関する例外ルールが決まります。

大半の例外ルールに設定できるパラメータを次に示します。

- **有効**: 特定の例外ルールを有効にするかどうかをプロジェクトマネージャが決定します。
- **ルール (日数)**: 特定の例外ルールが待機または監視する日数を指定します。
- **ヘルスに含める**: 特定の例外ルール違反をスケジュールヘルスインジケータ(「[スケジュールヘルスインジケータ](#)」参照)に含めるかどうかを決定します。

ポリシー内の各例外ルールは、個別に設定可能です。



## コストと工数

**コストと工数**ポリシーでは、作業計画、スタッフィングプロファイル、財務サマリ、およびタイムシートなどがあつた場合にプロジェクトのエンティティ間でどのように情報を受け渡すかなど、プロジェクトに関するコスト、工数、および作業負荷の管理方法が決まります。プロジェクトについて財務情報をトラッキングするかどうかのほか、実績の取得方法やコストの計算方法が、このポリシーで決まります。実績の取得用に**HP Time Management**がインストールされている場合、プロジェクトタイプに関する**HP Time Management**設定は、このポリシーで決まります。**HP Time Management**がインストールされていない場合や使用しない場合は、**HP Financial Management**オプションを選択して設定できます。

## 図 3-6. コストと工数ポリシー

**コストと工数**

**プロジェクト マネージャ**がこれらの設定をオーバーライドできるようにする 🔍 | 📄 | 🔄 | 🗑️

---

**リソース負荷の設定**

**作業負荷カテゴリ:** ▼

**スタッキング プロファイルは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す**  
 スタッキング プロファイルは、プロジェクトに対する計画作業負荷として使用することを目的としています。これにより、プロジェクト マネージャは、リソースが利用されているかどうかに関係なく、プロジェクトを各フェーズで計画およびスケジュールできます。  
 このオプションでは、スタッキング プロファイルは計画リソース負荷と実際のリソース負荷の両方を表します。計画された負荷は、常にスタッキング プロファイルに直接入力します。実際の負荷は、スタッキング プロファイル、作業計画、またはタイム シートに直接入力できます。

**スタッキング プロファイルに直接実績を入力する**  
 **スタッキング プロファイル内で実績を表示する場合は、作業計画および Time Managementからの実績情報を使用してください。**  
 このオプションを使用するには、実績工数を作業計画上でラッキングする必要があります。

**作業計画のタスク アサインは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す**  
 このオプションは、作業計画を完全に定義およびスケジュールしたときの短期プロジェクトでのみ使用することを推奨します。  
 作業計画を作業負荷として使用する場合は、スケジュールされた工数と実績工数を作業計画上でラッキングする必要があります。

---

**作業計画でのスケジュールされた工数**

**計画料金はスケジュールされた工数を使用**  
 計画コストを自動計算する場合、または作業計画がリソース作業負荷を表す場合は、作業計画でスケジュールされた工数のラッキングが必要です。

**スケジュールされた工数の自動計算**  
 **タスクのアサインごとにスケジュールされた工数を手動で入力する**

**作業計画での工数計算モードのオーバーライドを許可する**

---

**作業計画での実績工数**

**リソース アサインごとに実績工数をラッキングする**  
 実績コストを自動計算する場合、Time Managementを使用して作業計画に実績をラッキングする場合は、または作業計画がリソース作業負荷を表す場合は、作業計画で実績工数のラッキングが必要です。

**実績工数とともに達成率 (%) を入力するためのリソースが必要です**  
 このオプションを選択した場合、リソースは、アサインされたタスク (タイム シート上またはその他の場所) の実績工数を入力する際に、達成率 (%) による以外の値を指定する必要があります。このオプションを選択しない場合は、リソースは達成率 (%) を指定する必要はありません。プロジェクト マネージャが後で指定できます。

**リソース アサインごとに実績工数をラッキングする**  
 Time Managementを使用して、タスクまたはプロジェクト レベルで作業計画に対して実績をラッキングする場合は、実績も既存工数のラッキングはできません。実績を入力すると、このオプションの選択は解除できなくなります。

---

**Time Management**

**Time Managementを使用して、このプロジェクトに於いて実績をラッキングする**  
 プロジェクトに作業計画がある場合、結果でタイム シートを使用しており、リソースが 1 つの場所では自分の実績データを入力可能であれば、Time Managementと統合できます。

**トラッキング対象となる時間:**

- タスク レベル**
- 報告レベルのサマリ タスク** 📄  
 見直し/保存工数をラッキングしている場合は、利用できない。
- プロジェクト レベル**  
 見直し/保存工数をラッキングしている場合は、利用できない。

**以下に於いて、プロジェクト 上の時間のレポートを可能にする:**

- プロジェクト リソース**  
 タスクにアサインされたリソース、スタッキング プロファイル上のリソース、およびサマリ タスクのオーナーです。
- アサインされたリソース**  
 リソースは、リソースがアサインされたタスクに於いて、または (サマリ タスクまたはプロジェクト レベルで時間をラッキングする場合) プロジェクト レベルでリソースの上 (直下にあるサマリ タスク) に於いて、時間をログできます。
- すべてのリソース**  
 プロジェクトも参照できるすべてのリソースは、プロジェクトに於いて時間をログできます。

**タスクが完了した後、時間ログをできるようにする:**

- 1 日以上**
- 期間以上 (タスクが完了して、1 期間の場合、To) を入力する)**
- 即時**
- 許可しない**。リソースは、リソースのタイム シートに完了したタスクを追加することはできません。

**このプロジェクトに対してログされた時間は、次のグループのプロジェクト代表者に承認が必要:**

- 参加グループ** プロジェクト マネージャ
- セキュリティグループ** 👤

---

**Financial Management**

**このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します。**

**作業計画の Financial Management を有効にする**

**作業計画上の計画人件費は以下ようになります:**

- スケジュールされた工数とレートに基づいて自動計算される**
- タスクに手動で入力され、サマリ タスクにロール アップされる**

**作業計画上の実際の人件費は以下ようになります:**

- 実績工数とレートに基づいて自動計算される**
- タスクに手動で入力され、サマリ タスクにロール アップされる**

**財務サマリのコスト**

- スタッキング プロファイルから予測人件費を計算します。**
- 作業計画とタイム シートから、実際の人件費を計算します (作業計画用に Financial Management を有効にする必要があります)。**
- 作業計画から、実際の計入人件費を計算します (作業計画用に Financial Management を有効にする必要があります)。**

## リソース負荷の設定

HP Resource Management ではリソースの負荷と可用性が自動的に監視されており、プロジェクトタイプの作用負荷のトラッキング方法は、リソース負荷の設定で決まります。

HP Resource Management では、プロジェクトにスタッフィングプロファイルを添付し、リソースのデマンドと使用状況をトラッキングできます。選択できるオプションを次に示します。

- **「スタッフィングプロファイルは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す」:** スタッフィングプロファイルに手作業で実績を入力するか、作業計画またはHP Time Management からロールアップするかを選択できます。ロールアップを行うためには、「**作業計画での実績工数**」の説明に従って、実績工数のトラッキングをこのポリシーで有効にしておく必要があります。スタッフィングプロファイルの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。
- **「作業計画のタスクアサインは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す」:** このオプションを選択するためには、次の説明に従って、スケジュールされた工数と実際の工数のトラッキングを作用計画で有効にしておく必要があります。

### 作業計画でのスケジュールされた工数

作業計画内の各タスクの遂行に必要なスケジュールされた工数のトラッキングを行うかどうかを指定できます。この指定は、プロジェクトがタスクの計画コストを自動的に計算するように設定 ([Financial Management] の下の**コストと工数**ポリシーで設定) している場合や、作業計画のタスクアサインがリソースの負荷を表すように設定 ([リソース負荷の設定] の下の**コストと工数**ポリシーで設定) している場合には必須です。

**「計画中はスケジュールされた工数を使用」**を選択すると、工数計算をシステムで自動的に行うか、手作業で行うかを選択できます。また、作業計画のタスク単位で計算方法を変えることもできます。

## 作業計画での実績工数

プロジェクトの実施中にリソースアサインごとに実績工数のトラッキングを行うかどうかを指定できます。この指定は、実績コストを自動で計算する場合、HP Time Managementを使って作業計画の実績をトラッキングする場合、または作業計画のタスクアサインでリソースの作業負荷を表す場合には必須です。

[リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする]を選択すると、実績工数が指定された (HP Time Management 使用時のタイムシートなど) 場合に [実績工数とともに達成率 (%) を入力するためのリソースが必要です] とするかどうかも選択できます。リソースによる [達成率 (%)] への入力が必要ない場合は、プロジェクトマネージャが達成率を後で指定できます。

[リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする]を選択すると、[リソースアサインごとに見積もり残存工数をトラッキングする]も選択できます。タスクレベル以外で時間のトラッキングを行っている場合、この設定はHP Time Managementとは共用できません。また、実績取得後の変更も行えません。

## Time Management

このポリシーに対してHP Time Managementを有効にした場合は、表 3-4に示すオプションの設定が必要です。

表 3-4. コストと工数ポリシー : Time Managementの設定 (1/2 ページ)

フィールド名	説明
Time Managementを使用して、このプロジェクトに対して実績をトラッキングする	HP Time Managementのタイムシートを使った実績のトラッキングが行えます。
トラッキング対象となる時間	タスク、サマリタスク、またはプロジェクトレベルで時間のトラッキングを行うかどうかを指定します。 トラッキングするサマリタスクの階層レベルを指定できます。 実績のトラッキングにHP Time Managementを使用していて、見積もり工数も取得している場合は、時間のトラッキングはタスクレベルでしか行えません。

表 3-4. コストと工数ポリシー : Time Managementの設定 (2/2 ページ)

フィールド名	説明
以下に対して、プロジェクト上の時間のレポートを可能にする	<p>時間のトラッキングを [プロジェクトリソース] で行うのか、[すべてのリソース] で行うのか、または [アサインされたリソース] のみで行うのかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>プロジェクトリソース</b>: 作業計画のタスクにアサインされたリソース、またはスタッフィングプロファイルで表示されているリソースが、タスクの時間をログできます。</li> <li>● <b>アサインされたリソース</b>: タスクにアサインされたリソースのみタスクの時間をログできます。</li> <li>● <b>すべてのリソース</b>: プロジェクトを閲覧可能なすべてのリソース (利害関係者も含む) が、すべてのタスクの時間をログできます。</li> </ul>
タスクが完了した後、時間をログできるようにする	タスクの完了後に時間のログを可能にするかどうかを指定します。可能にする場合は、その期間も指定します。
このプロジェクトに対してログされた時間は、次のグループのプロジェクト代表者による承認が必要	プロジェクトに対してログされた時間を認証するユーザを、参加グループまたは特定のセキュリティグループで指定します。

## Financial Management

HP Financial Management では、選択した基準 (有効にしたフィールドなど) に従って、特定のコストを自動で計算させることができます。

- 作業計画の計画コストを自動で計算させるには、「[作業計画でのスケジュールされた工数](#)」(51 ページ) で説明した [スケジュールされた工数] フィールドを最初に有効にしておく必要があります。
- 作業計画の実績コストを自動で計算させるには、「[作業計画での実績工数](#)」(52 ページ) で説明した [実績工数] フィールドを最初に有効にしておく必要があります。
- 計画人件費をスタッフィングプロファイルから自動で計算させるには、スタッフィングプロファイルが必要です。

このポリシーに対してHP Financial Managementを有効にした場合は、表 3-5に示すオプションの設定が必要です。

表 3-5. コストと工数ポリシー : Financial Managementの設定

フィールド名	説明
このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します。	<p>コストの資産計上トラッキングをプロジェクトで行い、各タスクにアサインされたアクティビティに従って、すべてのコストを資本金または事業費として特定するかどうかを指定します。</p> <p>この設定を変更すると、プロジェクトの関連する財務サマリに対する資産計上トラッキングに影響を与えます。</p> <p>資産計上情報のトラッキングは、PPM Serverで資産計上トラッキングが有効な場合にのみ行えます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。</p>
作業計画の Financial Management を有効にする	HP Financial Management を使って作業計画コストのトラッキングが行えます。
作業計画上の計画人件費は以下のようになります	スケジュールされた工数とレートを基に計画コストを自動で計算させるか、手作業で入力するかを指定します。
作業計画上の実際の人件費は以下のようになります	実績工数とレートを基に実際の人件費を自動で計算させるか、手作業で入力するかを指定します。
財務サマリのコスト	プロジェクトに関連する財務サマリにコストの値をロールアップするかどうかを指定します。ロールアップの対象として、予測人件費、人件費と非人件費、実際の人件費のみ (非人件費は手入力)、およびコストデータなし (実績コストは手入力) のいずれかを選択できます。非人件費をロールアップする場合は、人件費もロールアップする必要があります。

これらのフィールドの詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## コストとアーンドバリューヘルス

**コストとアーンドバリューヘルス**ポリシーでは、プロジェクトに対してコストヘルスのトラッキングを行うかどうか、およびトラッキングを行う場合はヘルスの判定に使用するメトリクスが決まります。このポリシーは、コスト面から見たプロジェクトのヘルスを示すのに使用されます。プロジェクトのコストヘルスは、次のエリアについて計算されます。

- **条件はCPI<:** CPI (コストパフォーマンス指数) とは、実績コストに対するプロジェクトのアーンドバリュー (ベースラインコスト×達成率 (%)) のコスト効率のことで、アーンドバリュー/実績コストという計算式で求められます。プロジェクトが良好な場合、CPIは1に近い数字で表されます。
- **条件はSPI<:** SPI (スケジュール業績指数) は、タスクまたはプロジェクトの完了予定と実際の完了の違いを数値で表したもので、アーンドバリュー/計画コストという計算式で求められます。プロジェクトが良好な場合、SPIは1に近い数字で表されます。
- **過去数か月で、実績コストのレコードの計画に対する超過が次の値を超えた場合:** これは、プロジェクトコストをレコードの計画と比較したもので、((実績コスト-レコードの計画)/レコードの計画)×100という計算式で求められる割合で表されます。実績コストとレコードの計画は、ともに計画開始期間から前月の最終日までの期間から算出されます。たとえば、計画開始期間が2009年4月で今日の日付が2009年6月15日の場合、2009年の4月から5月までの実績コストとレコードの計画を基に計算が行われます。

レコードの計画がない場合、この計算はプロジェクトのコストヘルスにまったく使用されません。

これらの要素は、作業計画のコストヘルスの計算時にいずれも有効/無効にできますが、2つ以上の要素を有効にした場合、インジケータには最悪の状況の要素が表示されます。3つの要素のうち1つが赤色になると、コストヘルスが赤色で表示されます。

図 3-7. コストとアーンドバリューヘルスポリシー

条件	赤	黄
<input checked="" type="checkbox"/> 条件は CPI <	0.8	0.95
<input checked="" type="checkbox"/> 条件は SPI <	0.8	0.95
<input checked="" type="checkbox"/> 過去数ヶ月で、実績コストのレコードの計画に対する超過が次の値を超えた場合	20	5

表 3-6に、関連する個々のコストヘルス要素の表示色が変化するデフォルトのしきい値を示します。

表 3-6. コストヘルスインジケータの表示色が変わるデフォルトのしきい値

変更後の表示色	CPIが次の値より小さい場合	SPIが次の値より小さい場合	レコードの計画からの超過が次の値を超えた場合
黄色	.95	.95	5
赤色	.8	.8	20

## Microsoft Project 統合

HP Project Management と Microsoft Project の統合により、次のようなタスクの実行が可能になります。

- HP Project Management で Microsoft Project ファイルを開く
- HP Project Management の作業計画を Microsoft Project に送る
- HP Project Management で実績を収集しながら、Microsoft Project を使って作業計画のメンテナンスを行う
- HP Project Management のユーザデータと Microsoft Project のカスタムデータをマッピングする

Microsoft Project 統合ポリシーでは、2つのアプリケーションを統合するレベルが決まります。これらの設定の詳細については、「[統合のためのプロジェクトレベルの設定](#)」(267 ページ)を参照してください。



## 図 3-8. Microsoft Project 統合ポリシー

**Microsoft Project 統合**

**プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする**  はい  いいえ

Microsoft Project の統合の範囲は以下のとおりです。このプロジェクト タイプを使用しているプロジェクトは、これらのデフォルト設定を継承します。

**統合モード**

**プロジェクト作業用の統合モード**

- PPM はすべての共有作業計画権限を制御する
- Microsoft Project はすべての共有作業計画権限を制御する
- エキスパートは制御する

作業計画権限は、Microsoft Project によって制御される  
 実績トラッキング権限は、PPM によって制御される

**Microsoft Project への PPM 情報の転送**

PPM がすべての共有作業計画権限をコントロールしている、または実績をトラッキングしている統合では、リソースは自動的に Microsoft Project で同期されます。

PPM ユーザー名

PPM 氏名、姓、スペース、姓

PPM 氏名、姓、スペース、名

PPM を使用して実績をトラッキングしている場合は、トラッキングした情報を Microsoft Project に転送できます。

**転送実績情報**

- 達成率 (%)
- 達成率 (%) と開始の日付
- 興味なし

**PPM システム 情報のための Microsoft Project の接続場所**

統合中は、PPM システム 権限をトラッキングするために、Microsoft Project のカスタム フォーム内の権限を保存する必要があります。Microsoft Project の現在のアクセス エクステンションの値は、PPM 内の接続場所を使用することも可能です。また、作業計画を統合した項目の設定を変更しないようにすることも保たれます。

**PPM タスク情報は、1 つの Microsoft Project タスク カスタム フィールドが必要です**

NumberID

**PPM リソース情報は、1 つの Microsoft Project リソース カスタム フィールドが必要です**

NumberID

**PPM アサイン情報は、1 つの Microsoft Project アサイン カスタム フィールドが必要です**

NumberID

コントロールを共有し、変更された実績を PPM から取得する統合中は、PPM は追加の Microsoft Project カスタム フィールドを使用します。

**2 つの日付フィールドに、開始日と終了日のスナップショットが保存されます**

StartOfWeekID

**フラグ フィールド 1 は、変更された実績を持つタスクを示します**

FlagID

**変更された実績を持つタスクの色を強調表示します**

Color

**フラグ フィールド 2 は、変更された実績によって影響を及ぼす日付を持つタスクを示します**

FlagID

**変更された実績によって影響を及ぼす日付を持つタスクの色を強調表示します**

Color

**Microsoft Project フィールド マッピング**

必要に応じて、以下の Microsoft Project タスク カスタム フィールドにマッピングするよう PPM ユーザー データ フィールドを設定できます。

**現在マッピングしている XML ファイル:**

**新設フィールドをアップロードします:**

フィールド タイプ	PPM ユーザー データ フィールド	PPM フィールド ラベル	Microsoft Project カスタム データ フィールド

**Microsoft Project メモの同期**

メモの同期を有効にする

非同期モードで、同期方向は指定できます。

**メモの同期方向**

- PPM から Microsoft Project
- Microsoft Project から PPM

**Microsoft Project フィールド マッピング**

アクティビティの同期を有効にする


**次の Microsoft Project カスタム フィールドにマップされる PPM アクティビティ情報:**

Title

## スタッフィングプロファイルアサイン

HP Resource Management では、プロジェクトにスタッフィングプロファイルを添付し、リソースのデマンドと使用状況をトラッキングできます。**スタッフィングプロファイルアサイン**ポリシーでは、スタッフィングプロファイルに関するすべてのリソースリクエストを送るデフォルトのリソースプールを指定できます。スタッフィングプロファイルの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

図 3-9. スタッフィングプロファイルアサインポリシー

スタッフィング プロファイル アサイン	
プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
プロジェクトのスタッフィング プロファイル内の各ポジションは、リソース アサインのリクエスト元のリソース プールを特定します。新規ポジションの作成時にスタッフィング プロファイルで使用するリソース プールをデフォルト設定できます。	
デフォルトで、スタッフィング プロファイルのルート リソース リクエストは、リソース プールに位置づけます:	<input type="text"/> 

## プロジェクトヘルス

[プロジェクトの概要] ページのプロジェクト名の横に表示されるプロジェクトサマリのヘルスインジケータは、プロジェクト全体に対するヘルスインジケータです。スケジューリング、コストヘルス、アーンドバリューヘルス、問題ヘルスに対するヘルスインジケータなどの重み付けを平均化したものです。

図 3-10. プロジェクトヘルスインジケータ

スケジュール	問題	コスト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**プロジェクトヘルス**ポリシーでは、これらのインジケータの相対的な重みが決まります。デフォルトでは、個々のインジケータが等しくカウントされます。サマリ状況の計算時の重みを変更するには、目的のインジケータの横にあるフィールドに重みの値を入力します。

また、**プロジェクトヘルス**ポリシーでは、プロジェクトの計算されたヘルスのオーバーライドをプロジェクトマネージャに許可するかどうか決まります。

図 3-11. プロジェクトヘルスポリシー

プロジェクト ヘルス

プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする  はい  いいえ

---

ヘルスの重み

プロジェクトのヘルス全般は、スケジュール、コスト、および問題のヘルスの重み付けられた平均です。以下のように、重み付けられた平均の計算で使用される重みを指定できます。

スケジュールの重み:

コストの重み:

問題の重み:

---

ヘルスのオーバーライド

プロジェクト参加者は、一定の期間ヘルスをオーバーライドできます。ヘルスをオーバーライドすると、上記の計算されたヘルスが抑止され、手動で指定した条件色が優先されます。

プロジェクト参加者は、プロジェクトの計算されたヘルスをオーバーライドできる

スケジュール、問題、およびコストヘルスの詳細については、「スケジュールヘルス」(47 ページ)、「問題ヘルス」(60 ページ)、および「コストとアーンドバリューヘルス」(55 ページ)を参照してください。

## 問題ヘルス

プロジェクトの進行中は、プロジェクト問題リクエストを使った送信と解決が必要な問題が発生する恐れがあります。プロジェクトに対して問題を送信する観点から見たプロジェクトのリアルタイムステータスは、スケジューリングおよびコストとアーンドバリューヘルスのインジケータと似たような色付きアイコンの問題ヘルスインジケータで表されます。

図 3-12. プロジェクトヘルスインジケータ

スケジュール	問題	コスト
□	□	□

**問題ヘルス**ポリシーでは、プロジェクトに対して問題ヘルスのトラッキングを行うかどうか、また、問題ヘルスインジケータの計算で使用する次の要素が決まります。

- 個々の問題優先度の重み

このポリシーに表示される問題優先度は、拡張可能な [優先度] フィールドによって決まります。

- 問題ヘルスインジケータ色の変更に必要な全体の重み

重みやインジケータ色の変更値は、相対的な割合ではなく全くの数値合計のため、多数の問題生成が予想されるプロジェクトタイプには、そのプロジェクトタイプに応じた適切な計画を行ってください。

図 3-13. 問題ヘルスポリシー

問題ヘルス	
プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
<input checked="" type="checkbox"/> このプロジェクトの問題ヘルスをトラッキングします	
プロジェクトの問題ヘルスは、プロジェクトの問題すべての重みを加算することで決定されます。以下のように、問題の重みを優先度を基に指定できます。	
優先度	重み
Low	<input type="text" value="0"/>
Normal	<input type="text" value="1"/>
High	<input type="text" value="3"/>
Critical	<input type="text" value="5"/>
ヘルス	
プロジェクトの問題ヘルスが <span style="color: yellow;">■</span> となるのは、オープンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合:	<input type="text" value="20"/>
プロジェクトの問題ヘルスが <span style="color: red;">■</span> となるのは、オープンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合:	<input type="text" value="40"/>

異なる優先度がアサインされた問題には、異なる重みをアサインできます。また、黄色や赤色のインジケータが表すヘルスステータスレベルのしきい値もアサイン可能です。

たとえば、プロジェクトの問題優先度に対して、次のように重みをアサインしたとします。

- 重大: 8
- 高: 5
- 通常: 3
- 低: 1

プロジェクトには、次の問題があるとします。

- 優先度が「高」の問題が3個
- 優先度が「通常」の問題が2個

これらのプロジェクト問題に対して算出される全体のヘルス値は、 $(3 \times 5 + 2 \times 3)$ つまり21になります。

黄色のヘルスインジケータのしきい値が20で、赤色のヘルスインジケータのしきい値が40の場合、プロジェクトの問題ヘルスインジケータは黄色になります。

デフォルトのインジケータしきい値は次のとおりです。

- 赤色: 40
- 黄色: 20
- 緑色: 20未満の全数値

プロジェクトの問題優先度のアサインされているデフォルトの重みは次のとおりです。

- 重大: 5
- 高: 3
- 通常: 1
- 低: 0

## タスクの監査

HP Project Management では、常に記録されているタスクステータスの履歴に加え、タスクフィールドに加えられた変更の監査履歴を保持できます。**タスク監査**ポリシーでは、どのフィールドを記録するかが決まります。トランザクション履歴を保持するには、プロジェクトフィールドポリシーで履歴を保持するフィールドを有効にしておいてください。

図 3-14. タスク監査ポリシー

タスクの監査	
プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
監査可能なタスク欄は以下のとおりです。タスク ステータスの変更は、常に監査欄に含まれます。	
フィールド	トランザクション履歴のトラッキング
達成率 (%)	<input type="checkbox"/>
アクティビティ	<input checked="" type="checkbox"/>
サービス	<input type="checkbox"/>
実際の期間	<input type="checkbox"/>
実績工数	<input type="checkbox"/>
実際の終了日	<input type="checkbox"/>
実際の開始日	<input type="checkbox"/>
説明	<input type="checkbox"/>
予想終了日	<input type="checkbox"/>
見積もり残存工数	<input type="checkbox"/>
主要なマイルストーン	<input type="checkbox"/>
先行タスク	<input type="checkbox"/>
優先度	<input type="checkbox"/>
プロジェクト マネージャリソース	<input type="checkbox"/>
ロール	<input checked="" type="checkbox"/>
スケジュールされた期間	<input type="checkbox"/>
スケジュールされた工数	<input checked="" type="checkbox"/>
スケジュールされた終了日	<input type="checkbox"/>
スケジュールされた開始日	<input type="checkbox"/>

## プロジェクトの概要のレイアウト

プロジェクトの概要のレイアウトポリシーでは、プロジェクトのポートレットの印刷および表示使用する設定が決まります。

表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定 (1/3 ページ)

フィールド	説明
プロジェクトマネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする	有効の場合、プロジェクトマネージャは、表示および印刷設定とプロジェクトのレイアウトを変更できます。 無効の場合、表示および印刷設定とプロジェクトのレイアウトは変更できません。ポリシーがプロジェクトタイプから継承されており、フィールドの変更はプロジェクトマネージャに許可されていません。
表示するデフォルトタブ	[プロジェクトの概要] ページに表示されるデフォルトのタブエリア。 [プロジェクトの例外] が選択されていて、プロジェクトに例外がない場合は、[プロジェクトサマリ] タブエリアが代わりに表示されます。
印刷設定	
作業計画	デフォルト値は「15」。作業計画ポートレット内の印刷するタスクの数を指定します。
マイルストーン	デフォルト値は「15」。マイルストーンサマリポートレット内の印刷するタスクの数を指定します。
問題	デフォルト値は「15」。問題ポートレット内の印刷するタスクの数を指定します。
クローズされた問題の表示	問題ポートレットの印刷時にクローズされた問題を含める場合に選択します。
リスク	デフォルト値は「15」。リスクポートレット内の印刷するリスクの数を指定します。
クローズされたリスクの表示	リスクポートレットの印刷時にクローズされたリスクを含める場合に選択します。

表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定 (2/3 ページ)

フィールド	説明
スコープ変更	デフォルト値は「15」。スコープ変更ポートレット内の印刷するスコープ変更の数を指定します。
クローズされたスコープ変更の表示	スコープ変更ポートレットの印刷時にクローズされたスコープ変更を含める場合に選択します。
プロジェクトスタッフィング	デフォルト値は「15」。スタッフィングポートレット内の印刷する行数を指定します。
プロジェクトの関連	デフォルトは [日付サマリ]。プロジェクトの関連ポートレットの印刷時に含める情報のタイプを選択します。
参加者	デフォルトは [プロジェクトマネージャ]、[利害関係者]、[サマリタスクのオーナー]。プロジェクト参加者ポートレットの印刷時に含める参加者情報を選択します。
<b>表示設定</b>	
作業計画	デフォルト値は「5」。作業計画ポートレット内の表示するタスクの数を指定します。
マイルストーン	デフォルト値は「5」。マイルストーンサマリポートレット内の表示するタスクの数を指定します。
プロジェクトスタッフィング	デフォルト値は「5」。スタッフィングポートレット内の表示する行数を指定します。
時間の承認	デフォルト値は「5」。時間の承認ポートレット内の表示するタイムシートの行数を指定します。
問題	デフォルト値は「5」。問題ポートレット内の表示するタスクの数を指定します。
リスク	デフォルト値は「5」。リスクポートレット内の表示するリスクの数を指定します。
スコープ変更	デフォルト値は「5」。スコープ変更ポートレット内の表示するスコープ変更の数を指定します。



表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定 (3/3 ページ)

フィールド	説明
レイアウト	
ポートレットの追加	表示するポートレットを選択します。プロジェクトの概要ポートレットのみ選択可能です。
表示エリア	<p>表示、印刷するポートレットの再編集、リサイズ、および/または削除を行います。</p> <p>グレー表示のポートレットのみ印刷可能です。白表示のポートレットは、表示と印刷が行えます。</p> <p>印刷時に表示されるポートレットは、[プロジェクトの概要] ページのPDFへのエクスポート] ダイアログで印刷するデフォルトとして選択されているポートレットです。このダイアログからは、印刷するポートレットの編集も行えます。</p>

図 3-15. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー

プロジェクトの概要のレイアウト

プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする [?](#) [はい](#) [いいえ](#) [キャンセル](#)

プロジェクトの概要を表示および印刷する前に使用するポートレット設定を指定してください。

表示するデフォルト タブ: [プロジェクト サマリ](#)

印刷設定

作業計画	<input type="checkbox"/> 15	プロジェクトの関連	<input type="checkbox"/>
マイルストーン	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 日付サマリ	<input type="checkbox"/>
問題	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> スタッフィング プロファイルのベースライン	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> クローズされた問題の表示		<input type="checkbox"/> 作業計画のベースライン	<input type="checkbox"/>
リスク	<input type="checkbox"/> 15	参加者	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> クローズされたリスクの表示		<input type="checkbox"/> プロジェクト マネージャ	<input type="checkbox"/>
スコープ変更	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 利害関係者	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> クローズされたスコープ変更の表示		<input type="checkbox"/> リソース	<input type="checkbox"/>
プロジェクト スタッフィング	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> サマリ タスクのオーナー	<input type="checkbox"/>

表示設定

作業計画	<input type="checkbox"/> 5	問題	<input type="checkbox"/> 5
マイルストーン	<input type="checkbox"/> 5	リスク	<input type="checkbox"/> 5
プロジェクト スタッフィング	<input type="checkbox"/> 5	スコープ変更	<input type="checkbox"/> 5
時間の承認	<input type="checkbox"/> 5		

レイアウト

グレー表示のポートレットは、印刷時にのみ表示されます。

ポートレットの追加

プロジェクト サマリとヘルス	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクトの創始	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
作業計画	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
マイルストーン サマリ	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
問題	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
リスク	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
スコープ変更	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
スタッフィング	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プログラムの関連	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクト コスト	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
EV サマリ	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
時間の承認	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクトの詳細	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクトの関連	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクトの参加者	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>
プロジェクト 参照	<a href="#">印刷</a>	<a href="#">消す</a>

## プロジェクトセキュリティ

**プロジェクトセキュリティ**ポリシーでは、サマリタスクの編集をサマリタスクのオーナーに許可するかどうか、およびプロジェクトとコストデータを閲覧できるユーザが決まります。

デフォルトでは、サマリタスクのオーナーは作業計画を編集できず、作業計画のツールバーの特定のボタンが利用不可になっています。[サマリタスクのオーナーは自分が所有するタスクを管理できますか?]で[はい]を選択すると、サマリタスク内のサブタスクの編集、追加、削除をサマリタスクのオーナーが行えるようになります。サマリタスクのオーナーは、作業計画のツールボタンも使用できます。

プロジェクト自体を表示するには、次のいずれかを選択します。

- **すべてのユーザ**
- **参加者のみ (プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナー、タスクにアサインされたリソース、スタッフィングプロファイルに割り当てられたリソース、利害関係者、およびプロセス参加者)**

プロジェクトのコストデータ (財務サマリ、コスト情報) を表示するには、次のいずれかを選択します。

- **プロジェクトおよびプロジェクトのタスクを表示可能なすべてのユーザ**
- **プロジェクトマネージャと利害関係者**
- **プロジェクトマネージャ、利害関係者、サマリタスクのオーナー、およびプロセス参加者**

図 3-16. プロジェクトセキュリティポリシー

プロジェクト セキュリティ

プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする  はい  いいえ

このプロジェクト タイプを使用するプロジェクトは、以下に説明するようユーザに表示されます。

サマリ タスクのオーナーは自分が所有するタスクを管理できますか?  はい  いいえ

このプロジェクトとこのプロジェクトのタスクを表示可能なユーザ:

すべてのユーザ

参加者のみ (プロジェクト マネージャ、サマリ タスクのオーナー、タスクにアサインされたリソース、スタッフィング プロファイルに割り当てられたリソース、利害関係者、およびプロセス参加者)

財務サマリと作業計画コストを表示できる人員:

プロジェクトおよびプロジェクトのタスクを表示可能なすべてのユーザ

プロジェクト マネージャと利害関係者

プロジェクト マネージャ、利害関係者、サマリ タスクのオーナー、およびプロセス参加者

プロセス参加者とは、プロジェクトプロセスを管理するワークフローのステップに関連付けられているセキュリティグループに含まれるユーザのことです。ワークフロー自体と同様、これらのセキュリティグループはビジネスニーズに合わせて設定できます。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## HP Service Manager

このポリシーでは、PPM Centerのプロジェクトマネージャが、Service Managerで、プロジェクト内の対応するタスクからの変更リクエスト (RFC) を作成できるように設定できます。詳細については、『HP Solution Integrations Guide』を参照してください。

図 3-17. HP Service Manager ポリシー

HP Service Manager
HP Service Manager 統合には、HP PPMc サーバ上でのセットアップが必要です。Microsoft Project 統合ポリシーの [Microsoft Project] タブすべての共有作業計画情報を制御する [オプション] を使用している場合、運用の変更リクエスト (RFC) を作成する機能は利用できません。
プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
<input checked="" type="checkbox"/> RFC 作成機能の有効化

## 4 プロジェクトの作成

### プロジェクトの作成の概要

この章では、プロジェクトの作成プロセスについて説明します。プロジェクトでは、次のようなツールを使ってビジネスイニシアチブを定義できます。

- 設定可能なプロジェクト参加者リスト
- プロジェクトで使用するリソースの定義とトラッキングを行うスタッフリングプロファイル
- プロジェクトにつき込む金額を比較する基準を定義、提供する財務サマリ
- アクティビティや成果物の論理的なグループ化と組織化を行う階層構造を提供する作業計画

ユーザは、プロジェクトを使って、複雑なビジネスイニシアチブの主要素の定義、閲覧、編集、管理が行えます。

プロジェクトマネージャがプロジェクトを作成する際の一般的なプロセスを次に示します。

1. PPM Center にログオンします。
2. プロジェクトを作成します。

プロジェクトの作成時には、プロジェクトタイプを必ず選択します。詳細については、「プロジェクトの作成」(71 ページ)を参照してください。

HP Portfolio Management を使用している場合は、既存の提案に基づいてプロジェクトの自動作成が行われる場合があります。

3. プロジェクトを作成したら、[プロジェクトの概要] ページから数々のアクティビティを行えます。

詳細については、「[\[プロジェクトの概要\] ページの使い方](#)」(72 ページ)を参照してください。

4. プロジェクト設定を調整します。

プロジェクト設定によっては、プロジェクトタイプで決められているプロジェクトポリシーによってロックされているものがあります。詳細については、「[プロジェクト設定の調整](#)」(74 ページ)を参照してください。

5. プロジェクトの参加者を設定します。

プロジェクトのマネージャと利害関係者のリストに追加できます。プロジェクトのリソースとサマリタスクのオーナーは、プロジェクトに添付されている作業計画とスタッフィングプロファイルによって決まります。詳細については、「[プロジェクト参加者の定義](#)」(74 ページ)を参照してください。

6. プロジェクトにスタッフィングプロファイルを作成します。

スタッフィングプロファイルは、プロジェクトと併用してリソース需要のトラッキングと管理に使用できる HP Resource Management のツールです。詳細については、「[スタッフィングプロファイルの作成](#)」(76 ページ)を参照してください。

7. プロジェクトに作業計画を作成します。

作業計画とは、次のようなタスク詳細を指定するプロジェクトのタスク階層構造のことです。

- タスクの開始日と終了日
- 先行タスク (存在する場合)
- アサインされたリソース

詳細については、「[作業計画の作成](#)」(77 ページ)を参照してください。

8. 初期計画設定が完了したら、プロジェクトと作業計画のステータスをアクティブに設定してプロジェクトを開始します。

## プロジェクトの作成

プロジェクトを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーから、**[作成]** > **[プロジェクト]** を選択します。
3. **[新規プロジェクト作成]** ページが開きます。
4. **[プロジェクトタイプ]** など、必須フィールドとオプションフィールドを指定します。

プロジェクトタイプには、プロジェクト設定を決めるプロジェクトポリシーが含まれています。これらのポリシーの中にはオーバーライド不可に設定されているものもあり、その場合は対応する設定がロックされています(プロジェクトポリシーの詳細については、[第3章「プロジェクトタイプの設定」\(33 ページ\)](#)を参照)。プロジェクトを作成する前に、目的のプロジェクトタイプを使用していることを確認してください。アクセスが許可されているプロジェクトタイプのみから選択可能です。

5. **[作成]** をクリックします。

プロジェクトが作成され、**[プロジェクトの概要]** ページが開きます。

## [プロジェクトの概要] ページの使い方

[プロジェクトの概要] ページには、特定のプロジェクトに関する以下のような幅広い情報が表示されます。

- ステータス
- プロジェクトマネージャ
- プロジェクトがトリガした可能性のある例外
- プロジェクトが原因となった可能性のある問題
- マイルストーン

[プロジェクトの概要] ページには、これらのデータやその他の関連データが、セクション別に表示されます。

初めてプロジェクトを作成する場合、[プロジェクトの概要] ページは、次のようなプロジェクトアイテムの作成と設定を一元的に行える便利な場所として利用できます。

- プロジェクトの設定
- プロジェクトの参加者
- プロジェクトの詳細
- スタッフィングプロファイル
- 財務サマリ
- 作業計画



図 4-1. [プロジェクトの概要] ページ: [サマリ] タブ

プロジェクトの概要 [PDFにエクスポート](#)

プロジェクト: PPM  詳細

[プロジェクトの概要](#) [参加者の設定](#) [プロジェクトの構成](#)

プロジェクト ステータス: プロジェクト マネージャのアサイン  
 プロジェクト マネージャ: Admin User  
 プロジェクトの計画期間: December 2010 ~ January 2012

フェーズ: プロジェクト  
 プロジェクト地域: Enterprise

ステータス: Dec 10, 2010  
 詳細

スケジュール	<input type="checkbox"/>	コスト
--------	--------------------------	-----

[作業計画](#) [プロジェクトのサマリ](#) [プロジェクトの詳細](#) [依頼](#)

**作業計画**

名前: November 29, 2010

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat

Test Entry for LQA1130

[作業計画の編集](#) [テストアサインの表示](#)

**マイルストーン リマソ**

マイルストーン

マイルストーン	スケジュールされた終了日	実際の終了日	オーナー
Test Entry for LQA1130	Nov 30, 2010		

**問題**

リクエスト番号の説明	優先度	ステータス	アサイン先
30199.test entry for LQA	High	新規	Joseph Banks
30162.test entry for capture of Resulttextof icon	Normal	新規	casyer casyer
30163.test entry for capture of Resulttextof icon	Low	新規	Admin User

[完全なリストの表示](#)

**リスク**

リクエスト番号の説明	ステータス	可能性	インパクト レベル	アサイン先
30200.test entry for LQA	新規	High [20-100%]	Level 2	Carolyn Sayer
30160.test entry for capture of Resulttextof icon	閉く	High [20-100%]	Level 3	Admin User
30159.test data for contact capture of Schmidt, Fredrick	閉く	Medium [11-25%]	Level 2	Admin User
20181.test entry for capture of Resulttextof icon	新規	Medium [11-25%]	Level 3	casyer casyer

[完全なリストの表示](#)

**スタッフィング**

スタッフィング プロファイル	ステータス
PPM	計画中

[テストアサイン](#)

**プログラムの関連**

プログラム名	プログラム マネージャ
PPM LQA2	Admin User

**プロジェクト コスト**

財務サマリ (表示金額は、プロジェクトの計画期間 December 2010 ~ January 2012 の金額)

会計予算:	JPY0.00		
今月末までの予算:	JPY0.00	実績値合計:	JPY0.00

[コストの詳細](#) [財務サマリを表示](#)

## プロジェクト設定の調整

個々のプロジェクトには、プロジェクトの目的に合わせてプロジェクトマネージャが設定できる数々の設定項目があります。これらの設定は、選択されたプロジェクトタイプで決まるプロジェクトポリシーから継承されます。

個々のプロジェクトポリシーの詳細については、「[プロジェクトポリシーの設定](#)」(36 ページ)を参照してください。

プロジェクト設定を確認または編集するには、[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクト設定**] をクリックします。



プロジェクトポリシーは、対応する設定を効率的にロックし、ユーザによる編集を防止するオーバーライド不可に設定できます。

## プロジェクト参加者の定義

一般的に HP Project Management では、次のグループに従って、プロジェクトの参加者が定義されています。

- **プロジェクトマネージャ**: プロジェクトマネージャは、プロジェクトの計画と管理のほか、プロジェクト実施、問題解決、予算に関する懸案事項などに関わります。
- **利害関係者**: 利害関係者とは、プロジェクトで作業は行いませんが、プロジェクトのステータスに関心を持ち、プロジェクトの進捗状況を確認する必要のあるユーザのことです。
- **リソース**: リソースとは、プロジェクトチームの一員としてタスクを行いますが、プロジェクトマネージャの管理責任を持たないユーザのことです。リソースは、HP Project Management でタスクの確認と更新を行います。
- **サマリタスクのオーナー**: サマリタスクのオーナーは、作業計画の該当セクションを監視するようにサマリタスクで指定されているユーザです。

プロジェクトのリソースリストは、次のソースによって自動的に定義されます。

- 作業計画でタスクにアサインされているリソース
  - プロジェクトのスタッフィングプロファイルで指定されているリソース
- プロジェクトマネージャは、プロジェクトに対してプロジェクトマネージャや利害関係者を追加できます。

図 4-2. [プロジェクトの参加者の設定] ページ

プロジェクトの参加者の設定 - PPM 保存 完了 キャンセル

このプロジェクトへのリレーションシップを持つすべてのグループは以下のとおりです。 リソースは、作業計画でタスクにアサインすることでプロジェクトに追加されます。

プロジェクト マネージャ		リソース	
名前	タイプ	Arnie Getz	
<input checked="" type="checkbox"/> Admin User	ユーザ		

**プロジェクト マネージャの追加**

利害関係者		サマリ タスクのオーナー	
名前	タイプ	Admin User	
<input checked="" type="checkbox"/> casyer casyer	ユーザ	プログラマ マネージャ	
<input checked="" type="checkbox"/> Eliot Packer	ユーザ	Admin User	
<input checked="" type="checkbox"/> Joseph Banks	ユーザ		

**利害関係者の追加...**

保存 完了 キャンセル

利害関係者は、個別またはセキュリティグループごとに追加できます。

プロジェクトにプロジェクトマネージャや利害関係者をさらに追加するには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトを作成するか、既存プロジェクトを開きます。
2. [プロジェクトの概要] ページで **[参加者の設定]** をクリックします。  
[プロジェクトの参加者の設定] ページが開きます。
3. 別のプロジェクトマネージャまたは利害関係者を追加します。
  - **[プロジェクトマネージャの追加]** をクリックし、1人または複数のプロジェクトマネージャを追加します。
  - **[利害関係者の追加]** をクリックし、「**ユーザの追加**」または「**セキュリティグループの追加**」を選択して新規利害関係者を追加します。

4. **[完了]** をクリックします。

新規プロジェクトマネージャまたは利害関係者が追加されます。

## プロジェクトの詳細の入力

[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブには、プロジェクト担当のビジネスユニットやプロジェクトが達成すべきビジネス目標といった重要なプロジェクト情報を持つフィールドがあります。これらのフィールドは、プロジェクトプロセス全体を推進するもので、プログラム管理オフィスなど、適切なアクセスレベルを持つユーザが設定できます。プロジェクトプロセス自体のほか、[**プロジェクトの詳細**] タブのフィールド設定の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## スタッフィングプロファイルの作成

スタッフィングプロファイルを使うと、プロジェクトマネージャは、プロジェクトに対するリソースの需要をロールまたはスキル別にトラッキングできます。スタッフィングプロファイルを作成すると、プロジェクトとビジネス機能を結び付けることができる上、比較結果を視覚的に捉えることができます。

プロジェクトにスタッフィングプロファイルを作成するには、[プロジェクトの概要] ページの [**スタッフィングプロファイルの作成**] をクリックします。

スタッフィングプロファイルの作成方法やスタッフィングプロファイル機能の利用方法の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

## 財務サマリの使い方

財務サマリは、さまざまなレベルのデータ依存関係を持ったプロジェクトの財務情報のトラッキングに使用できます。プロジェクトの実施中は、実際のプロジェクトコストを財務サマリにロールアップして比較できます。レコードの計画と対照的に、プロジェクトのコストパフォーマンスは、プロジェクトのコストヘルスの計算に取り入れることができます。詳細については、「[コストとアーンドバリューヘルス](#)」(55 ページ)を参照してください。

財務サマリの詳細については、『[HP Financial Management ユーザーガイド](#)』を参照してください。

## 作業計画の作成

作業計画は、プロジェクトの作業範囲全体を定義して組織化するプロジェクト要素を、実際の成果物に沿ってグループ化したものです。作業計画には、タスクとマイルストーンのほか、両アイテムの完了予定日が記載されています。

プロジェクトの作業計画は、次のいずれかの方法で作成できます。

- 作業計画をゼロから作成する。作業計画の作成の詳細については、[第 5 章「作業計画の作成」](#)(79 ページ)を参照してください。
- 作業計画を作業計画テンプレートから作成する。この方法の詳細については、[第 9 章「作業計画テンプレートの使用」](#)(219 ページ)を参照してください。

プロジェクトポリシーから継承可能なプロジェクト設定の**作業計画**ポリシーでは、これらのオプションの中で利用可能になるオプションが決まります。詳細については、「[作業計画](#)」(39 ページ)を参照してください。



## 5 作業計画の作成

### 作業計画の作成の概要

プロジェクトを作成したら、作業計画を作成できます。プロジェクトの作業計画では、アクティビティと成果物に対する論理的なグループ化、組織化、スケジューリングを行うタスクとサマリタスクの階層構造として、ビジネスイニシアチブを定義できます。

作業計画は、さまざまな方法で作成できます。このセクションでは2つの方法について説明します。作業計画は、作業計画テンプレートからも作成できます。この方法の詳細については、「[作業計画テンプレートからの作業計画の作成](#)」(224 ページ)を参照してください。

### 空の作業計画の作成

HP Project Management で新規作業計画を作成するには、次の手順を実行します。

1. [プロジェクトの概要] ページで [**空の作業計画の作成**] リンクをクリックします。
2. 次のタスク要素を最初に指定して、空の作業計画にタスクを追加します。
  - 名前
  - 期間
  - 開始日または終了日

初めて作業計画にタスクを追加する場合は、先行タスクを追加して作業計画階層を構築することもできます。詳細については、「[タスクの追加と作業計画構造の作成](#)」(82 ページ)を参照してください。

3. 詳細マイルストーンを作成します。

プロジェクト設定が正しく設定されている場合は、主要マイルストーンも追加できます。詳細については、「[マイルストーンの作成](#)」(93 ページ)を参照してください。

4. プロジェクトをスケジュールします。

詳細については、「[作業計画のスケジューリング](#)」(94 ページ)を参照してください。

5. 関連情報を評価できるように、さまざまな方法で作業計画をフィルタします。

作業計画は、さまざまな表示方法やフィルタを使って評価し、それに沿ってタスクを変更できます。詳細については、「[作業計画情報の表示](#)」(100 ページ)を参照してください。

6. 必要に応じて個々のタスクを設定します。

詳細については、「[タスクの設定](#)」(114 ページ)を参照してください。

7. 作業計画のクリティカルパスを確認します。

詳細については、「[作業計画のクリティカルパスの表示](#)」(113 ページ)を参照してください。

## 別プロジェクトからの作業計画の作成

HP Project Management の別プロジェクトの既存作業計画から作業計画を作成するには、次の手順を実行します。

1. [プロジェクトの概要] ページで [[別のプロジェクトからの作業計画の作成](#)] リンクをクリックします。



[別のプロジェクトから作業計画を作成] ダイアログが開きます。

別のプロジェクトから作業計画を作成

プロジェクト:  ▼

含める項目:

- スケジュール
- 制限
- メモ
- ユーザ データ
- 参照
- 通知
- 外部先行タスク
- リソースのアサイン

作成 キャンセル

2. [別のプロジェクトから作業計画を作成] ダイアログで、作業計画をコピーするプロジェクト名 (必須) を入力し、コピーする情報を選択します (デフォルトでは [通知] が選択されています)。

[スケジュール] をコピーしない場合は、新しい作業計画のスケジュールされた開始日が、新規プロジェクトの開始日にデフォルトで設定されます。



[メモ] をコピーすると、元々の日付とタイムスタンプが保持されます。

[リソースのアサイン] をコピーすると、新規プロジェクトのリソースプールの一部となっている既存プロジェクトからのリソースのみがコピーされます。

次の情報については、既存プロジェクトから自動的に処理が行われます。情報の処理方法は変更できません。

情報	処理方法
実績	コピーされません。
内部先行タスク	常にコピーされます。
Microsoft Project リンク	タスクレベルで常に削除されます。
必須タスクフラグ	常にコピーされます。

情報	処理方法
ロールとアクティビティ	プロジェクト設定で有効になっている場合はコピーされます。
スケジュール期間、工数、および工数モード	常にコピーされます。
スキルの熟達度	常にコピーされます。
サマリタスクのオーナー	既存プロジェクトからのサマリタスクのオーナーが新規プロジェクトのサマリタスクのオーナーの場合はコピーされます。
タスク (ルート以外)	常に「準備完了」または「保留中」に設定されます (既存作業計画でキャンセルされたタスクを含みます)。
作業計画ステータス	新規プロジェクトに対しては、常に「計画中」に設定されます。

### 3. [作成] をクリックします。

作業計画は、別のプロジェクトから既存の作業計画にインポートできます。この方法の詳細については、「[作業計画のインポート](#)」(84 ページ)を参照してください。

## タスクの追加と作業計画構造の作成

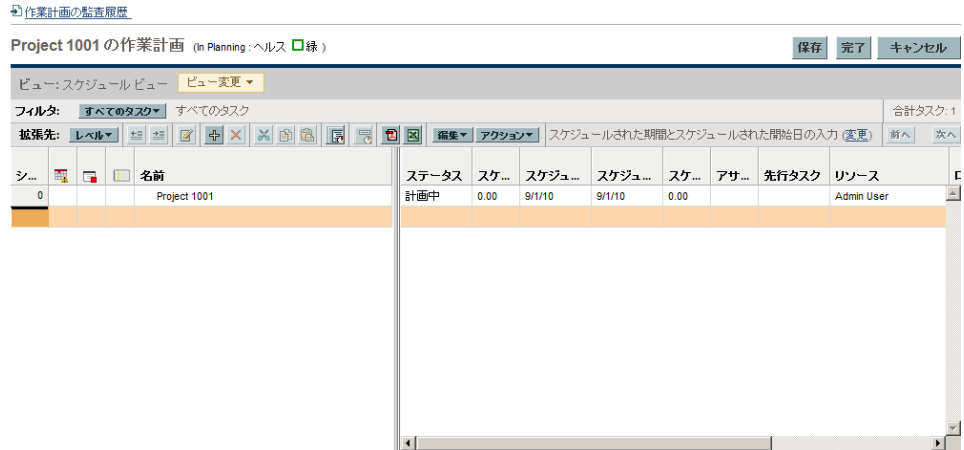
作業計画は、[作業計画] ページで作成します。

- 新規プロジェクトの場合、[作業計画] ページは、[空の作業計画の作成]、[テンプレートからの作業計画の作成] または [別のプロジェクトからの作業計画の作成] リンクをクリックすると表示されます。
- 既存プロジェクトの場合は、[作業計画の編集] をクリックすると表示されます。



[作業計画] ページは、前回作業計画を表示させていたビューが開きます。新規作業計画の場合や、このプロジェクトに対して [作業計画] ページを今まで開いたことがない場合は、デフォルトでスケジュールビューが開きます。

図 5-1. [作業計画] ページ: スケジュールビュー



トップレベルのタスクは、プロジェクト名を使って自動的に作成されます。

## 作業計画へのタスクの追加

新規タスクは、タスクを選択して [**タスクの追加**] アイコンをクリックすることにより、作業計画内のすべての既存タスクよりも優先的に作成できます。このアイコンをクリックすると [**タスクの追加**] ページが開きます。作業計画にタスクを追加するには、次の手順を実行します。

1. **スケジュール**ビューで、作業計画の下位にある空の行を選択して [**タスクの追加**] アイコンをクリックします。

現在選択中のタスクの上に新規タスクが追加された [**タスクの追加**] ページが開きます。

2. [**タスクを下に追加**] アイコンをクリックし、現在選択中のタスクの下に新規タスクを追加します。
  - 新規タスクは、[**タスクの追加**] ページの最後のアイテムを選択して、キーボードの [**Insert**] キーを押すことで、現在選択中のタスクの上にも追加できます。
  - 新規タスクは、[**タスクの追加**] ページの最後のアイテムを選択して、キーボードの [**Enter**] キーを押すことで、現在選択中のタスクの下にも追加できます。
3. 新規タスクの情報を編集します。

タスクの **[名前]** は必ず指定してください。また、HP Project Management でプロジェクトをスケジュールするには、スケジュールリング情報の入力も必要です。この情報は、**[タスクの追加]** ページに引き渡すこともできます。ページ上部の **[変更]** をクリックして、使用したいスケジュールリング情報を組み合わせて選択します。

タスクの編集は、**[作業計画]** ページ、またはタスクの詳細情報が表示される **[タスクの詳細]** ページからも行えます。**[タスクの詳細]** ページには、**[作業計画]** ページからアクセスします。

- a. 新規タスクを選択して **[タスクの詳細]** アイコンをクリックします。**[タスクの詳細]** ページが開きます。
- b. **[タスクの詳細]** ページの各タブの情報を必要に応じて修正します (詳細については、[第 6 章「タスクの設定」\(115 ページ\)](#)を参照)。

#### 4. 必要に応じてタスク階層を設定します。

新規で追加したタスクは、**[タスクの追加]** ページ上の **[インデント]** と **[アウトデント]** アイコンを使って、サマリタスクと下位タスクの階層に組み入れることができます。素早い操作を可能にするキーボードショートカットの詳細は、「[スケジュールビューで便利なキーボードショートカット](#)」(93 ページ)を参照してください。

#### 5. 新規タスクを作業計画に追加します。

新規タスクを作業計画に追加するには、**[完了]** をクリックします。



デフォルト値が設定されたユーザデータフィールドがタスクに含まれていても、タスクが保存されるまで、デフォルト値が **[作業計画]** ページには表示されない場合があります。表示されなくても、デフォルト値は設定されています。

## 作業計画のインポート

HP Project Management では、**[作業計画]** ページから、作業計画を別のプロジェクトから既存作業計画にインポートできます。作業計画をインポートするには、次の手順を実行します。

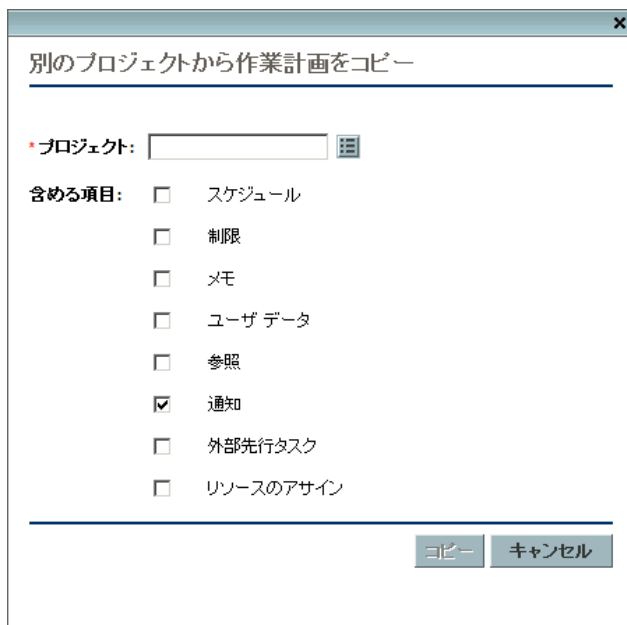
#### 1. **スケジュール**ビューで、作業計画のルート以外のタスクを選択します。



選択中のタスクの上に作業計画がインポートされます。

2. [アクション] をクリックして「別の作業計画のインポート」を選択します。

[別のプロジェクトから作業計画をコピー] ダイアログが開きます。



The image shows a dialog box titled "別のプロジェクトから作業計画をコピー" (Copy Work Plan from Another Project). It contains a text input field for "プロジェクト:" (Project:), a list of checkboxes for "含める項目:" (Items to include), and two buttons at the bottom: "コピー" (Copy) and "キャンセル" (Cancel). The "通知" (Notification) checkbox is checked.

含める項目:	状態
スケジュール	<input type="checkbox"/>
制限	<input type="checkbox"/>
メモ	<input type="checkbox"/>
ユーザ データ	<input type="checkbox"/>
参照	<input type="checkbox"/>
通知	<input checked="" type="checkbox"/>
外部先行タスク	<input type="checkbox"/>
リソースのアサイン	<input type="checkbox"/>

3. [別のプロジェクトから作業計画をコピー] ダイアログで、作業計画をコピーするプロジェクト名 (必須) を入力し、コピーする情報を選択します (デフォルトでは [通知] が選択されています)。コピーする情報の詳細については、「別プロジェクトからの作業計画の作成」(80 ページ) を参照してください。

4. [コピー] をクリックします。

インポートした作業計画の規模が大きい場合、選択したタスク (手順1) はスケジュールビューに表示されません (下にスクロールすると表示できます)。

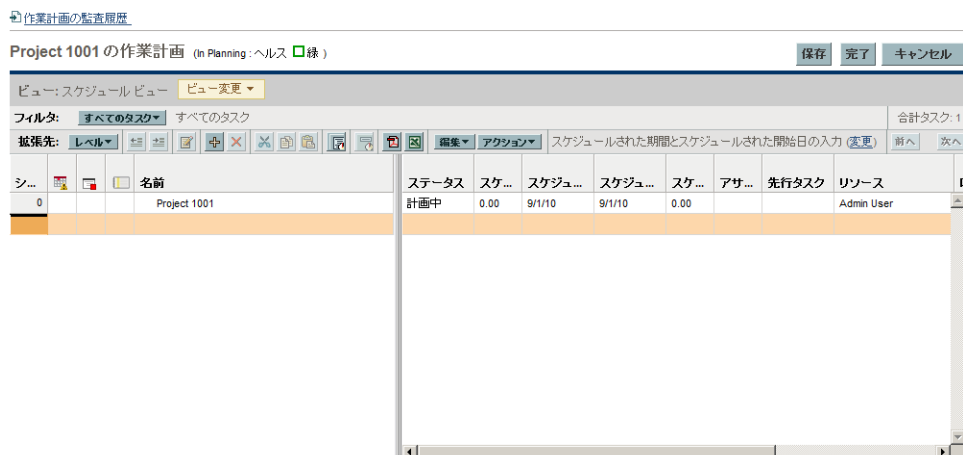
## 作業計画階層の作成

HP Project Managementでは、[タスクの追加] ページまたは[作業計画] ページから、タスクを追加し、順序を指定して構造化できます。タスクの追加後、再編集が必要になることがあります。[作業計画] ページで、階層内のタスクの再編集とグループ化も行えます。



[作業計画] ページで作業計画に加えた変更は、直ちに保存されます。

図 5-2. [作業計画] ページ



階層内でアイテムを上下に移動するには、次の手順を実行します。

1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
2. [切り取り] アイコンをクリックします。

タスクのコピーは、[コピー] アイコンを使っても簡単に行えます。コピーしたタスクは、何度も貼り付けできます。

3. 作業計画構造でターゲットエリアの下のタスクを選択します。

#### 4. [貼り付け] アイコンをクリックします。

切り取ったアイテムが、選択中のタスクの上の作業計画に挿入されます。

大規模な作業計画では、作業計画情報が複数のページに分割される場合があります。作業計画の1つのページからタスクを切り取って、別のページに貼り付けることができます。詳細については、「[大きな作業計画の表示](#)」(109 ページ)を参照してください。

アイテムをインデントするには、次の手順を実行します。

1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
2. [インデント] アイコンをクリックします。

選択したタスクまたはサマリタスクが、1レベル深い階層に移動します。

- 選択したアイテムのすぐ上のアイテムがタスクの場合は、そのタスクはサマリタスクに変換されます。
- サマリタスクに対して行なった操作は、下位タスクにも影響が及びます。サマリタスクをインデントすると、下位タスクも1レベル下の階層に移動します。

選択したアイテムがサマリタスクの第1下位タスクの場合は、インデントは行えません。



タスクがサマリタスクに変換されると、警告メッセージが表示されます。[はい] を選択して続行するか、[いいえ] を選択して操作をキャンセルしてください。

アイテムをアウトデントするには、次の手順を実行します。

1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
2. [アウトデント] アイコンをクリックします。

選択したタスクまたはサマリタスクが、1レベル外側の階層に移動します。

- サマリタスクへの操作は、その下位タスクにも及びます。サマリタスクをアウトデントすると、下位タスクも1レベル上の階層に移動します。
- 選択したアイテムがサマリタスクの下位タスクの場合は、前の上位タスクと同じレベルのタスクまたはサマリタスクになります。

- 選択したアイテムがサマリタスクの唯一の下位タスクの場合は、そのサマリタスクがタスクに変換されます。
- 選択したアイテムが、その直下に同じレベルの他のタスクを持つタスクの場合、それらのタスクは選択したアイテムの下位タスクに変換され、選択したタスクがサマリタスクになります。

実績データを持つタスクは、サマリタスクにはなりません。HP Time Managementからの実績を持つタスクや、タイムシートが参照するタスクも同様です。

タスクがサマリタスクまたはリーフタスクに変換されると、警告メッセージが表示されます。[はい] を選択して続行するか、[いいえ] を選択して操作をキャンセルしてください。

タスク操作は、複数同時に行えます。

- [Shift] キーを押しながらクリックして連続する行を強調表示させ、操作を行います。
- [Ctrl] キーを押しながらクリックして連続しない行を強調表示させ、操作を行います。

## 先行タスクのセットアップ

HP Project Management では、1つのタスクを現在の作業計画内の他のタスクや他の作業計画内のタスクと関係付けられるほか、HP Demand Management でリクエストすることができます。これらの先行タスクとの関係は、スケジューラがタスクのスケジューリングに使用します。

たとえば、Bob という管理者に、彼のグループのコンピュータにインストールする新しいソフトウェアモジュールに対する「Training」作業計画があるとします。このトレーニングのアクティビティは、ステイブというマネージャが推進する「Software Upgrade」プロジェクトが先に終了しないと開始できません。Bob は、「Software Upgrade」プロジェクトと自分の「Training」タスクで関連が最も強いタスクに完了-開始の先行タスク関係を構築できます。



これらの先行タスク関係は、[タスクの詳細] ページの [スケジュール] タブから管理します。

図 5-3. [タスクの詳細] ページ: [スケジュール] タブ

タスクの監査履歴の表示 すべてのタスク [前へ](#) [次へ](#)

タスクの詳細: 1 - Project 1002 [保存](#) [完了](#) [キャンセル](#)

---

名前:   
プロジェクトパス: [Project 1001](#) > Project 1002  
ステータス:  シーケンス番号: 1  
説明:   
達成率 (%): 0 アクティビティ:  優先度:   
 マイルストーンとしてタスクをマークする  
 これは主要マイルストーン  
 マイルストーンは自動的に完了する

---

**タスクの制限**

スケジュール | リソース | 通知 | メモ | 参照

期間 (日数)	工数 (時間)	開始日	終了日
スケジュール済み: <input type="text" value="1.00"/> 日	8.00 時間	<input type="text" value="12/13/10"/> <input type="button" value="📅"/>	<input type="text" value="12/13/10"/> <input type="button" value="📅"/>
実績: <input type="text" value="0.00"/> 日	0.00 時間		

制限

制限のスケジュール:   制限日:

---

先行タスク

タイプ	名前	リレーションシップ	遅延 (日数)
<a href="#">先行タスクの追加...</a>			

---

クリティカルパス: メトリクス

最も早い開始日:      最も早い終了日:  
最も遅い開始日:      最も遅い終了日:  
余裕期間: 0

構築可能な先行タスク関係のタイプについては、[表 5-1](#)を参照してください。

サマリタスクまたはタスクの先行タスク関係は、[作業計画] ページから設定できます。[作業計画] ページから先行タスクとして外部タスクやリクエストの追加は行えません。

表 5-1. プロジェクトまたはタスクに構築可能な先行タスク関係

先行タスクのタイプ	説明	構築可能な関係
サマリタスクまたはタスク	現在の作業計画内のタスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>終了－開始</b>: 後続タスクは、先行タスクの終了後に開始できます。</li> <li>● <b>開始－終了</b>: 後続タスクは、先行タスクが開始するまで終了できません。サマリタスクには設定できません。</li> <li>● <b>終了－終了</b>: タスクはいつでも開始できますが、先行タスクが終了するまで、後続タスクの表示が完了済みになりません。サマリタスクには設定できません。</li> <li>● <b>開始－開始</b>: 後続タスクは、先行タスクが開始するまで開始できません。</li> </ul> <p>先行タスクには、必要に応じて [遅延 (日数)] フィールドに正または負の数値を入力してラグやリードタイムも定義できます。</p> <p>サマリタスクを先行タスクとして追加する場合は、「終了－開始」または「終了－終了」タイプの関係しか設定できません。</p> <p>サマリタスクに先行タスクを追加する場合は、「終了－開始」または「開始－開始」タイプの関係しか設定できません。</p>
外部タスク	別プロジェクトからのタスク	内部タスクと同様です。
リクエスト	HP Demand Managementでのリクエスト	<p>これらのリクエスト関係は、[タスクの詳細] ページの [参照] タブから管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>関係あり</b>: 情報関係のみで、先行タスク関係は実際には存在しません。この関係は、サマリタスクにのみ設定できます。</li> <li>● <b>後続タスク (被ブロック側)</b>: タスクが完了するまで、リクエストのアクションを行えません。</li> <li>● <b>先行タスク (ブロック側)</b>: リクエストが完了するまで、タスクのアクションを行えません。</li> <li>● <b>FF先行タスク (終了－終了先行タスク)</b>: タスクはいつでも開始できますが、リクエストが完了するまで完了済みの表示になりません。</li> </ul>

## [タスクの詳細] ページからの内部先行タスクの設定

[タスクの詳細] ページからタスクの内部先行タスクを設定するには、次の手順を実行します。

1. タスクの [タスクの詳細] ページを開きます。
2. [スケジュール] タブをクリックします。
3. [先行タスクの追加] をクリックして「名前によるタスクの追加」を選択します。

すべてのタスクをアルファベット順にリスト表示した [オートコンプリート] ウィンドウが開きます。リストは、[タスク名 (前方一致)] フィルタフィールドを使ってフィルタできます。

先行タスクの作業計画内のシーケンス番号が分かっている場合は、シーケンス番号を直接指定して先行タスクを追加することもできます。

4. タスクを選択します。  
先行タスクが、[タスクの詳細] ページの [スケジュール] タブに一覧表示されます。
5. [リレーションシップ] フィールドから関係を選択します。
6. 必要に応じて [遅延 (日数)] フィールドに値を入力します。  
このフィールドには、先行タスクの終了後、タスクの開始を遅延させる日数を指定します。負の数値を使ってリードタイムを指定できます。
7. [保存] をクリックします。

## [作業計画] ページからの内部先行タスクの設定

[作業計画] ページからタスクの内部先行タスクを設定するには、次の手順を実行します。

1. タスクの [作業計画] ページを開きます。
2. タスクを選択します。
3. [先行タスク] フィールドに、現在の作業計画内のいずれかのタスクのシーケンス番号を入力します。
4. [保存] をクリックします。

デフォルトでは、先行タスク関係は「終了-開始」、ラグは「0」(ゼロ)です。これらの設定は、[タスクの詳細] ページから変更できます。

## 外部先行タスクの設定

タスクの外部先行タスクを設定するには、次の手順を実行します。

1. タスクの [タスクの詳細] ページを開きます。
2. [スケジュール] タブをクリックします。
3. [先行タスクの追加] をクリックして「**外部タスクの追加**」を選択します。

[オートコンプリート] ウィンドウが開き、追加する外部タスクを検索できます。リストは、[Task starts with (次の文字列で始まるタスク)] フィルタフィールドを使ってフィルタできます。

4. タスクを選択します。

先行タスクが、[タスクの詳細] ページの [スケジュール] タブに一覧表示されます。

5. [リレーションシップ] フィールドから関係を選択します。
6. 必要に応じて [遅延 (日数)] フィールドに値を入力します。

このフィールドには、先行タスクの終了後、タスクの開始を遅延させる日数を指定します。

7. [保存] をクリックします。

## 選択タスクとしてのリクエストの設定

既存のリクエストは、[タスクの詳細] ページの [参照] タブで、タスクの先行タスクとして追加できます。詳細については、「[既存リクエストの追加](#)」(132 ページ)を参照してください。新規リクエストも、タスクの先行タスクとして追加できます。詳細については、「[新規リクエストの追加](#)」(133 ページ)を参照してください。

## スケジュールビューで便利なキーボードショートカット

スケジュールビューのタスクとサマリタスクは、スケジュールビューのアイコンのほか、キーボードでも操作できます。表 5-2 に、利用可能なキーボードショートカットを示します。

表 5-2. 作業計画の定義に使えるキーボードショートカット

キーストローク	アクション
Shift + Alt + 左矢印	階層内でタスクをアウトデントします。
Shift + Alt + 右矢印	階層内でタスクをインデントします。
Enter	[タスクの詳細] ページを開きます。
Shift + Ctrl + C	選択されているタスクをコピーします。
Shift + Ctrl + V	1つまたは複数のタスクを貼り付けます。

## マイルストーンの作成

マイルストーンは、成果物の完成や期日の到来など、プロジェクトの実施時の重要なイベントのマーキングに使用します。

他の進捗マーカと同様、マイルストーンには期間や工数が通常ありません。ただし、その両方を持つようにも設定できます。プロジェクトマネージャは、先行タスクが終了したら自動的に終了するようにマイルストーンを指定できるため、何もしなくてもプロジェクトの進捗状況を報告できるようになります。ただし、マイルストーンにつながる作業でマイルストーンが終了するように指定されていても、マイルストーンが完了したかどうかをプロジェクトマネージャが管理したい場合もあります。

1つの作業には、プロジェクトマネージャが実況状況の判断に使用できる多数のマイルストーンを設定できます。ただし、フェーズ完了マイルストーンなど、組織の全プロジェクトで使用、報告される標準マイルストーンも多少あります。プロジェクトで標準マイルストーンを使えるように設定されている場合、プロジェクトマネージャは、このようなマイルストーンを、[プロジェクトの概要] ページに表示される主要なマイルストーンとして特定できます。これにより、統一性のある高度な視覚マークとしてのマイルストーンの役割を保持する一方で、プロジェクトマネージャが、詳細計画の管理に必要な数

だけマイルストーンを定義できます。主要なマイルストーンの有効化の詳細については、「[プロジェクトフィールド](#)」(37 ページ)を参照してください。

マイルストーンを作成するには、次の手順を実行します。

1. タスクを選択します。
2. **[タスクの詳細]** アイコンをクリックします。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
3. **[マイルストーンとしてタスクをマークする]** チェックボックスを選択します。

すべての先行タスクの完了時にマイルストーンが自動的に自身を「完了」とマークするようにしたい場合は、**[マイルストーンは自動的に完了する]** チェックボックスを選択します。すべての先行タスクが完了すると、マイルストーンの実際の開始日と終了日は、最後の先行タスクが実際に終了した日付に自動的に設定されます。つまり、先行タスクが別の日に完了した場合、最後に完了した先行タスクの実際の完了日が使用されます。

**[マイルストーンは自動的に完了する]** チェックボックスは、期間が「0」のマイルストーンのみに指定できます。

4. **[タスクの詳細]** ページの各タブの情報を必要に応じて修正します (詳細については、「[タスクの詳細の編集](#)」(120 ページ)を参照)。
5. **[保存]** をクリックします。

タスクは、期間が「0」の場合、自動的にマイルストーンに変換されます。



マイルストーンを作成すると、その期間は自動的に「0」に設定されますが、必要に応じて変更可能です。

## 作業計画のスケジューリング

HP Project Management では、**[スケジュール作業計画]** ダイアログボックスで指定されているプロジェクトの**スケジューリング**ポリシーとオプションを基に、作業計画のスケジュールが生成されます。

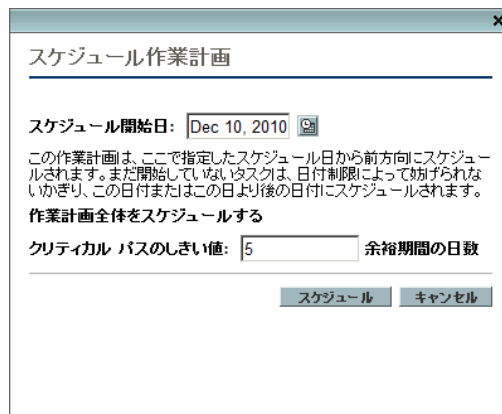
## スケジュールの生成

作業計画がスケジュールされると、作業計画全体が検討され、直ちに変更点が保存されます。作業計画の個別セクションを再スケジュールしたい場合は、関連サマリタスクに制限を付与することで移動できます。制限の詳細については、「[スケジュールリングの制限の設定](#)」(125 ページ)を参照してください。

作業計画のスケジュールを生成するには、次の手順を実行します。

1. **[スケジュール作業計画]** アイコンをクリックします。

[スケジュール作業計画] ダイアログボックスが開きます。



2. **[スケジュール開始日]** に作業計画を開始する日を指定します。

この日付は各プロジェクトの**スケジュールリング**ポリシーで個別に設定されているため、プロジェクト全体の日付をずらす必要がない限り、通常は変更しません。作業計画の実績を収集している場合は、**[スケジュール開始日]** フィールドを変更して作業計画を再スケジュールすると、残りの作業を延期できます。

3. 必要に応じて **[クリティカルパスのしきい値]** に入力します。

クリティカルパスのしきい値の目的の詳細については、「[クリティカルパスのしきい値](#)」(45 ページ)を参照してください。

4. **[スケジュール]** をクリックします。

スケジューリングエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されず、エラーリストが表示されます。エラーと原因をそれぞれ書き留め、必要な調整を作業計画で行ってください。詳細については、「[スケジューリングエラー](#)」(97 ページ)を参照してください。



スケジューリング警告が発生した場合は、スケジュールが生成されて、警告リストが表示されます。イニシアチブを成功させるために重要になる場合があるため、警告は逐一書き留めてください。詳細については、「[スケジューリング警告](#)」(97 ページ)を参照してください。

## サマリタスクのスケジューリング

サマリタスクがスケジュールされると、サマリタスクとそのサブタスクが検討され、直ちに変更点が保存されます。

サマリタスクのスケジュールを生成するには、次の手順を実行します。

1. **[スケジュールサマリタスク]** アイコンをクリックします。

[スケジュールサマリタスク] ダイアログボックスが開きます。

スケジュール サマリ タスク

スケジュール開始日: Dec 10, 2010

選択したサマリ タスクは、ここで指定したスケジュール日から前方向にスケジュールされます。まだ開始していないサブタスクは、他の制限によって妨げられない限り、この日付またはこの日より後の日付にスケジュールされます。

選択したサマリ タスクのみをスケジュールする

クリティカル パスのしきい値: 5 余裕期間の日数

スケジュール キャンセル

2. **[スケジュール開始日]** にサマリタスクを開始する日を指定します。

3. 必要に応じて **[クリティカルパスのしきい値]** に入力します。

クリティカルパスのしきい値の目的の詳細については、「[クリティカルパスのしきい値](#)」(45 ページ)を参照してください。

4. **[スケジュール]** をクリックします。



スケジューリングエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されず、エラーリストが表示されます。エラーと原因をそれぞれ書き留め、必要な調整を作業計画で行ってください。詳細については、「[スケジューリングエラー](#)」を参照してください。



スケジューリング警告が発生した場合は、スケジュールが生成されて、警告リストが表示されます。イニシアチブを成功させるために重要になる場合があるため、警告は逐一書き留めてください。詳細については、「[スケジューリング警告](#)」を参照してください。

## スケジューリングエラー

入力情報の組み合わせによっては、スケジュールが実行不可能になることがあります。このようなエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されません。表 5-3 に、スケジューリングエラー、その原因、および考えられる解決方法を示します。

表 5-3. スケジューリングエラー、原因、および考えられる解決方法

スケジューリングエラー	原因	考えられる解決方法
循環依存	一連のプロジェクトまたはタスクの先行タスクに循環が含まれます。この場合、スケジュールは設定できません。 HP Project Management では、作業計画の作成中または編集中に循環依存が検出されます。	先行タスクを削除または変更して循環を断ち切ります。
スケジュールするタスクがない	作業計画が完了済みかキャンセルされたため、スケジュールするタスクがありません。	見つからない場合は、タスクを追加してスケジュールします。

## スケジューリング警告

作業計画の特定の情報が原因で、スケジューラが一貫性のあるスケジュールを作成できない場合があります。スケジュールは作成されますが、作業計画の構造に一貫性がないことを示すスケジュール警告が生成されます。これらの問題は、プロジェクト設定の[スケジュールポリシー](#)で有効になっているスケジュール警告ルールで特定されています。警告はスケジュールの実行時に表示され、作業計画の保存時に評価が行われます。警告は、各関連タスクの [タ

スクの詳細] ページの [警告] タブでも保存され、後からでも利用できるよ  
うになっています。

表 5-4. スケジュール警告、原因、および考えられる解決方法 (1/2 ページ)

スケジュール リング警告	原因	考えられる解決方法
プロジェクト 日の競合	<p>この警告は、作業計画の日付がプロジェクトの [計画開始期間] または [計画終了期間] より後の場合に発生します。また、タスクに定義されている制限がプロジェクトの [計画開始期間] または [計画終了期間] に該当しない場合にも発生します。</p>	<p>依存関係、期間、リソース、またはその組み合わせを調整することで計画をプロジェクトの期間内に移動し、再度スケジュールします。</p> <p>場合によっては、プロジェクトレベルの日付を延長すると解決できることもあり、その場合はプロジェクトの財務サマリとスタッフィングプロファイルの調整が必要になります。</p>
依存関係の 競合	<p>この警告は、他の制限やタスク情報で禁止されているため、タスクに定義されている先行タスクへの依存関係を保てない場合に発生します。</p> <p>たとえば、先行タスクとの関係で10月10日に開始が予定されているタスクに、[次の日以降に開始しない] 制限が10月1日に設定されている場合、このタスクは両方の要件を満たすことができません。</p>	<p>計画を改訂して競合を取り除きます。</p>

表 5-4. スケジュール警告、原因、および考えられる解決方法 (2/2 ページ)

スケジュール リング警告	原因	考えられる解決方法
制限の継承の 競合	この警告は、1つの制限しか満たせないなど、タスクとその上位タスクに定義されている制限が直接競合する場合に発生します。両方の関連タスクがマークされます。	計画を改訂して競合を取り除きます。両制限が有効な場合は、プロジェクトの問題の提出が必要な場合があります。詳細については、「 <a href="#">問題のロギング</a> 」(178 ページ)を参照してください。
リソースを スケジュール できませんで した	アサインされたリソースに十分な就業日数を特定できないため、スケジューラがタスクをスケジュールできませんでした。この警告は、スケジューラの実行時にのみ評価が行われます。	この警告は、スケジューラが、リソースの終了日より後、またはリソースの開始日より前にリソースをスケジュールしようとした場合に通常発生します。リソース情報をチェックし、必要に応じて、正しい期間にリソースがスケジュールされるように、タスクのリソースやタスクの依存関係を変更します。
タスク制限を 満たすことが できませんで した	この警告は、他の競合情報が優先されるため、タスクに定義された制限を守れない場合に発生します。	この警告は、スケジュールリングに実績が使用されており、タスクの実際の開始日がタスクに定義された制限と競合する場合に通常発生します。これには、明確な解決策が必要ないこともあります。

## 作業計画情報の表示

HP Project Management では、数種類の方法で作業計画データを確認できるため、目前の特定タスクに着目できます。

- 「**レベルの展開/折りたたみ**」では、作業計画ビューを特定の階層レベルまで直ちに展開または折りたたむため、計画の詳細に煩わされることなく、迅速に計画にアクセスできます。
- 「**作業計画ビュー**」では、さまざまな方法を使って、実行する必要があるタスクや計画から必要な情報に基づいて作業計画を検査できます。
- 「**フィルタ**」では、特定の作業計画ビュー内で、情報のサブセットに対してデータのフィルタリングが行えるため、注意が必要なタスクに効率良く着目できます。
- 「**ガントビュー**」では、タスクとその依存関係を、カラーコードや設定可能なラベルで見やすくなったグラフ形式で視覚的に表現できます。

一般的に、HP Project Management では各作業計画の列の幅と位置が保持されるため、いったんログアウトしてからプロジェクトに戻っても、レイアウトと位置はログアウト前と変わりません。

### レベルの展開/折りたたみ

[**拡張先: レベル**] をクリックして作業計画とサマリタスクのビューを展開または折りたたみ、特定の階層レベルを2から7にします。

- レベル2には、作業計画のルートレベル直下のタスクとサマリタスクだけが表示され、それ以下の階層は折りたたんで表示されます。
- レベル7には、タスクとサマリタスクが作業計画の第7階層レベルまで表示され、それ以下の階層は折りたたんで表示されます。

## 作業計画ビュー

HP Project Managementは、異なるカテゴリの作業計画情報を確認できる作業計画ビューをいくつか備えています。これらのビューは、[作業計画] ページ上部の [**ビュー変更**] ボタンメニューからアクセスできます。

### スケジュールビュー

**スケジュール**ビューは、[作業計画] ページのデフォルトビューです。このビューは、作業計画ビューのスケジュール関連情報のタスク階層の調整に使用します。



期間のトラッキング用フィールドの値はすべて日数で、工数のトラッキング用フィールドの値はすべて時間数です。

**スケジュール**ビューには、次のタスクフィールドが列として表示されます。

- タスクステータス
- スケジュールされた期間
- スケジュールされた開始日
- スケジュールされた終了日
- スケジュールされた工数
- 先行タスク
- リソース
- ロール
- アクティビティ
- アサインされていない工数

## 実績ビュー

**実績**ビューは、作業計画の進捗状況に関する情報に特化しており、次のタスクフィールドが列として表示されます(プロジェクトフィールドポリシーまたはコストと工数ポリシーで選択されている場合のみ表示される列もあります)。

- タスクステータス
- 実績工数
- 達成率
- 見積もり残存工数
- 実際の開始日
- 実際の終了日
- 実際の期間
- 予想終了日
- リソース
- 先行タスク
- 次の日での実績(実績が最後に更新された日付)

図 5-4. [作業計画] ページ: 実績ビュー

作業計画の監査履歴

PPM\_Projectの作業計画 (In Planning : ヘルス  緑)

保存 完了 キャンセル

ビュー: 実績ビュー ビュー変更 ▼

フィルタ: すべてのタスク▼ すべてのタスク 合計タスク: 8

拡張先: レベル▼ 編集▼ 削除▼ 印刷▼ 複製▼ 移動▼ 検索▼ アクション▼ スケジュールされた期間とスケジュールされた開始日の入力 (変更) 前へ 次へ

シ...	名前	ステータス	実績工数 (時間)	達成率 (%)	実際の開始日	実際の終了日	実際の期間 (日)
1	Project 1001	計画中	0.00	6	12/13/10		0.00
2	Requirements Validated	完了	0.00	100	12/13/10	12/13/10	1.00
3	Development Activities	計画中	0.00	0			0.00
4	Replace source control tool	準備完了	0.00	0			0.00
5	Define build standards	準備完了	0.00	0			0.00
6	Development Complete	準備完了	0.00	0			0.00
7	Developer Training	準備完了	0.00	0			0.00

## コスト設定ビュー

コスト設定ビューには、HP Financial Managementがコストと工数ポリシーで有効になっている場合に、プロジェクトのコスト設定データが表示されます。表 5-5に、コスト設定ビューに列として表示されるタスクフィールドを示します。このビューは、プロジェクトのコストデータの閲覧権を持つユーザのみアクセスできます。

表 5-5. コスト設定作業計画ビューに表示可能な列 (1/2 ページ)

列名	説明
コストのヘルス	タスクのコストのヘルス
計画人件費	タスクに計画された人件費。 算出方法: スケジュールされた工数×適用可能なコストレート 適用可能なコストレートには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● リソース (コストレートがリソースにない場合は、リソース地域、ロール、およびスキルが次に検討されます)</li><li>● タスクのロール</li><li>● タスクのスキルセット</li></ul>
計画非人件費	タスクに計画された人件費以外のコスト。手作業で入力します。
計画コスト	計画された人件費と人件費以外のコストの合計
実績人件費	実際にタスクにかかった人件費。 計算方法は、スケジュールされた工数を実績工数に置き換えれば、計画人件費と同じです。
実績非人件費	実際にタスクにかかった人件費以外のコスト。手作業で入力します。
実績コスト	実際にかかった人件費と人件費以外のコストの合計
計画資本経費	資産計上されたコストと表示されるアクティビティ関連のタスクに計画されたコスト
計画運用費	運用と表示されるアクティビティ関連のタスクに計画されたコスト





## アーンドバリュビュー

アーンドバリュビューには、次のタスクフィールドを列として表したプロジェクトのアーンドバリュ (EV) 分析データが表示されます。

- 計画価値
- アーンドバリュ
- コストの差異
- スケジュールの差異
- CPI
- SPI
- 実績コスト

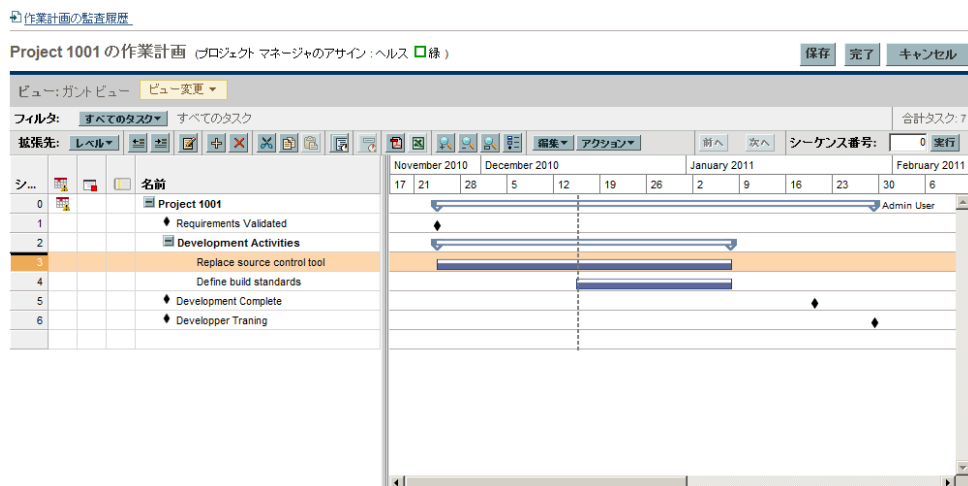
このビューは、プロジェクトのコストデータの閲覧権を持つユーザ閲覧権を持つユーザのみアクセスでき、プロジェクトのベースラインを少なくとも1つ取得している場合に有用です。プロジェクトのベースラインの詳細については、「[ベースラインの操作](#)」(185 ページ)を参照してください。

## ガントビュー

ガントビューには、タスクの長さやタイミングなどのスケジュール関連情報の便利なグラフ表示であるガントチャートが表示されます。サマリタスクは、ヘルスを表すカラーコードで表示できます。色とパターンによって完了ステータスが分かります。オプションのタスクラベルで詳細情報の追加も可能です(「ガントビュー表示の変更」参照)。

また、プロジェクト全体をガントビューに表示できるほか、チャートを表示する時間単位も変更できます。図 5-6 に、通常のプロジェクトのガントチャートを示します。

図 5-6. [作業計画] ページ: ガントビュー



### ガントビュー表示の変更

ガントチャートの表示は、[作業計画] ページで [アクション] > [ガントの設定] をクリックして調整できます。[ガントの設定] ダイアログボックスでは、ガントチャートのインジケータとテキストラベルを設定できます。

## 印刷ビュー

印刷ビューには、すべてのビューのフィールドが組み合わせて表示されます。列は、次の順番でビュー別に編集されています。

- スケジュール
- 実績
- コスト
- アーンドバリュー

このビューは、異なるビューにまたがった列を含むPDFプリントアウトの生成用に、列の順番やサイズを設定する場合に使用します。PDFファイルへの作業計画のエクスポートの詳細については、「PDFファイルへのエクスポート」(189 ページ)を参照してください。システムのパフォーマンスを最適化するには、対象タスクの他の作業計画ビューを使用してください。

## フィルタ

HP Project Management は、特定のタスクの作業計画をフィルタリングが可能なフィルタを各作業計画ビューに備えているため、アクティビティに最も関連するデータに迅速に着目できます。フィルタで選択されたタスクを持つサマリタスクが常に表示されているため、その中身が分かります。表 5-6 に、各作業計画ビューで使えるファイルを示します。

表 5-6. 作業計画ビューのフィルタ (1/2 ページ)

フィルタ名	説明
スケジュールビューとトラッキングビュー	
進行中のタスク	進行中の作業計画のタスクのみを表示します。
完了したタスク	完了済みの作業計画のタスクのみを表示します。
期限切れのタスク	スケジュールされた終了日を超えても完了していない作業計画のタスクのみを表示します。

表 5-6. 作業計画ビューのフィルタ (2/2 ページ)

フィルタ名	説明
アサインされていないタスク	リソースがアサインされていない作業計画のタスクのみを表示します。
マイルストーンであるタスク	マイルストーンになっている作業計画のタスクのみを表示します。
クリティカルパス上のタスク	クリティカルパス上にある作業計画のタスクのみを表示します。
外部先行タスクを持つタスク	外部先行タスクを持つ作業計画のタスクのみを表示します。
貢献度を持つタスク	アサインされていないリソースが読み込んだ時間が HP Time Management に記録されている作業計画のタスクのみを表示します。プロジェクトに対して記録されている想定外の時間を特定しやすくなります。
制限を持つタスク	制限を持つ作業計画のタスクのみを表示します。
リソース別のタスク	特定のリソースにアサインされている作業計画のタスクのみを表示します。
ロール別のタスク	特定のロールにアサインされている作業計画のタスクのみを表示します。
開始時期別のタスク	特定の期間内に開始するようにスケジュールされた作業計画のタスクのみを表示します。
完了時期別のタスク	特定の期間内に完了するようにスケジュールされた作業計画のタスクのみを表示します。
発生時期別のタスク	特定の期間内に発生するようにスケジュールされた作業計画のタスクのみを表示します。
次以降の実績を持つタスク	指定した日付より後に実績が更新されたタスクのみを表示します。 たとえば、今週更新されたタスクを探す場合に有用です。

## タスクの詳細の編集

特定のフィールドは、[作業計画] ページから編集して保存できます（「[作業計画] ページからのタスク詳細の編集」(148 ページ)参照）。その他のフィールドは、[タスクの詳細] ページから編集（「タスクの詳細の編集」(120 ページ)参照）または同時更新（「複数タスクの同時設定と編集」(150 ページ)参照）が可能です。

## 大きな作業計画の表示

HP Project Management では、一度に表示できる作業計画のタスク数を決められるため、高速のローカル LAN または分散ネットワークを問わず、作業計画を効率的に管理できます。一度に表示するタスクのまとまりを「ページ」と呼びます。大きな作業計画のページ間の移動は、次の方法で行えます。

- 隣接するページ間を移動する場合は、[前へ] や [次へ] をクリックします。
- 特定のタスクのシーケンス番号を [シーケンス番号] に入力して [実行] をクリックし、そのタスクに移動します。タスクがページ上部に表示されます。これによってページの位置が変わるので、目的のデータを表示できます。
- HP Project Management では、タスクが何ページにもわたって表示されます。折りたたまれたサマリタスクの下位タスクはカウントされません。

## パーソナルページサイズプリファレンスの調整

1つの作業計画ページに表示する行数は、メニューバーから [開く] > [管理] > [マイプロファイルの編集] を選択して [マイプロファイルの編集] ページを開き、[プロジェクト作業計画プリファレンス] セクションで調整できます。

1ページに表示させたいタスクの数のオプションを選択するか、その値を入力して [完了] をクリックします。この設定は、接続速度に合わせていつでも変更できます。



ページのプリセットおよび最大サイズは、PPM Centerの管理者によって決められています。作業計画のサイズ制御や調整の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

## リソースの使用状況

[リソースの使用状況] ページには、アサインレベルの負荷データがリソースごとにグループ化されて表示されます。[リソースの使用状況] ページは、[作業計画] ページで [アクション] > [リソースの使用状況] をクリックして開きます。タスクはこのページまたは [作業計画] ページから開いて編集できますが、このページのフィールドは直接編集できません。[リソースの使用状況] ページは、作業計画キャパシティを決めるプロジェクトのスタッフィングプロファイルとの併用に最適化されています。

表 5-7. リソースの使用状況作業計画ビューに表示可能な列

列名	説明
(インジケータ列)	表示されている日付のいずれかでリソースの割り当てが多すぎるかどうかを示します。
名前	プロジェクトの名前
ロール	使用が予定されているロールを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトのスタッフィングプロファイルがある場合、リソース名の横に表示されているロールがプロファイルに指定されています。</li><li>タスク名の横に表示されているロールは、作業計画で指定されています。</li></ul>
工数 (負荷)	リソースにアサインされている工数の合計。この列は、スケジュールされた工数、実績工数、およびリソースに対する割り当てをトラッキングするサブ列に分割されます。
開始日	アサインされたタスクの開始日
終了日	アサインされたタスクの終了日
ステータス	アサインされたタスクのステータス

[リソースの使用状況] ページには、このほかにも以下の機能があります。

- 割り当て過多が発生すると、リソース名の左にインジケータが表示されます。
- [リソースの使用状況] ページには、外部ソースからのリソース負荷の量が表示されます。リソース名の下に **[外部負荷]** をクリックすると、リソース負荷の内訳が表示されます。
- [リソースの使用状況] ページには、プロジェクトのリソース負荷の詳細を表示する表があり、割り当て過多は赤色で表示されます。この表は、特定の期間について表示するよう設定できるほか、異なる期間タイプごとに分割できます。表に表示する期間や時間の内訳を変更するには、**[表示データは次の日から]** フィールドと **[グループ]** フィールドに任意の値を入力し、**[適用]** をクリックします。

## 列の追加/削除

列の追加/削除アクションでは、表示する列と [作業計画] ページでの順番をカスタマイズできます。このアクションは、スケジュールビュー、実績ビュー、印刷ビュー、およびカスタムビューで使用できます。

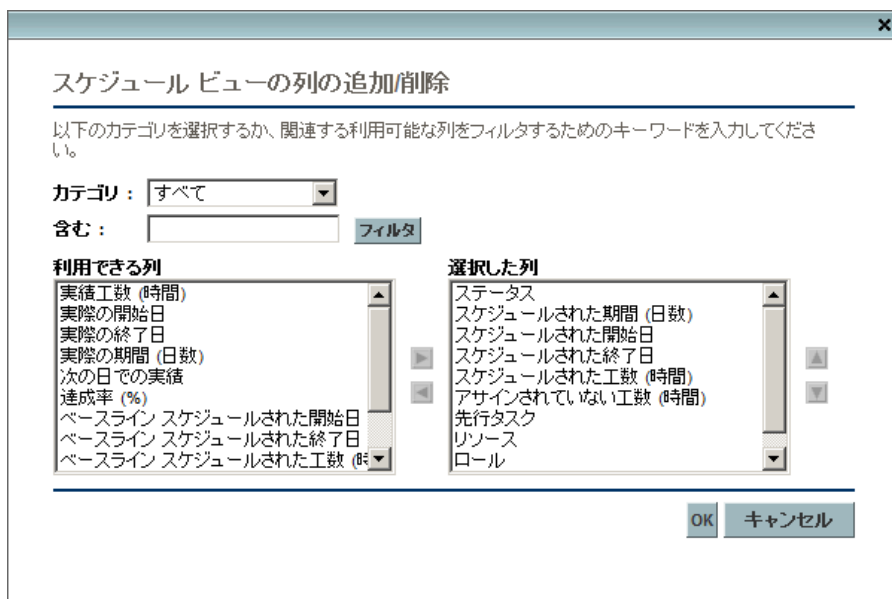
表 5-8. [列の追加/削除] ダイアログのフィールドの説明

フィールド	説明
カテゴリ	[利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドに表示されている列名をフィルタします。[すべて]、[スケジュールビュー]、[コスト設定ビュー]、[アーンドバリュービュー]、[実績ビュー]、または [ユーザデータ] から選択して列を表示できます。
含む	[利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドに表示されている列名をフィルタします。個々の列名に含まれる文字列を指定します。
利用できる列	[作業計画] ページに表示可能で、現在は表示されていない列の名前
選択した列	[作業計画] ページに表示される列の名前と表示される順番

[作業計画] ページから列を追加または削除するには、次の手順を実行します。

1. [作業計画] ページで、[アクション] > [列の追加/削除] をクリックします。

[列の追加/削除] ダイアログが開きます。



2. [作業計画] ページに列を追加するには、[選択した列] フィールドに列名を移動します。[選択した列] フィールドで、表示させたい順番に列名を編集します。

[作業計画] ページから列を削除するには、[利用できる列] フィールドに列名を移動します。

3. [OK] をクリックします。

選択した列が、[選択した列] フィールドの順番で [作業計画] ページに表示されます。

作業計画の列は、任意の位置にドラッグしてソートできます。連続した列を移動する場合は、[列の追加/削除] ダイアログを開き、[選択した列] フィールドから連続した列を選択した後、上下の矢印キーで位置を決めます。

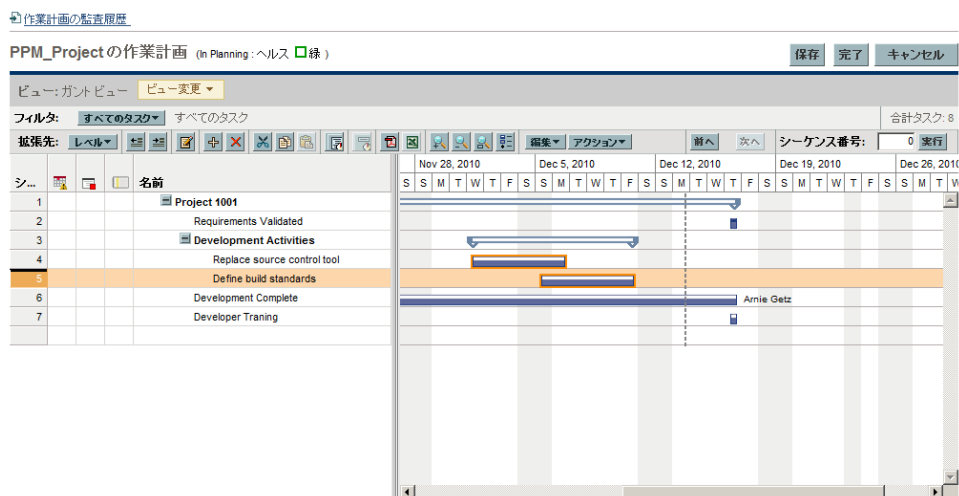




## 作業計画のクリティカルパスの表示

作業計画のクリティカルパスは、作業計画内の期間を決定するすべてのタスクで構成されます。HP Project Managementでは、作業計画のクリティカルパスをスケジュールビューのガントチャートで強調表示できます。クリティカルパスの一部となっているタスクは、オレンジ色でアウトライン表示されます。作業計画のクリティカルパスは、フィルタを1つ使って表示することもできます。

図 5-7. [作業計画] ページ: クリティカルパスが表示されているガントビュー



作業計画のクリティカルパスを確認するには、次の手順を実行します。

1. [作業計画] ページで、[アクション] > [インジケータ列の設定] をクリックします。  
[インジケータ列の設定] ダイアログボックスが開きます。
2. [クリティカルパス上のタスクをマーク] チェックボックスを選択します。
3. [OK] をクリックします。

作業計画のクリティカルパスが、ガントチャートにオレンジ色で表示されます。

## タスクの設定

初期作業計画を作成したら、必要に応じて個々のタスクを設定して計画を改善できます。計画を改善するために行うアクティビティには、次のようなものがあります。

- リソースの検索とタスクへのアサイン
- 利用可能な追加情報に応じて行うタスクの工数見積もりと期間の調整
- 注意が必要なタスクを適切な人々に知らせるための電子メール通知の設定
- タスクの詳細の明確化に伴って行うタスクの依存関係の調整
- 計画の再スケジュール
- スタッフィングプロファイルのアサインの範囲内でリソースが使用されていることを確認するためのリソース負荷の見直し
- オフラインでの検討、印刷、または発行用に行う作業計画ビューのエクスポート

これらのタスク設定アイテムの詳細については、[第 6 章「タスクの設定」\(115 ページ\)](#)および[第 7 章「プロジェクトの管理」\(139 ページ\)](#)を参照してください。

## 6 タスクの設定

### タスクの要素

作業計画は、タスク、サマリタスク、メモ、および参照情報で構成される情報の保管場所です。組織内で特定のビジネスイニシアチブの達成に必要な作業は、これらの要素でモデル化されています。作業計画は静的エンティティではありません。追加情報の収集が行われるほか、タスクが終了に近づくにつれて修正も行われます。

タスクは、作業計画が正常に終了するために不可欠な作業計画のコンポーネントです。プロジェクトマネージャは、タスクから情報を収集し、プロジェクトのプロセス中に適切な変更をプロジェクトに加えます。つまり、タスクは、プロジェクトマネージャに必要な特定情報を提供するように設定する必要があります。たとえば、タスクの終了またはタスクステータスの変化の通知がプロジェクトマネージャに必要な場合などがその例です。

期日に間に合わせるために行うタスクスケジュールの延長やタスクへの追加リソースのアサインなど、タスクの修正はプロジェクトの実施中も必要です。アサインされたタスクの終了時には、個別ステータスを更新することがチームメンバに求められます。

## 通知

プロジェクトマネージャは、作業計画のタスクに通知をセットアップできます。これらの通知は、[タスクの詳細] ページからプロジェクトマネージャとサマリタスクのオーナーが編集できます。電子メールメッセージは、タスク上で特定イベントが発生するたびに適切なチームメンバに送信されるように設定できます。イベントには次のものがあります。

- マイルストーンの終了
- タスクによる例外ルールのトリガ
- タスクの開始日の接近

## 参照情報

タスクには他のエンティティや情報元への追加参照情報を含めることができます。そのため、現在のタスクに関連するデータに簡単にアクセスして確認できます。参照情報に関するサマリ情報は、タスクの一部として表示されます。

タスクには、リクエスト、パッケージ、プロジェクト、リリース、添付、およびURLという、数種類の参照タイプを定義できます。

参照情報は、[タスクの詳細] ページからプロジェクトマネージャとサマリタスクのオーナーが編集できます。

## アクティビティ

タスクは、タスクの実施に関連するアクティビティのタイプによって特徴付けることができます。たとえば、設計アクティビティとして分類できるタスクもあれば、テストアクティビティとして分類できるタスクもあります。アクティビティは、単純なカテゴリ分けに使用できますが、通常は、SOP 98-1 コンプライアンスに関する資本計上可能なコストの特定に使用されます。アクティビティとその使用法の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## タスクステータス

[作業計画] ページでは、タスクステータスがスケジュールビューの [ステータス] 列に表示されます。タスクに定義可能なステータスを表 6-1 に示します。表 6-2 には、サマリタスクステータスを示します。

表 6-1. タスクステータスの定義

タスクステータス	定義
保留中の先行タスク	1つまたは複数の先行タスクが完了するまで保留されているタスク
準備完了	リソースによって作業準備が整えられたタスク
進行中	実行しないと完了できないアクションが次々と行われているタスク
完了	完了済みのタスク
キャンセル済み	プロジェクトの遂行に必要なくなったため、完了も再実行も行われないタスク
完了 (保留中の先行タスク)	完了済みではあるが、先行タスクが完了しない限り本当の完了とはならないタスク
保留中のリクエスト	1つまたは複数のリクエスト先行タスクが完了するまで保留されているタスク
完了 (保留中のリクエスト)	完了はしているが、1つまたは複数のリクエスト先行タスクの完了が必要なタスク

表 6-2. サマリタスクステータスの定義

タスクステータス	定義
計画中	作業計画のこのセクションは、まだ開発中で実行する準備が整っていません。
アクティブ	計画のこのセクションは実行可能です。作業計画が「 <b>アクティブ</b> 」となるまで、リソースは作業計画に対する実績レポートを発行できません。
保留中	計画のこのセクションは保留されています。再計画が必要、将来のフェースがまだ計画段階、一時的に作業が中断といった理由で保留中になります。
完了	計画のこのセクションは実行完了済みです。このセクションのすべてのタスクが完了したか、キャンセルされています。
キャンセル済み	計画のこのセクションはキャンセルされており、完了することはありません。このセクションのすべてのタスクがキャンセルされています。

プロジェクトに対して定義されている責任レベルによっては、変更できるタスクのステータスが制限されているユーザもいます。



たとえば、プロジェクトマネージャは、タスクステータスを「**準備完了**」から「**進行中**」、「**キャンセル済み**」に変更したり、「**キャンセル済み**」から「**準備完了**」に戻したりできます。プロジェクト参加者は、タスクのサマリタスクオーナーでない限り、直接タスクステータスを変更できません。タスクステータスは、リソースが報告する実績を基に導き出されます。

使用できるタスクステータスも、作業計画のステータスによって異なります。

## 作業計画へのタスクの追加

タスクは、個別、または作業計画テンプレートで定義された事前シーケンスグループ単位で追加できるほか、既存の作業計画からインポートすることもできます(詳細については、「[作業計画のインポート](#)」(84 ページ)を参照)。

また、編集も階層形式で素早く簡単に行えます。詳細については、「[タスクの追加と作業計画構造の作成](#)」(82 ページ)を参照してください。

## マイルストーンの作成

タスクは、マイルストーンに変換できます。

タスクからマイルストーンを作成するには、次の手順を実行します。

1. 編集するタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

2. **[マイルストーンとしてタスクをマークする]** チェックボックスを選択します。

タスクの期間が自動的に「0」に変わります。期間を延長したい場合は手作業で編集できます。

すべての先行タスクの完了時にマイルストーンが自動的に自身を「完了」とマークするようにしたい場合は、**[マイルストーンは自動的に完了する]** チェックボックスを選択します。すべての先行タスクが完了すると、マイルストーンの実際の開始日と終了日は、最後の先行タスクが実際に終了した日付に自動的に設定されます。つまり、先行タスクが別の日に完了した場合、最後に完了した先行タスクの実際の完了日が使用されます。

**[マイルストーンは自動的に完了する]** チェックボックスオプションは、期間が「0」以外のマイルストーンに指定できます。

3. [タスクの詳細] ページの各タブの情報を必要に応じて修正します (詳細については、「[タスクの詳細の編集](#)」を参照)。

4. **[保存]** をクリックします。

タスクは、期間が「0」の場合、自動的にマイルストーンに変換されます。



マイルストーンを作成すると、その期間は自動的に「0」に設定されますが、必要に応じて変更可能です。

# タスクの詳細の編集

タスク情報は、[作業計画] ページ (「[作業計画] ページからのタスク詳細の編集」(148 ページ) 参照) または [タスクの詳細] ページから編集できます。[タスクの詳細] ページは、[作業計画] ページまたは [リソースの使用状況] ページからアクセスできます。HP Project Management では、[作業計画] ページに戻らなくても、タスクからタスクへ移動可能です。

図 6-1. [タスクの詳細] ページ

タスクの監査履歴の表示 すべてのタスク [前へ](#) [次へ](#)

タスクの詳細: 1 - Project 1002 [保存](#) [完了](#) [キャンセル](#)

---

名前:   
プロジェクトパス: [Project 1001](#) > Project 1002  
ステータス:  シーケンス番号: 1  
説明:   
達成率 (%): 0 アクティビティ:   優先度:

マイルストーンとしてタスクをマークする  
 これは主要マイルストーン  
 マイルストーンは自動的に完了する

---

**タスクの削除**

[スケジュール](#) | [リソース](#) | [通知](#) | [メモ](#) | [参照](#)

	期間 (日数)	工数 (時間)	開始日	終了日
スケジュール済み:	<input type="text" value="1.00"/> 日	8.00 時間	<input type="text" value="12/13/10"/> <input type="button" value="📅"/>	<input type="text" value="12/13/10"/> <input type="button" value="📅"/>
実績:	<input type="text" value="0.00"/> 日	0.00 時間		

制限

制限のスケジュール:   制限日:

---

先行タスク

タイプ	名前	リレーションシップ	遅延 (日数)
<a href="#">先行タスクの追加...</a>			

---

クリティカル パス メトリクス

最も早い開始日:      最も早い終了日:  
最も遅い開始日:      最も遅い終了日:  
余裕期間:              0



[タスクの詳細] ページで [前へ] や [次へ] をクリックすると、[作業計画] ページに表示されている順番でタスクからタスクに移動します。

- タスクからタスクへの移動には、[作業計画] ページの展開/たたみ込み状態が考慮されます。[作業計画] ページでサマリタスクがたたみ込まれている場合は、[次へ] をクリックしても、サマリタスクの下位タスクには移動しません。
- また、[作業計画] ページに適用されているフィルタも考慮されます。[作業計画] ページにフィルタが適用されている場合、[次へ] をクリックすると、フィルタされたセット内の次のタスクに移動します。

フィルタされたセットの内容が分かるように、サマリタスクが [作業計画] ページでグレーのイタリックで表示されることもあります。

[タスクの詳細] ページでタスク情報を編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集中のプロジェクトに対する [作業計画] ページを開きます。
2. 編集するタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

3. [タスクの詳細] ページで必要な変更を加えます。
4. [保存] をクリックします。

## リソースのアサイン

プロジェクトマネージャは、[タスクの追加] ページで追加中の新規タスクにリソースをアサインできます。リソースは、[作業計画] ページから、または [タスクの詳細] ページを使って、既存タスクにもアサインできます。タスクにリソースをアサインするには、次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- リソースが、プロジェクトに添付されたスタッフィングプロファイルで指定されていること
- リソースが、プロジェクトマネージャが管理するリソースプールに属していること
- 「server.conf」ファイルの「RM\_OVERRIDE\_ASSIGNMENT\_CONTROLS」パラメータが、「TRUE」に設定されていること。詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

他のリソースは、標準スタッフィングプロファイル機能を使って、他のリソースプールからリクエストします。スタッフィングプロファイルおよびリソースプールとのやり取りの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

## [タスクの追加] ページからのリソースのアサイン

新規タスクには、[タスクの追加] ページから [リソース] アイコンを直接クリックしてリソースをアサインできます。

新規タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

1. [タスクの追加] ページで新規タスクを作成します。
2. [リソース] アイコンをクリックしてリソースをアサインします。
3. [完了] をクリックします。

## [作業計画] ページからのリソースのアサイン

既存タスクには、[作業計画] ページからリソースをアサインできます。

既存タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックします。
2. [リソース] アイコンをクリックしてリソースをアサインするか、[リソースファインダ] アイコンをクリックし、適切なリソースを検索してアサインします。

リソースファインダの使い方の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

3. [保存] をクリックします。

## [タスクの詳細] ページからのリソースのアサイン

既存タスクには、[タスクの詳細] ページからリソースをアサインできます。

既存タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。

2. **[リソース]** タブをクリックします。
3. **[リソースの追加]** をクリックしてリソースをアサインするか、**[リソースファインダ]** アイコンをクリックし、適切なリソースを検索してアサインします。

リソースファインダの使い方の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

4. **[保存]** をクリックします。

タスクには、複数のリソースをアサインできます。複数リソースのアサイン後は、個々の工数時間やブック済みスキルをいつでも調整できます。

## スケジュールされた工数の管理

タスクにスケジュールされた工数は、HP Project Management で自動的に計算することも、手作業で入力することもできます。デフォルトでは、スケジュールされた工数の計算方法が**コストと工数**ポリシーによってプロジェクトレベルで設定されていますが、設定によっては、個々のタスクを**[タスクの詳細]** ページの**[リソース]** タブからも変更できます。

- **[スケジュールされた工数の自動計算]** を選択した場合は、各リソースがタスクに対してフルタイムで作業するとシステムがみなします。スケジュールされた工数は、リソースの1日の作業時間にタスクの期間を掛けて算出されます。タスクの期間を変更すると、リソースのスケジュールされた工数も自動的に変更されます。
- **[タスクのアサインごとにスケジュールされた工数を手動で入力する]** を選択した場合は、タスクにアサインされた各リソースについて、スケジュールされた工数の値を手作業で入力できます。これは、リソースがタスクに対してフルタイムで作業しないケース、特に、詳細な工数見積もりが計画ステージに必要なプロジェクトに有用です。タスクの期間を変更しても、工数情報は変更されません。新規タスクの工数は「0」に設定されています。

各タスクにアサインされていない工数の残りは、**[アサインされていない工数]** フィールドで収集します。これにより、タスクに残っている工数を特定されたリソースに漸増的にアサインできます。

## スキルまたはロールのアサイン

作業計画の作成時には、どのタスクにも、リソースを指定せずにスキルセットやロールをアサインできます。これにより、最終的に作業を行う特定のリソースをピンポイントで指定しなくても、タスクの完了に必要なロールやスキルが特定された作業計画を作成できます。また、タスクの完了に必要なロールやスキルを捉えることで、さらに詳細なプロジェクトコストの見積もりが行えるため、正しい予想コストや適切なリソースの割り当てが実現します。

既存タスクにロールをアサインするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[リソース]** タブをクリックします。
3. タスクに **[アサイン済みロール]** を選択します。
4. **[保存]** をクリックします。



リソースにプライマリロールが定義されている場合は、タスクにリソースをアサインすると、**[アサイン済みロール]** フィールドに、リソースのプライマリロールが自動的に表示されます。

既存タスクにスキルをアサインするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[リソース]** タブをクリックします。
3. **[スキルの追加]** をクリックしてスキルを選択します。
4. スキルが追加されたら、**[理想]** 列から技能を選択します。
5. **[保存]** をクリックします。

## タスクの先行タスクの設定

タスクの先行タスクは、[作業計画] ページまたは [タスクの詳細] ページから設定できます。先行タスクとは、開始日または終了日と、それに依存するタスクの開始日または終了日との間で、関係が定義されているタスクのことです。

- タスクの先行タスクの設定の詳細については、「[先行タスクのセットアップ](#)」(88 ページ)を参照してください。
- タスクは、他のタスクとは先行タスク関係しか持てませんが、他のエンティティとの関係を特定する定義済み参照情報 (タスク完了の一部として開発されたコードの展開に使用するパッケージへの情報参照など) を持つことができます。タスクと参照情報の関係をアサインする方法の詳細については、「[タスクへの参照情報の追加](#)」(131 ページ)を参照してください。

## スケジューリングの制限の設定

作業計画内の他のタスクとの関係に加え、タスクには、日付関連の制限を設定できます。たとえば、プロジェクトマネージャが、タスクが特定の日付に開始する、または特定の日付までに終了するように指定したい場合などがその例です。これらの制限からはタスクについての貴重な情報を得ることができ、HP Project Management も作業計画のスケジュール生成に使用します。

スケジューリングの制限は、[タスクの詳細] ページの [スケジュール] タブで設定します。制限は、サマリタスクまたはその下位タスクに対して定義できます。サマリタスクに制限が定義すると、その制限は、サマリタスクのすべての下位タスクにも適用されます。表 6-3 に、タスクとサマリタスクに設定できる制限を示します。

表 6-3. タスクとサマリタスクに設定可能なスケジューリングの制限

制限	説明	サマリタスクへの設定
できる限り早く	タスクが、作業計画や依存関係で許される最も早い時期にスケジュールされます。 制限が定義されていない場合は推測でスケジュールされます。	可
できる限り遅く	タスクが、作業計画や依存関係で許される最も遅い時期にスケジュールされます。	不可
次の日以前に開始しない	タスクは、指定された日付より前に開始できません。	可
次の日以降に開始しない	タスクは、指定された日付、またはそれ以降に開始しません。	不可
次の日以降には終了しない	タスクは、指定された日付までに必ず終了します。	可
次の日に必ず開始	タスクは、指定された日付に必ず開始します。	不可
次の日以前には終了しない	タスクは、指定された日付より前に終了しません。	不可
次の日に必ず終了	タスクは、指定された日付に必ず終了します。	不可

図 6-2. [タスクの詳細] ページ: [スケジュール] タブ

タスクの監査履歴の表示 すべてのタスク [前へ](#)

タスクの詳細: 1 - Project 1002 [保存](#) [完了](#) [キャンセル](#)

---

名前:   
 プロジェクトパス: [Project 1001](#) > Project 1002  
 ステータス:  シーケンス番号: 1  
 説明:

達成率 (%): 0 アクティビティ:   優先度:

マイルストーンとしてタスクをマークする  
 これは主要マイルストーン  
 マイルストーンは自動的に完了する

---

**タスクの経路**

スケジュール | リソース | 通知 | メモ | 参照

期間 (日数)	工数 (時間)	開始日	終了日
スケジュール済み: 1.00 日	8.00 時間	12/13/10 <input type="button" value="編集"/>	12/13/10 <input type="button" value="編集"/>
実績: 0.00 日	0.00 時間		

制限

制限のスケジュール:  制限日:

先行タスク

タイプ	名前	リレーションシップ	遅延 (日)
<a href="#">先行タスクの追加...</a>			

クリティカルパスマトリクス

最も早い開始日:      最も早い終了日:  
 最も遅い開始日:      最も遅い終了日:  
 余裕期間: 0

タスクのスケジューリング制限を設定するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
 [タスクの詳細] ページが開きます。
2. [タスクの詳細] ページの **[スケジュール]** タブをクリックします。
3. **[制限]** の下にある **[制限のスケジュール]** フィールドから、使用したい制限のタイプを選択します。
4. **[制限日]** フィールドに日付を入力します。
5. **[保存]** をクリックします。

## メモの追加

ユーザは、[タスクの詳細] ページの [メモ] タブに任意の形式のテキストを入力できます。保存したエントリには、タイムスタンプが付与されます。

図 6-3. [タスクの詳細] ページ: [メモ] タブ

The screenshot shows a web interface for task management. At the top, there's a navigation bar with 'すべてのタスク' and '次へ' buttons. Below that, the page title is 'タスクの詳細: 0 - pj1' with '保存', '完了', and 'キャンセル' buttons. The main content area displays task details: '名前: pj1', 'プロジェクト バス: pj1', 'ステータス: [保留中]', 'シーケンス番号: 0', 'ヘルス:', '説明: [ ]', 'オーナー: Admin User', '達成率 (%): 0', 'アクティビティ: [ ]', and '優先度: 0'. Below this is a 'タスクの履歴' section with tabs for 'スケジュール', '貢献度', '通知', 'メモ', and '参照'. The 'メモ' tab is active, showing a 'メモ:' label and a text input field with a dropdown arrow. At the bottom, there's a link for '既存のメモ'.

タスクにメモを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. [メモ] タブをクリックします。
3. [メモ] フィールドにメモを入力します。
4. [保存] をクリックします。

[作業計画] ページの [メモ] 列のチェックマークは、タスクにメモが追加されたことを示します。



[メモ] タブには、作業計画当たり最大32Kの情報を入力できます。



# 通知のセットアップ

プロジェクトの実施中に特定のイベントが発生した際にユーザーに送信する電子メール通知は、[タスクの詳細] ページでセットアップできます。サマリタスクに定義された通知は、サマリタスクのすべての下位タスクに自動的に適用されます。ただし、下位タスクに直接定義された通知は、上位タスクで設定された通知より優先されます。表 6-4に、セットアップできる通知を示します。

図 6-4. [タスクの詳細] ページ: [通知] タブ

タスクの監視履歴の表示 すべてのタスク [前へ](#) [次へ](#)

タスクの詳細: 0 - pj1 [保存](#) [完了](#) [キャンセル](#)

名前: 01  
プロジェクトパス: pj1  
ステータス: [保留中] シーケンス番号: 0 ヘルス:  
説明:   
オーナー: Admin User  
達成率 (%): 0 アクティビティ:  優先度: 0

**タスクの通知**

スケジュール | 実績度 | **通知** | ログ | 参照

通知の送信

リソースのタスクが開始される前にリソースに通知します \* 日前:

リソースのタスクの実行に遅延が生じている場合リソースに通知します \* 間隔:

タスクの実行に遅延が生じている場合、通知します \* 遅延した場合に通知:  日 \* 間隔:   
プロジェクトの参加者:    
リソース:    
セキュリティグループ:

マイルストーンに達したときに通知します  
プロジェクトの参加者:    
リソース:    
セキュリティグループ:

例外が発生したときに通知します  
プロジェクトの参加者:    
リソース:    
セキュリティグループ:

表 6-4. タスクにセットアップ可能な電子メール通知

通知	説明
リソースのタスクが開始される前にリソースに通知します	タスクが開始する前にリソースに通知します。開始日の何日前に通知を送信するかを日数で設定します。
リソースのタスクの実行に遅延が生じている場合リソースに通知します	タスクが遅れていることをリソースに通知します。通知を送信する頻度を指定できます。
タスクの実行に遅延が生じている場合、通知します	作業計画のタスクが遅れていることを複数のユーザに幅広く通知します。この通知には、次のことを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 何日遅れると通知するか</li> <li>● 通知の送信頻度</li> <li>● 通知の送信先ユーザ</li> </ul>
マイルストーンに達したときに通知します	タスクがマイルストーンの場合は、タスクがマイルストーンに達したときに複数のユーザに通知します。通知の送信先ユーザを指定できます。
例外が発生したときに通知します	タスクが例外をトリガしたときに複数のユーザに通知します。通知の送信先ユーザを指定できます。

タスクに通知をセットアップするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[通知]** タブをクリックします。
3. 適切な通知の横のチェックボックスを選択します。
4. **[保存]** をクリックします。

## コストデータの入力

このプロジェクトでHP Project ManagementのFinancial Management機能が有効になっている場合は、[タスクの詳細] ページの[コスト] タブで実際のコストデータのトラッキングと入力が行えます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## タスクへの参照情報の追加

HP Project Managementは、プロジェクトに関する追加情報、つまり参照情報を取得する数々の方法を備えています。参照情報は、[タスクの詳細] ページの[参照] タブから追加します。

図 6-5. [タスクの詳細] ページ: [参照] タブ

タスクの監査履歴の表示 すべてのタスク [前へ](#) [次へ](#)

タスクの詳細: 0 - pj1 [保存](#) [完了](#) [キャンセル](#)

---

名前: pj1  
プロジェクト: pj1  
ステータス: [保留中] シーケンス番号: 0 ヘルス:  
説明:   
オーナー: Admin User  
達成率 (%): 0 アクティビティ:  優先度: 0

---

タスクの削除

[スケジュール](#) | [貢献度](#) | [通知](#) | [メモ](#) | [参照](#)

参照の追加

新規参照: [添付ファイル] [追加](#)

保存時に追加される参照:

[戻る](#) [削除](#)

タスクに参照情報を追加するには、次の手順を実行します。

1. タスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. 参照情報を追加します。
4. **[保存]** をクリックします。

## 既存リクエストの追加

タスクに既存リクエストを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**リクエスト (既存)**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] ウィンドウが開きます。

5. タスクに追加したいリクエストを検索します。
6. 目的のリクエスト、リクエストに対する目的の関係の横にあるチェックボックスを選択して **[追加]** をクリックします。

リクエストとタスク間の先行タスク関係の詳細については、「[先行タスクのセットアップ](#)」(88 ページ)を参照してください。

[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したリクエストが参照情報として表示されます。

7. **[保存]** をクリックします。

## 新規リクエストの追加

新規リクエストは、[参照] タブから作成して直ちにタスクに追加できます。これにより、HP Demand Management で新規リクエストの作成から検索、タスクへの追加を行わずにすむため、時間を節約できます。

タスクに新規リクエストを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

2. [参照] タブをクリックします。

3. [新規参照] フィールドから「リクエスト (新規)」を選択します。

4. [追加] をクリックします。

[新規リクエストの作成] ページが開きます。

5. 新規リクエストに対する目的の関係を選択します。

リクエストとタスク間の先行タスク関係の詳細については、「[先行タスクのセットアップ](#)」(88 ページ)を参照してください。

6. [リクエストタイプ] フィールドからリクエストタイプを選択します。

7. [作成] をクリックします。

リクエストタイプが読み込まれた標準インタフェースが開きます。

8. リクエストのフィールドに必要な情報を指定します。

9. [送信] をクリックします。

リクエストが送信されます。[タスクの詳細] ページの [参照] タブに戻ります。新たに追加したリクエストが参照情報として表示されます。

10. [保存] をクリックします。

## 既存パッケージの追加

タスクにパッケージを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**パッケージ (既存)**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[参照の追加: パッケージ] ウィンドウが開きます。
5. タスクに追加したいパッケージを検索します。
6. 目的のパッケージの横にあるチェックボックスを選択して **[追加]** をクリックします。  
[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したパッケージが参照情報として表示されます。
7. **[保存]** をクリックします。

## 新規パッケージの追加

新規パッケージは、**[参照]** タブから作成して直ちにタスクに追加できます。これにより、HP Deployment Management で新規パッケージの作成から検索、タスクへの追加を行わずにすむため、時間を節約できます。

タスクに新規パッケージを追加するには、次の手順を実行します。

1. [タスクの詳細] ページを開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**パッケージ (新規)**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[新規パッケージの作成] ページが開きます。

5. **[作成]** をクリックします。  
[パッケージ] ウィンドウが開きます。
6. パッケージのフィールドに必要な情報を指定します。
7. **[保存]** をクリックします。  
パッケージが送信されます。[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したパッケージが参照情報として表示されます。
8. **[保存]** をクリックします。

## タスクの追加

タスクにタスクを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**タスク**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[タスクの検索] ウィンドウが開きます。
5. タスクに追加したいタスクを検索します。
6. 目的のタスクの横にあるチェックボックスを選択して **[追加]** をクリックします。  
[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したタスクが参照情報として表示されます。
7. **[保存]** をクリックします。

## リリースの追加

タスクにリリースを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**リリース**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[参照の追加: リリース] ウィンドウが開きます。
5. 追加するリリースを選択します。
6. **[追加]** をクリックします。  
[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したリリースが参照情報として表示されます。
7. **[保存]** をクリックします。

## ドキュメントの追加

タスクにドキュメントを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**添付ファイル**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[ドキュメントの追加] ウィンドウが表示されます。



5. 添付するドキュメントを選択するには、**[参照]** アイコンをクリックします。  
追加したいファイルのあるドライブとディレクトリを開き、そのファイルを選択します。ドキュメントの名前が **[添付]** フィールドに表示されます。
6. **[説明]** フィールドに説明を入力します。
7. **[追加]** をクリックします。  
[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したドキュメントが参照情報として表示されます。
8. **[保存]** をクリックします。

## URLの追加

タスクにURLを追加するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. **[参照]** タブをクリックします。
3. **[新規参照]** フィールドから「**URL**」を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。  
[新規参照URLの作成] ページが開きます。
5. URLの名前を **[URL]** フィールドに入力します。
6. **[説明]** フィールドに説明を入力します。
7. **[追加]** をクリックします。  
[タスクの詳細] ページの **[参照]** タブに戻ります。新たに追加したURLが参照情報として表示されます。
8. **[保存]** をクリックします。

## タスクステータスの変更

タスクのステータスは、[タスクの詳細] ページから変更できます。タスクステータスの詳細については、「[タスクステータス](#)」(117 ページ)を参照してください。

[タスクの詳細] ページからタスクのステータスを変更するには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
2. ページ上部の **[ステータス]** フィールドから新しいタスクステータスを選択します。
3. **[保存]** をクリックします。

# 7 プロジェクトの管理

## プロジェクトの管理の概要

この章では、プロジェクトの開始から終了までを、HP Project Management を使って監督する方法について説明します。

ビジネスイニシアチブは、測定可能なタスクをアサインされたリソースが完了するまでに達成すべき、いくつかの目標に分類できます。タスクは、監視して、スケジュールどおりに行われているかどうかを確認する必要があります。これらのタスクの組織化や構造化を行うためにはプロジェクトと作業計画の管理が必要で、この業務をプロジェクトマネージャが担当します。

プロジェクトマネージャが担当する主な業務を次に示します。

- 調整やスコープ変更の随時実行、および詳細なフェーズ計画による作業計画の作成と管理
- 成果物とコストの面におけるプロジェクトの好調性を維持するための進捗状況のトラッキング
- プロジェクト関連問題の提起や適切な報告など、参加者や利害関係者へのプロジェクトステータスの報告

プロジェクトマネージャが担当するこれらの業務は、HP Project Management の機能を使って統合し、合理的に進めることができます。以降のセクションでは、プロジェクトのセットアップやステータスのトラッキングなど、HP Project Management の一般的なタスクの実行方法について説明します。

▶ HP Project Management では、HP Project Management に関する特定のアクセス権を持つユーザがプロジェクトマネージャです。詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

この章では、次の内容について説明します。

- 「プロジェクトのセットアップ」

すべてのプロジェクトは、トラッキングして表示する情報、インジケータや例外の表示ルール、スケジューリング、作業計画を閲覧できるユーザなど、プロジェクト固有に設定できるオプションを一式備えており、プロジェクトタイプによってデフォルトで設定されています。

- 「作業計画へのタスクの追加」

全体的なオプションをプロジェクトに設定したら、タスクとサマリタスクを整理して、意味のある階層に構造化できます。

- 「ベースラインの取得」

プロジェクトマネージャは、作業計画のベースラインを取得し、それを使って作業計画の開始から終了までの状況を監視できます。

- 「作業計画の更新」

プロジェクトマネージャは、作業計画の更新も行えます。更新後は、作業計画の再スケジュールが必要になる場合があり、開始日と終了日の再計算などが、その例に当たります。

- 「プロジェクトの概要の使用」

プロジェクトマネージャは、プロジェクトヘルスで特定のプロジェクトの進捗状況をトラッキングできるほか、プロジェクトの検索が行えます。また、発生した例外もすべて表示できます。

- 「プロジェクトコストのトラッキングと分析」

プロジェクトコストデータは、プロジェクトマネージャが収集、分析して、予想と実績のトラッキングやプロジェクトサイズの比較、プロジェクトに発生し得る障害の特定が行えます。

- 「作業計画の監査履歴のトラッキング」

作業計画のフィールドなど、プロジェクト自体についてはステータス変更の記録のほか、プロジェクトやタスクの閲覧が可能です。

- 「作業計画のエクスポートと印刷」

プロジェクトマネージャは、幅広いフィルタリングオプションを使って、作業計画やガントチャートを印刷できます。また、ガントチャートをイメージファイルにエクスポートして、プレゼンテーションに使用することもできます。

作業計画やサマリタスクの作成や編集を1人のユーザが行う場合、変更内容を保存できるのは、そのユーザだけです。



1つのプロジェクトに属する異なる2つのサマリタスクを2人のユーザが編集する場合は、それぞれのユーザが保存できるのは自分で開いて編集したサマリタスクだけなので、相互に競合することがありません。

詳細については、「[作業計画の同時編集](#)」(158 ページ)を参照してください。



大規模な Microsoft Project (または大量のプロジェクト) を HP Project Management にインポートすると、新しい設定に対応するため、PPM Center データベース内のテーブルが更新されます。データベースにスコープ変更が発生するため、PPM Center データベースでデータベース統計情報を再度取得してください。この手順について質問等がある場合は、アプリケーション管理者に問い合わせてください。

## プロジェクトのセットアップ

HP Project Management のプロジェクトは、次のコンポーネントで構成されています。

- プロジェクト設定
- プロジェクトの詳細
- 作業計画
  - タスク
  - サマリタスク
  - アクティビティ
  - メモ
  - 参照情報

これらのコンポーネントは、特定のビジネスイニシアチブの定義と処理に使用します。プロジェクトには、プロジェクトの特定の目的に沿って設定されたグローバル設定も数多く含まれています。これらの設定は、プロジェクト

タイプで定義されているプロジェクトポリシーによって定義されます。プロジェクトポリシーの設定によっては、編集できない設定もあります。プロジェクトポリシーの詳細については、次のセクションを参照してください。

- 「プロジェクトフィールド」 (37 ページ)
- 「作業計画」 (39 ページ)
- 「リクエストタイプ」 (43 ページ)
- 「スケジューリング」 (44 ページ)
- 「スケジュールヘルス」 (47 ページ)
- 「コストと工数」 (49 ページ)
- 「コストとアーンドバリューヘルス」 (55 ページ)
- 「Microsoft Project 統合」 (56 ページ)
- 「プロジェクトヘルス」 (59 ページ)
- 「問題ヘルス」 (60 ページ)
- 「タスクの監査」 (62 ページ)
- 「プロジェクトセキュリティ」 (67 ページ)

## プロジェクトのステータス

[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブには、実施中のプロジェクトのステータスが表示されます。これらのステータスは、処理に対する変更の有無によって変化します (『HP Project Management Configuration Guide』参照)。デフォルトのプロジェクトステータスを次に示します。

- **計画中**
- **保留中**
- **アクティブ**
- **完了**
- **キャンセル済み**

## 作業計画へのタスクの追加

プロジェクトの設定後、プロジェクトマネージャは、作業企画の追加と、リソースやリソースグループのアサインなど、タスク詳細の指定が行えます。タスクの個別追加のほか、事前定義されている作業計画テンプレートを基に作業計画の作成が行えます。また、タスクの整理も階層形式で素早く簡単に行えます。

作業計画へのタスクの追加の詳細については、次の章やセクションを参照してください。

- 「作業計画へのタスクの追加」 (83 ページ)
- 「タスクの設定」 (115 ページ)
- 「作業計画テンプレートの使用」 (219 ページ)

## ベースラインの取得

ベースラインとは、プロジェクトに承認された元々の作業計画のことです。ベースラインは、スコープ変更が発生するたびに更新され、変更内容が承認済み計画の一部として反映されます。プロジェクトマネージャは、ベースラインを用い、ベースラインに対して作業計画の現状をスケジュールとコストの面で比較することで、作業計画ヘルスを常に監視しています。

作業計画ベースラインの取得と使用方法の詳細については、「[ベースラインの操作](#)」 (185 ページ) を参照してください。

## 作業計画の更新

プロジェクトの実施期間内に作業計画が変わらないことは滅多にありません。更新は日常的で、これにともないプロジェクトの更新や再編成、再アサインも行われます。更新は、HP Project Managementを使用すると素早く行えます。



作業計画やサマリタスクの作成や編集を1人のユーザが行う場合、変更内容を保存できるのは、そのユーザだけです。詳細については、「[作業計画の同時編集](#)」(158 ページ)を参照してください。

## 作業計画階層の表示と修正

タスクやサマリタスクの順序やグループ化の状態は、[作業計画] ページにグラフィカルに表示されます。

図 7-1. [作業計画] ページ: スケジュールビュー

シ...	名前	ステータス	スケ...	スケジュ...	スケジュ...	スケ...	アサ...	先行タスク	リソース
0	Project 1001	計画中	0.00	9/1/10	9/1/10	0.00	Admin User		Admin User

タスクは、[インデント] アイコンでインデントして、サマリタスクとしてグループ化して整理できます。サマリタスクのタスクは、[アウトデント] アイコンでアウトデントして削除し、別のタスクとして作成できます。サマリタスクとタスクは、[切り取り] アイコンと [貼り付け] アイコンを使って、全体の順序も変更できます。操作の詳細については、「[作業計画階層の作成](#)」(86 ページ)を参照してください。



## 作業計画ステータス

作業計画には、「**計画中**」、「**保留中**」、「**アクティブ**」、「**完了**」、「**キャンセル済み**」というステータスを関連付けることができ、これらのステータスによって、作業計画の計画から完了に至るまでの各種ステージを表示できます。プログラムマネージャは、作業計画を別のステータスに移動することにより、プロジェクトの該当ステージに関連付けられた作業を実施できます。表 7-1 に、作業計画のステージ、それぞれの動作、および用途を示します。

表 7-1. 作業計画のステータスと説明 (1/2 ページ)

作業計画ステータス	動作	用途
計画中	作業計画とタスクが、[マイタスク] ポートレットや PPM Dashboard に表示されません。 通知が送信されず、例外もトリガされません。 作業計画の開始時のステータスです。	このステータスでは、プロジェクトマネージャによる作業計画の開発と操作が可能で、参加者や利害関係者への通知は必要ありません。
アクティブ	作業計画とタスクを [マイタスク] ポートレットと PPM Dashboard で閲覧できます。 通知が送信され、例外がトリガされます。 作業計画の構造も変更可能です。	このステータスは、実行準備が整って活発な管理が行われている作業計画のステータスです。
保留中	通知が送信されず、例外もトリガされません。 階層は修正可能です。	このステータスは、再計画が必要な場合や再検討中のため一時的に保留されている場合など、アクティブな計画の一部の実行を保留する必要がある場合に使用します。作業計画全体をこのステータスにすることも可能です。

表 7-1. 作業計画のステータスと説明 (2/2 ページ)

作業計画 ステータス	動作	用途
完了	[マイタスク] ポートレットでは作業計画とタスクを閲覧できますが、PPM Dashboardでは閲覧できません。 通知が送信されず、例外もトリガされません。	このステータスは、作業が完了した作業計画のステータスです。完了済みのセクションには、タスクは追加できません。
キャンセル 済み	PPM Dashboardでは作業計画とタスクを閲覧できますが、[マイタスク] ポートレットでは閲覧できません。 通知が送信されず、例外もトリガされません。	このステータスは、作業計画のこのセクションの成果物は完了することがなく、作業計画の終了にセクション自体がもはや不要となったことを示す場合に使用します。

HP Project Management は、タスクのステータスも一式備えています。タスクステータスのリストについては、「[タスクステータス](#)」(117 ページ)を参照してください。

## ステータスの変更

プロジェクトマネージャは、作業計画全体、サマリタスク、またはタスクについて、いつでもステータスを変更できます。サマリタスクのオーナーは、所有するタスクの [タスクの詳細] ページから、サマリタスクやタスクのステータスをいつでも変更できます。



ステータスが「完了」または「キャンセル済み」の作業計画は編集できません。編集が必要な場合は、プロジェクトを再度開いてください。

プロジェクトステータスを変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」  
(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。
3. 階層の最上位行をクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
4. ページ上部で新しい**ステータス**を選択します。
5. [保存] をクリックします。

タスクやサマリタスクのステータスを変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」  
(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。
3. ステータスを変更するタスクまたはサマリタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。  
[タスクの詳細] ページが開きます。
4. ページ上部で新しい**ステータス**を選択します。
5. [保存] をクリックします。

## [作業計画] ページからのタスク詳細の編集

特定のフィールドは、[作業計画] ページから編集し、複数のタスクに対して同時に保存できます。

- **名前:** 作業計画テンプレートからインポートされた必須の名前は編集できません。
- **スケジュールされた期間、スケジュールされた開始日、スケジュールされた終了日:** サマリタスクやルートタスクでは変更できません。最初の2つのフィールドは変更できますが、3番目のフィールドは(編集可能な2つのフィールドから)自動的に算出されます。編集可能なフィールドは、作業計画上部の[変更]をクリックすると選択できます。[スケジュールされた期間]がゼロに設定されている場合、そのタスクは自動的にマイルストーンになります。



サマリタスクの[スケジュールされた期間]、[スケジュールされた開始日]、または[スケジュールされた終了日]を更新する場合は、個々のタスクの値を更新してください。

- **スケジュールされた工数:** サマリタスクやルートタスクでは変更できません。このフィールドは、プロジェクトのコストと工数ポリシー(「[作業計画でのスケジュールされた工数](#)」(51 ページ)参照)やタスクの[タスクの詳細] ページ(「[スケジュールされた工数の管理](#)」(123 ページ)参照)で、フィールドを手入力するように設定されている場合に編集できます。



サマリタスクの[スケジュールされた工数]を更新する場合は、個々のタスクの値を更新してください。

手入力した[スケジュールされた工数]は、タスクにアサインされているリソース全員に均等に配分されます。

- **リソース:** ルートタスクでは変更できません。サマリタスクやルートタスクでは、このフィールドにタスクのオーナーが表示されます。
- **アクティビティ:** プロジェクトで有効になっている場合に編集できます。サマリタスクレベルで設定されている場合は、アクティビティセットを持たないすべての下位タスクがこのフィールドを引き継ぎます。
- **先行タスク:** 外部タスクの追加や編集は、このページからでは行えません。ただし、[タスクの詳細] ページから追加した外部タスクは表示されます。また、削除も可能です。リクエストは表示されますが、追加、編集、または削除は、このページからは行えません。

- **ルール**: サマリタスクやルートタスクでは変更できません。このフィールドは、プロジェクトで有効になっている場合に編集できます。タスクにロールやアサインされたリソースがない場合は、そのタスクにリソースをアサインすると、アサインしたリソースのプライマリロールがデフォルトのロールになります。
- **ユーザデータ**: ユーザデータとは、HP Project Managementの各種エンティティに対して定義できる一連のカスタムフィールドのことです。このフィールドは、ユーザデータの妥当性検証コンポーネントタイプがテキストフィールド、ドロップダウンリスト、オートコンプリートリスト、またはデータフィールドの場合に編集できます。必須ユーザデータは、[タスクの詳細] ページを開くと強制的に入力されます。また、作業計画にユーザデータが表示されていて、作業計画からタスクが更新された場合も同様です。タスクのユーザデータに設定されているセキュリティグループとフィールドレベルのセキュリティも、強制的に入力されます。

ユーザデータフィールドにデフォルト値が設定されていても、タスクが保存するまで、その値は[作業計画] ページには表示されません。表示されなくても、デフォルト値は設定されています。

必須ユーザデータは、[作業計画] ページでユーザデータフィールドを選択すると強制的に入力されます。タスクのユーザデータに設定されているフィールドレベルのセキュリティは、強制的には入力されません。

タスクフィールドによっては、[作業計画] ページでは編集できないもの(ステータス、実績、アサインされていない工数、達成率など)もあります。これらのフィールドは、[タスクの詳細] ページから編集します。タスク間の移動など、[タスクの詳細] ページを使ったタスク編集の詳細については、「[タスクの詳細の編集](#)」(120 ページ)を参照してください。また、複数のタスクの同時更新も可能です。詳細については、「[複数タスクの同時設定と編集](#)」を参照してください。

[作業計画] ページからタスクフィールドを編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。  
プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。
2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。
3. タスクを選択します。編集可能な値が、データ入力可能なテキストボックスに表示されます。フィールドには、特定データの選択に使用するアイコンがある場合もあります。テキスト内のデータを修正するか、アイコンをクリックしてデータを修正します。



編集可能なタスクフィールドが必須の場合は、値を入力するまで別のタスクは修正できません。

4. [保存] をクリックすると、変更内容を保存して [作業計画] ページに戻ります。[完了] をクリックすると、変更内容を保存して作業計画を開始したページに戻ります。[キャンセル] をクリックすると、[作業計画] ページの変更内容を保存せずに [プロジェクトの概要] ページに戻ります。



[作業計画] ページ以外で行ったタスク詳細に対する変更 ([編集] > [ステータスの設定] を選択して行ったタスクステータスの変更や [タスクの詳細] ページから行ったアクティビティの変更など) は、[作業計画] ページとは別個に保存、キャンセルされます。つまり、[タスクの詳細] ページから変更したアクティビティは、そのまま保存され、[作業計画] ページからはキャンセルできません。

## 複数タスクの同時設定と編集

[作業計画] ページでは、複数のタスクを選択し、そのタスクの同時更新を次のように行えます。

- 選択タスクに対する実績の更新
- 選択タスクに対するリソースアサインの変更
- 選択タスクにアサインされたロールの変更
- 選択タスクにスケジュールされた日付の前後移動
- 先行タスクとしての選択タスクの順次リンク付け
- 選択タスクのステータス設定

複数のタスクの同時選択は、次のいずれかの方法で行えます。

- [Shift] キーを押しながら、連続する一連の行をクリックして強調表示させます。
- [Ctrl] キーを押しながらクリックして、連続しない複数の行を選択します。



保存後、複数のタスクが更新されて、その保存時にエラーが発生した場合は、エラーを引き起こしたタスクが作業計画で強調表示されます。

## 複数タスクに対する実績の同時編集

実績データは、一連のタスクについて同時に編集できます。



HP Time Managementがプロジェクトで有効になっている場合、HP Time Managementのタイムシートから実績を受け取るように設定されているリソースについては、**実績工数値**を入力できないことがあります。このようなタスクには、時計のようなアイコンが表示されます。

一連のタスクの実績を同時に編集するには、次の手順を実行します。

1. 修正するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [**Shift**] キーまたは [**Ctrl**] キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。

4. [**編集**] をクリックして「**実績**」を選択します。

[実績の入力] ページが開きます。



作業計画がリソースでフィルタされている場合は、フィルタされたリソースのアサインのみが [実績の入力] ページに表示されます。

5. 一連のタスクを任意に更新します。

6. [**保存**] をクリックします。

変更内容が保存されます。

HP Project Management に実績が入力されると、一部の計算が延期されます。詳細については、「[実績の計算](#)」(159 ページ)を参照してください。

## 複数タスクに対するリソースアサインの同時編集

リソースアサインは、一連のタスクに対して次のような同時編集が行えます。

- 選択したすべてのタスクに、特定のリソースまたは一連のリソースをアサイン可能
- 選択したすべてのタスクから、特定のリソースまたは一連のリソースを削除可能

実績がアサインされたリソースはタスクから削除できません。

- 選択した全タスクに共通する特定のリソースは別のリソースと交換可能

開始済みのアサインは交換不可タスクにスケジュールされた工数を手作業で管理している場合、新しいリソースは、古いリソースにスケジュールされた工数を引き継ぎます。

- すべての選択タスクに共通するリソースアサインは、開始済みのタスクに影響を与えずに削除可能

実績を持つタスクは変更されません。

- すべての選択タスクに共通するリソースアサインは、別の1つまたは複数のリソースとすべて交換可能

実績を持つタスクは変更されません。タスクにスケジュールされた工数を手作業で管理している場合、新しいリソースのスケジュールされた工数はゼロに設定されます。

一連のタスクに対するリソースアサインを同時に編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [**shift**] キーまたは [**Ctrl**] キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。



4. **[編集]** をクリックして「**アサイン**」を選択します。  
[リソースのアサイン] ダイアログが開きます。
5. 選択したタスクのリソースのアサインに目的の変更を加えます。
6. **[OK]** をクリックします。  
変更内容が直ちに保存されます。

### 複数タスクに対するアサイン済みロールの同時編集

アサイン済みロールは、一連のタスクについて同時に編集できます。セット内のすべてタスクに以前アサインされていたロールは、すべて新しいロールに置き換わります。

一連のタスクに対するアサイン済みロールを同時に編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。  
プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索 \(164 ページ\)](#)」を参照してください。
2. [プロジェクトの概要] ページで **[作業計画の編集]** をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。
3. **[Shift]** キーまたは **[Ctrl]** キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。
4. **[編集]** をクリックして「**ロールの設定**」を選択します。  
[ロールの設定] ダイアログが開きます。
5. 選択したタスクに目的のロールを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。  
変更内容が直ちに保存されます。

## 複数タスクにスケジュールされた日付の同時移動

一連のタスクにスケジュールされた日付は、任意の日数分、前後に移動できます。選択したタスクは、すべて同じ方向に同じ日数分移動されます。

この機能は、「作業計画のスケジュールリング」(94 ページ)で説明したとおり、HP Project Managementのスケジュールラ ([プロジェクトのスケジュール] アイコンをクリックしてアクセス) を使っていない場合にのみ使用してください。スケジュールラを使っている場合は、そのまま作業計画をスケジュールすることをお進めします。

一連のタスクにスケジュールされた日付を同時に移動するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。

4. [編集] をクリックして「スケジュールのシフト」を選択します。

[タスクスケジュールのシフト] ダイアログが開きます。

5. スケジュールを移動する日数を指定し、[進む] または [戻る] を選択します。

6. [OK] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

## 先行タスクとしての複数タスクの迅速なリンク付け

一連のタスクは、選択して先行タスクとして順次素早くリンク付けできます。タスクには、作業計画で定義されている順番どおりに、先行タスクとの関係がアサインされます。

一連のタスクのリソースアサインを同時に変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [**Shift**] キーまたは [**Ctrl**] キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。

4. [**編集**] をクリックして「**タスクのリンク**」を選択します。

[タスクのリンク] ダイアログが開きます。

5. [**タスクのリンク**] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

## 複数タスクに対するステータスの同時設定

タスクステータスは、一連のタスクについて同時に編集できます。

一連のタスクのリソースアサインを同時に変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [**Shift**] キーまたは [**Ctrl**] キーを押しながらクリックして複数のタスクを選択します。

4. **[編集]** をクリックして「**ステータスの設定**」を選択します。

[ステータスの設定] ダイアログが開きます。

5. 選択したタスクに目的のステータスを選択します。

6. **[ステータスの変更]** をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

## スケジュールと依存関係の更新

プロジェクトマネージャは、いつでもプロジェクトの要素を更新して、ビジネスイニシアチブのステータス変更を反映できます。このような要素の多くは、「**複数タスクの同時設定と編集**」(150 ページ)で説明したとおり、まとめて編集できるタスク詳細です。

### スケジュールされた期間、開始日、終了日、および工数の変更

各種タスク要素の多くは、期間、開始日、制限、先行タスクとの関係など、作業計画のスケジュールに影響を及ぼします。**[スケジュールされた期間]**、**[スケジュールされた開始日]**、および**[スケジュールされた終了日]** フィールドは、[作業計画] ページまたは**[タスクの詳細]** ページで変更できます。

[タスクの詳細] ページで、タスクの**[スケジュールされた期間]**、**[スケジュールされた終了日]**、または**[スケジュールされた工数]** を変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「**プロジェクトの検索**」(164 ページ)を参照してください。

2. **[プロジェクトの概要]** ページで**[作業計画の編集]** をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. タスクをクリックして更新し、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

▶ サマリタスクの**[スケジュールされた期間]**、**[スケジュールされた開始日]**、**[スケジュールされた終了日]**、または**[スケジュールされた工数]** を更新する場合は、個々のタスクの値を更新してください。

#### 4. [スケジュール] タブのフィールドを更新します。

[スケジュールされた開始日] および [スケジュールされた終了日] を更新するには、該当する日付フィールドに目的の日付を入力します。これらの日付を明確に設定し、[プロジェクトのスケジュール] アイコンをクリックしても変わらないようにするには、[制限タイプ] フィールドから **制限タイプ** (「次の日以前に開始しない」など) を選択します。

[スケジュールされた期間] を更新するには、該当するテキストフィールドに新たな情報を入力します。

[スケジュールされた工数] は、プロジェクト設定のコストと工数ポリシー、または [タスクの詳細] ページ ([リソース] タブ) で手入力するように設定されている場合にのみ更新できます。詳細については、「[作業計画でのスケジュールされた工数](#)」(51 ページ) および「[スケジュールされた工数の管理](#)」(123 ページ) を参照してください。

手入力した [スケジュールされた工数] は、タスクにアサインされているリソース全員に均等に配分されます。

#### 5. [保存] をクリックします。

### 先行タスクの変更

作業計画内のタスク間には、たとえばタスクが終了しないと別のタスクが開始できないなどといった、先行タスクとの関係を指定できます。先行タスクは、[作業計画] ページおよび [タスクの詳細] ページから変更できます。

外部タスクとリクエストも、先行タスクとしてタスクに設定できます。先行タスクのタイプ設定の詳細については、「[先行タスクのセットアップ](#)」(88 ページ) を参照してください。

### スケジュールの改訂

作業計画の階層、先行タスクの依存関係、リソース、日付のいずれかを変更すると、スケジュールの改訂が必要になる場合があります。タスクが依存関係と整合しない箇所は、スケジュール警告によって特定できます。

作業計画を再スケジュールすると、HP Project Management が、スケジュールポリシーのプロジェクトタイプで指定されたデフォルトの日付を基に、更新した日付から起算した作業計画全体の新しいスケジュールを生成します。プロジェクトタイプによっては、[プロジェクト設定] ページでデフォルトの日付を変更できる場合もあります。



作業計画の再スケジュールは、一度に1人のユーザしか行えません。

スケジュール更新の詳細については、「[スケジュールの生成](#)」(95 ページ)を参照してください。

新しいスケジュールで良い場合は、作業計画に新たなベースラインを取得します。詳細については、「[ベースラインの取得](#)」(143 ページ)を参照してください。

## 作業計画の同時編集

作業計画はプロジェクトマネージャだけが編集すべきですが、作業計画の異なる部分を編集する多数のプロジェクトマネージャが、1つのプロジェクトを担当することもあります。HP Project Management では、作業計画の別々の部分の編集と更新を同時に行えるため、プロジェクトに変更点をより効率的に反映できます。

### 競合の回避

一般的に、2人のユーザが同じタスクを同時に編集することはできません。

- 2人のユーザが同時にタスクを編集している場合は、最初に変更された内容しか保存されません。2人目のユーザは、いずれの変更内容も保存できません。このようなケースには、リソースがタスクの実績を記録するようなインスタンスも含まれます。

たとえば、Bob がアサインされたプロジェクトのマネージャが Yukio だとします。

- a. Yukio がタスクを開き、変更を加えます。
  - b. Bob が、[マイタスク] ポートレットを使って同じタスクの実績を更新し、[保存] をクリックします。
  - c. Yukio は、タスクに加えた変更内容を保存できません。
- 1人のユーザが作業計画をスケジュールしている最中に、別のユーザが作業計画をスケジュールしようとする、エラーメッセージが出されます。

多くのリソースが実績を入力する時間帯では、プロジェクトマネージャは、作業計画の変更を控えることをお勧めします。

## 実績の計算

[マイタスク] ポートレットやタイムシートを使ってリソースが実績を入力すると、関連するタスク情報は保存されますが、リソースが実績を効率的に入力して保存できるように、次の計算が遅延されます。

- 上位サマリタスクへのコストデータのロールアップ
- 例外の計算
- ヘルスの計算

プロジェクトのスケジュールヘルスと [作業計画] ページには、未処理の計算がペンディングされていることを示すメッセージが表示されます。これらの計算を行う間隔は、PPM Server でスケジュールされたサービスによって定義されており、システム管理者がこのサービスを設定できます。プロジェクトマネージャは、`server.conf` ファイルのパラメータを使って、保存と同時に計算をロールアップするように HP Project Management を設定できます。スケジュールされたサービスとサーバのパラメータの詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## プロジェクトのクリティカルパスの表示

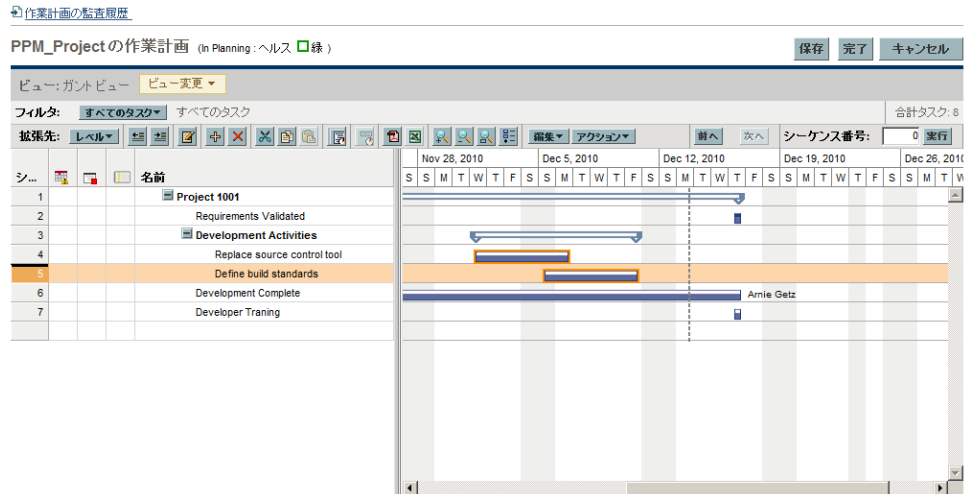
作業計画のクリティカルパスは、作業計画内の期間を決定するすべてのタスクで構成されます。クリティカルパスは、2通りの方法で表示できます。

- [クリティカルパスの強調表示] チェックボックスを選択すると、プロジェクトのガントチャートにクリティカルパスが表示されます。クリティカルパスの一部となっているタスクは、オレンジ色でアウトライン表示されます。
- [クリティカルパス上のタスクをマーク] チェックボックスを選択すると、すべての作業計画ビューでクリティカルパスがオレンジ色のフラグ付きで表示されます。



クリティカルパスの計算は、作業計画のスケジュール後に行われます。作業計画を変更した場合は、作業計画を再スケジュールして、正確なクリティカルパスを取得してください。

図 7-2. [作業計画] ページ: クリティカルパスが表示されているガントビュー



作業計画のクリティカルパスをガントチャートで閲覧するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

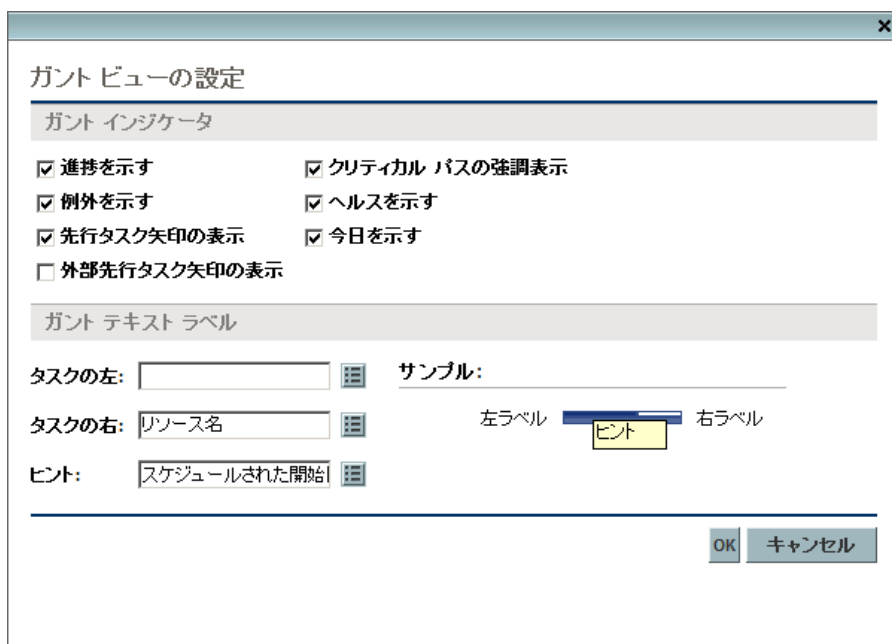
2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。



3. [アクション] をクリックして「ガントの設定」を選択します。

[ガントの設定] ダイアログボックスが開きます。



4. 「クリティカルパスの強調表示」 チェックボックスを選択します。

5. [OK] をクリックします。

ガントチャートにプロジェクトのクリティカルパスが表示されます。

ガントチャートで作業計画のクリティカルパス上のタスクをマーキングするには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

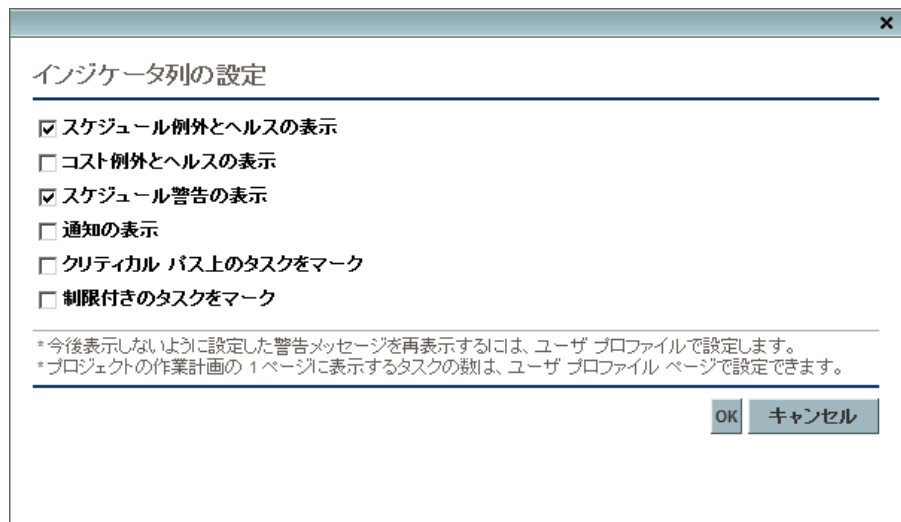
プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. [**アクション**] をクリックして「**インジケータ列の設定**」を選択します。

[インジケータ列の設定] ダイアログボックスが開きます。



4. [**クリティカルパス上のタスクをマーク**] チェックボックスを選択します。

5. [OK] をクリックします。

## プロジェクトの概要の使用

[プロジェクトの概要] ページの各種エリアには、プロジェクトステータスが一元的に表示されます。このページは、財務サマリやスタッフィングプロファイルといった、プロジェクトに関連するエンティティへ移動する際の起点としての役割も果たしており、プロジェクトマネージャとプロジェクトに関与する他のユーザとのコミュニケーションの統合ハブを形成しています。[プロジェクトの概要] ページの各セクションは自動設定型で、コスト関連セクションなど、プロジェクトに関連する場合にのみ、また適切なアクセスレベルのユーザにのみ表示されます。プロジェクトマネージャは、[プロジェクトの概要] ページとそのセクションを使って、表 7-2 に示すアイテムをトラッキングできます。

表 7-2. [プロジェクトの概要] ページのタブとセクション

タブ	セクションと使い方
プロジェクトサマリ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 作業計画フェーズの進捗状況と主要なマイルストーン</li><li>● トリガされた例外</li><li>● プロジェクトの問題</li><li>● プロジェクトのリスク</li><li>● プロジェクトスコープの変更</li><li>● プロジェクトスタッフィング</li><li>● 財務サマリやアーンドバリュー (EV) 分析など、プロジェクトコストデータ</li><li>● HP Time Management との統合</li><li>● プロジェクトがリンクされているプログラム</li></ul>
プロジェクトの詳細	<ul style="list-style-type: none"><li>● プロジェクトサマリ</li><li>● ビジネスケースの詳細</li><li>● リスクと価値の評価</li></ul>
プロジェクトの例外	作業計画のタスクがトリガした例外
参照情報	プロジェクトに添付された参照情報

## プロジェクトの検索

プロジェクトは、次のいずれかの方法で検索できます。

- **サーチボックス**: プロジェクト名が分かっている場合や、名前に特定のフレーズや文字列を含む1つ以上のプロジェクトを検索する場合は、上右隅のサーチボックスを使用します。
- **[プロジェクトの検索] ページ**: プロジェクトマネージャ、プロジェクトタイプ、計画開始日、計画終了日、終了済みプロジェクト、ヘルス、関連プログラム、地域などの基準を基にプロジェクトを検索する場合は、[プロジェクトの検索] ページを使用します。

### サーチボックス

サーチボックスは、特定のテキストを含むプロジェクト名を基にプロジェクトを検索して開く場合に使用します。

サーチボックスを使ってプロジェクトを検索して開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーの右側にあるサーチボックスに、検索するプロジェクト名に含まれるテキストを @ に続けて入力します。テキスト入力を開始するとサブメニューが表示されます(検索には大文字と小文字の区別はありません)。
3. 検索テキストの入力が終わったら、[ **プロジェクトの検索: <検索\_テキスト>** ] を選択します。

検索テキストが1つのプロジェクト名にしかマッチしない場合は、そのプロジェクトの [プロジェクトの概要] ページが開きます。

検索テキストが複数のプロジェクト名にマッチする場合は、[プロジェクトの検索] ページが開き、マッチした名前を持つプロジェクトがリスト表示されます。プロジェクト名をクリックして、そのプロジェクトの [プロジェクトの概要] ページを開きます。

[プロジェクトの概要] ページの詳細については、「[プロジェクトの概要の表示](#)」(202 ページ)を参照してください。

## [プロジェクトの検索] ページ

[プロジェクトの検索] ページは、選択した検索基準を基にプロジェクト検索して開く場合に使用します。

[プロジェクトの検索] ページを使ってプロジェクトを検索して開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[検索] > [プロジェクト] を選択します。

[プロジェクトの検索] ページが開きます。

プロジェクトの検索

表示するプロジェクトの検索

次のプロジェクト番号の詳細を表示:

プロジェクト名 (含む):  プロジェクト マネージャ:

プロジェクト タイプ:

計画開始日が次の日から:  次の日まで:

計画終了日が次の日から:  次の日まで:

終了したプロジェクトを含める:  はい  いいえ

ヘルス:     なし

関連付けられたプログラム:

地域:

ソート基準:   昇順  降順

1 ページ当たりの表示結果数:

3. 該当するフィールドに検索基準を指定します。
  4. [検索] をクリックします。
- [プロジェクトの検索] ページが再度読み込まれ、検索結果が表示されます。
5. プロジェクト名をクリックして、そのプロジェクトの [プロジェクトの概要] ページを開きます。

[プロジェクトの概要] ページの詳細については、「プロジェクトの概要の表示」(202 ページ)を参照してください。

## 作業計画の表示

[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [作業計画] セクションには、プロジェクトの作業計画のうち、トップレベルのタスクが表示されます。

図 7-3. [プロジェクトサマリ] タブ: [作業計画] セクション

作業計画								
名前	December 2010					January 2011		
	2	5	12	19	26	2	9	16
Project 1001	[Gantt Chart]							
Requirements Validated	[Gantt Bar]							
Development Activities	[Gantt Bar]							
Development Complete	[Gantt Bar]							
Developer Training	[Gantt Bar]							
作業計画の編集								
ベースラインの表示								

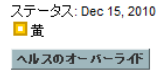
[**作業計画**] セクションからは、次の操作が行えます。

- [**作業計画の編集**] をクリックして**スケジュール**ビューを開き、作業計画を編集します。作業計画の編集の詳細については、「**作業計画の更新**」(144 ページ)を参照してください。
- [**ベースラインの表示**] をクリックして [ベースラインの表示] ページを開き、プロジェクトのベースラインを操作します。ベースラインの操作の詳細については、「**ベースラインの操作**」(185 ページ)を参照してください。

## プロジェクトヘルスの表示

プロジェクトのサマリ条件は、プロジェクトのヘルスと達成率を示すグラフィカルインジケータで、[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブのプロジェクト名の下に表示されます。

図 7-4. プロジェクトのサマリ条件インジケータ



サマリ条件の色は、スケジューリング、問題ヘルス、コストとアーンドバリュアのヘルスを示すヘルスインジケータの加重平均で表されます。これらのインジケータは、[プロジェクトの概要] ページにも表示されます。

図 7-5. プロジェクトヘルスインジケータ

スケジュール	問題	コスト
□	□	□

プロジェクトのサマリ条件の計算方法や設定方法の詳細については、「[プロジェクトヘルス](#)」(59 ページ)を参照してください。

プロジェクトのサマリ条件は、[プロジェクトの検索] ページのすべてのプロジェクト名の横にある列にも表示されます。

## プロジェクトヘルスのオーバーライド

ヘルス色は、次のような理由でオーバーライドしたいこともあります。

- プロジェクトリソースによる実績情報のレポートが遅れているため、HP Project Managementが期限切れ状態を示している
- マネージャによるサマリタスクの入力エラーが原因で、プロジェクトヘルスの計算が正しくない

プロジェクトのサマリ条件インジケータのヘルス色をオーバーライドするには、次の手順を実行します。

1. [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブで、[ヘルスの**オーバーライド**] をクリックします。  
[ヘルスのオーバーライド] ダイアログボックスが開きます。
2. 目的のインジケータ色を選択するか、計算済みの色の使用を選択します。
3. オーバーライドの最終日を入力します。
4. 必要に応じて、[説明の**オーバーライド**] テキストボックスにオーバーライドの理由を入力します。
5. [**完了**] をクリックします。



## マイルストーンの表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブには、マイルストーンを表示する2つのセクションがあります。

- [マイルストーン] セクションには、作業計画内のマイルストーンがリスト表示されます。

プロジェクトの**プロジェクトフィールド**ポリシーで、主要なマイルストーンをトラッキングするように設定されている場合は、主要なマイルストーンのみが [マイルストーン] セクションにリスト表示されます。主要なマイルストーンが指定されていない場合は、すべてのマイルストーンが表示されます。

図 7-6. [プロジェクトサマリ] タブ: [マイルストーン] セクション

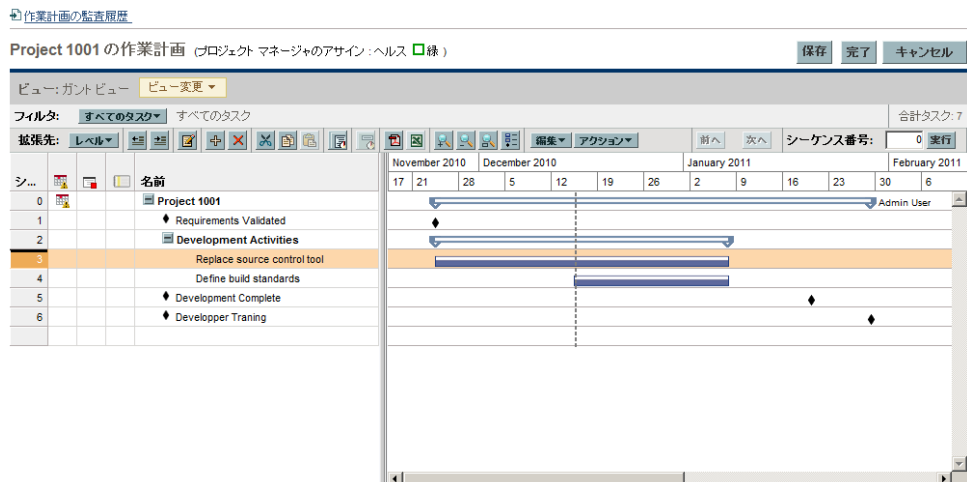


マイルストーン	スケジュールされた終了日	実際の終了日	オーナー
<a href="#">Requirements Validated</a>	Dec 15, 2010		
<a href="#">Development Complete</a>	Dec 15, 2010		
<a href="#">Developer Training</a>	Dec 15, 2010		

- [作業計画] セクションには、トップレベルのタスクとマイルストーンなどが表示された作業計画のガントチャートの一部が表示されます。

[作業計画] ページの**ガント**ビューでは、ガントチャート上のマイルストーンに黒色の菱形が表示されます。

図 7-7. [作業計画] ページ: ガントビュー



## プロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [EV分析サマリ] セクションには、最新データに基づいたプロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析が表示されます。

[分析] をクリックし、プロジェクトの [累積コストメトリクスの分析] ページを開きます。

プロジェクトの累積コストメトリクスの分析の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## プロジェクトコントロールアイテムの表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブには、問題、リスク、スコープ変更といったプロジェクトコントロールアイテムのリスト表示とロギングに特化したセクションを表示させることができます。

たとえば、[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [問題] セクションには、プロジェクトに関してロギングされた問題のサマリが表示されます。プロジェクトに関連する問題は、次の順番で表示されます。

1. エスカレート済みのオープン問題 (優先度順)
2. その他のオープン問題 (優先度順)
3. クローズ済みのオープン問題 (優先度順)

図 7-8. [プロジェクトサマリ] タブ: [問題] セクション



リクエスト番号の説明	優先度	ステータス	アサイン先
30211:プログラムエラー	Normal	新規	

[問題] セクションからは、次の操作が行えます。

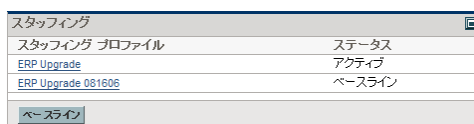
- [問題のログ] をクリックし、他の問題のロギングを行います。プロジェクト問題のロギングの詳細については、「問題のロギング」(178 ページ)を参照してください。
- [完全なリストの表示] をクリックし、プロジェクトに関してロギングされた問題をすべてリスト表示します。

これらのセクションの詳細については、「プロジェクトコントロールエンティティの登録」(178 ページ)を参照してください。

## プロジェクトスタッフィングの表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [プロジェクトスタッフィング] セクションには、プロジェクトに関連するスタッフィングプロファイルとそのステータスがリスト表示されます。

図 7-9. [プロジェクトサマリ] タブ: [プロジェクトスタッフィング] セクション



スタッフィング プロファイル	ステータス
<a href="#">ERP Upgrade</a>	アクティブ
<a href="#">ERP Upgrade 081606</a>	ベースライン

新規スタッフィングプロファイルは、[スタッフィングプロファイルの作成] をクリックし、[プロジェクトスタッフィング] セクションから作成できます。

スタッフィングプロファイルとその作成方法や使用方法の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

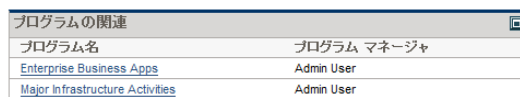
## プログラム関連の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [プログラムの関連] セクションには、プロジェクトが関連付けられているプログラムがリスト表示されます。



[プログラムの関連] セクションは、HP Program Managementの購入とインストールが済んでいる場合にのみ表示されます。

図 7-10. [プロジェクトサマリ] タブ: [プログラムの関連] セクション



プログラム名	プログラム マネージャ
<a href="#">Enterprise Business Apps</a>	Admin User
<a href="#">Major Infrastructure Activities</a>	Admin User

HP Program Management では、マネージャが複数のプロジェクトをプログラムとしてまとめてリンクさせ、それに対するリクエストの送信とトラッキングが行えます。

Program Management Officeを組織で導入する目的は次のとおりです。

- ITプロジェクトとビジネス目標との確実な整合性
- 重複する工数や優先不要の工数の排除
- 運用効率の向上
- リソースの活用
- 納期と予算厳守の納入

プログラムのトラッキングと分析は、プロジェクトと同様に使い慣れたコストメトリクスを使って行えます。

HP Program Managementの詳細については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

## プロジェクトコストデータの表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [プロジェクトコスト] セクションには、プロジェクトのコストデータが表示されます。

図 7-11. [プロジェクトサマリ] タブ: [プロジェクトコスト] セクション



プロジェクトコスト			
財務サマリ (表示金額は、プロジェクトの計画期間 September 2010 ~ August 2011 の金額)			
合計予測:	JPY0.00		
今月末までの予測:	JPY0.00	実績値合計:	JPY0.00
コストの検索 財務サマリを表示			

表 7-3. [プロジェクトコスト] セクションに表示されるデータ

フィールド名	説明
合計予測	プロジェクト計画の期間 (プロジェクトの計画開始時期から計画終了時期まで) 全体を通したプロジェクトの予測
今月末までの予測	計画開始時期から今月末まで (または、先に到来すれば計画終了時期) のプロジェクトの予測
実績値合計	プロジェクト計画の期間全体を通したプロジェクトの実績

[プロジェクトコスト] セクションからは、次の操作が行えます。

- [コストの詳細] をクリックしてプロジェクトの [コストの詳細] ページを開きます。このページには、財務サマリ情報など、プロジェクトコストの詳細情報が表示されます。
- [財務サマリの表示] をクリックしてプロジェクトの [財務サマリ] ページを開きます。

## プロジェクト時間の承認

HP Time Management では、HP Project Management との併用により、タイムシートを使って時間と工数の実績を詳細に入力できます。タイムシートは、独自の認証者と認証プロセスを備えており、さらにきめ細かいコストレポートに使用できます。[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [プロジェクト時間の承認] セクションには、タイムシート用のデーがプロジェクトに関する明細付きで表示され、タイムシートを直接承認または却下できます。

[プロジェクト時間の承認] セクションでタイムシートを承認または却下するには、目的のタイムシートの横のチェックボックスを選択し、[承認] または [却下] をクリックします。

## 例外と警告の表示

例外と警告は、プロジェクトに定義されているルールに対する違反が特定のタスクで発生したことを示します。たとえば、間もなく始まる予定のタスクにリソースがアサインされていない場合や、タスクが一定の日数遅れて終了する場合などが、これに当たります。例外ルールは設定可能です。詳細については、「スケジュールヘルス」(47 ページ)を参照してください。

例外をトリガしたタスクは、[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの例外] タブ、または [作業計画] ページの **スケジュール** ビューから閲覧できます。

図 7-12. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトの例外] タブ

プロジェクトの監査履歴 PDFにエクスポート

プロジェクト: pj1 黄

プロジェクトの例外

プロジェクト ステータス: In Planning フェーズ: プロジェクト  
プロジェクト マネージャー: Admin User プロジェクト地域: Enterprise  
プロジェクトの計画期間: December 2010 ~ January 2011

ステータス: Dec 15, 2010  
黄

スケジュール	問題	コスト
■ 2	□	

ヘルスのオーバーライド

プロジェクト サマリ | プロジェクトの詳細 | プロジェクトの例外 | 参照

2 スケジュール例外

タスク	例外タイプ
1	リソースがアサインされていません
1	アサインされていない工数

## [プロジェクトの概要] ページからの例外の表示

[プロジェクトの例外] タブには、例外をトリガした特定のプロジェクトに含まれるすべてのタスクがリスト表示されます。

プロジェクトの [プロジェクトの例外] タブに移動するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで、[プロジェクトの例外] タブをクリックします。

[プロジェクトの例外] タブが開きます。

3. 注意が必要なタスクまで移動します。

## スケジュールビューでの例外の表示

トリガされた例外は、[作業計画] ページの**スケジュール**ビューのすぐ左にある列に、赤色のエクスクラメーションマークとして表示されます。

タスクに対してトリガされた特定の例外を閲覧するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで **[作業計画の編集]** をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. **スケジュール**ビューのタスクをクリックし、**[編集]** > **[タスクの詳細]** を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

タスク編集に関する適切なアクセス権の有無によっては、タスクのフィールドを編集できないこともあります。特定のタスクを含むプロジェクトを管理していないプロジェクトマネージャや、そのタスクにアサインされていないプロジェクト参加者などのユーザは、タスクの表示しか行えません。

4. **[例外/警告]** タブをクリックします。

タスクの詳細: 1 - Test Entry for LQA1130

名前: Test Entry for LQA1130  
プロジェクトパス: gl > Test Entry for LQA1130  
ステータス: 準備完了  
シークエンス番号: 1  
説明: Test Entry for LQA1130  
達成率 (%): 0  
アクティビティ: Test Entry for LQA  
優先度: 80

マイルストーンとしてタスクをマークする  
 これは主要マイルストーン  
 マイルストーンは自動的に完了する

タスクの履歴

例外	説明
アサインされていない工数	このタスクは、リソースに割り当てられていない 16 時間の工数がスケジュールされています。
リソースがアサインされていません	このタスクはリソースがアサインされていません。

[例外/警告] タブには、タスクが違反しているプロジェクトの例外とスケジュール警告ルールがリスト表示されます。

## スケジュールビューでのスケジュール警告インジケータのクリア

タスクに関連する警告インジケータは、タスクを再スケジュールするとクリアされます。また、[タスクの詳細] ページから特定の警告 (依存タスクに関する部分スケジュール警告と上位タスクおよびさらに上位のタスクに関するスケジュール変更警告) を手動でクリアすることもできます。

タスクの警告インジケータをクリアするには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. **スケジュール**ビューのタスクをクリックし、[編集] > [タスクの詳細] を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

4. [例外/警告] タブをクリックします。

[例外/警告] タブには、タスクが違反しているプロジェクトの例外とスケジュール警告ルールがリスト表示されます。

5. クリアする警告の横にある**インジケータをクリアする**アイコンをクリックします。



## [プロジェクトの概要] ページのPDFへのエクスポート

[プロジェクトの概要] ページは、PDFファイルへのエクスポートに適したサンプルで統一の取れたバージョンを作成できます。

[プロジェクトの概要] ページのエクスポート可能ビューを作成するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで **[PDFにエクスポート]** リンクをクリックします。

[PDF設定] ウィンドウが開きます。

3. 印刷するプロジェクトの概要データ (ポートレット) を選択します。ポートレットのレイアウトは、[プロジェクト設定] の [プロジェクトの概要のレイアウト] (詳細については、「[プロジェクトの概要のレイアウト](#)」(63 ページ)参照) で設定可能です。

4. **[用紙]** セクションで、目的の表示オプションを選択します。

5. **[エクスポート]** をクリックします。

**[PDF文書をブラウザウィンドウに表示する]** チェックボックスを選択している場合は、PDFファイルが別のブラウザウィンドウで開きます。

**[PDF文書をブラウザウィンドウに表示する]** チェックボックスを選択していない場合は、ファイルをPDFリーダーで開くか保存するかを選択できます。

## PPM Dashboard を使った進捗状況の表示

プロジェクトマネージャは、PPM Dashboard を使ってもプロジェクトを閲覧できます。このインタフェースは、ポートレットという設定可能な一連のアプリケーションウィンドウとともに提供され、HP Project Management の一般的なクエリや操作は、このインタフェースを使って行えます。

## プロジェクトコントロールエンティティの登録

HP Project Management では、特定のプロジェクトに対する問題、リスク、およびスコープ変更をロギングできます。これらのエンティティのトラッキングとロギングは、[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある該当セクションから行えます。



プロジェクトタイプのリクエストタイプポリシーにプロジェクトコントロールエンティティのリクエストタイプが指定されていない場合は、[プロジェクトの概要] ページの対応セクションに [ログ<プロジェクトコントロールアイテム>] ボタンが表示されません。

### 問題のロギング

プロジェクトの問題は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意問題として提起できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。

プロジェクトのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [問題] セクションの [問題のログ] ボタン
- メニューバーの [開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール] > [プロジェクト問題の登録] オプション

プロジェクトの問題をロギングするには、次の手順を実行します。

1. 任意のタイミングでプロジェクトを開き、[問題のログ] をクリックするか、[開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール] > [プロジェクト問題の登録] を選択します。


[新規 プロジェクトの問題 の作成] ページが開きます。


新規 プロジェクトの問題 の作成

すべて展開する すべて折りたたむ 送信 キャンセル

ヘッダー  
サマリ

問題ステータス: 未送信



作成者: Admin User アサイン先:   

プロジェクト:  

優先度:  エスカレーション レベル:

説明:

詳細  
問題の詳細

特定日:   期日:  

問題タイプ:

詳細な説明:

提案された解決:

ビジネス権能:

メモ

保存時に追加されるメモ:

参照

送信 キャンセル

2. すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。
3. [送信] をクリックします。

問題が送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

## リスクのロギング

リスクは、特定のプロジェクトに対して要注意の重大問題として送信できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。

プロジェクトに対するリスクのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [リスク] セクションの [リスクのログ] ボタン
- メニューバーの [開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール] > [リスクの登録] オプション

プロジェクトに対するリスクをロギングするには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトを開き、[リスクのログ] をクリックするか、[開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール] > [リスクの登録] を選択します。



[新規 プロジェクトリスク の作成] ページが開きます。


新規 プロジェクト リスク の作成

すべて展開する すべて折りたたむ 送信 キャンセル

ヘッダー  
サマリ

リスク ステータス: 未送信


作成者: Admin User アサイン先:   

プロジェクト:  

優先度:  リスク インパクト レベル:  可能性:

説明:

詳細  
リスクの詳細

リスク タイプ:  特定日:  

詳細な説明:

クローズ基準:

アクション計画:

メモ  
保存時に追加されるメモ:

参照

送信 キャンセル

- すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。
- [送信] をクリックします。

リスクが送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

## スコープ変更のロギング

スコープ変更は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意のプロジェクトスコープに変更の可能性があることを提起できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。

プロジェクトに対するリスクのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [スコープ変更] セクションの [**スコープ変更のログ**] ボタン
- メニューバーの [**開く**] > [**Project Management**] > [**プロジェクトコントロール**] > [**スコープ変更の登録**] オプション

プロジェクトのスコープ変更をロギングするには、次の手順を実行します。

1. 任意のタイミングでプロジェクトを開き、[**スコープ変更のログ**] をクリックするか、[**開く**] > [**Project Management**] > [**プロジェクトコントロール**] > [**スコープ変更の登録**] を選択します。

[新規 プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成] ページが開きます。



新規 プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成


すべて展開する [すべて折りたたむ](#) 送信 キャンセル

ヘッダー

サマリ

スコープ変更ステータス: 未送信

作成者: Admin User      アサイン先:   


プロジェクト:  

優先度:  ▼      CRレベル:  ▼      ビジネス インパクトの重大度:  ▼

説明:

詳細

スコープ変更の詳細

アサイン先リリース:       実装目標日:  

詳細な説明:

提案された変更のベネフィット:

代替:

インパクトを受ける成果物のリスト:

インパクト サマリ:

財務上のインパクト:       スケジュール上のインパクト (日数):

メモ

保存時に追加されるメモ:

参照

送信 キャンセル

2. すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。

3. **[送信]** をクリックします。

スコープ変更が送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

## プロジェクト設定と参加者の表示

プロジェクト設定と参加者の表示と調整は、プロジェクトの実施中いつでも行えます。

- プロジェクト設定、およびプロジェクトポリシーとの相互作用の詳細については、「[プロジェクトポリシーの設定](#)」(36 ページ)を参照してください。
- プロジェクトの参加者とそのリストの設定方法の詳細については、「[プロジェクト参加者の定義](#)」(74 ページ)を参照してください。

## プロジェクトの日付制御

プロジェクトに関する次のエンティティには、有効な開始日と終了日が設定されています。

- **プロジェクト**: [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトの詳細**] タブに、プロジェクトの [**計画開始期間**] と [**計画終了期間**] が指定されています。
- **作業計画**: プロジェクトの作業計画は、プロジェクトの主要な成果物にスケジュールされた開始日と終了日を表します。
- **スタッフィングプロファイル**: プロジェクトのスタッフィングプロファイルには、 [**開始期間**] と [**終了期間**] が指定されています。
- **財務サマリ**: プロジェクトの財務サマリには、 [**開始期間**] と [**終了期間**] が指定されています。



日付の操作を行う場合は、次の点に注意してください。

- プロジェクトの [**計画開始期間**] と [**計画終了期間**] は、他の日付より優先されます。
- プロジェクトの [**計画開始期間**] は削除できません。
- プロジェクトの [**計画開始期間**] は修正可能です。ただし、元の [**計画開始期間**] より早い日付は指定できません。また、元の [**計画開始期間**] 以降の財務サマリに実績は入力できません。 [**計画開始期間**] を修正すると、次のようになります。
  - 手作業で入力した予測 (計画) コストが、元の開始時期から新たな開始時期に移動します。
  - スタッフィングプロファイルの予測工数が、元の開始時期から新たな開始時期に移動し、スタッフィングプロファイルの影響を受ける財務サマリ内の明細が再計算されます。
  - 元々の [**計画開始期間**] 以前の実績は移動しません。
- 作業計画の [**スケジュールされた開始日**] と [**スケジュールされた終了日**] がプロジェクトの既存日付範囲に収まっていない場合は、作業計画のスケジュール時にスケジュールリング警告がトリガされます。
- プロジェクトに関連するスタッフィングプロファイルの [**開始期間**] の値は、 [**プロジェクトの詳細**] タブで指定されている値と自動的に同期します。プロジェクトの財務ベネフィットの [**開始期間**] もプロジェクトと同期しますが、実際の [**開始期間**] から相殺されます。

## ベースラインの操作

ベースラインとは、承認済み作業計画のスナップショットのことです。ベースラインは、スコープ変更が発生するたびに更新され、変更内容が承認済み計画の一部として反映されます。プロジェクトマネージャは、ベースラインを用い、ベースライン計画に対して作業計画の現状をスケジュールとコストの面で比較することで、プロジェクトヘルスを常に監視しています。ベースラインの閲覧と操作は、適切なアクセス権を持つユーザしか行えません。

## ベースラインの取得

ベースラインの取得は、[プロジェクトの概要] ページまたは [作業計画] ページから行えます。

[プロジェクトの概要] ページからベースラインを取得するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索 \(164 ページ\)](#)」を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**ベースラインの表示**] をクリックします。

[ベースラインの表示] ページが開きます。

アクティブ	名前	説明	ベースライン作成者	ベースライン作成日
<input checked="" type="checkbox"/>	10/12/21のベースライン (1)		Admin User	2010/12/21

3. [**ベースライン作成**] をクリックします。

[ベースライン作成] ダイアログボックスが開きます。

ベースライン作成

これがアクティブなベースラインになります。

\*名前: 10/12/21のベースライン (2)

説明:

作成 キャンセル

4. ベースラインの [**名前**] とオプションの [**説明**] に入力します。

デフォルトのベースライン名が提示されますが、変更可能です。

5. [**作成**] をクリックします。

ベースラインが取得されます。

[作業計画] ページからベースラインを取得するには、次の手順を実行します。

1. 作業計画を開きます。
2. [作業計画] ページで、[アクション] > [ベースラインの作成] をクリックします。

[ベースライン作成] ダイアログボックスが開きます。

3. ベースラインの [名前] とオプションの [説明] に入力します。  
デフォルトのベースライン名が提示されますが、変更可能です。
4. [作成] をクリックします。  
ベースラインが取得されます。

## ベースラインの管理

ベースラインは、1つの作業計画に対して複数取得できます。ベースラインの名前と説明の更新や、どのプロジェクトのベースラインをアクティブにするかの指定、ベースラインの削除は、いつでも行えます。



プロジェクトのベースラインを取得するには、HP Project Managementのライセンスのほか、プロジェクトのマネージャであること、および作業計画のベースラインの管理アクセス権が必要です。「すべての作業計画のベースラインの管理」アクセス権を持つユーザは、すべてのプロジェクトのベースラインを取得できます。

プロジェクトのベースラインを管理するには、次の手順を実行します。

1. ベースラインを取得するプロジェクトを開きます。
2. [プロジェクトの概要] ページで [ベースラインの表示] をクリックします。  
[ベースラインの表示] ページが開きます。

Project 1001のベースライン

Project 1001のすべてのベースラインの表示				
アクティブ	名前	説明	ベースライン作成者	ベースライン作成日
<input type="radio"/>	19/12/21のベースライン (1)		Admin User	2019/12/21

ベースライン作成      ベースラインの比較      保存      完了      キャンセル

3. プロジェクトに対してアクティブにするベースラインの横にあるオプションを選択します。

4. 削除するベースラインの横にある **[削除]** アイコンをクリックします (オプション)。
  - a. ベースラインの削除を確認するダイアログボックスが開きます。
  - b. **[削除]** をクリックしてベースラインを削除します。
5. **[完了]** をクリックします。

## ベースラインの比較

ベースラインは、相互比較のほか、現在の作業計画とも比較できます。[ベースラインの表示] ページで **[ベースラインの比較]** をクリックし、別のベースラインまたは現在の作業計画とベースラインを比較するレポートを開いて実行します。

## 作業計画でのベースラインデータの表示

作業計画内のアクティブなベースラインデータは、ベースラインに固有の列を作業計画に追加することで表示できます。スケジュールされた開始日、スケジュールされた終了日、スケジュールされた工数、実際の開始日、実際の終了日、実績工数などを、アクティブなベースラインデータとして作業計画から表示できます。作業計画への列の追加の詳細については、「[列の追加/削除](#)」(111 ページ)を参照してください。

## プロジェクトコストのトラッキングと分析

HP Financial Management では、次のような方法でプロジェクトコストのトラッキングと分析が行えます。

- 作業計画からのロールアップなど、財務サマリ内の財務データのキャプチャと比較
- タスクコストのトラッキングでの HP Time Management の利用
- アンドバリュー分析など、グラフ形式やポートレット形式でのプロジェクトコストデータの分析
- アクティビティを用いた作業計画レベルでの SOP 98-1 コンプライアンスの有効化

- プロジェクト参加者の所在地によって異なる通貨の使用

コストデータ、通貨、為替レート、およびSOP 98-1 コンプライアンスの詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## 作業計画のエクスポートと印刷

作業計画は、PDFファイルまたはMicrosoft Excelファイルにエクスポートして、プレゼンテーションに使用できます。

### PDF ファイルへのエクスポート

作業計画をPDFファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. エクスポートするプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. 作業計画表示を調整します。

列の順序とサイズの変更や、サマリタスクの展開と折りたたみ、目的のタスクを表示させるための作業計画のフィルタリングを行うことにより、表示させる一連のタスクを調整できます。

4. [PDF] アイコンをクリックします。

[PDFエクスポートオプション] ダイアログボックスが開きます。



5. プロジェクトのガントチャートの表示オプション、含める列、用紙サイズを選択します。
6. **[エクスポート]** をクリックします。

新しいウィンドウが開きます。このウィンドウは、システムによるエクスポートが終了するまで、一定の間隔で繰り返し再表示されます。

エクスポートが完了したら、リンクを選択してファイルをブラウザで開きます。ファイルの閲覧と保存はこのブラウザで行えます。

## Microsoft Excel ファイルへのエクスポート

作業計画を Microsoft Excel ファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Internet Explorer のバージョン 7 を使用している場合は、インターネットオプションが正しく設定されていることを確認します。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。
2. エクスポートするプロジェクトを開きます。  
プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索 \(164 ページ\)](#)」を参照してください。
3. [プロジェクトの概要] ページで **[作業計画の編集]** をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。

#### 4. [Microsoft Excel] アイコンをクリックします。

新しいウィンドウが開きます。このウィンドウは、システムによるエクスポートが終了するまで、一定の間隔で繰り返し再表示されます。

エクスポートが完了したら、リンクを選択してファイルをブラウザで開きます。ファイルの閲覧と保存はこのブラウザで行えます。

### Microsoft Internet Explorerのインターネットオプションの設定

Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合、Microsoft Excel ファイルにデータをエクスポートするには、インターネットオプションを設定する必要があります。

1. ブラウザから [ツール] > [インターネットオプション] を選択します。  
[インターネットオプション] ウィンドウが開きます。
2. [セキュリティ] タブを選択します。
3. Web コンテンツのゾーンで [信頼済みサイト] を選択します。
4. [サイト] をクリックします。  
[信頼済みサイト] ウィンドウが開きます。
5. このゾーンのWebサイトとして、PPM Serverを入力します。
6. [追加] をクリックします。
7. [OK] をクリックします。
8. [インターネットオプション] ウィンドウで、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。  
[セキュリティ設定] ウィンドウが開きます。
9. カスタム設定を [中低] 以下に設定します。
10. [リセット] をクリックします。  
セキュリティへの変更を確認するダイアログボックスが開きます。
11. このダイアログボックスで、[はい] をクリックします。
12. [セキュリティ設定] ウィンドウで、[OK] をクリックします。
13. [インターネットオプション] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

## 作業計画の監査履歴のトラッキング

HP Project Management では、プロジェクト、作業計画、およびタスクの監査履歴が保持されます。



監査履歴イベントの説明は4,000字まで入力できます。4,000字を超える説明は切り捨てられます。

特定のプロジェクトの監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**プロジェクトの監査履歴**] をクリックします。

[プロジェクトの監査履歴] ダイアログボックスが開きます。

[前へ] または [次へ] をクリックして、情報ページ間を移動します。また、[Excelにエクスポート] リンクをクリックして、ダイアログボックスの内容を Microsoft Excel ファイルにエクスポートすることもできます。

3. 上右隅の [**X**] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

特定の作業計画の監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「[プロジェクトの検索](#)」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。



3. [作業計画] ページの [**作業計画の監査履歴**] リンクをクリックします。  
[作業計画の監査履歴] ダイアログボックスが開きます。

日付	ユーザ	コンテキスト	イベント
Dec 22, 2010 2:04:36 PM	User, Admin	Developer Tools improvements	追加されたタスク Developer Tools improvements
Dec 22, 2010 2:04:36 PM	User, Admin	Developer Tools improvements	追加された作業計画 Developer Tools improvements

[前へ] または [次へ] をクリックして、情報ページ間を移動します。また、[Excelにエクスポート] リンクをクリックして、ダイアログボックスの内容をMicrosoft Excelファイルにエクスポートすることもできます。

4. 上右隅の [**X**] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。  
タスクの監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」(164 ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [**作業計画の編集**] をクリックします。

[作業計画] ページが開きます。

3. **スケジュール**ビューで、タスクをクリックして更新し、[編集]>[タスクの詳細] を選択します。

[タスクの詳細] ページが開きます。

4. [タスクの監査履歴の表示] をクリックします。

[タスクの監査履歴] ダイアログボックスが開きます。

[前へ] または [次へ] をクリックして、情報ページ間を移動します。また、[Excelにエクスポート] リンクをクリックして、ダイアログボックスの内容をMicrosoft Excel ファイルにエクスポートすることもできます。



リソース関連のタスクについては、個々のリソースのリストの代わりに、未変更のリソースのリストがカウント (リソース数) として表示されます。変更 (追加または削除) されたリソースは、個別にリスト表示されます。

5. 上右隅の [X] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## プロジェクトの完了、キャンセル、および削除

すべてのプロジェクトは、最終的には完了します。プロジェクトは、完了させる以外に、それ以上作業が行われない状態に進めることもできます。作業計画ステータスを使用すると、「完了」や「キャンセル済み」に作業計画を明確に区別できます。作業計画ステータスの詳細については、「[作業計画ステータス](#)」(145 ページ)を参照してください。プロジェクトは、適切なレベルのアクセス権を持つユーザーが削除することもできます。

### 作業計画の完了

プロジェクトマネージャは、作業計画のステータスを「**完了**」に設定できます。詳細については、「[ステータスの変更](#)」(146 ページ)を参照してください。

作業計画を手動で「**完了**」に設定すると、次のようになります。

- 未完了のタスクがすべて「**完了**」に設定されます。
- 未完了のサマリタスクがすべて「**完了**」に設定されます。

## 作業計画のキャンセル

ビジネスイニシアチブ上の作業がすべて停止することがあります。努力が収益に見合わないことが分かった場合、リソースが制限されている現状では不可能な場合、別のビジネス上の理由がある場合などです。このような状況を反映するため、タスクのステータスを「**キャンセル済み**」に変更できます。

- 作業計画を手動で「**キャンセル済み**」に設定すると、その下の未完了タスクがすべて「**キャンセル済み**」に設定されます。
- 作業計画は、「**キャンセル済み**」から「**保留中**」に戻すことができます。
- 作業計画を「**アクティブ**」なサマリタスクステータスに移動すると、次のようになります。
  - タスクステータスの再計算が行われます。
  - 以前「**進行中**」だったタスクのステータスは、「**進行中**」には戻りません。

## プロジェクトの削除

プロジェクトを誤って作成することもあります。プロジェクトは、[プロジェクトの概要] ページからプロジェクトマネージャが削除できます。[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブで、[**削除**] をクリックしてプロジェクトを削除します。



いったん削除したプロジェクトは復元できません。プロジェクトの削除は慎重に行ってください。

表 7-4に、プロジェクトの削除に必要な条件を示します。

表 7-4. プロジェクトの削除に必要なアクセス権

削除するアイテム	アクセス権
単独プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"><li>● プロジェクトのプロジェクトマネージャ</li><li>● アクセス権: プロジェクトの削除</li><li>● アクセス権: プロジェクトの編集</li></ul>
実績を持つ 単独プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"><li>● プロジェクトのプロジェクトマネージャ</li><li>● アクセス権: プロジェクトの削除</li><li>● アクセス権: プロジェクトを実績と合わせて削除</li><li>● アクセス権: プロジェクトの編集</li></ul>

プロジェクトを削除すると、スナップショット、実績、手入力データなどの財務サマリも削除されます。タイムシートデータとスタッフィングプロファイルは削除されません。プロジェクトがプログラムと関連付けられている場合は、そのプログラムからプロジェクトが削除されます。

次の場合は、プロジェクトを削除できません。

- プロジェクトに複数の上位プロジェクトがある場合
- プロジェクトが提案から作成されている (プロジェクトと提案が同じ財務サマリを共有する) 場合

## 8 タスクの更新: リソースアクティビティ

### タスクの検索

HP Project Management では、リソースは、プロジェクトチームの一員としてタスクを行う一方で、プロジェクトマネージャの管理責任を持たないユーザとして定義されています。

リソースは、HP Project Management でのタスクステータスを自分で更新します。参加者は、自身のタスクをいくつかの方法で検索できます。

- 「[マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索」

[マイタスク] ポートレットでは、ユーザが作業すべきタスクを確認できます。また、複数のタスクに対する実績を同時に更新できるほか、個々のタスクページへのリンクも利用できます。

- 「タスクとプロジェクトの検索」

リソースは、直接タスクを検索するか、プロジェクトを検索してタスクを含む作業計画からタスクにアクセスすることにより、タスクのメモや参照情報を更新できます。

- 「通知を使ったタスクの検索」

タスクへのアクセスは、電子メールに記載されているリンクを単にクリックするか、電子メールをコピーして Web ブラウザに貼り付けることにより、通知から行えます。

## [マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索

[マイタスク] ポートレットは、HP Project Management または HP Time Management のライセンスと「プロジェクトの表示」、「タスクの更新」、または「プロジェクトの編集」のアクセス権を持つすべてのユーザが利用できます。このポートレットは PPM Dashboard にデフォルトで含まれており、ユーザに現在アサインされているタスクの設定可能リストが表示されます。

参加者は、タスク実績を更新し、プロジェクトマネージャがタスク表示に必要な情報を入力できます。更新できるタスク情報は、プロジェクトタイプや HP Time Management とのプロジェクトの統合状況により、プロジェクトごとに異なります。このように、[マイタスク] ポートレットを使うと、複数のタスクを同時に更新できるため、貴重な時間の節約が可能です。[マイタスク] ポートレットを使ってタスク情報を更新する方法の詳細については、「[マイタスク] ポートレットの使用」(211 ページ)を参照してください。

参加者は、タスクリストのタスク名をクリックして [タスク] ページの閲覧も行えます。詳細については、「[タスク] ページの使用」(213 ページ)を参照してください。

## タスクとプロジェクトの検索

参加者は、検索ボックスまたは [タスク検索] ページと [プロジェクト検索] ページを使って、特定の基準とマッチするタスクやプロジェクトを検索できます。

## タスクの検索

HP Project Management のライセンスと「プロジェクトの表示」または「プロジェクトの編集」のアクセス権を持つプロジェクト参加者は、検索ボックスまたは [タスク検索] ページを使ってタスクを検索できます。タスクのメモと参照情報も同様の方法で更新可能です。

### 検索ボックスの使用

検索ボックスは、特定のテキストで始まるタスク名を基にタスクを検索して開く場合に使用します。タスク名が分かっている場合や、特定のフレーズや文字列で始まる名前のタスクをすべて検索する場合は、検索ボックスを使用します。検索ボックスは上右隅にあります。

検索ボックスを使ってタスクを検索して開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーの右側にある検索ボックスに、検索するタスク名の先頭テキストを @ に続けて入力します。テキスト入力を開始するとサブメニューが表示されます (検索には大文字と小文字の区別はありません)。
3. 検索テキストの入力が終わったら、[ **タスクの検索: <検索\_テキスト>** ] を選択します。

検索テキストが1つのタスク名にしかマッチしない場合は、そのタスクの [タスク] ページが開きます。

検索テキストが複数のタスク名にマッチする場合は、[タスク検索] ページが開き、マッチした名前を持つタスクがリスト表示されます。タスク名をクリックして、そのタスクの [タスク] ページを開きます。

[タスク] ページの詳細については、「[ **タスク** ] ページの使用」(213 ページ)を参照してください。

## [タスク検索] ページの使用

[タスク検索] ページは、選択した検索基準を基にタスク検索して開く場合に使用します。[タスク検索] ページは、リソース、終了済みタスク、タスクステータス、スケジュールされた開始日、スケジュールされた終了日、実績を持つタスク、マイルストーン、プロジェクト名、プロジェクトマネージャなどの基準を基にしてタスクを検索する場合に使用してください。

[タスク検索] ページを使って HP Project Management でタスクを検索するには、次の手順を実行します。



1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[検索] > [タスク] を選択します。

[タスク検索] ページが開きます。

タスクの検索

表示するタスクの検索



タスク名 (前方一致):



リソース:   タスク ステータス:  

終了したタスクを含める  はい  いいえ


例外のあるタスクのみ表示  はい  いいえ


マイルストーンのみ表示  はい  いいえ

スケジュールされた開始日が次の日から:   次の日まで:  


スケジュールされた終了日が次の日から:   次の日まで:  

次の基準を満たすプロジェクト内の検索

プロジェクト名:  

プロジェクト マネージャ:  

\*少なくとも 1 つのフィールドに入力する必要があることを示します。

ソート基準:    昇順  降順  随順

1 ページ当たりの表示結果数:

3. 目的のタスクを検索する基準を指定します。


[タスク検索] ページのフィールドを基に、既存のタスクを検索できます。  
[1 ページ当たりの表示結果数] フィールドで検索結果の最大数を制限すると、より素早く検索できます。



#### 4. [検索] をクリックします。

[タスク検索] ページが再度読み込まれ、検索基準とマッチした結果が表示されます。

タスクの検索

 Excelにエクスポート



表示するタスクの選択

タスク名 Δ	プロジェクト	プロジェクトパス	スケジュールされた開始日
Analysis	Analysis		Dec 22, 2010
BOM Conversion	Project 1001	Project 1001	Dec 22, 2010
Conversions Track	Analysis	Analysis	Dec 22, 2010
Developer Tools improvements	Developer Tools improvements		Sep 1, 2010
Interfaces Track	Project 1001	Project 1001	Dec 22, 2010
Project 1001	Project 1001		Dec 22, 2010

1 - 6 を表示 [前へ](#) [次へ](#)

表示するタスクの検索



タスク名 (前方一致):



リソース:   タスクステータス:  

終了したタスクを含める  はい  いいえ


例外のあるタスクのみ表示  はい  いいえ


マイルストーンのみ表示  はい  いいえ

スケジュールされた開始日が次の日から:   次の日まで:  


スケジュールされた終了日が次の日から:   次の日まで:  

次の基準を満たすプロジェクト内の検索

プロジェクト名:  

プロジェクトマネージャ:  

少なくとも 1 つのフィールドに入力する必要があることを示します。

ソート基準:    昇順  降順 1 ページ当たりの表示結果数:

[検索](#)

#### 5. リストに表示されたタスク名をクリックして [タスク] ページを表示させます。

詳細については、「[タスク] ページの使用」(213 ページ)を参照してください。

## プロジェクトの検索

プロジェクトの検索と閲覧はリソースも行えますが、作業計画の編集を行えるのは「プロジェクトの編集」アクセス権を持つ参加者だけです。参加者は、サーチボックスや[プロジェクト検索]ページを使ってプロジェクトを検索できます。詳細については、「プロジェクトの検索」(164 ページ)を参照してください。

## 通知を使ったタスクの検索

HP Project Management では、タスクへのハイパーリンクを含めるように、プロジェクトマネージャが電子メール通知を設定できます。受信した電子メールにタスクへのリンクが含まれている場合は、リンクをクリックすると、そのタスクの[詳細]ページがWebブラウザで開きます。電子メールのクライアントソフトウェアから直接HTMLリンクを開けない場合は、リンクをコピーしてWebブラウザに貼り付けてください。

## プロジェクト情報の表示

タスク内容の設定や依存タスクの確認、期限の把握が行える標準インタフェースを使って、自分の参加するプロジェクトをリソースが閲覧したい場合もあります。

## プロジェクトの概要の表示

[プロジェクトの概要] ページでは、プロジェクトの名前、ステータス、達成率、マネージャ、および計画時期など、特定のプロジェクトに関する幅広い情報が表示されます。これらを含むすべてのデータは、[プロジェクトの概要] ページの次のセクションやタブに、整理して表示されます。

- [作業計画] セクション: [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにあるこのセクションには、プロジェクト作業計画ガントチャートのトップレベルのタスクが表示されます。「プロジェクトのガントチャートの表示」(205 ページ)を参照してください。
- [マイルストーン] セクション: [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにあるこのセクションには、作業計画のマイルストーンが一覧表示されます。「プロジェクトのマイルストーンの表示」(206 ページ)を参照してください。

- **プロジェクトコントロールアイテムの各セクション:** [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにあるこれらのセクションには、プロジェクトに関して送信された問題やリスク、スコープ変更のサマリ情報が表示されます。詳細については、「[プロジェクトコントロールアイテムの表示](#)」(170 ページ)を参照してください。
- **[プロジェクトスタッフィング] セクション:** [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにあるこのセクションには、プロジェクトのスタッフィングプロファイルへのリンクが表示されます。詳細については、「[プロジェクトスタッフィングの表示](#)」(171 ページ)を参照してください。
- **[プロジェクトの詳細] タブ:** プロジェクトに定義された一連のフィールドが表示されます。「[プロジェクトの詳細の表示](#)」(206 ページ)を参照してください。
- **[プロジェクトの例外] タブ:** トリガされた例外の数と種類、および [例外の詳細] ポートレットへのリンクが表示されます。「[例外の表示](#)」(207 ページ)を参照してください。
- **[参照] タブ:** プロジェクトにリンクされているすべての参照情報 (リクエスト、パッケージ、タスク、他のプロジェクト、リリース、添付ファイル、URL) とプロジェクト内のリンク元がリスト表示されます。「[プロジェクトの参照情報の表示](#)」(208 ページ)を参照してください。

図 8-1. [プロジェクトの概要] ページ: [サマリ] タブ

プロジェクトの概要 [PDFにエクスポート](#)

プロジェクト: PPM  詳細

[プロジェクトの概要](#) [詳細](#) [プロジェクトの概要](#)

プロジェクト ステータス: プロジェクト マネージャのアサイン  
 プロジェクト マネージャ: Admin User  
 プロジェクトの計画期間: December 2010 ~ January 2012

フェーズ: プロジェクト  
 プロジェクト 地域: Enterprise

ステータス: Dec 10, 2010  
 詳細

スケジュール	期間	コスト
	<input type="checkbox"/>	

[作業計画](#) | [プロジェクトの概要](#) | [参照](#)

**作業計画**

名前: November 29, 2010

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat

PPM: [Test Entry for LQA1130](#)

[作業計画の編集](#) [スケジュールの表示](#)

**マイルストーン リマリ**

マイルストーン

マイルストーン	スケジュールされた終了日	実際の終了日	オーナー
<a href="#">Test Entry for LQA1130</a>	Nov 30, 2010		

**問題**

リクエスト番号の説明	優先度	ステータス	アサイン先
<a href="#">30199 test entry for LQA</a>	High	新規	Joseph Banks
<a href="#">30182 test entry for capture of ResultNextIcon</a>	Normal	新規	casayer casayer
<a href="#">30183 test entry for capture of ResultNextIcon</a>	Low	新規	Admin User

[完全なリストの表示](#)

**リスク**

リクエスト番号の説明	ステータス	可能性	インパクト レベル	アサイン先
<a href="#">30200 test entry for LQA</a>	新規	High [26-100%]	Level 2	Carolyn Sayer
<a href="#">30160 test entry for capture of ResultNextIcon</a>	閉鎖	High [26-100%]	Level 3	Admin User
<a href="#">30159 test data for contact capture of Schmidt, Fredrick</a>	閉鎖	Medium [11-25%]	Level 2	Admin User
<a href="#">30181 test entry for capture of ResultNextIcon</a>	新規	Medium [11-25%]	Level 3	casayer casayer

[完全なリストの表示](#)

**スタッフイング**

スタッフイング プロファイル	ステータス
PPM	計画中

[スケジュール](#)

**プログラムの関連**

プログラム名	プログラム マネージャ
PPM LQA2	Admin User

**プロジェクト コスト**

財務サマリ (表示金額は、プロジェクトの計画期間 December 2010 ~ January 2012 の金額)

会計子集	JPY0.00		
今月末までの子集	JPY0.00	実績積合計:	JPY0.00

[コストの計画](#) [財務サマリを表示](#)

[プロジェクトの概要] ページには、リソースの PPM Dashboard に表示できる [プロジェクトリスト] ポートレットのほか、[プロジェクト検索] ページからアクセスできます。

## プロジェクトのガントチャートの表示

[プロジェクトの概要] ページの [作業計画] セクションには、プロジェクト作業計画ガントチャートのトップレベルのタスクが表示されます。作業計画は、[作業計画の編集] をクリックして表示させます。



作業計画の編集に必要なアクセス権がない場合、このボタンの名称が [作業計画の表示] になります。

図 8-2. [プロジェクトサマリ] タブ: [作業計画] セクション

作業計画									
名前	December 2010					January 2011			
	2	5	12	19	26	2	9	16	
Project 1001	[Gantt Bar]								
Requirements Validated	[Gantt Bar]								
Development Activities	[Gantt Bar]								
Development Complete	[Gantt Bar]								
Developer Training	[Gantt Bar]								
作業計画の編集    ベースラインの表示									

## クリティカルパスの表示

作業計画のクリティカルパスは、作業計画の期間を定義するタスクで構成されており、プロジェクトの **スケジュール** ビューで閲覧できます。詳細については、「プロジェクトのクリティカルパスの表示」(159 ページ)を参照してください。

## プロジェクトのマイルストーンの表示

マイルストーンは、成果物の完成や期日の到来など、作業計画内の重要なイベントのマーキングに使用します。作業計画のガントチャートのマイルストーンには黒色の菱形が表示されます。

マイルストーンは、[プロジェクトの概要] ページの [マイルストーン] セクションにも一覧表示されます。

図 8-3. [プロジェクトサマリ] タブ: [マイルストーン] セクション



マイルストーン	スケジュールされた終了日	実際の終了日	オーナー
<a href="#">Requirements Validated</a>	Dec 15, 2010		
<a href="#">Development Complete</a>	Dec 15, 2010		
<a href="#">Developer Training</a>	Dec 15, 2010		

## プロジェクトの詳細の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブには、プロジェクトに事前設定された情報が表示されます。表示内容は、HP Portfolio Management のインストールの有無やカスタムリクエストタイプの設定の有無によって異なります。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## 例外の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの例外] タブには、表示中のプロジェクトに対してトリガされた例外とコスト違反が表示されます。例外をトリガした個々のタスクは、次の情報に従って振り分けられます。

- 例外タイプと違反日数
- タスクのステータス、リソース、スケジュールされた開始日と終了日
- 作業計画のパス

図 8-4. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトの例外] タブ

プロジェクトの監査履歴 PDFにエクスポート

プロジェクト: pj1 黄

プロジェクト外設定 参加者の設定 プロジェクトの削除

プロジェクト ステータス: In Planning フェーズ: プロジェクト  
プロジェクト マネージャー: Admin User プロジェクト地域: Enterprise  
プロジェクトの計画期間: December 2010 ~ January 2011

ステータス: Dec 15, 2010 黄

スケジュール	問題	コスト
<span style="color: red;">■</span> 2	<span style="color: green;">□</span>	

ヘルスのオーバーレイ

プロジェクト サマリ | プロジェクトの詳細 | **プロジェクトの例外** | 参照

2 スケジュール例外

タスク	例外タイプ
1	リソースがアサインされていません
1	アサインされていない工数

このタブは、プロジェクトで発生した個々の例外に固有の内容、問題が発生したタスク (有効となっている例外ルールによっては、問題が発生する恐れのあるタスク)、問題が発生した日付、および問題が発生したタスクの場所が分かるため、リソースにとって有用です。また、「リソースがアサインされていません」という例外が発生したタスクについては、[プロジェクトの例外] タブの [アサイン] をクリックして作業計画を直接開くことができます。

コスト違反の詳細については、「コストとアーンドバリュヘルス」(55 ページ)を参照してください。

## プロジェクトの参照情報の表示

[プロジェクトの概要] ページの [参照] タブには、プロジェクトに参照情報としてリンクされているエンティティが表示されます。参照情報 (リクエスト、パッケージ、タスク、他のプロジェクト、リリース、添付ファイル、URL) は、次の詳細情報付きでリスト表示されます。

- 参照タイプ
- 説明
- 参照者

図 8-5. [プロジェクトの概要] ページ: [参照] タブ

プロジェクトの監査履歴 PDFにエクスポート

プロジェクト: Project 1001  緑

プロジェクトの概要 参照者の設定 プロジェクトの削除

プロジェクト ステータス: In Planning フェーズ: プロジェクト  
プロジェクト マネージャー: Admin User プロジェクトの計画期間: 9月 2010 ~ 12月 2010 プロジェクト地域: Enterprise

ステータス: Dec 22, 2010  緑

スケジュール	問題	コスト
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ヘルスのオーバービュー

プロジェクト サマリ | プロジェクトの詳細 | 参照

リクエスト

参照の追加

新規参照:    強調表示されたアイテムは、このプロジェクトをアクティブに制約しています

保存時に追加される参照:

参照の保存 このプロジェクトの参照を変更した後は、このタブから他の場所へ移動する前に [参照の保存] ボタンをクリックする必要があります。

[参照] タブは、プロジェクトが参照しているすべてのエンティティへの便利なアクセス起点として利用できます。



## リソース情報の表示

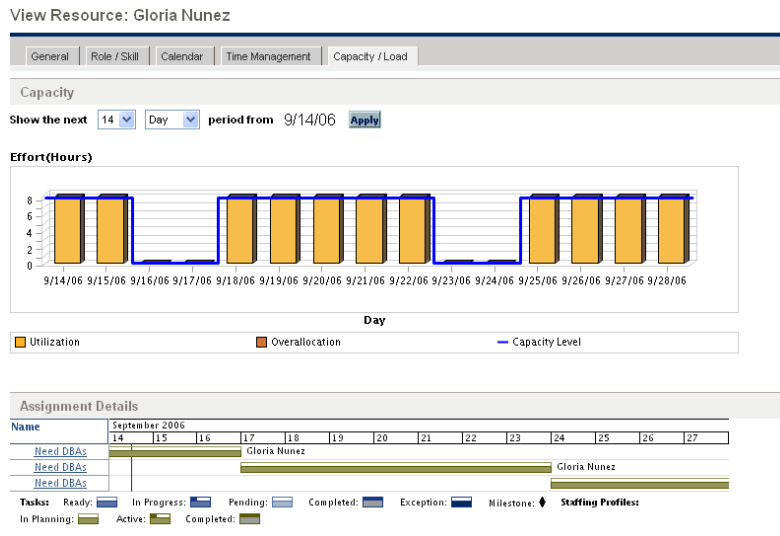
リソースは、現在のアサイン状況に関する情報を [リソースの表示] ページで閲覧できます。[リソースの表示] ページには [キャパシティ/負荷] タブがあり、このタブにはリソースのキャパシティと、直近2週間またはリソースが選択した期間のアサイン状況を示すカスタムガントチャートが表示されます。

[リソースの表示] ページには、メニューバーから [開く] > [管理] > [マイリソース情報の表示] を選択してアクセスします。

適切なレベルのアクセス権を持つプロジェクトマネージャは、ワークロードキャパシティなどのリソース情報も閲覧できます。

図 8-6 に、[リソースの表示] ページの [キャパシティ/負荷] タブを示します。

図 8-6. [リソースの表示] ページ: [キャパシティ/負荷] タブ



[リソースの表示] ページは、メニューバーから [検索] > [管理] > [リソース] を選択して開きます。[リソースの検索] ページで検索基準を指定して [検索] をクリックします。

## タスクスケジュールのエクスポート

HP Project Management では、プロジェクトの作業計画を閲覧してフィルタリングを行い、自分にアサインされたタスクだけを表示させることができる上、個人的に利用できるように、その結果をPDFファイルにエクスポートできます。作業計画の閲覧とフィルタリングを行うには、HP Project Management ライセンスのほか、プロジェクトセキュリティポリシーで定義されているプロジェクトの参加者制限を満たしていること、および最低でも「プロジェクトの表示」アクセス権が必要です。適切なレベルのアクセス権を持たないリソースには、この操作が必要になる場合もあります。

自分にアサインされたプロジェクトのタスクのPDFファイルを取得するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. 編集するプロジェクトを開きます。  
プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」(164 ページ)を参照してください。
3. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。  
[作業計画] ページが開きます。
4. [フィルタの対象] の横の [すべてのタスク] ボタンをクリックして「リソース別のタスク」を選択します。  
[フィルタオプション] ダイアログボックスが開きます。
5. リソースのフィールドから自分の名前を選択して [OK] をクリックします。  
[作業計画] ページが再度読み込まれ、自分にアサインされたタスクだけが表示されます。
6. [PDF] アイコンをクリックします。  
[PDFエクスポートオプション] ダイアログボックスが開きます。
7. プロジェクトのガントチャートの表示オプション、含める列、および用紙サイズを選択します。
8. [エクスポート] をクリックします。

フィルタ済みプロジェクトのPDFファイルを表示する新しいウィンドウが開き、ここで閲覧や保存が行えます。

## タスクの更新

HP Project Management では、タスクの異なる要素について、複数の詳細レベルでリソースが簡単に報告できるようになっています。

- 「[マイタスク] ポートレットの使用」

複数のタスクの実績は、プロジェクトマネージャが直ちに更新が必要と判断した情報を添えて、同時に更新することができます。

- 「[タスク] ページの使用」

リソースは、タスクの更新や保存時のメモや参照情報など、詳しいタスクの内容を閲覧できます。

タスク実績を更新すると、プロジェクトを完了に向けて進めるイベントがプロジェクト内でトリガされます。



HP Time Managementがプロジェクトで有効になっている場合、HP Time Managementのタイムシートから実績を受け取るように設定されているタスクについては、**実績工数値**を入力できないことがあります。このようなタスクには、時計のようなアイコンが表示されます。

### [マイタスク] ポートレットの使用

[**達成率 (%)**] などの特定のタスク詳細のみの更新が、リソースに必要な場合も時にはあります。[マイタスク] ポートレットは、このニーズにも適応し、また複数のタスクを一度に表示する機能も備えています。

ポートレットが収集するフィールドは、プロジェクトがトラッキングしているフィールドで決まり、プロジェクト設定の各種ポリシーで制御されています。詳細については、[第3章「プロジェクトタイプの設定」\(33 ページ\)](#)を参照してください。

マイタスクポートレットには、複数のタスクに関する情報が表示されます。表示するタスクの最大数は、ポートレットのタイトルと同様、ユーザが指定できます。マイタスクポートレットの大半のフィールドは、リソースが更新できます。

[マイタスク] ポートレットをHP Time Managementと統合すると、タスクの実績をタイムシートを使って更新できます。HP Time Managementとの統合の詳細については、第11章「HP Time Managementとの統合」(329ページ)を参照してください。

マイタスクポートレットのフィールドを更新するには、次の手順を実行します。

1. 目的のフィールドを更新します。
2. [保存] をクリックします。



更新を有効にするには、必ず[保存] をクリックしてください。保存することにより、更新内容がHP Project Managementに反映されます。

変更した内容をクリアし、すべてのフィールドを以前の値にリセットするには、[リセット] をクリックしてください。

## マイタスクポートレットの検索

[マイタスク] ポートレットには、リソースのホームページがデフォルトで表示されます。ホームページには、メニューバーから[ダッシュボード]>[フロントページ]を選択して、いつでも移動できます。

## HP Time Managementとの統合

HP Time Managementでは、タイムシートと相互に作用し合うマイタスクポートレットを使って、さらにきめ細かいレベルで実際の工数値を入力できます。HP Time Managementとの併用時には、次のことに注意してください。

- マイタスクポートレットは、必要に応じてタイムシートまたはタイムシートの明細を作成します。
- 時間を入力する前に、[タイムシートの使用] フィールドに入力する時間に正しい期間が選択されていることを確認してください。
- [実績工数] の値をクリックすると[工数の内訳] ダイアログボックスが開き、関連するタイムシートの明細エンTRIESを編集できます。

- タイムシートエントリがタスクに作成されると、タスクの実際の開始日と終了日はタイムシートによって決められます。
- 時間はサマリタスクについてトラッキングが可能で、プロジェクトがこのレベルで時間のトラッキングを行うと、[マイタスク] ポートレットに表示されます。また、実績工数以外は個々のタスクも確認可能なため、特定の成果物についての進捗状況を工数と切り離して示すことができます。

統合の詳細については、[第 11 章「HP Time Management との統合」\(329 ページ\)](#)を参照してください。

## [タスク] ページの使用

[タスク] ページには、1つのタスクの複数の要素についての詳細情報が指定されています。タスクに関するメモと参照情報は、次のユーザが [タスク] ページで更新できます。

- 「プロジェクトの編集」アクセス権を持つユーザ
- 「タスクの更新」アクセス権を持ち、タスクにアサインされているユーザ

[タスク] ページでメモや参照情報を更新するには、次の手順を実行します。

1. 次に示すいずれかの方法でタスクを開きます。
  - 「タスクとプロジェクトの検索」(198 ページ)
  - 「[マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索」(198 ページ)
  - 「通知を使ったタスクの検索」(202 ページ)

[タスク] ページが開きます。

2. タスクの [メモ] または [参照] の情報を更新します。

タスクに参照情報を追加する詳細については、「[参照情報の表示と修正](#)」を参照してください。

3. [保存] をクリックします。

## 参照情報の表示と修正

HP Project Management は、プロジェクトに関する追加情報、つまり参照情報を取得する数々の方法を備えています。タスクには他のエンティティや情報元への参照情報を含めることができるため、現在のプロジェクトに関連するデータに簡単にアクセスして確認できます。タスクには、次の参照情報を追加できます。

- URL
- 添付ファイル (PDFファイル、JPEGイメージ、Java .classファイルなど、サーバに保管できるもの)
- リクエスト
- パッケージ
- タスク
- 他のプロジェクト
- リリース

タスクの参照情報は [タスク] ページから追加します。プロジェクトマネージャは、[プロジェクトの概要] ページの [参照] タブを使って、プロジェクトレベルで参照情報を追加できます。

### タスクへの参照情報の追加

Web にアクセスできるファイルを参照できるほか、ファイルをローカルマシンから現在のタスクに添付できます。

#### ファイルの追加

ファイルを参照情報として追加するには、次の手順を実行します。

1. [タスク] ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。
2. [新規参照] フィールドから「添付ファイル」を選択します。
3. [追加] をクリックします。

[ドキュメントの追加] ページが表示されます。

ドキュメントの追加

ファイル:  参照...

作者: Admin User

説明:

追加 キャンセル

4. 目的のファイルをマシンから選択し、必要に応じて説明を入力します。
5. **[追加]** をクリックして、選択した添付ファイルを参照情報として追加します。

[タスク] ページの **[保存時に追加される参照]** リストに、参照用添付ファイルが表示されます。参照情報はまだ追加されていません。

6. **[保存]** をクリックして添付ファイルをタスクに追加します。

## URLの追加

URLを参照情報として追加するには、次の手順を実行します。

1. [タスク] ページに移動し、**[参照]** セクションまで下にスクロールします。
2. **[新規参照]** フィールドから「URL」を選択します。
3. **[追加]** をクリックします。

[参照 URL] ページが開きます。

参照 URL

URL:  URL の表示

説明:

OK キャンセル

4. [URL] フィールドにURLを入力し、必要に応じて説明を入力します。
5. [追加] をクリックして、指定したURLを参照情報として追加します。

[タスク] ページの [保存時に追加される参照] リストに、参照用URLが表示されます。参照情報はまだ追加されていません。

6. [保存] をクリックして参照情報をタスクに追加します。

## 参照情報の表示と編集

タスクにリンクされている参照情報は閲覧可能です。参照情報は、[タスク] ページの [参照] セクションにリスト表示されます。

現在タスクにリンクされている参照情報を閲覧するには、次の手順を実行します。

1. [タスク] ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。
2. 閲覧する参照情報の名前をクリックします。
  - 参照情報がURLの場合、URLがWebブラウザで開きます。
  - 参照情報がファイルなどの場合、Web ブラウザが通常の処理を行い、直接ファイルを開くか、ローカルマシンに保存するかどうかを確認します。
  - 参照情報がプロジェクトの場合、[プロジェクトの概要] ページが開き、そのプロジェクトに関連するサマリ情報が表示されます。
  - 参照情報が別のPPM Centerエンティティ(リクエスト、パッケージ、タスク)の場合、そのエンティティの[詳細] ページが開きます。



HP Demand ManagementとHP Deployment Managementのライセンスがある場合は、リクエストまたはパッケージをクリックして詳細ページにアクセスできます。その後、通常のPPM Center操作でエンティティの更新が可能です。

タスク編集が許可されている場合は、タスクの参照情報を修正できます。参照情報の新規追加のほか、既存追加情報との関係の削除と変更が行えます。



また、タスクとプロジェクトに関連する参照情報は、[プロジェクトの概要] ページの [参照] タブで閲覧することもできます。

図 8-7. [プロジェクトの概要] ページ: [参照] タブ

プロジェクトの概要 | PDFにエクスポート

プロジェクト: Project 1001  緑

プロジェクト外設定 | 参照者の設定 | **プロジェクトの参照**

プロジェクト ステータス: In Planning  
プロジェクト マネージャ: Admin User  
プロジェクトの計画期間: 9月 2010 ~ 12月 2010

フェーズ: プロジェクト  
プロジェクト地域: Enterprise

ステータス: Dec 22, 2010  
 緑

スケジュール	問題	コスト
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ヘルスのオーバーライド

プロジェクト サマリ | **プロジェクトの詳細** | 参照

リクエスト  
参照の追加

新規参照:    強調表示されたアイテムは、このプロジェクトをアクティブに制御しています

保存時に追加される参照:

**参照の保存** このプロジェクトの参照を変更した後は、このタブから他の場所へ移動する前に [参照の保存] ボタンをクリックする必要があります。

## 参照情報の削除

タスク編集が許可されている場合は、タスクの参照情報を削除できます。

タスクの参照情報を削除するには、次の手順を実行します。

1. [タスク] ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。
2. 参照情報の左にある [削除] アイコンをクリックします。

削除を確認するメッセージが表示されます。

3. [はい] をクリックします。

参照情報がタスクから削除されます。



## 9 作業計画テンプレートの使用

### 作業計画テンプレートのセットアップ

HP Project Management では、数々のプロジェクトのモデルおよびベースとして繰り返し使用するプロセスの作成に、作業計画テンプレートを使用します。

作業計画テンプレートを使うと、作業計画をより素早くセットアップできます。繰り返し使用する一連のタスクはテンプレートにまとめ、通知やリソースのアサイン、先行タスクを変えずに作業計画の作成に使用できます。

たとえば、数種類の異なるソフトウェア製品を持つ企業では、すべての開発工数に同じプロセスが使われていることがあります。このような場合、プロジェクトを計画するたびに作業計画を個別に作成するのではなく、作業計画テンプレートを使って個々のプロジェクトの作業計画を作成できます。作成後は、プロジェクトマネージャが、必要に応じて各プロジェクトの情報を変更できます。

作業計画テンプレートは、階層化されたタスクで構成されています。一連のタスクも、**スケジュール**ビューで作業計画を操作するのとはほぼ同じ方法で編集できます。

図 9-1. 作業計画テンプレートの定義

作業計画テンプレート: ERP App Dev Template

保存 完了 キャンセル

拡張先: レベル▼ 複製▼ アクション▼

合計タスク: 16 前へ 次へ シーケンス番号: 0 実行

シ...	名前	スケジュールさ...	スケジュールさ...	先行タスク	リソース	ロール	アクティビティ
0	ERP App Dev Template	42.00	336.00				
1	Phase I: Project Startup	28.00	224.00				
2	Complete detailed plan	10.00	80.00				
3	Finalize team logistics	2.00	16.00	2			
4	Finalize infrastructure plan	1.00	8.00	2			
5	Project startup deliverables	15.00	120.00				
6	Phase I: Project Startup	0.00	0.00	3, 4, 5			
7	Phase II: Business Operations Analysis	14.00	112.00				
8	Functional Area 1	14.00	112.00				
9	As-is analysis	3.00	24.00				
10	As-is documentation	2.00	16.00	9			
11	Requirements interviews	5.00	40.00	10			
12	Requirements documentation	2.00	16.00	11			
13	Prioritization and scope agreement	2.00	16.00	12			
14	Functional area 1 requirements complete	0.00	0.00	13			
15	Phase II: Business ops analysis complete	0.00	0.00	8			

## 作業計画テンプレートの作成と管理

作業計画テンプレートの作成と管理は、メニューバーから行います。

- 作業計画テンプレートを作成するには、[作成] > [管理] > [作業計画テンプレート] をクリックします。[作業計画テンプレートの作成] ページが開き、作業計画テンプレートを作成できます。
- 作業計画テンプレートを管理するには、[検索] > [管理] > [作業計画テンプレート] をクリックします。[作業計画テンプレートの管理] ページが開き、システムの作業計画テンプレートがすべて表示されます。作業計画テンプレート名をクリックして[テンプレートの詳細] ページを開きます。

## 作業計画テンプレートへのタスクの追加

作業計画テンプレートを作成すると、[作業計画テンプレート] ページが開きます。作業計画テンプレートにタスクを追加する方法は、スケジュールビューでタスクを追加する方法と同じです。詳細については、「作業計画へのタスクの追加」(83 ページ)を参照してください。



作業計画テンプレートのフィールドによっては、タスクがない場合やタスクの更新が行えない場合があります。

## 作業計画テンプレートでのタスクの設定

作業計画テンプレート内のタスクと通知は、**スケジュールビュー**と同じ方法で設定できます。詳細については、「**タスクの詳細の編集**」(120 ページ)を参照してください。



作業計画テンプレートのフィールドによっては、タスクがない場合やタスクの更新が行えない場合があります。

タスクは、必要に応じて作業計画テンプレート内でマーキングすることができます。必須タスクは、名前を変更できない上、テンプレートを使って作成した作業計画から削除することもできません。タスクを必須とマーキングするには、[タスクの詳細] ページの [**このテンプレートから作成された作業計画にはこのタスクが必要**] チェックボックスを選択します。

## 作業計画テンプレートへのアクセスの設定

作業計画を使用または編集できるユーザは、[アクセスの設定] ページで決めることができます。作業計画へのアクセスを設定するには、[テンプレートの詳細] ページの [**アクセスの設定**] をクリックします。

## 既存作業計画からの作業計画テンプレートの作成

プロジェクトマネージャは、既存作業計画から新規作業計画テンプレートを作成できます。Microsoft Projects を HP Project Management の作業計画テンプレートに変換する場合は、まず Microsoft Project を HP Project Management にインポートし、それをテンプレートに変換します。Microsoft Projects ファイルを PPM Center のプロジェクトに変換する方法の詳細については、「**HP Project Management と Microsoft Project との統合**」(225 ページ)を参照してください。



既存の作業計画は、「作業計画テンプレートの編集」アクセス権を持つユーザのみが作業計画テンプレートに変換できます。

既存の作業計画から作業計画テンプレートを作成するには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトを開きます。
2. **スケジュールビュー**で、**[アクション]**をクリックして**「作業計画をテンプレートに変換」**を選択します。

[作業計画をテンプレートに変換] ダイアログボックスが開きます。



▶ 自分のほかに作業計画を編集しているユーザがいると、作業計画をテンプレートに正常に変換できません。他のユーザが作業計画を編集している場合は、「別のユーザによって編集されています」というメッセージが表示され、変換が停止します。

3. 新規作業計画テンプレートに新しい **[テンプレート名]**、**[テンプレートオーナー]**、および **[説明]** を指定します。
4. 関連するチェックボックスを選択して **[通知]** を含めるかどうかを選択します。

作業計画からテンプレートにコピーするアイテムのリストについては、「[作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細](#)」を参照してください。

5. **[変換]** をクリックします。

変換が完了するとダイアログボックスが開きます。

6. **[テンプレートの編集]** をクリックして新規作業計画テンプレートを編集します。

▶ 作業計画からテンプレートへの変換時、新しいテンプレートに作業計画の詳細がすべてコピーされるわけではありません。作業計画やタスクの実際の期間、工数、開始日、および終了日など、作業計画の実績情報は変換中に切り捨てられます。

## 作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細

作業計画から作業計画テンプレートを作成する際には、次のアイテムがコピーまたは切り捨てられます。

- 作業計画テンプレートが引き継がない次のようなデータは切り捨てられます。
  - 外部先行タスク
  - スケジュールされた日付
  - 制限
  - 工数とコスト実績
  - タスクステータス
  - リソースアサインとサマリタスクのオーナー
  - 参照情報
  - メモ
  - ユーザデータ
- スケジュールされた工数は、次のようにコピーされます。
  - 自動算出されたタスクについては、スケジュールされた工数の再計算が行われます。
  - 手作業で入力したタスクについては、合計タスク実績が [**アサインされていない工数**] フィールドに保持されます。
- 上記以外は、すべて作業計画テンプレートにコピーされます。

## 作業計画テンプレートからの作業計画の作成

繰り返し使用するビジネスプロセスが企業にある場合は、事前設定された独自のテンプレートから作成、管理した方が簡単です。

作業計画テンプレートから新規作業計画を作成するには、次の手順を実行します。

1. 新規プロジェクトを作成します。
2. [プロジェクトの概要] ページで [**テンプレートからの作業計画の作成**] リンクをクリックします。

[テンプレートからの作業計画の作成] ダイアログボックスが開きます。

3. [**作業計画テンプレート**] フィールドから目的のテンプレートを選択します。
4. [**作成**] をクリックします。

新規作業計画が、作業計画テンプレートの定義どおりに作成されます。



プロジェクトタイプによっては、特定の作業計画テンプレートがプロジェクトに決められる場合があります。詳細については、「[作業計画](#)」(39 ページ)を参照してください。

作業計画は、別のプロジェクトの既存作業計画から作成することも、別のプロジェクトから既存作業計画にインポートすることもできます。詳細については、「[別プロジェクトからの作業計画の作成](#)」(80 ページ)または「[作業計画のインポート](#)」(84 ページ)を参照してください。



# 10 HP Project Management と Microsoft Project との統合

## HP Project Management と Microsoft Project との統合の概要

HP Project Management は、Plug-in for PPM を使用して Microsoft Project と統合します。この統合により、組織が Microsoft Project 内でスケジュールを計画した場合でも、プロジェクトを緻密に把握できます。統合により、プロジェクトマネージャは Microsoft Project から新規 HP Project Management プロジェクトにプロジェクト情報をインポートできます。プロジェクト情報は、HP Project Management から Microsoft Project にエクスポートすることもでき、Microsoft Project 内に新規プロジェクトが作成されます。インポート、またはエクスポートされたプロジェクトは同期できます。両アプリケーション内のプロジェクト間で共有される情報は、同期中に更新されます。

各 HP Project Management プロジェクトは、プロジェクトのライフサイクルを通して、単一の Microsoft Project ファイルに関連付けられます。これは 1対1 の関係であり、HP Project Management プロジェクトは、特定の場所にある特定の Microsoft Project ファイルに関連付けられます。この関連付けが開始するのは、1つのプロジェクトを使用して他のプロジェクトを作成するとき、つまり、Microsoft Project から新規 HP Project Management プロジェクトにプロジェクト情報をインポートするとき、または HP Project Management から Microsoft Project 内の新規プロジェクトにプロジェクト情報をエクスポートするときです。プロジェクトマネージャはプロジェクトを同期することにより、この関連付けを最新状態に維持します。

## はじめに

プロジェクトマネージャの方針に応じて、各アプリケーションを使用して、さまざまな重要なタスクを実行できます。統合を使用する最も一般的な方法の概要を以下に挙げます。

### ステップ1: Microsoft Project統合オプションを構成します。

この統合を実行する前に、システム管理者は一部の重要な設定が組織のビジネスニーズに合致するかどうかを確認して、調整する必要があります。この作業が完了するまで、Microsoft Project統合は使用できません。

詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

### ステップ2: Plug-in for PPMをインストールします。

この統合を使用するには、Plug-in for PPMをダウンロードしてインストールする必要があります。これには、メニューバーから **[開く]** > **[管理]** > **[Microsoft Project プラグインのダウンロード]** を選択することで、いつでもアクセスできます。



システムにPlug-in for PPMがインストールされていない場合、またはメニューバーにダウンロードオプションが表示されない場合、PPM Center管理者にアクセス方法を確認してください。

Plug-in for PPMをインストールすると、以下のいずれかの方法でMicrosoft Projectを使用してHP Project Management作業計画を操作できます。Plug-in for PPMのインストールの詳細については、「**Plug-in for PPMのインストールとアップグレード**」(228 ページ)を参照してください。

### ステップ3: 同期モードを選択して、計画の管理方法を決定します。

この統合で使用できるさまざまな同期モードの詳細については、「**同期モード**」(234 ページ)を参照してください。

### ステップ4: 作業計画の作成方法を決定します。

作業計画を作成して維持する方法の詳細については、「**HP Project Managementの方針**」(264 ページ)を参照してください。

ステップ5: Microsoft Project統合ポリシーを構成します。

**Microsoft Project統合**ポリシーのプロジェクトレベル設定の構成方法の詳細については、「[統合のためのプロジェクトレベルの設定](#)」(267 ページ)を参照してください。

ステップ6: ユーザプリファレンスの設定 (オプション)

オプションで、Microsoft Project と Plug-in for PPM 間、および PPM Center と Plug-in for PPM 間のインタラクションを変更するプリファレンスを設定できます。「[Plug-in for PPMのユーザプリファレンス](#)」(288 ページ)を参照してください。

ステップ7: 作業計画を作成して管理します。

作業計画が HP Project Management で制御されている場合には、HP Project Management で作業計画を作成し、状況に応じて Microsoft Project で開きます。詳細については、「[Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開く](#)」(299 ページ)を参照してください。

作業計画が Microsoft Project で制御されている場合には、Microsoft Project で作業計画を作成し、HP Project Management で開きます。アプリケーション間でのリソース情報のマッピングは、HP Project Management に Microsoft Project ファイルを送信するときには自動的に行われますが、処理中に手動で調整を行う必要があります。詳細については、「[HP Project Management への Microsoft Project ファイル作業計画の送信](#)」(301 ページ)を参照してください。

制御が共有されていない場合、Microsoft Project 内で作業計画を管理して、HP Project Management を使用して実績を収集します。詳細については、「[Microsoft Project から HP Project Management への作業計画 \(計画\) 情報の送信 \(共有制御モード\)](#)」(306 ページ)、および「[HP Project Management からの実績の取得 \(共有制御モード\)](#)」(304 ページ)を参照してください。

## Plug-in for PPMのインストールとアップグレード

Microsoft ProjectとHP Project Managementとを統合するには、メニューバーからPlug-in for PPMをダウンロードしてインストールする必要があります。これは、1回だけの操作であり、Microsoft ProjectやHP Project Managementを使用するたびに繰り返す必要はありません。システム管理者ではないPlug-in for PPMユーザが(同じユーザではない限り)、システムにPlug-in for PPMをインストールする必要があります。



複数のユーザがシステム上のPlug-in for PPMを使用する場合、各ユーザはPlug-in for PPMの自分用インスタンスをインストールする必要があります(各インスタンスは、別のインストール先フォルダにインストールする必要があります)。

Plug-in for PPMのインストール後に、Microsoft Projectを(2007から2003に)ダウングレードする場合、またはMicrosoft Projectを(2003から2007に)アップグレードする場合、Plug-in for PPMを削除してから再インストールする必要があります。

PPM Centerをアップグレードする場合、Plug-in for PPMのアップグレードが必要となる場合があります。Plug-in for PPMのアップグレードの詳細については、「[Plug-in for PPMのアップグレード](#)」(232 ページ)を参照してください。



システムにPlug-in for PPMがインストールされていない場合、またはメニューバーにダウンロードオプションが表示されない場合、PPM Center管理者にアクセス方法を確認してください。

### Plug-in for PPMの要件

以下の項目は、Plug-in for PPMのインストール前に満たしておくべきHP Project ManagementとMicrosoft Projectの要件です。

#### サーバ側の要件

Plug-in for PPMをインストールして使用するためには、ユーザは以下の項目が必要です。

- HP Project Management ライセンス
- 作業計画の同期へのアクセス許可(このアクセス許可は、HP Project Managementに含まれているPPM Project Managerセキュリティグループの一部です)
- Microsoft Project統合オプションを有効にすること(HP Project Management作業計画からMicrosoft Projectを起動するなど、特定のPlug-in for PPM機能

を有効にする場合にのみ必要)。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## クライアント側の要件

クライアント上に以下のソフトウェアが必要です。

- Microsoft Project
- Microsoft .NET Framework (バージョン3.5以降)
- Visual Studio Tools for Office (VSTO) バージョン2005 SE (Microsoft Project 2003用)、またはバージョン3.0 (Microsoft Project 2007用) をシステム管理者がインストールする必要があります。

サポートされる Microsoft Project のバージョンについては、『System Requirements and Compatibility Matrix』を参照してください。

## インストール手順

PPM Center を Microsoft Project と統合するには、Plug-in for PPM をインストールする必要があります。管理者ではない Plug-in for PPM ユーザが Plug-in for PPM をインストールする必要があります。本項では、Plug-in for PPM をインストールするのに実行する手順を説明します。

Plug-in for PPM をインストールするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project が開いている場合は、Microsoft Project を終了します。
2. PPM Center をインストールして構成したら、PPM Center にログオンします。
3. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[Microsoft Project プラグインのダウンロード]** を選択します。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが開くので、setup.exe ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

4. **[実行]** をクリックします。
5. セットアップ言語を選択して、**[OK]** をクリックします。

Plug-in for PPM InstallShield ウィザードが起動します。

▶ 選択した言語によっては、一部のウィンドウの内容が正しく表示されない場合があります。英語を選択しない場合、Windows システムに非 Unicode コンテンツを表示できる言語を選択してください。

Microsoft Project または Microsoft .NET Framework がインストールされていない場合、ユーザまたはシステム管理者は Plug-in for PPM をインストールする前に、Microsoft Project または Microsoft .NET Framework をインストールする必要があります。このソフトウェアをインストールできるようにするため、インストーラは終了します。

▶ Visual Studio Tools for Office (VSTO) がインストールされていない状態で、ユーザにシステムにソフトウェアをインストールする権限がない場合、インストーラは終了します。このソフトウェアをインストールできるユーザとしてシステムにログインし、インストーラを再実行するか、管理者に問い合わせるこのソフトウェアをインストールしてください。

Visual Studio Tools for Office (VSTO) がインストールされていない状態で、ユーザにシステムにソフトウェアをインストールする権限がある場合、インストーラはユーザに VSTO をインストールするように促します。指示に従って、ソフトウェアをインストールします。VSTO をインストールするには、使用許諾契約書に同意する必要があります。

Windows Vista または Windows 7 を実行していて、VSTO のインストールに問題がある場合、VSTO のインストール方法の詳細について「[Windows Vista や Windows 7 への Visual Studio Tools for Office \(VSTO\) のインストール](#)」(323 ページ)を参照してください。

[ようこそ] ページ、その次に [インストール先フォルダ] ページが開きます。[インストール先フォルダ] ページには、Plug-in for PPM インストールのデフォルトディレクトリが表示されます。

6. [インストール先フォルダ] ページで、デフォルトディレクトリに Plug-in for PPM をインストールするか、インストール用ディレクトリを選択します。

▶ 複数のユーザがシステム上の Plug-in for PPM を使用する場合、各ユーザは Plug-in for PPM の自分用インスタンスをインストールする必要があり、Plug-in for PPM の各インスタンスは、別のインストールフォルダにインストールする必要があります。

デフォルトディレクトリをそのまま使用するには、[インストール] をクリックします。別のディレクトリにインストールするには、以下のようにしてインストールディレクトリを変更します。

- a. [変更] をクリックします。

[現在のインストール先フォルダの変更] ページが開きます。

- b. インストール先フォルダを参照して、選択します。

▶ インストールフォルダへの書き込みアクセス許可が必要です。

インストールフォルダへのパスには、英数字文字のみが含まれる必要があります。

c. **[OK]** をクリックします。

Plug-in for PPM のインストールが開始します。

7. インストールの完了後、**[InstallShield ウィザードの完了]** ページで、**[完了]** をクリックします。

## サイレントインストール

InstallShield ウィザードを開かずに Plug-in for PPM のインストールを実行できます。



サイレントインストールを実行する前に、クライアント側の要件をすべて満たす必要があります (**「クライアント側の要件」**(229 ページ) を参照してください)。サイレントインストールは、これらの要件を確認しません。



複数のユーザがシステム上の Plug-in for PPM を使用する場合、各ユーザは Plug-in for PPM の自分用インスタンスをインストールする必要があり、Plug-in for PPM の各インスタンスは、別のインストールフォルダにインストールする必要があります。別のインストール先フォルダにインスタンスをインストールするためには、サイレントインストールは実行できず、InstallShield を使用してインストールを実行する必要があります (**「インストール手順」**(229 ページ) を参照してください)。

Plug-in for PPM をサイレントインストールするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project が開いている場合は、Microsoft Project を終了します。
2. PPM Center をインストールして構成したら、PPM Center にログオンします。
3. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[Microsoft Project プラグインのダウンロード]** を選択します。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが開くので、`setup.exe` ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

4. **[保存]** をクリックします。
5. システムで、以下のコマンドを入力して `setup.exe` インストーラを実行します。

```
setup.exe /s /v"/qn"
```

## Plug-in for PPMのアップグレード

Plug-in for PPMのインストール後に、Microsoft Projectを(2007から2003に)ダウングレードする場合、またはMicrosoft Projectを(2003から2007に)アップグレードする場合、Plug-in for PPMを削除してから再インストールする必要があります。Plug-in for PPMの削除の詳細については、「[Plug-in for PPMの削除](#)」を参照してください。

PPM Centerをアップグレードする場合、Plug-in for PPMをアップグレードする必要があります。Plug-in for PPMのアップグレードに問題がある場合、Plug-in for PPMを削除してから再インストールします。Plug-in for PPMの旧バージョンを削除するには、管理者権限が必要となる場合があります。

PPM Centerバージョン9.10以降からPlug-in for PPMをインストールした場合、Plug-in for PPMからPPM Centerにログインすると、Plug-in for PPMがアップグレードが必要かどうかを判断します。Plug-in for PPMのアップグレードが推奨される場合や必要な場合、ダイアログにメッセージが表示されます。アップグレードが推奨される場合、Plug-in for PPMの既存バージョンを使用し続けることも、アップグレードすることもできます。アップグレードが必要な場合、アップグレードが完了するまでPlug-in for PPMは使用できません。

Plug-in for PPMをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectが開いている場合は、Microsoft Projectを終了します。
2. PPM Centerにログオンします。
3. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[Microsoft Project プラグインのダウンロード]** を選択します。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが開くので、setup.exe ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

4. **[実行]** をクリックします。

アップグレード (Plug-in for PPMを削除) するのに管理者権限が必要で、その権限が無い場合、インストーラは終了します。管理者にPlug-in for PPMの旧バージョンを削除してもらえると、Plug-in for PPMがインストールできるようになります。

PPM Centerバージョン9.10以降からインストールされたPlug-in for PPMをアップグレードする場合、Plug-in for PPMにアップグレードするのに管理者権限は必要ではありません。





5. セットアップ言語を選択して、**[OK]** をクリックします。

InstallShield ウィザードが起動します。

6. [ようこそ] ページで **[次へ]** をクリックします。
7. 次のダイアログで、**[はい]** を選択して、新しいバージョンにアップグレードします。

Plug-in for PPM の旧バージョンにダウングレードする場合、まず現在のバージョンを削除する必要があります。**[OK]**、**[完了]** の順にクリックして、インストーラを終了します。

Plug-in for PPM の同じバージョンをインストールする場合、Plug-in for PPM を修復するか削除するかを選択します。

インストールされている Plug-in for PPM のバージョンが判別できない場合、**[次へ]** をクリックして既存の Plug-in for PPM を削除してから、Plug-in for PPM の表示されているバージョンをインストールします。または、**[キャンセル]** をクリックしてインストーラを終了します。

8. **[次へ]** をクリックします。  
[プログラムをインストールする準備ができました] ページが開きます。
9. **[インストール]** をクリックします。
10. インストールの完了後、**[InstallShield ウィザードの完了]** ページで、**[完了]** をクリックします。

## Plug-in for PPM の削除

コンピュータの標準的なプログラムの追加と削除ユーティリティを使用して、Plug-in for PPM を削除できます。この作業中、Microsoft Project は閉じる必要があります。

PPM Center バージョン 8.00 以前からインストールされたバージョンを削除する場合、削除するのに管理者権限が必要になります。

## 同期モード

HP Project Management と Microsoft Project 間で情報を同期することで、両者の長所を最大限に活用できます。プロジェクトマネージャの方針に応じて、1つのアプリケーションを使用してあらゆる計画アクティビティとトラックアクティビティを実行し、もう一方のアプリケーションを使用してマネージャ、参加者、および利害関係者にプロジェクトの情報を公開したり、両方のアプリケーションを使用して、プロジェクトのさまざまな面の制御を共有できます。さまざまなプロジェクト管理の方針の詳細については、「[HP Project Management の方針](#)」(264 ページ)を参照してください。

プロジェクト管理者は、HP Project Management と Microsoft Project 間で情報を更新する3つの同期モードから選択できます。

- HP Project Management 制御
- Microsoft Project 制御
- 共有制御

各モードは、2アプリケーション間の通信に異なる方針を提供し、それぞれに独自の長所があります。

プロジェクトの同期モードは、ユーザのプリファレンスを基に構成する必要があります。詳細については、「[統合のためのプロジェクトレベルの設定](#)」(267 ページ)、および「[HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設定](#)」(269 ページ)を参照してください。

### HP Project Management-制御

プロジェクトマネージャは、計画アクティビティとトラックアクティビティを実行するために、まず HP Project Management で作業計画を作成します。これらのアクティビティには、プロジェクトの定義、タスクのスケジュール、および実績のトラックが含まれます。はじめてプロジェクトを同期するとき、HP Project Management はプロジェクトマネージャのデスクトップコンピュータ上に新規プロジェクトファイルを作成します。その後に行われる各同期で、Microsoft Project ファイル内のすべての情報は HP Project Management 内の現在の情報によって置換されます。

HP Project Management で管理する場合でも、作業計画は Microsoft Project で作成することができます。

同期後、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project ファイルを配布したり、Microsoft Project ファイルを使用してマネージャ用や組織内のその他の人員用のレポートを実行できます。

## Microsoft Project 制御

プロジェクトマネージャは、計画アクティビティとトラックアクティビティを実行するためにMicrosoft Projectでプロジェクトを作成し、その後HP Project Managementにプロジェクトを公開します。同期されたプロジェクトはPPM Dashboardに表示されます。PPM Centerに固有の情報はHP Project Management内で追加できます。該当する情報としては、通知、タスクのメモ、PPM Center内の関連エンティティへの参照などがあります。これらの参照は、プロジェクトマネージャに情報を提供できます。

その後に行われる同期すべてで、HP Project Management内の情報はMicrosoft Projectからの現在の情報によって更新されます。通知の設定、アクティビティ、関連のロールなど、HP Project Managementで追加された情報は保持されます。

## 共有制御

プロジェクトマネージャは、HP Project Managementを使用して実績をトラックしながら、Microsoft Projectでプロジェクトを計画してスケジュールします。プロジェクト内の参加者は、マイタスクポートレットまたはタイムシートを使用して実績データを直接レポートします。その後に行われる各同期で、HP Project Managementからの実績データでMicrosoft Projectファイルが更新されます。HP Project Management 作業計画は、Microsoft Projectからの構造やスケジュールの変更により更新されます。

## HP Project ManagementとMicrosoft Projectの同期

HP Project ManagementとMicrosoft Project間でどのように情報が同期されるかは、情報のタイプと同期モードによって異なります。統合に関する情報には、次の2つのタイプがあります。

- **アプリケーション固有の情報。**これは、HP Project ManagementまたはMicrosoft Projectに固有の情報です。情報は1方のアプリケーションで認識されますが、もう一方のアプリケーションでは同等の情報はありません。

例えば、HP Project Managementは、リクエストとパッケージを参照できませんが、Microsoft Projectには同等のタイプの情報はありません。このため、リクエストとパッケージは同期されません。同様に、Microsoft Projectはリソースのコスト単価を参照しますが、この情報の定義方法と使用方法はHP Project Managementのコストレートとは異なります。このため、Microsoft Projectのリソースのコスト単価とHP Project Managementのコストレートは同期されません。

アプリケーション固有の情報は、更新されませんが、同期中に削除されることもあります。



同期中にタスクを削除すると、そのタスクにのみ関連付けられている情報すべてが削除されます。

- **共有情報。**これは、計画と実績情報などの両方のアプリケーションでトラッキング可能な情報のことです。

計画情報とは、タスクで作業が開始する前に決定された情報のことです。このタイプの情報には、タスク名、タスクシーケンス、作業分割構成、アサインされたリソース、スケジュールされた開始日と終了日、スケジュールリングの制限、スケジュールされた期間、およびスケジュールされた工数などがあります。

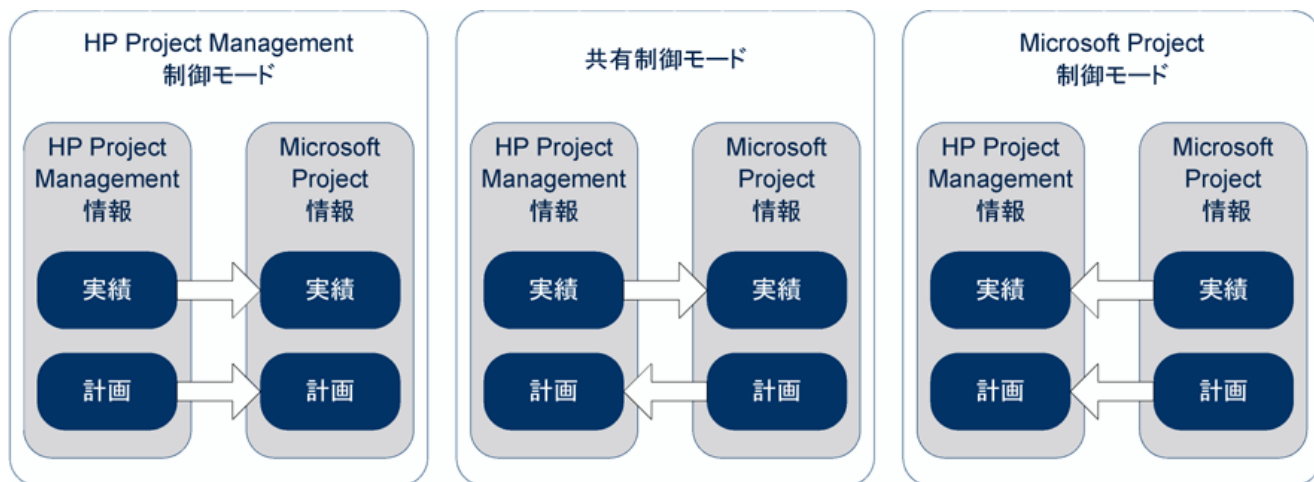
実績情報とは、タスクを完了するのに実際に必要になる時間と工数を示すメトリクスの集まりのことです。このタイプの情報には、実際の開始日と実際の終了日、タスクの実際の期間、実際の工数、実際の合計、見積もり残存、達成率、予測終了日、見積もり残存工数が含まれます。

表 10-1 および図 10-1 には、このタイプの情報と、同期モードに応じてどのように同期されるかが示してあります。

表 10-1. 情報タイプと同期モード別情報の同期の仕組み

	HP Project Management 制御	共有制御	Microsoft Project 制御
PPM Centerに固有の情報	HP Project Management内の作業計画情報は変更されません	HP Project Management内の作業計画情報は変更されず、外部タスクのPPM Centerの依存関係は同期で保存されません	HP Project Management内の作業計画情報は変更されず、外部タスクのPPM Centerの依存関係は同期で保存されません
Microsoft Projectに固有の情報	Microsoft Project内のプロジェクト情報は変更されません	Microsoft Project内のプロジェクト情報は変更されません	Microsoft Project内のプロジェクト情報は変更されません
共有計画情報	HP Project Management作業計画情報は、Microsoft Projectを更新するのに使用されます	Microsoft Project計画情報は、HP Project Management作業計画を更新するのに使用されます	Microsoft Project計画情報は、HP Project Management作業計画を更新するのに使用されます
共有実績情報	HP Project Management作業計画実績情報は、Microsoft Projectを更新するのに使用されます。関係者の実績は同期されません	HP Project Management作業計画実績情報は、Microsoft Projectを更新するのに使用されます。関係者の実績は同期されません	Microsoft Project実績情報は、HP Project Management作業計画を更新するのに使用されます

図 10-1. 情報の同期の仕組み



## アプリケーション間のフィールドのマッピング

次のフィールドはHP Project ManagementとMicrosoft Project間で、情報タイプごと（計画情報と実績情報）にまとめられてマップされます。特に記載のない限り、すべてのフィールドがタスクレベルフィールドです。フィールドのマッピングに関するその他の検討事項については、「フィールドに対するMicrosoft Projectルールの影響」、「情報の同期の仕組み」（242 ページ）、および「HP Project Managementで許可される条件付き編集」（314 ページ）を参照してください。

表 10-2. HP Project ManagementおよびMicrosoft Project間でマップされるフィールド (1/3 ページ)

HP Project Management フィールド	Microsoft Project フィールド	補足情報
計画情報		
マイルストーン	マイルストーン	Microsoft Projectからのマイルストーンは、HP Project Managementでは手動で100%完了に設定する必要があります。HP Project Managementからのマイルストーンは更新の必要がありません。「主要マイルストーン」（243 ページ）を参照してください。
先行タスク	先行タスク	「タスク間の先行タスクリレーションシップ」（243 ページ）、「外部タスク（または別プロジェクト）のある先行タスクリレーションシップ」（244 ページ）、「リクエストのある先行タスク（ブロック）リレーションシップ」（244 ページ）、「リクエストのある完了していない終了-終了先行タスクリレーションシップ」（244 ページ）を参照してください。
優先度	優先度	「優先度」（245 ページ）を参照してください。
リソース	リソース	「リソース」（245 ページ）を参照してください。
スケジュールされた期間	期間	Microsoft Projectは、開始日、終了日、期間が有効になるように期間を再計算します。ただし、タスクが期間固定のタスクである場合、開始日と終了日のみが再計算されます。「タスクのスケジュールされた期間」（246 ページ）を参照してください。
スケジュールされた工数	作業時間	スケジュールされた工数（日数で測定）は、Microsoft Projectのカレンダーオプションである1日の稼働時間を使用して、作業時間（時間で測定）に変換されます。

表 10-2. HP Project Management および Microsoft Project間でマップされるフィールド (2/3 ページ)

HP Project Management フィールド	Microsoft Project フィールド	補足情報
スケジュールされた工数 (リソースレベル)	作業時間 (リソースレベル)	リソースが複数人アサインされているタスクの場合、各リソースにアサインされたスケジュールされた工数/作業時間は同期されます。
スケジュールされた 開始日	開始日	「スケジュールされた開始日と終了日」(247 ページ)、「リソースの平準化: 分割タスク」(248 ページ)、「リソースの平準化: 遅延タスク」(248 ページ)、「Microsoft Projectの作業時間の配分型」(249 ページ)を参照してください。
スケジュールされた 終了日	終了日	「スケジュールされた開始日と終了日」(247 ページ)、「リソースの平準化: 分割タスク」(248 ページ)、「リソースの平準化: 遅延タスク」(248 ページ)、「Microsoft Projectの作業時間の配分型」(249 ページ)を参照してください。
スケジュールリングの 制限/制限日	制約のタイプ/制約の 指定日	「スケジュールの制限」(249 ページ)および「スケジュール制限とスケジュールされていないHP Project Management プロジェクト」(249 ページ)を参照してください。
タスク名	タスク名	「キャンセル済みまたは保留中(回避済み)タスクのタスク名」(250 ページ)および「名前のないタスク」(250 ページ)を参照してください。
<b>実績情報</b>		
達成率 (%)	達成率	「達成率と作業時間の達成率」(251 ページ)、「既存の Microsoft Project 作業計画から HP Project Management 作業計画を初期設定するときの達成率」(251 ページ)、「キャンセル済みまたは保留中(回避済み)タスクの完了率」(252 ページ)を参照してください。
アクティビティ	カスタム	「HP Project Management アクティビティの同期」(281 ページ)を参照してください。
実際の期間	実際の期間	「タスクの実際の期間」(252 ページ)および「タスク/タスクグループの実際の期間」(252 ページ)を参照してください。

表 10-2. HP Project Management および Microsoft Project間でマップされるフィールド (3/3 ページ)

HP Project Management フィールド	Microsoft Project フィールド	補足情報
実績工数	実績作業時間	PPM Centerで何らかのタイプの工数がトラックされる場合、Microsoft Projectで達成率と実績作業時間の間のリンクは無効になります。「 <a href="#">実際の工数/実際の作業時間とリソース単位</a> 」(253 ページ)および「 <a href="#">実際の工数とHP Time Managementの統合</a> 」(254 ページ)を参照してください。
実際の開始日	実際の開始日	この日付が指定されている場合、Microsoft Projectは、開始日のデフォルト値をこの日付にします。「 <a href="#">実際の開始日と終了日</a> 」(254 ページ)および「 <a href="#">タスクグループの実際の開始日</a> 」(254 ページ)を参照してください。
実際の終了日	実績終了日	この日付が指定されている場合、Microsoft Projectは、終了日のデフォルト値をこの日付にします。「 <a href="#">実際の開始日と終了日</a> 」(254 ページ)を参照してください。
予想終了日	終了日	「 <a href="#">予想終了日</a> 」(255 ページ)を参照してください。
見積もり残存工数	残存作業時間	
タスクの説明とメモ	メモ (タスク用)	「 <a href="#">メモの同期</a> 」(277 ページ)を参照してください。
ユーザ定義	カスタム	「 <a href="#">Microsoft フィールドマッピング</a> 」(274 ページ)を参照してください。

### フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響

Microsoft Project は、計画フィールドと実績フィールド内のフィールド値を計算する方法を決定する、内部ルールを保持しています。これらのルールは、Microsoft Project と HP Project Management 間の同期処理に影響を与えます。1つのアプリケーションで機能する計算が、もう一方のアプリケーションに必ずしも持ち越されるとは限らないためです。

例えば、HP Project Management では、スケジュール情報とは完全に独立した実績情報を保持できます。Microsoft Project では、このようなことは行えません。1つの実績フィールドを更新すると、その他の計画と実績フィールドが自動的に更新されることがあります。



計画と実績フィールド向けの、最も一般的な Microsoft Project ルールを以下にリストで示します。

計画フィールド

- $\text{開始日} + \text{期間} = \text{終了日}$
- $\text{工数} = \text{期間} \times (\text{リソース数} \times \text{単位})$

実績フィールド

- $\text{開始日} = \text{実績開始日}$  (既知の場合)
- $\text{終了日} = \text{実績終了日}$  (既知の場合)
- $\text{期間} = \text{実績期間} + \text{残存期間}$
- $\text{達成率} = \text{実績期間} / \text{期間}$
- **残存期間**は、タスクが達成率100%のときに0になります
- $\text{工数} = \text{実績工数} + \text{残存工数}$
- $\text{作業時間の達成率} = \text{実績工数} / \text{工数}$

HP Project Management 情報が Microsoft Project に渡されると、Microsoft Project は常に Microsoft Project の標準ルールを適用します。これにより、各アプリケーション内のデータが厳密には一致しなくなる状況が発生します。

#### プロジェクトマネージャ向け解決策

同期中に整合性のある動作を得るため、PPM Center のプロジェクトマネージャは次の作業の実行してください。

- 変更されたフィールドに注意します。統合を行うと、同期の結果として変更されたフィールドがカスタムの Microsoft Project テーブルとして表示されます (同期処理を介して直接的に変更されたものと Microsoft Project の自動計算の結果として間接的に変更されたものを含みます)。
- 「Microsoft への PPM Center 情報の転送」(272 ページ) の説明に従い、適切な実績統合オプションを選択して、計画管理において重要なフィールドを同期します。

統合では、有効ではないHP Project Managementのデフォルト値は無視されます。

#### カスタムMicrosoft Projectフィルタとテーブル

アプリケーション間でプロジェクト情報を同期すると、統合により提供される次のMicrosoft Project項目から選択できるようになります。

- **PPM: 変更された実績**フィルタ
- **PPM: 変更された実績により影響を受ける日付**フィルタ
- **PPM: 変更された実績**データ表示テーブル

これらの項目から、次の項目を迅速に表示できます。

- 実績の同期の結果、スケジュールされた日に変更されたフィールド。これらのフィールド値は、デフォルトで赤色で表示されます。
- 同期されたフィールドを基にMicrosoft Projectによる自動計算の結果、変更されたフィールド。これらのフィールド値は、デフォルトで青色で表示されます。これは、実績の変更の連鎖的な影響を特定するのに有効です。

### 情報の同期の仕組み

Microsoft ProjectとHP Project Managementを同期すると、HP Project Managementからの情報でMicrosoft Project内の情報を更新します。更新される情報は、同期モードによって異なります。HP Project Management制御モードの場合、Microsoft Project内の計画情報と実績情報の両方がHP Project Managementからの情報によって更新されます。共有制御モードの場合、Microsoft Project内の実績情報のみがHP Project Managementからの情報によって更新されます。

HP Project ManagementとMicrosoft Projectを同期すると、Microsoft Projectからの情報でHP Project Management内の情報を更新します。更新される情報は、同期モードによって異なります。Microsoft Project制御モードでは、HP Project Management内の計画情報と実績情報の両方がMicrosoft Projectからの情報で更新されます。共有制御モードでは、HP Project Management内の実績情報のみがMicrosoft Projectからの情報で更新されます。

HP Project ManagementのフィールドはMicrosoft Projectのフィールドに正確にはマップされず、その逆も成り立ちます。次のセクションでは、情報タイプ(計画または実績)別に、同期中にマップされるフィールドに関する追加の検討事項を説明します。

## 計画情報

HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project 内の計画情報が HP Project Management からの情報で更新されます。Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、HP Project Management 内の計画情報が Microsoft Project からの情報で更新されます。

### 主要マイルストーン

HP Project Management では、主要マイルストーンを作成できます。Microsoft Project にはこの機能はありません。

HP Project Management 制御モードでは、主要マイルストーンはMicrosoft Project で標準マイルストーンとして同期されます。

### タスク間の先行タスクリレーションシップ

タスク間のすべての先行タスクリレーションシップが同期されます。HP Project Management と Microsoft Project はいずれも、タスク間の終了-開始、開始-終了、開始-開始、終了-終了先行タスクリレーションシップをサポートします。

Microsoft Project 先行タスクリレーションシップには、ラグタイムやリードタイム(通常の先行タスクリレーションシップからの正または負のオフセット)を含められます。Microsoft Project は、それに合わせて後続タスクの開始日と終了日を調節します。HP Project Management は、ラグタイムとリードタイムのオフセットをサポートします。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、調節された開始日と終了日が HP Project Management のスケジュールされた開始日とスケジュールされた終了日に同期されます。

HP Project Management 制御モードでは、スケジュールされた開始日とスケジュールされた終了日は HP Project Management から Microsoft Project に同期されますが、Microsoft Project により調節されることがあります。



Microsoft Projectでのルートタスクグループはタスク0ですが、HP Project Management内のプロジェクトはタスク1とみなされます。2つのアプリケーションでは、タスクが異なる番号から開始することから、Microsoft Projectでのタスク番号はHP Project Managementでのタスク番号と比べて1小さくなります。タスクの番号付けは1つ小さくなりますが、タスク間の先行タスクリレーションシップは変化しません。

#### 外部タスク (または別プロジェクト) のある先行タスクリレーションシップ

HP Project Managementは、外部タスクへの依存関係がある先行タスクリレーションシップ (別プロジェクトからのタスクなど) をサポートします。これは、Microsoft Projectではサポートされません。

HP Project Management制御モードでは、外部タスクへの依存関係があるタスクは同期されますが、外部タスクへの依存関係は同期されません (Microsoft Projectは依存関係を無視します)。

Microsoft Project制御モードと共有制御モードでは、HP Project Managementのプロジェクト間に依存関係が追加されている場合、これらの依存関係は同期中に失われます。

同期モードをHP Project Management制御モードからMicrosoft Project制御モードまたは共有制御モードに変更すると、外部タスクへの依存関係が失われます。依存関係のあるタスクはMicrosoft Projectによって認識されますが、依存関係は認識されません。

#### リクエストのある先行タスク (ブロック) リレーションシップ

Microsoft Projectは、リクエストに依存関係を追加することはできません。HP Project Management-制御モードと共有制御モードでは、HP Project Managementのリクエストの先行タスクは同期されますが、Microsoft Projectでは無視されます。

#### リクエストのある完了していない終了-終了先行タスクリレーションシップ

HP Project Managementタスクに、オープンなHP Demand Managementリクエストと終了-終了先行タスクリレーションシップがある場合、タスクは100%達成になることはあっても、完全には完了しません。このオープンリクエストの参照タスクは、HP Project Managementでは、リクエストが完了するまで**完了 (保留中のリクエスト)**ステータスを取ります。Microsoft Projectは、リクエストのある終了-終了先行タスクリレーションシップをサポートしません。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、この状態のタスクを同期すると、Microsoft Project はタスクの達成率を 100% とレポートします。HP Project Management では、リクエストの終了-終了先行タスクリレーションシップは同期されますが、Microsoft Project により無視されます。Microsoft Project はリクエストに依存関係を追加できないためです。

### 優先度

HP Project Management の [優先度] フィールドが 1,000 より大きな値に設定されている場合に Microsoft Project に作業計画情報を送信すると、優先度は 1,000 に設定されます。HP Project Management も Microsoft Project もタスクの優先度を 1,000 より大きくすることはできません。

### リソース

プロジェクト計画では、リソースの概念は複数の定義を持つことがあります。リソースはチームメンバーであったり、メインフレームコンピュータの時間、工事用の資材であったりします。HP Project Management でのリソースとは、タスクを実行できる HP Project Management ユーザのことです。リソースは、プロジェクトに関連付けられているスタッフィングプロファイル、またはプロジェクトマネージャによって管理されているリソースプールから選択されます。Microsoft Project では、人的、および数量単価型リソースの両方についてトラックとコスト計算が行なわれます。HP Project Management では人的リソースのみがサポートされます。

プロジェクトには、アサインされていないリソースも含めることができます。Microsoft Project では、アサインされていないリソースはリソース中心のプロジェクト表示に表示されますが、機能的な重要性は低くなります。一方、HP Project Management では、アサインされていないリソースはタスクのアサインがない HP Project Management ユーザとして、スタッフィングプロファイルに表示されます。

HP Project Management 制御モードでは、リソースマッピングは Microsoft Project 統合ポリシー設定によって決定されます。詳細については、「[Microsoft への PPM Center 情報の転送](#)」(272 ページ)を参照してください。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project のすべてのアサインされた人的リソースが自動的にマップされ、HP Project Management のユーザが定義されます。自動リソースマッピングは、以下の基準に従います (順番は優先順)。

- Microsoft Project リソース名と HP Project Management ユーザ名間の一致。

- Microsoft Project リソース名と HP Project Management ユーザの連結した名と姓間の一致。
- Microsoft Project リソース名と HP Project Management ユーザの連結した姓と名間の一致。

優先順位によりマッピングが決定し、一致が見つかった時点でリソースのマッピング処理は停止します。例えば、リソース名がHP Project Management ユーザのユーザ名と一致する場合、その特定リソースのマッピング処理は停止します(名/姓または姓/名での比較は行われません)。マッピング処理は次のリソース名を続行します。

一般的に、次の事項を考慮に入れておく必要があります。

- PPM Center は、一致しないリソースのユーザを自動的に作成しません。プロジェクトマネージャは一致しないリソースのリストを作成し、システム管理者と協力して該当ユーザを作成する必要があります。
- HP Project Management では、マッピングは、アサインされたリソースがすべてスタッフィングプロファイルに含まれることを保証しません。スタッフィングプロファイルを維持する必要がある場合、この作業は手動で行う必要があります。
- HP Project Management に数量単価型リソースは転送されません。
- Microsoft Project では、リソース名にコンマを使用できません。
- 自動リソースマッピングは常に 100% 成功するとは限りません。Microsoft Project での統合により、アプリケーション間でリソースを手動でマップしたり、無関係であったり、誤ってマップされたリソースを意図的にマップ解除できます。この手動による調整は同期処理の一環として行うことができ、PPM Center メニューから実行できます(詳細については、「アプリケーション間でのリソースの手動マップ(共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード)」(309 ページ)および「アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング」(311 ページ)を参照してください)。

#### タスクのスケジュールされた期間

HP Project Management と Microsoft Project では、スケジュールされた期間の計算方法が異なります。いずれの計算も、スケジュールされた開始日とスケジュールされた終了日を基にします(Microsoft Project では、タスクに期間固定が設定されている場合、開始日と終了日は再計算されます)。各計算はリソースカレンダー、および作業スケジュールでの1日の稼働時間の定義による影響を受けることもあります。

HP Project Management と Microsoft Project はリソースカレンダーを同期しないため、タスクのスケジュールされた期間に不一致が生じる場合があります。詳細については、「[カレンダー](#)」(256 ページ)を参照してください。

HP Project Management は、10 時間/日の作業スケジュールを使用します。Microsoft Project 計画の多くは、8 時間/日の作業スケジュールを使用して作成されています。通常、HP Project Management は、Microsoft Project タスクは就業日の終業時刻の2時間前に終了するとみなします (Microsoft Project インタフェースには、開始時刻と終了時刻は表示されませんが、タスクに1日未満の期間を設定できるようにするため、この情報はトラックされます)。Microsoft Project のタスクはHP Project Management では0.2日短く表示されます。

HP Project Management でプロジェクトを再スケジュールするとき、0.2日(2時間)の差が影響することがあります。HP Project Management のスケジュールアルゴリズムは、タスクの終了時刻直前の明らかに使用されない2時間も含め、空き時間すべてを使用して計画を短縮しようと試みます。この動作を防ぐため、プロジェクトマネージャはHP Project Management を使用して再スケジュールするプロジェクト計画の割り当て分で、期間が整数になるように設定する必要があります。

#### スケジュールされた開始日と終了日

HP Project Management では、タスクはスケジュールされた開始日と終了日よりも早かったり遅い実際の開始日と終了日を持つことができます。Microsoft Project では、タスクのスケジュールされた開始日と終了日がスケジュールされた日付(開始日/終了日)よりも早かったり遅い場合は、スケジュールされた日付は自動的に上書きされます。例えば、タスクが5月1日に開始するようにスケジュールされていて、実際には5月2日に開始したとレポートされた場合、Microsoft Project は自動的にタスクのスケジュールされた開始日を5月2日に変更します。

HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project の実際の日付とスケジュールされた日付の両方が更新されます。同期後、Microsoft Project はルールに従ってスケジュールされた日付を調節します。この調節後、Microsoft Project のスケジュールされた日付はHP Project Management のスケジュールされた日付とは一致しなくなる場合があります。

共有制御モードの場合、Microsoft Project で実際の日付が更新され、HP Project Management でスケジュールされた日付が更新されます。同期後、Microsoft Project はルールに従ってスケジュールされた日付を調節します。この調節後、Microsoft Project のスケジュールされた日付はHP Project Management のスケジュールされた日付とは一致しなくなる場合があります。

Microsoft Project 制御モードでは、HP Project Management の実際の日付とスケジュールされた日付の両方が更新されます。HP Project Management は自動的に日付を調節することはないため、HP Project Management のスケジュールされた日付と Microsoft Project のスケジュールされた日付とは一致します。

#### リソースの平準化: 分割タスク

分割タスクとは、リソースが割り当て超過しているために、複数回開始して停止するようにスケジュールされた (複数の開始日と終了日がある) Microsoft Project 内のタスクでの作業のことです。HP Project Management は単一の開始日と終了日のあるタスクをトラックします。

Microsoft Project のリソースの平準化機能での設定を基にして、(リソース単位を調節する代わりに) タスクを自動的に分割できます。このため、HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project で同期中に分割タスクが自動的に生成されることがあります。

HP Project Management 制御モードでは、分割タスクが生成されると、スケジュールされた開始日はもっとも早い Microsoft Project の分割開始日に同期されます。同様に、スケジュールされた終了日は、もっとも遅い Microsoft Project の分割終了日に同期されます。スケジュールの期間は、これらの日付を基にして再計算されます。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、もっとも早い分割開始日は HP Project Management のスケジュールされた開始日に同期されます。また、もっとも遅い終了日は HP Project Management のスケジュールされた終了日に同期されます。HP Project Management のスケジュールされた期間は Microsoft Project の期間に同期されます。

#### リソースの平準化: 遅延タスク

遅延タスクとは、リソースが割り当て超過していてタスクを本来の開始日に開始できないため、遅れて開始するようにスケジュールされた Microsoft Project 内のタスクでの作業のことです。HP Project Management はタスクのスケジュールされた開始日と実際の開始日をトラックします。

Microsoft Project のリソースの平準化機能での設定を基にして、タスクを自動的に遅延できます。このため、HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project で同期中に遅延タスクが自動的に生成されることがあります。



HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、遅延タスクが生成されると、スケジュールされた開始日は Microsoft Project の遅延開始日に同期されます。同様に、スケジュールされた終了日は、Microsoft Project の遅延終了日に同期されます。

Microsoft Project 制御モードでは、遅延開始日は HP Project Management のスケジュールされた開始日に同期され、遅延終了日は HP Project Management のスケジュールされた終了日に同期されます。

#### Microsoft Project の作業時間の配分型

Microsoft Project の作業時間の配分型は、リソースの作業スケジュールを制御します。HP Project Management は同様の機能を備えていません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、作業時間の配分型のあるスケジュールの開始日と終了日は、単純に HP Project Management のスケジュールされた開始日とスケジュールされた終了日に同期されます。

また、プロジェクトマネージャは、個別の非ユーザー設定アサインがあるいくつかのサブタスクにタスクを分割することにより、作業時間の配分型のない同様のプロジェクト計画を作成することもできます。これは、プロジェクトを把握しやすくし、リソースに説明しやすくなります。

#### スケジュールの制限

HP Project Management と Microsoft Project のいずれもが、制限タイプと制限日によりスケジュールの制限を定義します。一部の制限タイプ（**できる限り早く**など）は、制限日を必要としません。

HP Project Management- 制御モードと共有制御モードでは、すべての HP Project Management のスケジュール制限が Microsoft Project に同期されます。

Microsoft Project 制御モードでは、すべての Microsoft Project のスケジュール制限が HP Project Management に同期されます。

#### スケジュール制限とスケジュールされていない HP Project Management プロジェクト

HP Project Management は、プロジェクトマネージャがプロジェクトのすべてまたは一部をスケジュールすると、スケジュール制限を選択的に評価します。プロジェクトマネージャは、制限を満たすようにプロジェクト計画の定義を調節するのではなく、定義されたスケジュール制限をプロジェクトの日付が満たさないままにしておくことができます。ただし、Microsoft Project (自動計

算モード時) は、スケジュール制限を満たすようにタスクを自動的にずらし  
ます。

同期モードが HP Project Management 制御の場合に限り、同期中に Microsoft  
Project は手動計算モードになります。手動計算モードでは、Microsoft Project  
はプロジェクトの日付をタスクリレーションシップのスケジュールルールに  
強制的に合わせることはしません。

Microsoft Project の計算モードを変更するには、[ツール] > [オプション] をク  
リックして、[計算方法] タブを選択します。

#### キャンセル済みまたは保留中 (回避済み) タスクのタスク名

Microsoft Project はステータス付きでタスクを格納しますが、Microsoft Project  
には HP Project Management ほど多くの個別のステータスはありません。例え  
ば、Microsoft Project では、すべての開始前のタスクは共通のステータスを共  
有し、タスクがキャンセルされたか回避済みであるかを認識するためのタス  
クステータスはありません。また、Microsoft Project は保留中の先行タスクで  
あるタスク、準備が完了しているタスク、達成率がレポートされていない進  
行中のタスクを区別しません。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、キャンセル済みま  
たは回避済みの HP Project Management タスクが同期されると、タスクのステ  
ータスを示すために、Microsoft のタスク名の先頭にキャンセル済みまたは回避済  
みが付記されます。

Microsoft Project でのキャンセル済みタスクと回避済みタスクの達成率の計算  
方法の詳細については、「[キャンセル済みまたは保留中 \(回避済み\) タスクの  
完了率](#)」(252 ページ)を参照してください。

#### 名前のないタスク

Microsoft Project では名前のないタスクが使用できますが、HP Project Management  
では使用できません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project  
の名前のないタスクに **MS Blank Task #1** などのデフォルト名がアサインされ  
ます。プロジェクトマネージャはこれらの名前を確認して更新する必要があります。  
同期後、名前のないタスクは [情報を表示] ダイアログの [警告] タブ  
に表示されます (Microsoft Project から [情報を表示] をクリック)。

## 実績情報

HP Project Management 制御モードと共有制御モードの両方で、Microsoft Project の実績情報が HP Project Management からの情報で更新されます。Microsoft Project 制御モードでは、HP Project Management 内の計画情報が Microsoft Project からの情報で更新されます。

### 達成率と作業時間の達成率

Microsoft Project では、作業がトラックされない場合、デフォルトで作業時間の達成率が達成率になります (いずれも同じ値になります)。作業がトラックされる場合 (タスクに作業時間の配分型がある場合など)、達成率と作業時間の達成率は別々に計算されます。「フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響」(240 ページ)を参照してください。

### 既存の Microsoft Project 作業計画から HP Project Management 作業計画を初期設定するときの達成率

既存の Microsoft Project 作業計画を HP Project Management に変換したり、既存の Microsoft Project 作業計画を基にして新しい HP Project Management 作業計画を作成する場合 (つまり、HP Project Management 制御、または共有制御の作業計画を作成するために、実績のある既存の Microsoft Project 作業計画を使用する場合)、HP Project Management と Microsoft Project では達成率の値が異なる場合があります。

サマリタスクレベルで、同期中に HP Project Management はタスクの期間や達成率などのロールアップ情報を再計算します。期間は基本カレンダーとリソースカレンダーを基に計算されます。これらのアプリケーションが2つのアプリケーション間で異なる場合、期間も異なるため、異なる達成率の値が得られます。

タスクレベルでは、Microsoft Project で作業をトラックされていない場合、HP Project Management は達成率を Microsoft Project の作業時間の達成率に同期します。Microsoft Project で作業をトラックする場合、HP Project Management は達成率を Microsoft Project の達成率に同期します (「達成率と作業時間の達成率」を参照してください)。

リソースレベルでは、HP Project Management は達成率を Microsoft Project の作業時間の達成率に同期します。

## キャンセル済みまたは保留中 (回避済み) タスクの完了率

Microsoft Project はステータス付きでタスクを格納しますが、Microsoft Project には HP Project Management ほど多くの別個のステータスはありません。例えば、Microsoft Project では、すべての開始前のタスクは共通のステータスを共有し、タスクがキャンセルされたか回避されたかを識別するためのタスクステータスはありません。また、Microsoft Project では保留中の先行タスクであるタスク、準備が完了しているタスク、達成率がレポートされていない進行中のタスクを区別しません。

HP Project Management- 制御モードと共有制御モードでは、回避されたタスクは達成率 100% として同期されます。実績がレポートされている場合、この情報も同期されます。回避済みステータスは、工数が消費されたものの、作業が打ち切られたことを示します。

HP Project Management- 制御モードと共有制御モードでは、キャンセルされたタスクは達成率 100%、期間 0 として同期されます。Microsoft Project は、ガントチャートビューからこれらのタスクを自動的に省略します。

## タスクの実際の期間

HP Project Management と Microsoft Project のいずれもが、実際の開始日と実際の終了日を基にしてタスクの実際の期間を計算します。しかし、HP Project Management と Microsoft Project はリソースカレンダーを同期しないため、タスクの実際の期間に不一致が生じる場合があります。詳細については、「[カレンダー](#)」(256 ページ)を参照してください。

## タスク/タスクグループの実際の期間

HP Project Management と Microsoft Project では、進行中のサマリタスクやタスクグループの実際の期間に関する機能が異なります。HP Project Management は実際の開始日と実際の終了日のロールアップ値から実際の期間を計算します。Microsoft Project は、仮の値として実際の期間を表示します。このため、一部の Microsoft Project タスクグループの実際の期間は、HP Project Management のサマリグループの実際の期間とは同期されません。

HP Project Management 制御モードでは、プロジェクトが最初にオープンしている場合、そのプロジェクトのステータスは**計画中**になります。プロジェクトのステータスが**計画中**の場合、ロールアップ値は計算されません。プロジェクトのステータスが**アクティブ**に変更されて保存されると、ロールアップ値が計算されます。プロジェクトのステータスが**アクティブ**に変更されて保存される

と、HP Project ManagementはMicrosoft Projectと同じ実際の期間の値を取ります。

Microsoft Project制御モードと共有制御モードでは、HP Project Managementは、(サマリタスクが完了するまでに追加されたり削除されるタスクを考慮するため) サマリタスク全体が完了するのを待ってからロールアップ値を計算します。Microsoft Projectでタスクグループが完了すると、HP Project ManagementはMicrosoft Projectと同じ実際の期間の値を取ります。

#### 実際の工数/実際の作業時間とリソース単位

HP Project Managementでは、タスクのリソースには、そのタスクに対する異なる時間の工数をアサインできます。タスクの合計工数は、各リソースのスケジュールされた工数値の合計です。例えば、Fredがあるタスクの12時間の作業にアサインされ、Barbaraが同じタスクの8時間の作業にアサインされた場合は、合計のタスク工数は $(12 + 8 =)$ 20時間になります。

Microsoft Projectはリソース単位を使用して実際の作業時間を計算します。先ほどと同じ例を考えます。Microsoft ProjectでFredとBarbaraが二人ともフルタイムリソースである場合、それぞれ、そのタスクについてリソース単位60と40がアサインされます(タスクの期間によって異なります)。しかし、Microsoft ProjectでBarbaraが半分の時間のリソースである場合、そのタスクのBarbaraのリソース単位は2倍(80)になります。これは、同じ作業時間量でもキャパシティに対するパーセントは増えることを表します。

HP Project Management制御モードと共有制御モードでは、同期中、HP Project Managementタスクにアサインされた各リソースの工数は、Microsoft Projectによりアサインの適切なリソース単位に自動的に変換されます。関連リソースがMicrosoft Projectでフルタイムリソースであれば、各タスクに対するリソースのリソース単位は対応するHP Project Managementタスクでリソースにアサインされる工数値に比例します。

Microsoft Project制御モードでは、同期中、各タスクのリソース単位はMicrosoft ProjectによりHP Project Managementタスクにアサインされたリソースの工数の時間数に自動的に変換されます。

## 実際の工数と HP Time Management の統合

HP Time Management では、リソースはサマリタスクの実際の工数を入力でき、アサインされていないタスクの実際の工数を入力できます。

タスクにアサインされていないリソースが HP Time Management に入力した実際の工数は、Microsoft Project には同期されません。Microsoft Project は工数のロールアップを再計算します。これらの値は PPM Center での値と一致します。

HP Time Management でサマリタスクレベルで工数を収集すると、達成率が変化してもリーフタスクレベルでの実際の工数は 0 を維持します。リーフタスクレベルでの見積もり残存工数は、タスクが完了するまで最大値を維持します。このデータが Microsoft Project に転送されると、タスクが完了するまで達成率は 0 になります。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、HP Time Management から作業計画に実際の工数をロールアップするときに、実際の工数が変更されていない場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されていない場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されません。実際の工数が変更されている場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されている場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されます。

HP Project Management に Microsoft Project 作業計画が送信されると、計画情報と実績の両方が送信されます。PPM Center から実際の時間サマリレポートを作成すると、レポート内の実績と HP Project Management 作業計画内に表示される実績 (実績ビュー) とは異なります。

### 実際の開始日と終了日

実際の開始日と終了日を同期すると、Microsoft Project の開始日と終了日に影響する場合があります。詳細については、「[スケジュールされた開始日と終了日](#)」(247 ページ)を参照してください。

### タスクグループの実際の開始日

HP Project Management では、タスクの実際の開始日と終了日がスケジュールされた日付と異なっている場合でもその日付を残すことができます。一方、Microsoft Project では、実際の開始日と終了日がスケジュールされた日付と異なる場合は、スケジュールされた日付が自動的に上書きされます。例えば、あるタスクが 5 月 1 日に開始するようにスケジュールされていて、実際には 5 月 2 日に開始したとレポートされた場合、Microsoft Project では自動的にタスクのスケジュールされた開始日が 5 月 2 日に変更されます。

HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project のタスクグループの開始日を、そのタスクグループの一部のタスクよりも遅くすることができます。Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、タスクグループの開始日は、そのタスクグループのタスクのもっとも早い開始日に一致します。

HP Project Management 制御モードでは、同期中に Microsoft Project が手動計算モードになります。手動計算モードでは、Microsoft Project はプロジェクトの日付をタスクリレーションシップのスケジュールルールに強制的に合わせることはしません (Microsoft Project はタスクグループに日付を自動的にロールアップしません)。このため、サマリタスクの HP Project Management のスケジュールされた開始日が (一部のタスクが早めに開始したために) 一部のタスクの実際の開始日より後である場合、Microsoft Project はタスクのスケジュールされた開始日を更新しますが、タスクグループの開始日は更新しません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project は自動計算モードを維持します。Microsoft Project は、タスクとタスクグループのスケジュールされた開始日を自動的に更新します。

#### 予想終了日

HP Project Management には予想終了日がありますが、Microsoft Project には対応するフィールドがありません。HP Project Management の予想終了日は、Microsoft Project の終了日と同期されます。Microsoft Project では、実際の日付と予想の日付が明らかになると、それを反映するように開始日と終了日が自動的に更新されます。ベースライン機能を使用して、差異レポート用に元の終了日をキャプチャできます。

HP Project Management 制御モードでは、予想終了日を同期すると Microsoft Project に制限が作成されます。Microsoft Project で終了日として特定の値が入力されていると、Microsoft Project は、タスクがその日に終了するように制限されているものと判断します。Microsoft Project タスクの終了日が HP Project Management の予想終了日に同期されると、Microsoft Project はこの日付の「指定日以後に終了」制限を暗黙的に作成します。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、HP Project Management の予測終了日は Microsoft Project の終了日と同期されます。

## その他の同期に関する検討事項

### タスクのカットアンドペースト

Microsoft Project でのタスクのカットアンドペーストは、タスクを削除して同じ属性の新規タスクを追加することと同じです。タスクは同じように見えますが、同期処理は、ペーストされたタスクがカットされたタスクと同一であることを認識しません。

タスクの編集(カット、ペースト、削除など)の効果を確認するには、Microsoft Projectの[固有ID]を表示してください。タスクを編集した後に固有IDが変化しない場合、同期処理はタスクを同じタスクとして認識しています。タスクを編集した後に固有IDが変化した場合、同期処理はタスクを同じタスクとして認識していません。

### Microsoft Project ファイルの保存

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に同期すると、Microsoft Project ファイルにいくつかの細かな変更が行われます。Microsoft Project ファイルを HP Project Management プロジェクトに変換する場合 (HP Project Management 制御モード)、これらの変更を保存する必要はありません。Microsoft Project ファイルを HP Project Management に同期する場合 (Microsoft Project 制御モードまたは共有制御モード)、これらの変更を保存する必要があります。変更を保存しないと、それ以降の同期で Microsoft Project ファイルは HP Project Management で認識されなくなります。

### ベースライン日

ベースライン情報は同期されません。プロジェクトベースラインは、プロジェクトマネージャが選択したソフトウェアでキャプチャされ維持されます。

### 空白行

同期中、Microsoft Project ファイルからの空白行はすべて削除されます。空白行が削除されても、通知や警告は表示されたり記録されません。

### カレンダー

HP Project Management 制御モードのとき、または HP Project Management 作業計画を使用して Microsoft Project の作業計画を作成するときは常に、Microsoft Project にプロジェクトの地域カレンダーがエクスポートされます。カレンダーの1日当たりの時間数と1週間当たりの作業日数はエクスポートされますが、カレンダーの例外はエクスポートされません。



2つのアプリケーション間でリソースカレンダーは同期されません。期間と工数の両方が開始/終了日とリソースカレンダーの両方の関数であるため、HP Project ManagementとMicrosoft Projectの期間値が一致しない場合があるためです(例えば、タスクが5日間におよぶ場合を考えます。その5日間に、2日の非就業日があるようにHP Project Management リソースカレンダーが構成されているとします。Microsoft Projectでは、この情報はリソースカレンダーでは構成されません。このため、HP Project Management では実際の期間が3日間、Microsoft Projectでは実際の期間が5日となります)。このような場合、Microsoft Projectのタスクは固定期間として作成されるため、合計の工数はHP Project Management データと一致します。リソースカレンダーを両方のアプリケーションで維持する必要はありません。

#### コストのロールアップとヘルス計算

Microsoft ProjectからHP Project Managementに情報を送信するとき、同期処理ができるだけ効率的になるように、コストとヘルス計算のロールアップは延期されます。

#### マクロ、VB Script、その他の拡張機能

マクロ、VB Script、およびその他の拡張機能が同期の影響を受けないようにする必要があります。ただし、同期中、一部の拡張機能の無効化が必要となる場合があります(Microsoft Project COMインタフェースを使用して行う変更がこれらの拡張機能をトリガーすることがあるため)。

#### 参照情報

Microsoft Projectは参照をサポートしないため、HP Project Managementの参照はMicrosoft Projectには同期されません。

#### 共有リソースプール

Microsoft Projectの作業計画は共有リソースプールを使用してスケジュールして、HP Project Managementと同期できます。

同期中に共有リソースプールが開いていない場合、同期は一時停止することがあります。共有リソースプールを開くように案内するMicrosoft Projectのダイアログが表示されます。同期を続行するには、Microsoft Projectダイアログで操作します。

## 単位

単位は、リソースの負荷率とも呼ばれます。Microsoft Project では、各リソースは異なる負荷率 (0 ~ 100%) を使用してタスクにアサインできます。例えば、同じリソースを2つの異なるタスクにアサインし、それぞれを50%のリソース負荷率とすることができます。

HP Project Management はアサイン単位をトラックしないことから、HP Project Management からインポートするリソースの負荷率は認識されません。

## 条件付き編集サマリテーブル

表 10-3には、HP Project Managementにおける、3つの同期モードそれぞれの許可された条件付き編集と禁止された条件付き編集がまとめられます。Microsoft Projectによって制御される情報を変更する可能性があるHP Project Management内のあらゆる機能(キーボードのショートカットを含む)が無効になります。詳細については、「[HP Project Managementで許可される条件付き編集](#)」(314 ページ)を参照してください。

表 10-3. HP Project Management で許可される条件付き編集

HP Project Managementのフィールド	HP Project Management 制御	Microsoft Project 制御	共有制御モード
[作業計画] ページ			
[タスクの追加/削除] アイコン	○	×	×
[タスクのインデント/アウトデント] アイコン	○	×	×
[タスクを上に移動/下に移動] アイコン	○	×	×
[プロジェクトのスケジュール] アイコン	○	×	×
[タスクの詳細] ページ			
計画フィールド	○	×	×
実績フィールド	○	×	○
構造フィールド	○	×	×
その他の非共有フィールド	○	○	○
[ステータス] フィールド	○	×	○
ロールアップ			
スケジュールフィールド	○	×	×
実績フィールド	○	×	○
[マイタスク] ポートレット			
実績フィールド	○	×	○

## 適切な同期モードの選択

プロジェクトマネージャによる Plug-in for PPM の使用法はさまざまです。各プロジェクトマネージャは、各プロジェクトに対して3つの同期モードから1つを選択できます。プロジェクトマネージャは、自分が所有するプロジェクトに対して、1つ、2つ、または3つすべての同期モードを使用できます。

通常、HP は HP Project Management 制御モードの使用をお勧めします。このモードでは、プロジェクトの計画と実績のトラックに HP Project Management を使用します。

Microsoft Project でプロジェクトを計画する場合、Microsoft Project 制御モードまたは共有制御モードをお勧めします。

Microsoft Project を使用しながら、HP Time Management で実績をトラックする場合、共有制御モードをお勧めします。

組織は、単一同期モードの使用方法を標準化することでメリットが得られることがあります。例えば、すべてのプロジェクトを同じ方法で Microsoft Project と同期すれば、外部の利害関係者は PPM Dashboard に表示されるプロジェクト情報のタイムラインに関して、同様の予測を得られます。

次の例では、Plug-in for PPM のさまざまな状況下での使用方法を示します。より高度なシナリオの詳細については、「[HP Project Management の方針](#)」(264 ページ)を参照してください。

### 既存の Microsoft Project 計画を基にした新規 HP Project Management プロジェクトの作成

新規プロジェクトを計画するプロジェクトマネージャは、HP Project Management を使用して新規計画を作成する際、ひな型として既存の Microsoft Project 計画を使用できます。

計画は HP Project Management で行う予定であることから、プロジェクトマネージャは HP Project Management で既存の Microsoft Project 計画を開いて、HP Project Management 制御モードを選択する必要があります。

プロジェクトマネージャが Microsoft Project ビューで HP Project Management プロジェクトを表示する場合、変更した HP Project Management 計画を Microsoft Project に同期できます。

## HP Project Managementでの既存Microsoft Project計画の表示

利害関係者と参加者がHP Project Managementに慣れていない場合、アクティブなMicrosoft ProjectプロジェクトからHP Project Managementプロジェクトへの移行は段階的に進めてください。Microsoft Projectで計画と実績のトラックを行い、PPM Dashboardでプロジェクトを表示します。

プロジェクトマネージャはHP Project Managementで既存のMicrosoft Project計画を開いて、Microsoft Project制御モードを選択する必要があります。

最初の同期中にエラーが発生すると、ダイアログにこれらのエラーが表示されます。同期の完全な情報トレースを有効にするには、「同期ログの有効化」(292 ページ)を参照してください。

## 既存Microsoft Project計画のHP Project Managementプロジェクトへの変換

利害関係者と参加者がHP Project Managementに慣れている場合、プロジェクトマネージャは実績のトラックのみ、または計画と実績のトラックの両方をHP Project Managementに移行できます。

利害関係者と参加者がHP Project Managementで実績のトラックのみを行う場合は、プロジェクトマネージャはHP Project Managementで既存のMicrosoft Project計画を開いて、共有制御モードを選択する必要があります。

利害関係者と参加者がHP Project Managementで計画と実績のトラックの両方を行う場合は、プロジェクトマネージャはHP Project Managementで既存のMicrosoft Project計画を開いて、HP Project Management制御モードを選択する必要があります。

## HP Project Management公開によるMicrosoft Projectの補強

HP Project Managementで既存のMicrosoft Project計画を表示するのと同じように、プロジェクトマネージャは利害関係者と参加者にHP Project Management内のプロジェクト情報を公開することにより、Microsoft Project計画を補うことができます。この状況では、プロジェクトマネージャはMicrosoft ProjectからHP Project Managementに移行することは望んでいません。ただし、HP Project Managementの公開機能(PPM Dashboardからプロジェクトの概要とタスクのアサインを表示するなどの機能)を活用しようとしています。

利害関係者と参加者がMicrosoft Projectで計画と実績のトラックを行う場合は、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project管理モードで既存のMicrosoft Project計画を開く必要があります。

プロジェクトマネージャがMicrosoft Projectで参加者の実績を入力する場合(プロジェクトマネージャが口頭での伝聞や電子メールで実績を収集する場合など)、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project制御モードで既存のMicrosoft Project計画を開く必要があります。

この状況では、プロジェクトマネージャはHP Project Managementのプロジェクト情報に関する利害関係者の予測を設定する必要があります。HP Project Managementにより制御されるプロジェクトとは異なり、HP Project Managementで表されるプロジェクトのステータス情報が常に最新であるとは限りません。例えば、プロジェクトマネージャが週次ベースで実績を収集してMicrosoft Projectに入力する場合、HP Project Managementに表示されるプロジェクト情報は最大で1週間遅くなることがあります。プロジェクトマネージャは、利害関係者にこの事実を伝える必要があります。

## HP Project Managementで実績を収集することによるMicrosoft Projectの補強

プロジェクトマネージャが、HP Project Managementを使用して利害関係者に最新情報を提供し、参加者から実績を直接収集しながら、高度なMicrosoft Project機能(共有リソースプールでのリソースの平準化など)を使用する場合、プロジェクトマネージャは共有制御モードでプロジェクトを開く必要があります。

参加者がHP Project Managementに不慣れな場合、プロジェクトマネージャは実績の収集をできるだけ簡単にする必要があります。プロジェクトマネージャは、HP Project Managementを通じて収集するいくつかの実績フィールドのみを有効にする必要があります。例えば、参加者に[準備完了]、[進行中]、[完了]から選択することで、自分のタスクのステータスを更新するように求めることができます。開始日や終了日が頻繁に前後する場合、プロジェクトマネージャは実際の開始日と終了日のフィールドを有効にすることにより、参加者が実際に作業が発生したタイミングを直接連絡できるようにします。これらが一般的なイベントではない場合、プロジェクトマネージャはMicrosoft Projectの開始日と終了日を変更することでこれらの例外を自分でトラックし、参加者が誤った日付を入力することを防ぐことができます。

プロジェクトマネージャが、作業した時間や期間、達成率、残存作業時間などの観点からタスクを検討することに慣れていても、参加者のほとんどはこ

のような概念に不慣れです。プロジェクトマネージャは、これらの概念を参加者に詳しく、迅速に説明できるように十分に準備する必要があります。

参加者が HP Project Management の概念に慣れれば、プロジェクトマネージャはより実状に近い実績の集合を収集できるようになります。実際の作業時間などの実績の多くは、業績を把握して飛躍的な改善を遂げるための不可欠な要素です。

Microsoft Project は広範な実績フィールドを備えています。これらのフィールドは、自動的なデータ整合ルールによって厳しく相互に関連付けられています。プロジェクトマネージャの多くは、これらの自動データ整合ルールのすべてを把握しているわけではなく、一部のフィールドにのみ入力して、自分にとって重要となる情報をトラックすることを身につけています。HP Project Management を介して実績をトラックするとき、これらは、プロジェクトマネージャが PPM Dashboard で有効にする必要があるフィールドです。

## 同期モードの変更

HP は、データの損失につながる恐れがあるため、プロジェクトの同期モードを変更しないことを強くお勧めします。プロジェクトを作成する前に、プロジェクトの同期モードについて注意深く検討してください。

同期モードを変更するとき、以下のようにしてデータが失われることがあります。

- **能動損失**は、以前のモードで同期されたデータが新しいモードで同期されない場合に発生します。このデータは失われるか、上書きされます。能動損失をもっとも受けやすいのはトラック情報です。
- **受動損失**は、同期モードの変更直後に同期が行われない場合に発生します。この場合、最後の同期までに入力されたデータが、新しいモードでの同期中に上書きされたり破棄されます。

同期モードを変更するには、プロジェクトレベル設定の統合モードセクションを更新します。

詳細については、「[同期モードとプロジェクトカレンダーの変更](#)」(271 ページ)を参照してください。

## SQL Server データベースに格納された Microsoft Project 情報の同期

プロジェクトが SQL Server データベースなどの ODBC ソースに格納されている場合、プロジェクトを HP Project Management に同期するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. **[名前を付けて保存]** を選択して、ローカルシステムにプロジェクトを保存します。
3. 保存した Microsoft Project ファイルを HP Project Management に同期します。



プロジェクトを HP Project Management に同期するには、プロジェクトはファイル形式である必要があります。バイナリ MPP ファイルフォーマットがおすすめです。

## HP Project Management の方針

以下のシナリオで、統合によりもたらされるさまざまなプロジェクト管理方針を、プロジェクトマネージャがどのように利用できるのかを示します。その他のシナリオについては、「[適切な同期モードの選択](#)」(260 ページ)を参照してください。

## Microsoft Project を介した HP Project Management 作業計画の公開

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマネージャは、統合を使用してプロジェクトを公開できます。公開とは、Microsoft Project ファイルを外部の閲覧者 (プロジェクトマネジメントオフィスグループなど) に配布することを意味します。公開はまた、Microsoft Project ファイルを HP Project Management と同期し、配布のために Microsoft Project レポートを実行することも意味します。プロジェクトは定期的 (週次、四半期次)、または定義されたマイルストーン (設計の完了時点など) で公開できます。

Microsoft Project を介して HP Project Management 作業計画を公開するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project で空のファイルを開きます。



2. Microsoft ProjectでHP Project Management 作業計画を開きます(詳細については、「[Microsoft ProjectからHP Project Management 作業計画を開く](#)」(299ページ)を参照してください)。
3. プロジェクトを保存してレポートを実行します。

最初のエクスポートの後、HP Project Management 制御モードでHP Project Management 作業計画をMicrosoft Projectファイルと同期することを選択できます。この操作により、Microsoft Projectファイルが効率的に再生成されます。

この操作は、以前に同期したHP Project Management 作業計画から、失ったMicrosoft Projectファイルを復元する場合にも使用できます。

## HP Project Management を介したMicrosoft Project ファイルの公開

Microsoft Projectを使用してプロジェクトを管理しているプロジェクトマネージャは、HP Project Management のプロジェクトを公開できます。HP Project Managementで作業計画テンプレートから作業計画を作成し、Microsoft Projectでそのファイルを開いて編集することもできます。これにより、PMOが施行する標準規格を利用できます。公開とはHP Project Management リポジトリにプロジェクトデータを読み込むことであり、次のようなメリットをもたらします。

- プロジェクトのステータスがPPM Dashboardに表示されます。HP Project Managementはプロジェクトのポリシー設定を基にして、例外とヘルスステータス(赤色/黄色/緑色)を計算します。
- プロジェクトの参加者と外部の閲覧者は、マイタスクポートレットや検索ページなどのインターフェースで、プロジェクトを表示できます。参加者はHP Project Managementからプロジェクトのステータスを更新することはできませんが、プロジェクト情報の全体像を確認するための効率的な方法です。
- HP Project Management ユーザは、別のPPM Centerエンティティ(リクエストとパッケージなど)から同期されたプロジェクト内のタスクに、参照を作成できます。これらの参照は、特定タスクのステータスを監視するのに使用できます。

HP Project Managementを介してMicrosoft Projectファイルを公開するには、次の手順を実行します。

1. HP Project Managementで、作業計画のないプロジェクトを作成します。

2. プロジェクトの統合モードがMicrosoft Project制御であることを確認します。
3. Microsoft Project ファイルをHP Project Management に送信します(詳細については、「[HP Project Management への Microsoft Project ファイル作業計画の送信](#)」(301 ページ)を参照してください)。

プロジェクトマネージャは、定期的にプロジェクトをHP Project Management に公開することがあります。これは、Microsoft Project で **[HP PPM Center]** > **[関連付けられた作業計画の更新]** を選択することで実行できます。Microsoft Project ファイル内の情報を基にHP Project Management 内の情報が更新され、HP Project Management に固有の情報は保持されます。

## 両方のアプリケーションを使用したさまざまなプロジェクトデータのトラック

Microsoft Project を使用してプロジェクトを計画して管理するプロジェクトマネージャは、HP Project Management を使用して参加者から実績を収集できます。「[HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開](#)」で説明したメリットに加え、この統合では、実績情報の収集と入力作業の一部がプロジェクトマネージャから参加者に移行します。プロジェクトマネージャは定期的にプロジェクトを同期することで、HP Project Management に再度計画した作業計画を公開するか、Microsoft Project に新しい実績の更新を収集する必要があります。

HP Project Management を使用して Microsoft Project からの実績をトラックするには、次の手順を実行します。

1. 作業計画を作成します。
  - 先に Microsoft Project で作業計画を作成してから、HP Project Management に送信して作業計画の統合を確立できます。作業計画の編集は、すべて Microsoft Project で行う必要があります。
  - 先に HP Project Management で作業計画テンプレートを使用して作業計画を作成してから、Microsoft Project でそのファイルを開いて編集することもできます。これにより、作業計画の管理に Microsoft Project を使用する場合でも、標準規格を施行することができます。
2. Microsoft Project で、**[HP PPM Center]** > **[関連作業計画の更新]** を選択します。

[関連作業計画の更新] ダイアログボックスが開きます。

3. **[Microsoft ProjectからPPMに作業計画情報を送信]** または **[PPMからの実績値をMicrosoft Projectで取得します。]** を選択して、**[OK]** をクリックします。

詳細については、「[HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設定](#)」(269 ページ)を参照してください。

## 統合のためのプロジェクトレベルの設定

HP Project Management には、プロジェクトポリシーによって決定する数多くのプロジェクトのための設定が存在します。プロジェクトポリシーは、特定のプロジェクトを作成するのに使用されるプロジェクトタイプから継承されます。プロジェクトタイプとポリシーの詳細については、[第3章「プロジェクトタイプの設定」](#)(33 ページ)を参照してください。Microsoft Project 統合に関連する設定は、**Microsoft Project 統合** ポリシーによって設定されます。サービスポートフォリオに関連する設定は、**リクエストタイプ** ポリシーによって設定されます。

## 図 10-2. Microsoft Project 統合ポリシー

Microsoft Project 統合

プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする  はい  いいえ

Microsoft Project の統合の状況は以下のとおりです。このプロジェクト タイプを使用しているプロジェクトは、これらのデフォルト設定を継承します。

統合モード

**プロジェクト作業用の統合モード**

PPM はすべての共有作業計画書レベルを制御する

Microsoft Project はすべての共有作業計画書レベルを制御する

エキスパートは共有を決定する

作業計画情報は、Microsoft Project によって制御される

実績トラッキング情報は、PPM によって制御される

Microsoft Project への PPM 情報の転送

PPM がすべての共有作業計画書レベルをコントロールしている、または実績をトラッキングしている統合では、リソースは自動的に Microsoft Project で同期されます。

**リソース マッピングの基準:**

PPM ユーザー名

PPM 氏名 名、スペース、姓

PPM 氏名、姓、スペース、名

PPM を使用して実績をトラッキングしている場合は、トラッキングした情報を Microsoft Project に転送できます。

**転送実績情報:**

達成率 (%)

達成率 (%) と開始の日付

興味工程

PPM システム 情報のための Microsoft Project の接続場所

統合中は、PPM システム 情報をトラッキングするために、Microsoft Project のカスタム フォールド内の情報を保存する必要があります。Microsoft Project の現在のシステム エクステンションは、PPM フォールド内の接続を使用することを許可します。また、作業計画を統合した項目の設定を変更しないようにすることを強くお勧めします。

**PPM タスク情報は、1 つの Microsoft Project タスク カスタム フォールドが必要です:**

NumberID

**PPM リソース情報は、1 つの Microsoft Project リソース カスタム フォールドが必要です:**

NumberID

**PPM アサイン情報は、1 つの Microsoft Project アサイン カスタム フォールドが必要です:**

NumberID

コントロールを共有し、変更された実績を PPM から取得する統合では、PPM は追加の Microsoft Project カスタム フォールドを使用します。

**2 つの日付フィールドに、開始日と終了日のスナップショットが保存されます:**

StartID  EndID

**フラグ フィールド 1 は、変更された実績を持つタスクを示します:**

FlagID

**変更された実績を持つタスクの色を強調表示します:**

はい  いいえ

**フラグ フィールド 2 は、変更された実績によって影響を受ける日付を持つタスクを示します:**

FlagID

**変更された実績によって影響を受ける日付を持つタスクの色を強調表示します:**

はい  いいえ

**Microsoft Project フィールド マッピング**

必要に応じて、以下の Microsoft Project タスク カスタム フィールドにマッピングするよう PPM ユーザー データ フィールドを設定できます。

**現在マッピングしている XML ファイル:**

**新設フィールドをアップロードします:**

フィールドタイプ	PPM ユーザー データ フィールド	PPM フィールド ラベル	Microsoft Project カスタム データ フィールド

Microsoft Project メモの同期

メモの同期を有効にする

非同期モードで、同期方向を指定できます。

**メモの同期方向**

PPM から Microsoft Project

Microsoft Project から PPM

**Microsoft Project フィールド マッピング**

アクティビティの同期を有効にする

次の Microsoft Project カスタム フィールドにマップされる PPM アクティビティ情報:

TaskID



プロジェクトタイプレベルで **Microsoft Project 統合ポリシー** を変更しても、その変更はそのタイプのプロジェクトに伝播しません。

プロジェクト設定を表示したり、変更したりするには、次のいずれかの手順を実行します。

- HP Project Management の [プロジェクトの概要] ページから、[プロジェクト設定] をクリックします。
- Microsoft Project から、[HP PPM Center] > [PPMにリンク] > [設定: Microsoft Project統合] を選択します。このオプションメニューは、統合されたプロジェクトにのみ利用できます。

## 統合モード

この設定は、HP Project Management と Microsoft Project 間の同期の際に、プロジェクト情報を制御するアプリケーションを決定します。

- PPM が全ての共有作業計画情報を制御する場合 (HP Project Management 制御モードの場合)、プロジェクトの情報を同期すると Microsoft Project 内で行われた任意の変更が自動的に破棄されます (「[Microsoft Project を介した HP Project Management 作業計画の公開](#)」(264 ページ)を参照)。
- Microsoft Project が全ての共有作業計画情報を制御する場合 (Microsoft Project 制御モードの場合)、HP Project Management 内の作業計画は編集不可になります (「[HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開](#)」(265 ページ)を参照)。
- 制御が共有されている場合 (共有制御モードの場合)、作業計画情報は Microsoft Project によって決定され、実績データは HP Project Management によって収集されます (「[両方のアプリケーションを使用したさまざまなプロジェクトデータのトラック](#)」(266 ページ)を参照)。



プロジェクトの実行中にモードを切り替えることは可能ですが、HP Project Management 制御への切り替え以外は推奨されません。

## HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設定

一方のアプリケーションで作成して他方のアプリケーションで開いたプロジェクトの制御は、その後、HP Project Management により定義される3つのモードの1つを使用して Microsoft Project と HP Project Management 間で共有できます。これらの制御モードは HP Project Management 側の、プロジェクト設

定の**Microsoft Project統合**ポリシーで設定します。設定の詳細については、「[統合のためのプロジェクトレベルの設定](#)」(267 ページ)を参照してください。

- Project Management制御。Microsoft Projectで[**HP PPM Center**] > [**関連作業計画の更新**]を選択すると、Microsoft Project内の計画情報がHP Project Managementからの作業計画によって更新されます。
- Microsoft Project制御。Microsoft Projectで[**HP PPM Center**] > [**関連作業計画の更新**]を選択すると、HP Project Management内の計画情報がMicrosoft Projectからの作業計画によって完全に更新されます。HP Project Managementで変更を行なった場合、その変更は保持されます(詳細については、「[HP Project Managementで許可される条件付き編集](#)」(314 ページ)を参照してください)。PPM CenterにマップできないリソースがMicrosoft Project作業計画に含まれる場合、これらのリソースをマップする指示が表示されます。詳細については、「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。

Microsoft Project ファイルをHP Project Managementに送信するたびに、デフォルトで.mppファイルに.bak拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。

先にHP Project Managementで作業計画テンプレートを使用して作業計画を作成した場合、テンプレートで必須としてマークされたタスクはMicrosoft Projectでは削除できません。

- 共有制御。Microsoft Projectで[**HP PPM Center**] > [**関連作業計画の更新**]を選択すると、次のオプションから選択できます。
  - Microsoft ProjectからHP Project Managementに更新されたスケジュール情報を送信する。このオプションを選択すると、Microsoft Project内のデータを基にして、HP Project Management内の関連作業計画内に作業計画スケジュール情報が更新されます。HP Project Managementで変更を行なった場合、その変更は保持されます(詳細については、「[HP Project Managementで許可される条件付き編集](#)」(314 ページ)を参照してください)。作業計画情報の更新の詳細については、「[Microsoft ProjectからHP Project Managementへの作業計画\(計画\)情報の送信\(共有制御モード\)](#)」を参照してください。PPM CenterにマップできないリソースがMicrosoft Project作業計画に含まれる場合、これらのリソースをマップする指示が表示されます。詳細については、「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、デフォルトで .mpp ファイルに .bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。

先に HP Project Management で作業計画テンプレートを使用して作業計画を作成した場合、テンプレートで必須としてマークされたタスクは Microsoft Project では削除できません。HP Project Management 内で記録された実績があるタスクは、Microsoft Project ファイルから削除できません。タスクを削除する場合、先に実績を削除する必要があります。

- HP Project Management から実績を取得（「[統合のためのプロジェクトレベルの設定](#)」(267 ページ)に記載した設定を基に取得されます）。このオプションを選択すると、統合は確認用と追加のアプリケーション用に HP Project Management から実績データを取得します。HP Project Management から実績を取得する方法の詳細については、「[HP Project Management からの実績の取得 \(共有制御モード\)](#)」(304 ページ)を参照してください。

## 同期モードとプロジェクトカレンダーの変更

HP Project Management と Microsoft Project は、各自のプロジェクトに別々のカレンダーシステムを使用します。同期モードが HP Project Management 制御の場合、HP Project Management カレンダーが使用されます。同期モードが Microsoft Project 制御または共有制御の場合、Microsoft Project カレンダーが使用されます。

プロジェクトの同期モードを Microsoft Project 制御または共有制御から HP Project Management 制御に変更すると、HP Project Management カレンダーが使用されます。ただし、プロジェクトの同期モードを HP Project Management 制御から Microsoft Project 制御または共有制御に変更しても、HP Project Management カレンダーが使用されます。Microsoft Project カレンダーシステムを使用する場合は、Microsoft Project カレンダーシステムに手動で変更する必要があります。

## MicrosoftへのPPM Center情報の転送

HP Project ManagementからMicrosoft Projectに情報を転送するとき、Microsoft Project統合がMicrosoft Project内でリソースを適切に作成できるようにするため、**リソースマッピングの基準**設定を使用してHP Project Managementでリソースを特定する方法を指定する必要があります。

Microsoft Projectでプロジェクトの実績をトラックする場合、[**転送実績情報**]設定を選択して必要なデータの転送を有効にします。この設定は、共有制御モードの場合、およびHP Project Management作業計画を使用してMicrosoft Project内に新規ファイルを作成する場合に使用されます。選択したオプションに応じて、達成率はタスクレベルまたはリソースレベルのいずれかに適用できます。両方には適用できません。

**転送実績情報**設定のオプションは、次のように機能します。

- [達成率]: このオプションを使用すると、タスクレベルの達成率がMicrosoft Projectに渡される唯一の実績情報になります。Microsoft Projectは、各リソースの実際の工数と実際の日付を自動的に計算します。Microsoft Projectのスケジュール情報は変更されません。

多くのプロジェクトマネージャがMicrosoft Projectで達成率を使用して計画を管理します。ただし、HP Project Management内の一部の情報はMicrosoft Projectでは表示できません。例えば、HP Project Managementでタスクが4日遅れで開始しても、その情報はMicrosoft Projectでは表示されません。この問題に対応するには、HP Project Managementでの例外によるプロジェクトの管理を試みてください。

計画の全体的な進捗が共有すべきもっとも重要な情報である場合、このオプションを選択します。

- [達成率 (%) と実際の日付]: このオプションを使用すると、Microsoft Projectに渡される実績情報は次のようになります。タスクレベルではすべての値が渡され、Microsoft Projectは内部ルールを使用してアサインにデータを適用します。工数と日付を含むリソースアサインデータはHP Project Management内のデータと一致しない場合があります。
  - [実際の開始日]: タスクに実際の開始日を適用すると、Microsoft Projectでタスクのスケジュールされた開始日が削除され、Microsoft Projectの残りのスケジュールに連鎖的な影響を与えます。



- **[実際の終了日 (存在する場合)]**: タスクに実際の終了日を適用すると、Microsoft Projectはタスクのスケジュールされた終了日と期間を再計算します。これにより、リソースの工数が再計算され、計画全体に連鎖的なスケジュールの変更が発生することもあります。
- **[予想終了日 (トラックしている場合)]**: HP Project Managementで**[予想終了日]**フィールドがトラックされていて**[実際の終了日]**の値が存在しない場合、予想終了日はタスクの予定された終了日としてMicrosoft Projectに渡されます。これにより、残りの計画のタスクの期間、工数、およびスケジュールに影響を与える場合があります。
- **[達成率]**: タスクレベルの達成率を適用すると、Microsoft Projectはリソースレベルの工数を暗黙的に使用します。

リソースがタスクの開始日や終了日から外れて実績を記録した場合、または実際の日付は正確であるもののプロジェクトマネージャがスケジュールを調節する場合にこのオプションを選択します。

- **[実際の工数]** このオプションを使用すると、Microsoft Projectに渡される実績情報は、リソースレベルの実際の工数と見積もり残存工数になります。Microsoft Projectは、タスクの達成率および実際の開始日とスケジュールされた終了日を推定します。タスクにかかる工数が、想定よりも多いまたは少ない工数を要することを示す場合があるため、Microsoft Projectでのタスクのセットアップによっては、計画全体に連鎖的な影響(スケジュール、スケジュールされた期間、および終了日の調節など)を与える場合があります。

このオプションを使用するときは、常にHP Project Managementで実際の工数をトラックする必要があります。オプションで、見積もり残存工数をトラックすることもできます。

見積もり残存工数はトラックされていない場合でも常に同期されます。この値はHP Project Managementによりバックグラウンドで計算され、タスクが想定よりも多いまたは少ない工数を要することを示します。

Microsoft Projectは達成率を計算します。リソース間で工数が均一ではない場合、または工数が配分型ではない場合、Microsoft Projectでのタスクレベルの完了率はHP Project Managementの値とは異なる場合があります。両アプリケーションが異なる計算方法を使用するためです。

プロジェクトマネージャが計画を管理するのに工数のメトリクスに重点を置く場合に、このオプションを選択します。

## PPM Center システム情報のための Microsoft ストレージの場所

統合では、アプリケーション間で適切に情報を転送するため、タスクとリソースの両方にカスタムの Microsoft Project フィールドが必要になります。このカテゴリでの最初の3つの設定では、使用するフィールドを指定できます。



作業計画を統合した後にカスタム Microsoft Project フィールドを変更すると、元のカスタム Microsoft Project フィールドにあったデータは削除されます。

共有制御モードでプロジェクトを同期する場合、このカテゴリでさらにいくつかの Microsoft Project フィールドを指定する必要があります。これらのフィールドは、以下の情報を維持します。

- 同期の完了後、Microsoft Project により自動的に変更されるデータのスナップショット
- 同期によって変更されるフィールド、および同期されるフィールドを基にして Microsoft Project により変更されるフィールドのフラグ

このプロジェクトレベルの設定により、同期された実績のフィールド、および同期を基に Microsoft Project により自動的に変更されたフィールドを分かりやすくするため、カスタム Microsoft Project テーブル表示のフィールドの値の色を変更することもできます。このカスタムテーブル表示の使用方法の詳細については、「[カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル](#)」(242 ページ)を参照してください。

## Microsoft フィールドマッピング

この設定では、HP Project Management ユーザデータと Microsoft Project カスタムフィールドをマップします。マッピングは、HP Project and Portfolio Management Center の外部でプロジェクトマネージャにより維持され編集される XML ファイルで定義されます。

現時点では、タスクに関連するユーザデータとカスタムフィールドのみがサポートされます。

Microsoft フィールドマッピングを有効にするには、次の手順を実行します。

1. HP Project Management ユーザデータを構成します。

ユーザデータを構成するには、『HP Project Management Configuration Guide』の章「Configuring Task User Data」を参照してください。[検証]フィールドにテキストフィールド([**テキストフィールド - 200文字**]など)を選択します。



タスクのためのMicrosoftカスタムテキストフィールドは最大で255文字をサポートします。HP Project Managementユーザデータは最大で200文字をサポートします。これらのフィールドを同期するとき、データが切り詰められる場合があります。

マッピングファイルのアップロード後にPPM Workbenchのユーザデータを変更する場合、テーブルに変更が反映されるようにするため、ユーザデータを保存してプロジェクト設定を更新する必要があります。

2. XMLマッピングファイルを作成します。以下の「XMLマッピングファイルの作成」を参照してください。
3. XMLマッピングファイルをアップロードします。詳細については、「XMLマッピングファイルのアップロード」(276 ページ)を参照してください。

## XMLマッピングファイルの作成

XMLマッピングファイルは、HP Project ManagementユーザデータとMicrosoft Projectカスタムフィールドのマッピングを定義します。これらのファイルを更新する予定の場合、マッピングファイルのコピーを保存します(マッピングファイルをアップロード後に更新する場合、テーブルに変更が反映されるようにするため、マッピングファイルを再度読み込んでプロジェクト設定を保存する必要があります)。

サンプルXMLマッピングファイル(SampleMap.xml)には、マッピングファイルを作成するのに必要となる構成が含まれます。このファイルはPlug-in for PPMに含まれています。

### XMLマッピングファイルの例

```
<MSPCustomFieldsMapping>
  <Map>
    <PPMField>1</PPMField>
    <MSPField>5</MSPField>
  </Map>
</MSPCustomFieldsMapping>
```



PPMFieldとMSPField要素には、整数のみが許可されます。

最大で20までのHP Project Managementタスクユーザデータフィールドを構成できます。

PPMField要素はHP Project Managementユーザデータを参照し、MSPField要素はMicrosoft Projectカスタムフィールドを参照します。この例では、ファイルはUSER\_DATA1をタスクレベルのText5にマップします。

## XMLマッピングファイルのアップロード

マッピング定義を含むXMLファイルをアップロードするには、次の手順を実行します。

1. **[参照]** をクリックします。
2. マッピングに使用するXMLファイルを選択します。
3. **[保存]** をクリックします。マッピングがテーブルに結果が表示されます。

列名	説明
フィールドタイプ	マップするカスタムフィールドとデータタイプ。現時点では、タスクに関連するテキストフィールドのみがサポートされます。
PPMユーザーデータフィールド	Microsoft カスタムフィールドのマップ先となるユーザーデータフィールド。
PPM Prompt (PPM プロンプト)	ユーザーデータ向けに構成されたフィールドプロンプトまたはプロンプト名 (PPM Workbench 内)。プロンプト名にHTMLコードとして解釈可能な文字が含まれる場合、その名前はテーブルに期待通りには表示されない場合があります。 ユーザーデータが構成されていない場合、 <b>[未定義]</b> と表示されます。 ユーザーデータが有効ではない場合、 <b>[無効]</b> と表示されます。
Microsoft Project カスタムデータ フィールド	PPMユーザーデータのマップ先となるMicrosoft カスタムフィールド。

マッピングファイルのユーザーデータを変更する場合、テーブルに変更が反映されるようにするため、ファイルを再度読み込んでプロジェクト設定を更新する必要があります。PPM Workbench のユーザーデータを変更する場合、テーブルに変更が反映されるようにするため、ユーザーデータを保存してプロジェクト設定を更新する必要があります。

## 同期モード

同期モードにより、ユーザデータフィールドの制御方法が決定します。

- 作業計画がHP Project Management制御であれば、ユーザデータフィールドはHP Project Managementにより制御されます。
- 作業計画がMicrosoft Project制御であれば、ユーザデータフィールドはMicrosoft Projectにより制御されます。
- 制御が共有の場合、ユーザデータフィールドはMicrosoft Projectにより制御されます。



HP Project Managementユーザデータフィールドが無効の場合にデータを再同期すると、このユーザフィールドのデータは(マッピングファイル内に定義されていても)更新されません。

## Microsoft フィールドマッピングの無効化

HP Project ManagementユーザデータとMicrosoft Projectカスタムデータをマップしなくなった場合、空のXMLマッピングファイルをアップロードしてMicrosoftフィールドマッピングを無効にします。空のXMLマッピングファイルには以下のエントリが含まれます。

```
<MSPCustomFieldsMapping/>
```

Plug-in for PPMと一緒にインストールされているデフォルトのSampleMap.xmlファイルをアップロードすることもできます。SampleMap.xmlファイルを変更した場合、上記の方法に従って空のXMLファイルを作成してアップロードする必要があります。

## メモの同期

### HP Project Management メモについて

メモとは[タスクの詳細]ページに入力する自由形式のテキストのことで、1作業計画あたり32Kまでの情報を含むことができます。一度保存したメモは変更できません。保存されたエントリは、タイムスタンプが付与されます。ユーザは複数のメモを送信できます。書式のあるテキスト、OLEオブジェクト、ビットアップ(Microsoft Projectメモで使用可能)は、HP Project Managementメモでは使用できません。

## HP Project Management 制御で同期されるメモについて

HP Project Management が統合のメモを制御する場合、タスクの説明とすべてのメモが、同期されるメモのサイズの限界まで1つの同期メモにまとめられます (詳細については、「[Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期](#)」を参照してください)。説明とメモは日付の昇順に並べられ (最新のメモが同期されたメモの先頭)、タイムスタンプとメモを作成したユーザが各メモ内に表示されます。

### Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期

デフォルトで、PPM Center と Microsoft Project の同期されたメモのサイズは 1,500 バイトが上限です。この上限は同期されたメモにのみ適用されます。つまり、PPM Center または Microsoft Project で 1,500 バイトよりも大きいメモを作成して格納できますが、2 アプリケーション間で同期される情報は制限されます。

Microsoft Project では、同期されたメモのサイズは構成できません。つまり、Microsoft Project から PPM Center に送信された同期されたメモのサイズは 1,500 より大きくすることはできず、変更できません。

PPM Center では、同期されたメモのサイズは構成できます。つまり、PPM Center から Microsoft Project に送信された同期されたメモのサイズは `server.conf` 内の `MSP_NOTES_SIZE_LIMIT` パラメータによって決定されます。

PPM Center で同期されたメモのサイズを構成するには、`server.conf` 内の `MSP_NOTES_SIZE_LIMIT` パラメータを編集します。デフォルトで同期されたメモのサイズは 1,500 バイトです。`server.conf` ファイルの編集方法の詳細については、『[Installation and Administration Guide](#)』を参照してください。

### Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期

ノードを使用してタスクデータや実績の詳細をトラックするかどうかを決定する必要があります。決定後、プロジェクトポリシーとして設定する必要があります。このため、メモの同期はプロジェクトタイプレベルで有効にする必要があります。同じプロジェクトタイプのプロジェクトでのメモの同期は、常に同じ方向 (PPM Center から Microsoft Project、または Microsoft Project から PPM Center) である必要があります。

PPM Centerからメモの同期を有効にするには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトタイプを作成するか、既存のプロジェクトタイプを開きます。

プロジェクトタイプを作成するには、次の手順を実行します。

- a. [作成] > [管理] > [プロジェクトタイプ] を選択します。

既存のプロジェクトタイプを開くには、次の手順を実行します。

- b. [検索] > [管理] > [プロジェクトタイプ] を選択します。

- c. プロジェクトタイプをクリックします。

2. [Microsoft Project統合] をクリックします。

3. [Microsoft Projectフィールドマッピング] セクションで、[メモの同期を有効にする] を選択します。

4. メモの同期方向を選択します。

作業計画情報の制御が共有である場合、この選択はメモに格納されるデータのタイプを示します。例えば、作業計画情報の制御が共有である場合に [PPMからMicrosoft Project] を選択すると、メモは実績の詳細とみなされます。 [Microsoft ProjectからPPM] を選択すると、メモはタスクデータとみなされます。

5. [作成] または [完了] をクリックします。

## HP Project Management と Microsoft Project メモの同期モード

プロジェクトの同期モードは、PPM Center と Microsoft Project 間で同期するときに、プロジェクト情報を制御する側のアプリケーション (PPM Center または Microsoft Project) を決定します。

HP Project Management がすべての共有作業計画情報を制御する場合、メモは PPM Center で編集可能です。メモは Microsoft Project でも編集可能ですが、同期時に Microsoft Project のメモに行われた更新はすべて上書きされます。PPM Center プロジェクト情報を Microsoft Project に転送するとき、タスクの説明、ユーザ、タイムスタンプが記載された各メモは、Microsoft Project のメモフィールドにまとめられます。



HP Project Managementが全ての共有作業計画情報を制御する場合、メモの同期が無効であっても、タスクの説明はPPM CenterからMicrosoft Projectのメモフィールドに常にコピーされます。

Microsoft Projectがすべての共有作業計画情報を制御する場合、メモはMicrosoft Projectでのみ編集可能です。Microsoft Project作業計画情報をPPM Centerプロジェクトに転送すると、Microsoft Projectのメモフィールドは、単一のPPM Centerメモフィールドにインポートされます。書式のあるテキスト、OLEオブジェクト、ビットマップ (Microsoft Project メモで使用可能) は、HP Project Management メモでは使用できません。

制御が共有の場合、メモを制御し編集するアプリケーションは、プロジェクトのMicrosoft Project 統合プロジェクト設定により決定します。「[Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期](#)」の手順4を参照してください。

## Microsoft ProjectからHP Project Managementに作業計画情報を送信するときのメモの同期について

メモの同期が有効であり、共有制御モードでMicrosoft ProjectからHP Project Managementに作業計画情報を送信する場合、メモの同期は次のように動作します。

表 10-4. Microsoft ProjectからHP Project Managementへのメモの同期の動作

選択したオプション	同期方向	結果
Microsoft ProjectからPPMに作業計画情報を送信	Microsoft ProjectからPPM	Microsoft ProjectのメモがPPM Centerで同期されます。
	PPMからMicrosoft Project	Microsoft Projectのメモは同期されません。
PPMからの実績値をMicrosoft Projectで取得	Microsoft ProjectからPPM	PPM Centerのメモは同期されません。
	PPMからMicrosoft Project	PPM CenterのメモがMicrosoft Projectで同期されます。



## 同期モードを変更するときのメモの同期について

プロジェクトの同期モードをHP Project Management制御からMicrosoft Project制御に変更する場合、プロジェクトを同期するとHP Project Managementにあらかじめ入力されていたメモは削除されます。HP Project Managementにあらかじめ入力されていたメモを保持するには、同期モードを変更する前に、Microsoft Projectにプロジェクトを同期します。

## HP Project Management アクティビティの同期

アクティビティは、プロジェクト作業計画のタスクに関連付けることができる単なる設定エンティティです。タスクは、タスクの実施に関連するアクティビティのタイプによって特徴付けることができます。例えば、あるタスクは設計アクティビティと分類することができ、また別のタスクはテストアクティビティと分類できます。

アクティビティは簡単な分類に使用できるものの、アクティビティは通常Statement of Position (SOP) 98-1 遵守のため、資本化可能なコストを識別するのに使用されます。例えば、プロジェクトが資本化をサポートしている場合、資本化済みとしてマークされたアクティビティは関連するタスクのコストを資本として分類します。プロジェクトやタスクは、資本化されたアクティビティと関連付けられている場合、資本化済みとして識別されます。

HP Project Managementは、タスクと使用するように構成可能な、一般的なSOP 98-1 カテゴリを反映する事前定義されたアクティビティのセットを備えています。

SOP 98-1 トラックを有効にしない場合でも、アクティビティは分類用ツールとしてタスクに関連付けることができ、関連付けられたコストは運用コストとみなされます。つまり、SOP 98-1 機能が有効ではない場合でもアクティビティを使用できるものの、アクティビティは資本化済みとしてマークすることはできず、任意のアクティビティと関連付けられたプロジェクトやタスクは資本化データをトラックしません。



アクティビティはリクエストとパッケージと関連付けることもできます (しかし資本化はできません)。ただし、タスクに関連付けられたアクティビティのみHP Project ManagementとMicrosoft Project間でマップして同期できます。

アクティビティの構成方法とアクティビティの動作の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

## Microsoft Project統合オプションの有効化: アクティビティの同期とマッピング

HP Project Management のアクティビティのマップ先とマップ元は、Microsoft Project のカスタムフィールド [Text1] です (デフォルトで Text1 が構成されています)。

アクティビティマッピングを有効にするには、PPM Center で次の手順を実行します。

1. プロジェクトを開きます
2. [プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクト設定**] をクリックします。
3. [**Microsoft Project 統合**] をクリックします。
4. [Microsoft Project フィールドマッピング] セクションで、[**アクティビティの同期を有効にする**] を選択します。
5. HP Project Management アクティビティにマップする Microsoft Project カスタムフィールドを選択します。デフォルトで、Text1 が選択されています。

デフォルトで、ドロップダウンリストからカスタムフィールド「Text1」から「Text29」を選択できます。これは、デフォルトで Microsoft Project カスタムフィールド Text30 がプロジェクトリンク情報を格納するのに使用されるためです (詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください)。プロジェクトリンクを格納するのに使用するカスタムフィールドは、アクティビティをマップするには使用できません。管理者が別のカスタムフィールドを使用するようにプロジェクトリンクを構成した場合、ドロップダウンリストにそのフィールドは表示されません。

6. [**完了**] をクリックします。

## HP Project Management と Microsoft Project アクティビティの同期モード

プロジェクトの同期モードは、PPM Center と Microsoft Project 間で同期するときに、プロジェクト情報を制御するアプリケーション (PPM Center または Microsoft Project) を決定します。

HP Project Management がすべての共有作業計画情報を制御する場合、アクティビティは PPM Center で編集可能です。PPM Center プロジェクト情報を Microsoft Project に転送するとき、PPM Center の [アクティビティ] フィールドは Microsoft Project のカスタムフィールド [Text1] にエクスポートされます (デフォルト)。

Microsoft Project がすべての共有作業計画情報を制御する場合、アクティビティは Microsoft Project でのみ編集可能です。Microsoft Project 作業計画情報を PPM Center プロジェクトに転送すると、Microsoft Project のカスタムフィールド [Text1] (デフォルト) は、PPM Center の [アクティビティ] フィールドにインポートされます。

制御が共有の場合、アクティビティはMicrosoft Projectによってのみ制御され、Microsoft Projectでのみ編集可能です。Microsoft Project作業計画情報をPPM Centerプロジェクトに転送すると、Microsoft Projectのカスタムフィールド [Text1] (デフォルト) は、PPM Centerの [アクティビティ] フィールドにインポートされます。

## Microsoft Projectでのアクティビティ同期の動作

アクティビティを同期するとき、Plug-in for PPMでMicrosoft Project内にアクティビティ列を生成するか、“アクティビティ”ラベルを使用してMicrosoft Project内にアクティビティ列を定義し、PPM Centerプロジェクト設定で構成した同じカスタムフィールドにマップする必要があります。

アクティビティ列が正しく定義されていない場合 (Microsoft Project列のラベルが“アクティビティ”ではないか、カスタムフィールドがPPM Centerプロジェクト設定で構成された同じカスタムフィールドではない場合)、次の現象が発生します。

表 10-5. ラベルが不適切なアクティビティ列の動作

	HP Project Management制御	Microsoft Project制御または共有制御
Microsoft Projectの列ラベルが正しくなく、カスタムフィールドが正しい場合	Microsoft ProjectからPPM Center作業計画を最初に開くと、Microsoft Project内に「アクティビティ」というラベルの列が作成されます。「アクティビティ」列の名前が変更されても、PPM CenterのアクティビティはMicrosoft Projectの同じ (名前が変更された) 列に同期されます。	Microsoft Projectのラベルが不適切なアクティビティはPPM Centerのアクティビティに同期されません。警告メッセージが記録されます。
Microsoft Projectの列ラベルが正しく、カスタムフィールドが正しくない場合	Microsoft ProjectからPPM Center作業計画を最初に開くと、Microsoft Project内に「アクティビティ」というラベルの列が作成されます。Microsoft Projectに (PPM Centerプロジェクト設定で構成されたものとは異なる) 別のカスタムフィールドにマップされる、ラベルが「アクティビティ」の別の列が追加されると、同期中、その列は無視されます。	Microsoft Projectのラベルが「アクティビティ」の列はPPM Centerで同期されません。その代わりに、正しいカスタムフィールドにマップされる、ラベル名が「アクティビティ」となる列が作成されます。ラベルが「アクティビティ」となる最初の列名を変更する警告メッセージが記録されます。



最初の同期後、Microsoft Project で列のラベルやマップされるカスタムフィールドを変更しないでください。

## アクティビティの継承の動作

タスクとサマリタスクは、上位プロジェクトからアクティビティ設定を継承できます。このため、プロジェクト内のタスクとサマリタスクごとにアクティビティを手動で設定する必要はありません。

アクティビティの継承は特定のルールに従います (『HP Financial Management ユーザーガイド』も参照)。

- プロジェクトでアクティビティが設定されている場合、同じアクティビティはその下位すべてに継承されます。これらの下位は、あらゆる上位のアクティビティ設定を継承し続けます。下位のうちの1つが別のアクティビティ設定を持つ別の上位に移動すると、その下位は新しい上位のアクティビティ設定を取得します。
- 上位とは異なるアクティビティ設定のある下位が検出されると、アクティビティ設定の継承は停止し、その下位のアクティビティ設定が保持されます。この下位のアクティビティ設定は、下位がインデント、アウトデントされた場合、別の上位の下にカットアンドペーストされた場合でも保持されます。
- 異なるアクティビティ設定のある下位で、その下位のアクティビティ設定を上位のアクティビティ設定に手動で設定すると、その下位のアクティビティ設定は保持されなくなり、その時点での上位のアクティビティ設定になります。
- 下位のアクティビティを空の値に手動で設定すると、アクティビティは空のままになりますが、空ではないアクティビティ設定のある上位にその下位を移動すると、アクティビティは空ではなくなります。
- サマリタスクの上位がアクティビティ設定を変更すると、そのサマリタスクとすべての下位に新しいアクティビティが適用されます。ただし、サマリタスクのアクティビティ設定がその上位とは異なる場合は例外で、その場合、サマリタスクと下位は変更されません。

アクティビティの継承の動作に関する追加ルール:

- HP Project Management 制御モードでは、アクティビティを同期するときに PPM Center で下位のアクティビティが空であれば、そのアクティビティは Microsoft Project で空になります。
- Microsoft Project 制御モードでは、アクティビティを同期するときに Microsoft Project で下位のアクティビティが空であれば、PPM Center でその下位のアクティビティは上位のアクティビティを継承します。

## サービスポートフォリオ管理のサポート

PPM Center では、サービスポートフォリオを使用して、ビジネスサービスと人件費関連の IT プロジェクトイニシアチブとリクエストをトラック、分類、および分析します。HP Project Management 作業計画のタスクに [サービス] フィールドを追加できます。このフィールドは必須フィールドである場合があります。Microsoft Project にはサービス関連フィールドはありません。

PPM Center に Microsoft Project 作業計画を同期したり、PPM Center から作業計画を開くときの [サービス] フィールドの同期は、同期モードとそのフィールドのプロジェクト設定によって異なります。

### HP Project Management 制御

Microsoft Project にサービス関連のフィールドが存在しないことから、Microsoft Project に新規 PPM Center プロジェクト作業計画をエクスポートしたり更新を同期するとき、Microsoft Project に [サービス] フィールドとその値はインポートされません。

HP Project Management 制御モードで既存プロジェクトのサービスを変更すると、サービスは保存されますが Microsoft Project 作業計画には同期されません。Microsoft Project 制御モードに切り替え、Microsoft Project 作業計画の実績を更新してから PPM Center プロジェクトの作業計画に実績情報の更新を同期して戻すと、既存作業計画タスクのサービスは同じ値を保持し、新規作業計画タスクは上位サービスを継承します。

## Microsoft Project制御または共有制御

[サービス] フィールドの同期の動作は表 10-6で説明されています。[サービス] フィールドが必要な場合または必要ではない場合、デフォルトサービスが定義されている場合や定義されていない場合、およびサービスが上位タスクにアサインされている場合やアサインされていない場合に、何が発生するのかを定義します。同期中、サービスが新規作業計画サブタスクにアサインするとき、上位タスクにアサインされたサービスがデフォルトのサービスより優先します。ルートタスクは上位サービスを持ちません。

表 10-6. Microsoft Project制御および共有制御プロジェクトのサービス同期の動作 (1/2 ページ)

	サービスが必要ではない	サービスが必要
デフォルトサービスがない	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは空になります。	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。
上位タスクにアサインされたサービスがない (ルートタスクの可能性あり)		新規作業計画タスクの場合、同期は失敗します。[サービス] フィールドが必須であり、このプロジェクトで設定されていないことを示すエラーメッセージが開きます。PPM Center プロジェクト内でデフォルトサービスを設定してから Microsoft Project 作業計画を再度送信してください。
デフォルトサービスがない	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。
サービスが上位タスクにアサインされている	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは上位サービスを継承します。	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは上位サービスを継承します。

表 10-6. Microsoft Project制御および共有制御プロジェクトのサービス同期の動作 (2/2 ページ)

	サービスが必要ではない	サービスが必要
デフォルトサービスが指定されている	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。
上位タスクにアサインされたサービスがない (ルートタスクの可能性あり)	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドはデフォルトサービスを継承します。	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドはデフォルトサービスを継承します。
デフォルトサービスが指定されている	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。	PPM Center プロジェクト内の既存作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。
上位タスクにアサインされたサービス	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは上位サービスを継承します。	新規作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは上位サービスを継承します。

サービス継承の動作の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

## コストと工数ポリシーおよびHP Time Management

HP Time Management を使用して実績をトラックしている場合、コストと工数ポリシーで実績をトラックするレベル(タスクやプロジェクト)を選択できます。

実績をプロジェクトレベルでトラックすると、これらの実績は Microsoft Project には送信されません。Microsoft Project はタスクレベルでのみ実績をトラックするためです。Microsoft Project では、プロジェクトレベルの実績はタスクレベルの実績から自動的に計算されるか、ロールアップされます。

HP Time Management を使用して実績をトラックする場合、実績をトラックするレベルを変更できます。タスクレベルで実績を入力してプロジェクトレベルで時間をトラックするようにプロジェクトを変更すると、プロジェクトに対して時間をトラックするタイムシートからプロジェクトの実績すべてを削除するまで、タスクレベルにまでレベルを戻すことはできなくなります。

## Plug-in for PPMのユーザプリファレンス

このセクションに含まれるタスクはオプションです。

Microsoft Project で Plug-in for PPM のユーザプリファレンスを設定して、Microsoft Project、PPM Center、Microsoft Project Server間のインタラクションを構成できます。[PPM Plugin Preferences] ページでは、言語、プロンプト、強調表示、ファイルのバックアップ、ログファイル、PPM Server、カスタムHTTPヘッダー、プロキシサーバ、および使用するカレンダーの設定を変更できます。

[PPM Plugin Preferences] ページにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project で、[HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。

### Microsoft Project オプション

Microsoft Project オプションを使用して、Microsoft Project と Plug-in for PPM 間のインタラクションを構成します。これらのオプションを使用して言語を設定し、保存のプロンプト、強調表示、バックアップ、ログファイルの有効、無効を切り替えます。

### Plug-in for PPMの言語の設定

PPM Center と Microsoft Project の両方が複数言語のサポートを提供します。Plug-in for PPM も複数言語をサポートします。Plug-in for PPMの言語を設定することにより、Microsoft Project 内の HP PPM Center メニューの静的インタフェース要素の標準翻訳が決定します。デフォルトで、Plug-in for PPM で使用する言語が Microsoft Project 用に構成された言語になります。

言語設定を変更してプリファレンスを保存したときは、変更を有効にするために Microsoft Project を再起動する必要があります。

以下のフィールドを使用して Plug-in for PPM の言語を設定できます。



表 10-7. 言語設定

フィールド	説明
Microsoft Project 言語を使用する	<p>デフォルトで選択されます。Microsoft Project で構成されている言語を使用するには、このチェックボックスを選択します。</p> <p>このチェックボックスを選択した状態で Microsoft Project の言語を変更した場合、Microsoft Project を再起動すると Plug-in for PPM の言語は Microsoft Project の言語に自動的に変更されます。</p> <p>Microsoft Project で構成した言語が PPM Center でサポートされない場合、Plug-in for PPM は読み込みません。Plug-in for PPM が読み込むには、少なくとも <code>MspTextResources_&lt;XX&gt;.properties</code> が存在する必要があります。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。</p>
言語	<p>Plug-in for PPM で使用する言語を選択します。[<b>Microsoft Project 言語を使用する</b>] チェックボックスが選択されている場合、このフィールドで言語は選択できません。言語を選択した場合、この選択は Microsoft Project 言語を変更しても、その変更に影響されません。</p> <p>デフォルトで、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、トルコ語が利用できる言語の選択肢です。追加言語の選択肢は、PPM Server にインストールされている言語パック、またはプロパティファイルが翻訳され展開されているかどうかによって決定します (詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください)。</p>



Plug-in for PPM 言語設定は、HP PPM Center メニューとダイアログにのみ反映されます。PPM Center と Microsoft Project での言語設定が各アプリケーションでのメニュー、ダイアログ、およびデータの表示方法を決定します。

### 保存プロンプトの無効化

Microsoft Project 制御または共有制御の HP Project Management 作業計画に関連付けられた Microsoft Project ファイルを保存すると、HP Project Management に作業計画を送信するように案内されます。これにより、HP Project Management に変更を送信するオプションが提供されます。

Microsoft Project 作業計画の変更を保存してから HP Project Management に送信しない場合、プロンプトを無効にできます。デフォルトで、プロンプトは有効です。

保存プロンプトを無効にするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [Microsoft Project] タブで、[Microsoft Project ファイルの保存時に、PPM Center の関連するプロジェクトを更新するプロンプトを表示する] チェックボックスをオフにします。
4. [保存] をクリックします。

## HP Project Management により制御される作業計画の強調表示の有効化

HP Project Management 制御の作業計画の Microsoft Project テーブル表示で、Microsoft Project によって自動的に変更されるスケジュールされた日付の色を Plug-in for PPM で変更できます。有効にすると、デフォルトの色は青色になりますが、HP Project Management プロジェクトレベル設定で別の色に変更できます(「PPM Center システム情報のための Microsoft ストレージの場所」(274 ページ)を参照してください)。

強調表示を有効にするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [Microsoft Project] タブで、[PPM 制御モードでスケジュールのスリップを強調表示する] チェックボックスを選択します。
4. [保存] をクリックします。

プロジェクトが大きい場合、このオプションを有効にすると同期のパフォーマンスが損なわれる可能性があります。

## オンデマンドでの Plug-in for PPM の読み込み

デフォルトでは Microsoft Project を起動すると、Plug-in for PPM が自動的に読み込まれます。ただし、Plug-in for PPM の読み込みには時間がかかる場合があります。この待ち時間が長すぎる場合、Plug-in for PPM が必要となったときに読み込むようにプリファレンスを設定できます。

オンデマンドで Plug-in for PPM を読み込むには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [Microsoft Project] タブで、[起動時に PPM Center プラグインを読み込む] チェックボックスを選択解除します。
4. [保存] をクリックします。

## Microsoft Project ファイルのバックアップ

デフォルトで、Microsoft Project から HP Project Management に作業計画情報が正しく送信されるたびに、開いている .mpp ファイルが保存され、.mpp ファイルのコピーがバックアップファイルに保存されます。バックアップファイルには .mpp ファイルと同じ名前が付けられますが、拡張子は .bak です。デフォルトで、バックアップファイルの保存先ディレクトリは、元の .mpp ファイルの格納先と同じディレクトリです。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エラーが発生する場合、最新の編集を再適用するための起点としてバックアップコピーを使用できます。詳細については、「[必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除](#)」(327 ページ)を参照してください。

[PPM Plugin Preferences (PPM プラグインプリファレンス)] ページから、自動バックアップの有効、無効の切り替え、およびバックアップディレクトリを設定を行えます。



Microsoft Project Server ベースのプロジェクトでは自動バックアップは行われません。

バックアップの有効、無効を切り替え、バックアップディレクトリを設定するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。

2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [Microsoft Project] タブで [PPM Center と同期した後に Microsoft Project ファイルをバックアップする] チェックボックスを選択して、自動バックアップを有効にします。自動バックアップを無効にするには、チェックボックスをチェック解除します。
4. オプションとして [プロジェクトファイルのバックアップの保存先] フィールドにバックアップディレクトリを設定できます。デフォルトで、バックアップファイルの保存先ディレクトリは、元の .mpp ファイルの格納先と同じディレクトリです。
5. [保存] をクリックします。

## 同期ログの有効化

デフォルトで、HP Project Management と Microsoft Project 間の同期情報の記録は無効です (これはパフォーマンスの最適化にも適しています)。同期をトレースする情報を有効にすることができます。これにより、[エラー]、[警告]、[情報] ウィンドウの [情報] タブで、詳細な同期ログが利用できるようになります。

同期に関する完全な情報トレースを有効にするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [Microsoft Project] タブで、[ログ記録を有効にする] チェックボックスを選択解除します。
4. オプションとして、ログファイルの保存先ディレクトリを入力します。



ユーザに Plug-in for PPM ログファイルに書き込むアクセス許可がない場合、ログは無効になります。

5. [保存] をクリックします。

## PPM Center オプション

PPM Center オプションを使用して、Microsoft Project と PPM Center 間のインタラクションを構成します。これらのオプションを使用して、PPM Server 接続の変更、カスタム HTTP ヘッダーの設定、およびプロキシ設定の構成を行います。

## PPM Server接続の変更

デフォルトで、Microsoft Project の接続先 PPM Server は、Plug-in for PPM のインストール元 PPM Server になります。表示される PPM Server URL は、Microsoft Project がファイルを同期するときの同期先 PPM Center インスタンスです。

PPM Server URL 設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
3. [PPM Center] タブで、別の PPM Server と同期するには、[PPM Server URL] フィールドに別の URL を入力します。
4. オプションとして [ユーザ名を保存] チェックボックスを選択したり、選択解除します。選択すると、Plug-in for PPM は同じユーザ名を使用して PPM Server にログインします。選択解除すると、[ログイン] ダイアログの [ユーザ名] フィールドは空になります。
5. [保存] をクリックします。

## カスタムHTTPヘッダーの設定

PPM Serverで認証にカスタムHTTPヘッダーが必要な場合、Plug-in for PPMが使用するヘッダーを構成できます。このカスタムヘッダーはPPM Centerに送信されるすべてのリクエストに含まれます。

以下のフィールドを使用してPlug-in for PPM用のカスタムHTTPヘッダーを構成します。

表 10-8. カスタムHTTPヘッダーの設定

フィールド	説明
カスタムHTTP認証ヘッダーを送信する	PPM Serverに接続するときに、カスタムHTTPヘッダーを含められるようにする場合、このチェックボックスを選択します。
ヘッダー名	カスタムHTTPヘッダーの名前を入力します。ヘッダー名には、英数字とスペースとコロン(:)を除いた特殊文字を含める必要があります。無効な文字が入力されると、フィールドからフォーカスが外れるときに、ヘッダー名から無効な文字が自動的に削除されます。
Windowsドメインを含める	Windows Serverドメイン名とユーザ名を含めるには、このチェックボックスを選択します。

カスタムHTTPヘッダーは、ヘッダー名、Windows Serverドメイン名(選択された場合)、およびユーザ名の順に構成されます。

たとえば、システムが次のように構成されている場合を考えます。

ユーザ名: smithj

Windows Serverドメイン: ASIAPACIFIC

ヘッダー名: PPM\_Authentication

[**カスタムHTTP認証ヘッダーを送信する**] チェックボックスを選択した時に、[**Windowsドメインを含める**] チェックボックスが選択されていない場合、使用されるカスタムヘッダーは次のようになります。

```
PPM_Authentication:smithj
```

[**Windowsドメインを含める**] チェックボックスが選択されている場合、使用されるカスタムヘッダーは次のようになります。

```
PPM_Authentication:ASIAPACIFIC\smithj
```

## Plug-in for PPMのプロキシサーバの構成

Plug-in for PPMとPPM ServerはHTTPを使用してデータを交換します。この接続がプロキシサーバを使用する場合、プロキシ設定を構成する必要があります。デフォルトではプロキシサーバは使用されません。

以下のフィールドを使用してPlug-in for PPMのプロキシサーバを設定できます。

表 10-9. プロキシ設定

フィールド	説明
直接接続	デフォルトで選択されます。Plug-in for PPMとPPM Server間の接続にプロキシサーバが必要ない場合に、このオプションを選択します。
Internet Explorer プロキシ設定	Internet Explorerで構成されているのと同じプロキシサーバを使用する場合、このオプションを選択します。
カスタムプロキシ	プロキシサーバを指定する場合、このオプションを選択します。
プロキシサーバ	プロキシサーバのIPアドレスまたは名前を入力します。
ポート	プロキシサーバに接続するのに使用するポート番号を入力します。
プロキシ認証	プロキシサーバが認証を必要とする場合、プロキシサーバに接続するのに使用する資格情報(ユーザ名、パスワード、およびドメイン)を選択したり入力します。
Windows 資格情報 を使用する	プロキシサーバに接続するのに、Windowsが入力する資格情報を使用する場合、このチェックボックスを選択します。
ユーザ名	プロキシサーバに接続するのに使用するユーザ名を入力します。 [Windows 資格情報を使用する] チェックボックスを選択した場合、ユーザ名を入力する必要はありません。
パスワード	プロキシサーバに接続するのに使用するパスワードを入力します。 [Windows 資格情報を使用する] チェックボックスを選択した場合、パスワードを入力する必要はありません。
ドメイン	オプションです。プロキシサーバに接続するのに使用するWindows Serverドメイン名を入力します。 [Windows 資格情報を使用する] チェックボックスを選択した場合、ドメインを入力する必要はありません。

## Microsoft Project Server オプション

Microsoft Project Server オプションを使用して、Microsoft Project Server、Microsoft Project と Plug-in for PPM 間のインタラクションを構成します。Microsoft Project Server からのプロジェクトカレンダーを使用するように設定する場合に、このオプションを使用します。

### Plug-in for PPM 用 Microsoft Project Server の設定

Microsoft Project ファイルが Microsoft Project Server 上に格納される場合、Microsoft Project ファイルで使用されるカレンダーも Microsoft Project Server 上に格納されます。Microsoft Project Server 上の既存のプロジェクトカレンダーのいずれかを使用するように Plug-in for PPM を構成できます。カレンダーを構成しない場合 (チェックボックスを選択しないか、カレンダー名を入力しない場合)、Microsoft Project で構成されている言語を基に、デフォルトのカレンダーが使用されます。

Plug-in for PPM に Microsoft Project Server 上の特定プロジェクトカレンダーを使用する必要がある場合、Plug-in for PPM 用の Microsoft Project Server カレンダーを設定します。HP Project Management 制御モードの場合、Microsoft Project Server 上のカレンダーを使用するように Plug-in for PPM を構成する必要があります。統合中、タスク情報を同期するのに、Plug-in for PPM はカレンダーを使用します。

Plug-in for PPM が使用する Microsoft Project Server カレンダーを構成するのに、以下のフィールドが使用されます。

表 10-10. Microsoft Project Server カレンダーオプション

フィールド	説明
Microsoft Project サーバ用にカスタムのカレンダー名を使用する	Microsoft Project Server からの既存プロジェクトカレンダーを使用する場合に、このチェックボックスを選択します。
カレンダー名	Microsoft Project Server 上の既存プロジェクトカレンダーの名前を入力します。名前を入力しないと、Microsoft Project の言語を基に、デフォルトカレンダーが使用されます。例えば英語の場合、デフォルトカレンダーは <b>PPM Calendar</b> です。ドイツ語の場合、デフォルトカレンダーは <b>PPM Kalender</b> です。



カレンダー名が存在しない場合、次にプロジェクトを同期するときに同期が失敗します。



## 作業計画の作成と管理

同期モードを選択して構成し、プロジェクトの管理方針を決定すると、作業計画の作成と管理を開始する準備が整ったことになります。

- 既存の HP Project Management 作業計画から Microsoft Project に新規作業計画を作成できます (「[HP Project Management](#) を使用して [Microsoft Project](#) で作業計画を開く」と「[Microsoft Project](#) から [HP Project Management](#) 作業計画を開く」(299 ページ)を参照してください)。
- 既存の Microsoft Project 作業計画から HP Project Management 内に新規作業計画を作成できます (「[HP Project Management](#) への [Microsoft Project](#) ファイル作業計画の送信」(301 ページ)を参照してください)。
- HP Project Management プロジェクトに関連付けられた同期モードにより、作業計画の管理方法が決定します。
  - HP Project Management 制御モードでは、関連付けられた HP Project Management 作業計画から Microsoft Project 作業計画を更新できます (「[HP Project Management](#) からの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management 制御モード)」(304 ページ)を参照してください)。
  - 共有制御モードでは、関連付けられた HP Project Management 作業計画から実績を取得し (「[HP Project Management](#) からの実績の取得 (共有制御モード)」(304 ページ)を参照してください)、関連付けられた HP Project Management 作業計画に作業計画情報を送信できます (「[Microsoft Project](#) から [HP Project Management](#) への作業計画 (計画) 情報の送信 (共有制御モード)」(306 ページ)を参照してください)。
  - Microsoft Project 制御モードでは、Microsoft Project 作業計画から関連付けられた HP Project Management 作業計画を更新できます (「[HP Project Management](#) への関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project 制御モード)」(307 ページ)を参照してください)。

- 共有制御モードと Microsoft Project 制御モードでは、Microsoft Project から HP Project Management に手動でリソースをマップできます (「アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード)」(309 ページ)を参照してください)。
- HP Project Management では、プロジェクトに選択した同期の制御モードに応じて、一部の編集機能が無効になる場合があります (「HP Project Management で許可される条件付き編集」(314 ページ)を参照してください)。
- Microsoft Project と HP Project Management の関連付けを削除、復元、および更新できます (「Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの削除」(316 ページ)、[「Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの復元」](#)(317 ページ)、および「Microsoft Project と HP Project Management の関連付けのリフレッシュ」(318 ページ)を参照してください)。
- Microsoft Project Server ベースのプロジェクトを操作している場合、HP Project Management の動作は若干異なります (「Microsoft Project Server を使用するプロジェクトの操作」(319 ページ)を参照してください)。
- 同期で問題が発生する場合、「トラブルシューティング」(323 ページ)を参照してください。

## HP Project Management を使用して Microsoft Project で作業計画を開く

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマネージャは、Microsoft Project で HP Project Management 作業計画のメニューを使用して、現在の HP Project Management 作業計画を開けます。



HP Project Management を使用して Microsoft Project の作業計画を開くのに ActiveX は必要なくなりました。

HP Project Management を使用して Microsoft Project で HP Project Management 作業計画を開くには、次の手順を実行します。

1. HP Project Management で作業計画を開きます。

2. 作業計画から [アクション] > [Microsoft Project 内で作業計画を開く] をクリックします。

[Opening PPM\_Project.mpp (PPM\_Project.mpp を開く)] ダイアログが表示されます。

3. [Open with Microsoft Office Project (default) (Microsoft Office Project で開く (デフォルト))] を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。

Microsoft Project で作業計画が開きます。

Plug-in for PPM が作業計画を開く必要があるため、一時的な Microsoft Project ファイル (PPM\_Project.mpp) が作成されます。このファイルを保存しないでください。また、このファイルを使用して Microsoft Project で作業計画を手動で再度開かないでください。一時ファイルが HP Project Management から開かない場合、Microsoft Project は最新、または正しい作業計画を開いていない可能性があります。作業計画が Microsoft Project で開くと、一時ファイルは削除されます。

## Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開く

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマネージャは、Microsoft Project で Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開けます。マネージャは、Microsoft Project ファイルを外部の閲覧者 (プロジェクトマネジメントオフィスグループなど) に配布できます。また、マネージャは Microsoft Project ファイルを HP Project Management と定期的に同期し、配布のために Microsoft Project レポートを実行することもできます。

HP Project Management 作業計画と Microsoft Project 側対応物との同期の詳細については、「[HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設定](#)」(269 ページ) を参照してください。

Microsoft Project で HP Project Management 作業計画を開くには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project メニューバーから、[HP PPM Center] > [PPM 作業計画を開く] を選択します。
2. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。

### 3. 開く作業計画を検索してから選択します。

アクティブな作業計画のあるプロジェクトからのみ選択できます。さらにシステムは、ユーザが選択した作業計画が既にMicrosoft Projectと同期されているかどうかを示します。

### 4. [選択] をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。

[HP PPM Center] > [エラー、警告、および情報の表示] を選択して、Microsoft Projectで作業計画を開くときに発生した情報メッセージ、エラー、警告を表示します。

HP Project Management 内でのプロジェクトのタスク構造とタスク名およびMicrosoft Projectでのプロジェクトは同一です。タスク間には一対一のリレーションシップがあり、いずれのプロジェクトでも同じ順番でタスクが表示されます。タスクは固定期間としてマークされます。これにより、リソースのアサインと工数が一致します。実績のないタスクのスケジュールされた開始日と終了日は、HP Project ManagementとMicrosoft Projectで等しくなります。

Microsoft Projectでは開始日と終了日、Microsoft Projectのリソースカレンダーを基に期間が計算されます。タスクの期間とロールアップ期間は2アプリケーション間で若干異なる場合があります。

期間の差違は次の理由により生じることもあります。

- カレンダーの例外と祝日 (同期されていない場合)
- Microsoft Projectが自動計算モードにあるときのタスク制限 (例えば、タスク2がタスク1終了時に開始する場合にタスク1の期間が変更されると、タスク2の開始日も変更されます)。

Microsoft Projectのプロジェクトカレンダーに適用される地域のカレンダー設定には、次の項目があります。

- 1日あたりの時間数
- 1週間当たりの営業日数

変更を迅速に確認するためのカスタムフィルタとテーブルが利用できます。詳細については、「[カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル](#)」(242 ページ)を参照してください。

## HP Project ManagementへのMicrosoft Projectファイル作業計画の送信

HP Project ManagementにMicrosoft Project作業計画を送信すると([**HP PPM Center**] > [**PPMに作業計画を送信**]メニュー選択を使用)、Microsoft Project作業計画とHP Project Managementプロジェクト間に関連付けが作成されます。Microsoft Project作業計画は1つのHP Project Managementプロジェクトとのみ関連付けられます。

Plug-in for PPMは、Microsoft Project作業計画から空のHP Project Management作業計画に計画情報と実績の両方を送信します。このメニュー選択を使用して、既存のHP Project Management作業計画にある計画情報と実績を更新することはできません。



Microsoft Projectからファイルを送信する前に、HP Project Managementで作業計画のないプロジェクトの作成が必要となる場合があります。

3つの同期モードのどのモードで構成されているHP Project Managementプロジェクトにも、Microsoft Project作業計画を送信できます。プロジェクト管理の方針から、Microsoft Project作業計画を空のHP Project Management作業計画に送信するタイミングと理由を判断できます。

例えば、HP Project Management制御モードでは、既存のMicrosoft Project作業計画を基に新規HP Project Managementプロジェクトを作成する場合や、既存のMicrosoft Project作業計画をHP Project Managementプロジェクトに変換する場合に、HP Project ManagementにMicrosoft Project作業計画を送信できます。

共有制御モードでは、HP Project Managementで実績を収集するものの、既存のMicrosoft Project作業計画を使用したり、Microsoft Projectの計画ツールを使用する場合には、HP Project ManagementにMicrosoft Project作業計画を送信します。

Microsoft Project制御モードでは、HP Project Managementを使用してプロジェクトを公開してPPM Dashboardでプロジェクトを表示するために、HP Project ManagementにMicrosoft Project作業計画を送信します。

HP Project ManagementプロジェクトにMicrosoft Project作業計画を送信すると、Microsoft Project内の現在の.mppファイルを基にしてHP Project Management内で新規作業計画が作成されます。Microsoft Project Serverを使用するプロジェクトは若干異なって動作します。「[Microsoft Project Serverを使用するプロジェクトの操作](#)」(319 ページ)を参照してください。

HP Project ManagementにMicrosoft Project作業計画を送信するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectメニューバーから、**[HP PPM Center]** > **[PPMに作業計画を送信]** を選択します。
2. 案内が表示されたら、HP Project Managementユーザ名とパスワードを入力して**[OK]** をクリックします。
3. **[プロジェクトの選択]** ダイアログで**[検索]** をクリックします。
4. Microsoft Project作業計画の送信先プロジェクトを選択します。

作業計画のないプロジェクトのうち、ユーザがプロジェクトマネージャであるプロジェクトのみ選択できます。このようなプロジェクトが存在しない場合、HP Project Managementで作成する必要があります。

5. **[選択]** をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
6. 統合により、Microsoft Project制御または共有制御のHP Project Managementプロジェクト用に、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に実行されます。HP Project ManagementでMicrosoft Project内のリソースを自動的にマップできない場合、**[リソースのマップ]** ダイアログが表示されます。



初回の同期時またはMicrosoft Projectに新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。**「リソース」** (245 ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、**[完了]** をクリックします。

後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップされていないリソースのマッピングの指定を行えます。**[リソースのマップ]** ダイアログの詳細については、**「アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよびMicrosoft Project制御モード)」** (309 ページ)を参照してください。

7. HP Project ManagementプロジェクトがHP Project Management制御または共有制御の場合、**[実績値の送信]** ダイアログが表示されます。**[実績を含める]** (HP Project Managementに実績を送信)、または**[実績を無視する]** (HP Project Managementに実績を送信しない) のいずれかを選択する必要があります。選択したら、**[OK]** をクリックします。

8. [統合は完了しました] ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました] ダイアログから、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[**情報を表示**] をクリックして、作業計画を HP Project Management に送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「[同期ログの有効化](#)」(292 ページ)を参照してください。

[**完了**] をクリックして、ダイアログを閉じます。

デフォルトで Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、.mpp ファイルに .bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。「[Microsoft Project ファイルのバックアップ](#)」(291 ページ)を参照してください。

同期中、HP Project Management は HP Project Management ベースとリソースカレンダーを基に各タスクの期間を再計算しますが、開始日と終了日は維持されます。

HP Project Management プロジェクトは、まず [**計画中**] ステータスがアサインされます。プロジェクトマネージャが日付が正しいことを確認した後は、プロジェクトを [**アクティブ**] ステータスに移行する必要があります。

HP Project Management 作業計画が HP Time Management と同期し、同期モードが HP Project Management 制御モードと共有制御モードであれば、HP Time Management から作業計画に実際の工数をロールアップするときに、実際の工数が変更されていない場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されていない場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されません。実際の工数が変更されている場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されている場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されます。このため、作業計画から HP Time Management に実際の工数をロールアップするとき、HP Time Management の実際の工数が更新されていれば、Microsoft Project 作業計画由来の実績は上書きされます。HP Time Management の実際の更新が更新されていない場合、Microsoft Project 作業計画由来の実績は保持されます。



## HP Project Managementからの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management制御モード)

HP Project Managementが作業計画を制御する場合、関連付けられたHP Project Management作業計画からMicrosoft Projectファイルを更新できます。Microsoft Projectファイルに直接行われた変更は、この更新中に上書きされます。

Plug-in for PPMがMicrosoft Projectテーブル表示で、Microsoft Projectによって自動的に変更されたスケジュール日を強調表示できるようにすることができます(「[HP Project Managementにより制御される作業計画の強調表示の有効化](#)」(290 ページ)を参照してください)。有効である場合の強調表示の色は青色です。

HP Project Managementの関連付けられた作業計画からMicrosoft Projectファイルを更新するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectでプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [Update Work Plan from PPM Project (PPMプロジェクトから作業計画を更新)] を選択します。

## HP Project Managementからの実績の取得 (共有制御モード)

HP Project ManagementとMicrosoft Projectが計画の制御を共有する場合、関連付けられたHP Project Management作業計画から取得した実績でMicrosoft Projectファイルを更新できます。統合により、新しい実績で更新されるMicrosoft Project作業計画内のタスクが表示され、変更が予期したものではない場合には更新をキャンセルすることができます。

Microsoft Projectは、実績フィールド内のフィールド値を計算する方法を決定する、内部ルールを保持しています。これにより、各アプリケーション内のデータが厳密には一致しなくなる状況が発生します。実績情報の転送を管理するには、そのプロジェクトの**Microsoft Project統合**ポリシーを使用してください。詳細については、「[MicrosoftへのPPM Center情報の転送](#)」(272 ページ)を参照してください。



共有制御を使用する計画で、HP Project Management からの実績で Microsoft Project 作業計画を更新するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [Retrieve Actuals from PPM] を選択します。

統合により、**Microsoft Project 統合** ポリシーの **転送実績情報** 設定で指定された実績が取得されます。

3. [PPM 実績値を取得中] ダイアログボックスが開き、変更されたタスクと変更の性質が表示されます。変更が予期したものとは異なる場合、[キャンセル] をクリックして更新をキャンセルできます。

[続行] をクリックして、変更を確定します。

4. [統合は完了しました] ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました] ダイアログから、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[情報を表示] をクリックして、作業計画を HP Project Management に送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「同期ログの有効化」(292 ページ)を参照してください。

[完了] をクリックして、ダイアログを閉じます。

5. Microsoft Project 作業計画は HP Project Management からの新しい実績で更新され、実績が変更されたタスク (変更された実績) と Microsoft Project の内部フィールドルールの結果としてスケジュール情報が変更されたタスク (影響を受けた実績) を特定する新しいテーブルが Microsoft Project で開きます。詳細については、「フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響」(240 ページ)を参照してください。

デフォルトでは、変更された実績があるタスクは赤色で表示され、影響を受けた実績があるタスク (Microsoft Project により実行される自動計算の結果としての変更) は青色で表示されます。これらの色は、プロジェクト設定の **Microsoft Project 統合** ポリシーで設定します。設定の詳細については、「統合のためのプロジェクトレベルの設定」(267 ページ)を参照してください。

カスタムフィルタと統合により提供されるデータテーブル表示を使用して、Microsoft Project で変更された実績を表示することもできます。詳細については、「[カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル](#)」(242 ページ)を参照してください。

Microsoft Project で通常のガントチャート表示に戻すには、**[表示]** > **[テーブル]** > **[エントリ]** を選択します。

## Microsoft Project から HP Project Management への作業計画 (計画) 情報の送信 (共有制御モード)

HP Project Management と Microsoft Project が作業計画の制御を共有する場合、関連付けられた HP Project Management 作業計画を Microsoft Project ファイルからの計画情報 (作業内訳情報、スケジュール、およびアサインなど) で更新できます。

Microsoft Project から HP Project Management に作業計画情報を送信するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. **[HP PPM Center]** > **[Update PPM Project with Work Plan Information (作業計画情報で PPM プロジェクトを更新)]** を選択します。
3. 統合により、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に実行されます。HP Project Management で Microsoft Project 内のリソースを自動的にマップできない場合、**[リソースのマップ]** ダイアログが表示されます。



初回の同期時または Microsoft Project に新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、**[完了]** をクリックします。後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップされていないリソースのマッピングの指定を行えます。**[リソースのマップ]** ダイアログの詳細については、「[アプリケーション間でのリソースの手動マップ \(共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード\)](#)」(309 ページ)を参照してください。

4. [統合は完了しました] ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました] ダイアログから、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[**情報を表示**] をクリックして、作業計画を HP Project Management に送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「同期ログの有効化」(292 ページ)を参照してください。

[完了] をクリックして、ダイアログを閉じます。

デフォルトで Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、.mpp ファイルに .bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。「Microsoft Project ファイルのバックアップ」(291 ページ)を参照してください。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エラーが発生する場合、「必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除」(327 ページ)を参照してください。

## HP Project Management への関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project 制御モード)

Microsoft Project が作業計画を制御する場合、Microsoft Project ファイルから関連付けられた HP Project Management 作業計画を更新できます。

Microsoft Project ファイルから HP Project Management の関連付けられた作業計画を更新するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [Update PPM Project from Work Plan (PPM プロジェクトから作業計画を更新)] を選択します。
3. 統合により、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に実行されます。HP Project Management で Microsoft Project 内のリソースを自動的にマップできない場合、[リソースのマップ] ダイアログが表示されます。



初回の同期時または Microsoft Project に新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、**[完了]** をクリックします。後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップされていないリソースのマッピングの指定を行えます。**[リソースのマップ]** ダイアログの詳細については、「[アプリケーション間でのリソースの手動マップ \(共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード\)](#)」を参照してください。

#### 4. **[統合は完了しました]** ダイアログが表示され、統合が完了します。



Microsoft Project のリソースまたはタスクが削除され、そのリソースやタスクに HP Project Management で構成された実績がある場合、またはそのタスクが HP Project Management で必要な場合、統合は失敗します。詳細については、「[必要なタスク、実績のあるタスク / リソースの削除](#)」(327 ページ)を参照してください。

**[統合は完了しました]** ダイアログから、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、**[情報を表示]** をクリックして、作業計画を HP Project Management に送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「[同期ログの有効化](#)」(292 ページ)を参照してください。

**[完了]** をクリックして、ダイアログを閉じます。

デフォルトで Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、.mpp ファイルに .bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。「[Microsoft Project ファイルのバックアップ](#)」(291 ページ)を参照してください。

## アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード)

共有制御モードと Microsoft Project 制御モードでは、同期中、Microsoft Project リソースは PPM Center リソースに自動的にマップされます。初回の同期時または (同期中に) Microsoft Project に新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。リソースを手動でマップすることもできます。自動リソースマッピングの詳細については、「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。リソースを手動でマップする方法の詳細については、「[手動でリソースをマップする方法](#)」を参照してください。

リソースをマップしたりマップを解除するときには、以下の点を考慮します。

- プロジェクト参加者のリストには、リソース、プロジェクトマネージャ、利害関係者、およびサマリタスクオーナーが含まれています。
- リストされる HP Project Management リソースは、現在のユーザが管理するリソースプール内のリソース、またはプロジェクトのスタッフイングプロフィール内のリソースであるユーザです。
- 一部の Microsoft Project リソースは HP Project Management リソースに自動的にマップされないことがあります。マップされないリソースには、次の2つのタイプがあります。最初のタイプは、Plug-in for PPM により自動的にマップすることができず、各 PPM Center リソース列に疑問符が表示されるリソースです。2番目のタイプは、意図的にマップしないように設定され、各 PPM Center リソース列が空フィールドとなるリソースです。
- 一部のリソースを意図的にマップしないようにすることができます。この場合、これらのリソースに関連付けられた工数は HP Project Management のタスクで未アサイン工数として表示されます。
- 単一の HP Project Management リソースを複数の Microsoft Project リソースにマップできます。ただし、これらの Microsoft Project リソースは、同じタスクにアサインできません。

## 手動でリソースをマップする方法

Microsoft ProjectからHP Project Managementにリソースを手動でマップするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectでプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [リソースのマッピングの表示] を選択します。

[リソースのマップ] ダイアログが開きます。テーブルで、各行はMicrosoft Project リソースに関連付けられます。これらのリソースは1つまたは複数のPPM Center リソースにマップしたり、マップ解除できます。マップされないリソースには、各PPM Center リソース列に疑問符が表示されたり、各PPM Center リソース列が空フィールドになります。

3. Microsoft Project リソースをマップしたりマップ解除できます。

- Microsoft Project リソースをマップするには、次の手順を実行します。
  - a. テーブルからMicrosoft Project リソースを選択して、[マップ] をクリックします。

[プロジェクトの参加者] ダイアログボックスが開きます。テーブルには、プロジェクトの参加者として定義されるPPM Center リソースがリストされます。

- b. テーブルからリソースをマップしたり、追加のPPM Center リソースを検索できます。
  - テーブルからリソースをマップするには、次の手順を実行します。
    - i. テーブルからリソースを選択します。
    - ii. [選択] をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
  - 追加のPPM Center リソースを選択するには、次の手順を実行します。
    - i. [検索] をクリックします

[リソースの検索] ダイアログが開きます。

- ii. 該当するフィールドに検索基準を指定します。

- iii. [検索] をクリックします

[リソースの検索] ダイアログが再度読み込まれ、検索結果が表示されます。

- iv. マップする1つのリソースを選択して[**選択**]をクリックします。
- c. [リソースのマップ] ダイアログでマッピングを確認します。
- Microsoft Project リソースをマップ解除するには、次の手順を実行します。
  - a. テーブルから Microsoft Project リソースを選択して、[**マップ解除**]をクリックします。
  - b. [リソースのマップ] ダイアログでマッピングを確認します。
- 4. [**完了**]をクリックします。
- 5. マップされないリソース (Plug-in for PPM で自動的にマップできず、意図的にマップしないように設定されていないリソース) が存在する場合、警告メッセージが表示されます。
  - マップされないリソースを保存するには、[**続行**]をクリックします。
  - マップされないリソースをマップするには、[**前へ**]をクリックします ([リソースのマップ] ダイアログに戻ります)。

## アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング

Microsoft Project エンタープライズプロジェクトとの同期中、Microsoft Project リソース (エンタープライズとローカルの両方) は PPM Center リソースに自動的にマップされます。初回の同期時または (同期中に) Microsoft Project に新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。リソースを手動でマップすることもできます。自動リソースマッピングの詳細については、「[リソース](#)」(245 ページ)を参照してください。リソースを手動でマップする方法の詳細については、「[手動でリソースをマップする方法](#)」(310 ページ)を参照してください。

エンタープライズリソースをマップしたりマップを解除するときには、以下の点を考慮します。

- プロジェクト参加者のリストには、リソース、プロジェクトマネージャ、利害関係者、およびサマリタスクオーナーが含まれています。
- リストされる HP Project Management リソースは、現在のユーザが管理するリソースプール内のリソース、またはプロジェクトのスタッフリングプロファイル内のリソースであるユーザです。RM\_OVERRIDE\_ASSIGNMENT\_CONTROLS パラメータを設定しても、リソースのマップ方法には影響しません。

- 一部の Microsoft Project リソースは HP Project Management リソースに自動的にマップされないことがあります。マップされないリソースには、次の2つのタイプがあります。最初のタイプは、Plug-in for PPMにより自動的にマップすることができず、各 PPM Center リソース列に疑問符が表示されるリソースです。2番目のタイプは、意図的にマップしないように設定され、各 PPM Center リソース列が空フィールドとなるリソースです。
- 一部のリソースを意図的にマップしないようにすることができます。この場合、これらのリソースに関連付けられた工数は HP Project Management のタスクで未アサイン工数として表示されます。
- 複数の Microsoft ローカルリソースに単一の HP Project Management リソースをマップできます。ただし、これらの Microsoft Project リソースは、同じタスクにアサインできません。
- Microsoft エンタープライズプロジェクト内の Microsoft ローカルリソースと Microsoft エンタープライズリソースの両方に HP Project Management リソースをマップできます。
- HP Project Management リソースは、単一の Microsoft エンタープライズリソースにのみマップできます。
- Microsoft Project エンタープライズリソースをマップして編集するには、PPM Center で MSPS リソースマッピングの作成アクセス許可、および MSPS リソースマッピングの編集アクセス許可が必要です。詳細については、「[エンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可](#)」(313 ページ)を参照してください。
- Microsoft エンタープライズリソースと PPM Center リソースの両方がエンタープライズ全体で共有されます。Microsoft ローカルリソースは共有されません。Microsoft エンタープライズリソースを PPM Center リソースにマップすると、マッピングもエンタープライズ全体で共有され、複数のエンタープライズオブジェクトで共有することができます。エンタープライズリソースを再マップすると、変更が複数のエンタープライズプロジェクトに影響する可能性があることに注意してください。

リソースを手動でマップする方法の詳細については、「[手動でリソースをマップする方法](#)」(310 ページ)を参照してください。



## エンタープライズリソースをマップするときの [リソースのマップ] ダイアログでの相違点

Microsoftエンタープライズリソースをマップするときの、[リソースのマップ] ダイアログの相違を以下に挙げます。

- エンタープライズリソース (マップされたエンタープライズリソースとマップされないエンタープライズリソース) のアイコンは、ローカルリソースのアイコンとは異なり、アイコンの周囲に赤色の正方形が表示されます。
- テーブルに新しい列 [**エンタープライズ**] が表示され、リソースがエンタープライズリソースであるかどうかが表示されます (この列が表示されるには、プロジェクトがエンタープライズプロジェクトであり、Microsoft ProjectがMicrosoft Projectサーバーに接続している必要があります)。

## エンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可

Microsoft エンタープライズリソースへの HP Project Management リソースのマッピングをマップして編集するには、表 10-11にある適切なアクセス許可が必要になります。

表 10-11. Microsoftエンタープライズリソースのマッピング用アクセス許可

アクセス許可	説明
MSPS リソースマッピングの作成	ユーザは次の操作を実行できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● HP Project Management リソースと Microsoft Project エンタープライズリソース間の新規マッピングを作成します。</li></ul>
MSPS リソースマッピングの編集	ユーザは次の操作を実行できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● HP Project Management リソースと Microsoft Project エンタープライズリソース間のマッピングを編集します。</li><li>● Microsoft Project エンタープライズリソースから HP Project Management リソースをマップ解除します。</li></ul>

MSPS リソースマッピングの作成/編集アクセス許可は、次のセキュリティグループに自動的に付与されます。

- PPMのすべてのアクセス許可
- PPMプロジェクトマネージャ

## HP Project Managementで許可される条件付き編集

プロジェクトに選択した同期モードに応じて、プロジェクトの構造とタスク情報はHP Project ManagementまたはMicrosoft Projectのいずれかによって制御されます。プロジェクトに選択した同期の制御モードに応じて、HP Project Managementの一部の編集機能は無効になります。Microsoft Projectにより制御される情報はHP Project Managementでは編集できません。

各同期モードにおける条件付き編集の制限に関するサマ리를「[条件付き編集サマリテーブル](#)」(259 ページ)にリストします。

### HP Project Management制御プロジェクトの編集

HP Project Managementがプロジェクトを制御する場合、ユーザはHP Project Managementですべての情報を編集できます。これには、タスク構造の変更、新規サブプロジェクトとタスクの追加と削除、およびタスクスケジュールと実績フィールドの編集が含まれます。

### Microsoft Project制御プロジェクトの編集

Microsoft Projectがすべてのプロジェクト計画とトラックアクティビティを制御する場合、HP Project Managementの対応する編集機能は無効になります。HP Project Managementとは異なり、Microsoft Projectと共有されないデータは編集できます。これには、タスクアクティビティ、ロール、スキル値、説明、ユーザデータ、通知、メモ、およびタスク参照が含まれます。

特定の作業計画テンプレートを強制するプロジェクトのタイプを操作するときには、先にHP Project Managementで指定された作業計画テンプレートから作業計画を作成できます。次にMicrosoft Projectで作業計画を開けます。

HP Project Managementでは、プロジェクトとタスク構造を変更できるすべての機能が無効になります。これには、次のコンポーネントが含まれます。

- [タスクの追加] アイコン
- [削除] アイコン

- [タスクのインデント/アウトデント] アイコン
- [タスクを上に移動/下に移動] アイコン

スケジュールにより日付と期間が変更されることがあるため、[プロジェクトのスケジュール] アイコンは無効になります。PPM Center プロジェクトのステータスはこの同期モードでは変更できません。このため、[ステータスの変更] も無効になります。これらのアイコンのキーボードショートカットも無効になります。

標準 HP Project Management インタフェースでは、マイタスクポートレットと [タスクの詳細] ページでタスクの実績を入力することはできません。マイタスクポートレットと [タスクの詳細] ページは、制御モードにかかわらず、アサインされたユーザに現在の完了していないタスクを戻します。これにより、プロジェクトの参加者は状況を把握できます。Microsoft Project で収集される実績は [作業計画] ページで表示されます。

PPM Workbench、標準 Web ページ、またはその他の任意の方法のアクションでトリガされるかにかかわらず、HP Project Management からのロールアップ計算は無効になります。このため、HP Project Management でのロールアップ値は、HP Project Management での計算から通常は異なる値が得られる場合であっても、Microsoft Project と一致します。

## 共有制御モードでの編集

共有制御モードは、フィールドを無効にするときにその他2つのモードよりも複雑になります。このモードでは、計画フィールドを変更しないまま実績フィールドを変更できます。

[タスクの詳細] ページの [リソース] タブから、実績フィールドのみが編集可能です。計画フィールドは無効です。[スケジュール] 表示では、サブプロジェクト/タスクテーブルの計画フィールドも編集不可能です。

Microsoft Project 制御モードと同様、プロジェクトとタスク構造を変更できるすべての機能が無効になります。これには、次のコンポーネントが含まれます。

- [タスクの追加] アイコン
- [削除] アイコン

- [タスクのインデント/アウトデント] アイコン
- [タスクを上に移動/下に移動] アイコン

一部のロールアップ操作が無効になります。実績フィールドのロールアップは行われますが、スケジュールフィールドはロールアップされません。Microsoft Projectからインポートされた値は保持されます。

共有制御モードで使用できる機能は、タスクの更新アクセス許可のみ付与されたユーザーが使用できる機能と類似します。

## Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの削除

Microsoft Project ファイルは、1つのHP Project Management プロジェクトとのみ関連付けられます。Microsoft Project ファイルとHP Project Management プロジェクト間の関連付けはいつでも削除できます。



Microsoft Project ファイルからHP Project Management プロジェクトにリンクする必要がなくなった場合のみ、関連付けを削除する必要があります。リンクを削除すると、ファイルの再関連付けが不可能になる場合があります。

関連付けを削除するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [プロジェクトの詳細] を選択します。

[HP PPM プロジェクトの詳細] ダイアログボックスが開きます。

3. [関連付けの削除] をクリックします。

関連付けを削除すると、ボタンのラベルが [関連付けの復元] になります。このボタンを使用することで、同じHP Project Management 作業計画の関連付けを復元できます。

4. [削除] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。



関連付けが削除されても、リソースのマッピングは保持されます。これにより、リソースを再マップすることなく関連付けを復元できます。このため、プロジェクトを再リンクする場合、リソースのマッピングは行われません(しかしリソースマッピングを手動で変更できます)。「[手動でリソースをマップする方法](#)」(310 ページ)を参照してください。リンクが解除されたファイルからリソースマッピングを削除する場合、「[リンクが解除されたファイルからのリソースマッピングの削除方法](#)」(328 ページ)を参照してください。

## Microsoft Project と HP Project Management の関連付けの復元

関連付けを削除した場合や意図せず削除してしまった場合に、Microsoft Project ファイルと HP Project Management プロジェクト間の関連付けを復元できます。Microsoft Project ファイルと HP Project Management プロジェクト間に関連付けが存在しなかった場合、関連付けは復元できません。代わりに、HP Project Management プロジェクトに Microsoft Project ファイルを送信します(「[HP Project Management への Microsoft Project ファイル作業計画の送信](#)」(301 ページ)を参照してください)。

関連付けを復元するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
2. [HP PPM Center] > [プロジェクトの詳細] を選択します。

[HP PPM プロジェクトの詳細] ダイアログボックスが開きます。ダイアログのフィールドは空になります。

3. [関連付けの復元] をクリックします。

関連付けされた HP Project Management 作業計画に関する情報が、ダイアログのフィールドに表示されます。

フィールド名	説明
サーバ	PPM Server の URL。
ユーザ名	PPM Server にログオンするのに使用するユーザ名。
名前	HP Project Management プロジェクトの名前。
モード	HP Project Management プロジェクトの同期モード。

4. [OK] をクリックします。

## Microsoft Project と HP Project Management の関連付けのリフレッシュ

Microsoft Project ファイルと HP Project Management プロジェクト間の関連付けをリフレッシュすると、作業計画内のタスクが調整され、作業計画が同期可能になります。

Microsoft Project で HP Project Management 作業計画が開いていて、Microsoft Project で必要なタスクや実績のあるタスクを削除すると、作業計画を同期するときにエラーメッセージが表示されます。

必要なタスクを削除した場合、計画情報を同期できなくなります (共有制御モードと Microsoft Project 制御モード)。

実績のあるタスクを削除した場合、実績情報を同期できなくなります (HP Project Management 制御モードと共有制御モード)。

作業計画を同期する前に、タスクを調整する必要があります。作業計画の関連付けをリフレッシュすることで、タスクを調整できます。

Microsoft Project と HP Project Management 間の関連付けをリフレッシュするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project メニューバーから、[HP PPM Center] > [関連付けのリフレッシュ] を選択します。



このメニューオプションは、作業計画を同期しようとして失敗した後にのみ利用可能になります。

2. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。
3. [プロジェクトの選択] ダイアログで [検索] をクリックします。
4. Microsoft Project 作業計画への関連付けのリフレッシュ先プロジェクトを選択します。

作業計画のあるプロジェクトのうち、ユーザがプロジェクトマネージャであるプロジェクトのみ選択できます。このようなプロジェクトが存在しない場合、HP Project Management で作成する必要があります。

5. **[選択]** をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
6. [タスマッピングテーブルをリフレッシュ] ダイアログで、リフレッシュする関連付けを確認します。タスクに一致するタスクやオプションが複数存在する場合、もっとも適切なタスクやオプションを選択します。**[続行]** をクリックします。
7. [統合は完了しました] ダイアログが表示され、リフレッシュが完了します。

[統合は完了しました] ダイアログから、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、**[情報を表示]** をクリックして、作業計画をリフレッシュするとき発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「[同期ログの有効化](#)」(292 ページ)を参照してください。

**[完了]** をクリックして、ダイアログを閉じます。

## Microsoft Project Server を使用するプロジェクトの操作

Microsoft Project Server ベースのプロジェクトを操作している場合、以下のように HP Project Management の動作は若干異なります。

- HP Project Management 制御モードの場合、Microsoft Project Server 上のカレンダーを使用するように Plug-in for PPM を構成する必要があります。統合中、タスク情報を同期するのに、Plug-in for PPM はカレンダーを使用します。デフォルトで、使用されるカレンダーは **PPM カレンダー** になります (日本語の場合)。このカレンダーは、Plug-in for PPM のユーザプリファレンスから構成できます (「[Plug-in for PPM 用 Microsoft Project Server の設定](#)」(296 ページ)を参照してください)。カレンダーが構成されていないで、Microsoft Project Server にデフォルトカレンダーが存在しない場合、統合は失敗します。
- HP Project Management により制御される作業計画は HP Project Management から Microsoft Project で直接開くことはできません。
- Microsoft Project が実際の工数を与える場合、PPM Center はタスクの達成率を計算します。実際の工数を与えられない場合、PPM Center は Microsoft Project 提供の達成率を使用します。

- Microsoft Project Server ベースのプロジェクトではバックアップファイルは作成されません。
- Microsoft Project Server 用に作成された一時プロジェクトファイルを PPM Center と統合すると、一時 Microsoft Project ファイルを閉じた後は、PPM Center からこのファイルを開くことはできなくなります。一時 Microsoft Project ファイルは Microsoft Project Server で保存されず、存在しません。このため、PPM Center は統合先となる Microsoft Project ファイルを見つけられません。

Microsoft Project に既存の PPM Center プロジェクトをインポートできます。ただし、一時 Microsoft Project ファイルの一部であった Microsoft Project 固有の情報 (追加列など) は失われます。Microsoft Project に固有の情報は PPM Center との統合には含まれません。このため、一時 Microsoft Project ファイルとの最初の統合中、情報は PPM Center と統合されません。



Microsoft Project Server ベースのプロジェクトを作業計画と同期した後、Microsoft Project Server にプロジェクトをチェックインする必要もあります。

## Microsoft Enterprise Project Management を使用するプロジェクトの操作

Microsoft エンタープライズプロジェクトを操作するときには、以下の点を考慮します。

- HP Project Management の動作は若干異なります。「[Microsoft Project Server を使用するプロジェクトの操作](#)」を参照してください。
- HP Project Management リソースに Microsoft エンタープライズリソースをマップできます。「[アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング](#)」(311 ページ)を参照してください。
- 複数インスタンスの Microsoft Project Server と単一インスタンスの PPM Center を使用している場合、すべての Microsoft Project Server インスタンス全体から Microsoft エンタープライズリソースを一意に特定する必要があります。「[複数 Microsoft Project Server インスタンスの使用](#)」を参照してください。
- 統合エンタープライズプロジェクトを開いている場合、Microsoft Project Server への接続の有無によって動作は異なります。この動作の説明については、[表 10-12](#)を参照してください。



- エンタープライズプロジェクトのローカルコピーを同期する場合 (Microsoft Project 2007のみ)、エンタープライズプロジェクトのローカルコピーにPPM Centerプロジェクトを再リンクする必要があります。Microsoft Project Serverに接続している場合、PPM CenterリソースはMicrosoftエンタープライズとローカルのリソースにマップされます。接続していない場合、Microsoft Project Serverに接続するまでリソースマッピングは保留されます。

表 10-12. Microsoft Project Serverに接続しているときと接続していないときに、統合エンタープライズプロジェクトを開く

	Microsoft Project Serverに接続している	Microsoft Project Serverに接続していない
PPM Centerから統合Microsoftエンタープライズプロジェクトを開く	統合Microsoftエンタープライズプロジェクトが開きます。エンタープライズとローカルのリソースマッピングは保持されます。	統合Microsoftエンタープライズプロジェクトは開けません。エンタープライズプロジェクトの新しいローカルコピーが作成される場合があります。
Microsoft Projectから統合PPM Centerプロジェクトを開く	<p>ユーザは次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合PPM Centerエンタープライズプロジェクトは開けません。エンタープライズとローカルのリソースマッピングは保持されます。</li> <li>● 新しいMicrosoftエンタープライズプロジェクトを作成できます。PPM Centerリソースがローカルリソースにマップされます。エンタープライズとローカルのリソース間に競合がある場合、ローカルリソースを置き換えるか名前を変更するように案内されます。</li> </ul>	新しいローカルMicrosoftエンタープライズプロジェクトを作成できません。PPM CenterリソースがMicrosoftローカルリソースにマップされます。

## 複数 Microsoft Project Server インスタンスの使用

複数インスタンスの Microsoft Project Server と単一インスタンスの PPM Center を使用している場合、すべての Microsoft Project Server インスタンス全体から Microsoft エンタープライズリソースを一意に特定する必要があります。

Microsoft Project Server では、1 インスタンス上のエンタープライズリソースにアサインされた ID を別インスタンス上の別のエンタープライズリソースにアサインできます。このため、複数の Microsoft Project Server インスタンス間で同じ ID を使用できます。テキスト入力のエンタープライズカスタムフィールド (フィールド ID ではない) を使用して、各エンタープライズリソースを一意に特定する必要があります。



Microsoft Project Server 2003 と Microsoft Project Server 2007 は、異なるエンタープライズカスタムフィールドをサポートします。Microsoft Project Server 2003 では、既存のエンタープライズカスタムフィールド ([EnterpriseText1] など) のみを使用できます。Microsoft Project Server 2007 では、新しいエンタープライズカスタムフィールドを作成できます。

PPM Server で、`server.conf` ファイルにパラメータ `MSPS_RESOURCE_CUSTOM_FIELD` を追加します。このパラメータは、エンタープライズリソースを一意に特定するのに使用する Microsoft Project Server エンタープライズカスタムフィールドの名前に設定する必要があります。`server.conf` ファイルの編集方法の詳細については、『Installation and Administration Guide』を参照してください。

## Project Web Access を使用するプロジェクトの操作

Project Web Access を使用してエンタープライズリソースをチェックアウトすると、Microsoft Project Server 用一時プロジェクトファイルが生成されます。この一時プロジェクトファイルを PPM Center と統合できますが、この一時ファイルを閉じると、ファイルは Microsoft Project Server には保存されません。一時プロジェクトファイルを保存しても、Microsoft Project Server には保存されません。このため、一時プロジェクトファイルを閉じると、Microsoft Project Server から PPM Center 上で統合プロジェクトファイルを開けなくなります。この一時ファイルは、Microsoft Project Server には存在しないプロジェクトファイルに関連付けられているためです。

## トラブルシューティング

Microsoft ProjectはHP Project Managementと重複しない、同期されない数多くの機能をサポートしています。Microsoft Project ファイルをHP Project Managementにインポートしても、この情報は表示されません。Microsoft Project ファイルをHP Project Managementに送信しても、Microsoft Projectからこのデータは削除されません。Microsoft ProjectでHP Project Management作業計画を開いても、このデータは作成されず、デフォルト値は入力されません。

その他のMicrosoft Project機能は、2アプリケーション間で同期されるスケジュールとトラック情報を扱います。これらの場合、インタフェースはMicrosoft ProjectデータをHP Project Managementが表示できる情報に変換します。インタフェースは、元の作業計画の意図を極力維持しようとします。

### エラーと警告

同期中にエラーや警告が発生すると、[エラーと警告] ウィンドウがエラーや警告を通知して、問題を解決するための推奨案を表示します。

- エラーとは、タスクが成功するのに解決する必要がある重大な問題のことです。エラーがあると統合処理が停止します。ここで、問題を修正して統合を再開できます。
- 警告は情報通知用です。警告を受信すると、警告に対応するか無視するかを選択できます。

### Windows VistaやWindows 7へのVisual Studio Tools for Office (VSTO) のインストール

Windows VistaやWindows 7システムでは、システムにソフトウェアをインストールできる能力があっても、Plug-in for PPMインストーラを使用してVSTOをインストールするときに問題が発生する場合は、管理者としてPlug-in for PPMインストーラを起動することが必要な場合があります。次の手順を実行します。

1. [setup.exe] ファイルを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。
2. [OK] をクリックします。

3. 指示に従って、VSTO をインストールします。VSTO のみをインストールします(このとき、Plug-in for PPMはインストールしません)。

VSTOをインストールし、Plug-in for PPMインストーラを終了してから、Plug-in for PPMをインストールします(「インストール手順」(229 ページ)を参照)。

## HP PPM Center メニューが表示されないときのPlug-in for PPMの再有効化方法

PPM Centerが動作中に予期せず停止した場合(PPM Centerが実行中のシステムで問題が発生した場合など)、HP PPM Center メニューを表示するため、Microsoft Project から Plug-in for PPM を再度有効にすることが必要な場合があります。

Microsoft Project から Plug-in for PPM を再度有効にするには、次の手順を実行します。

1. [ヘルプ] > [バージョン情報] をクリックします。
2. [使用できないアイテム] をクリックします。
3. Plug-in for PPM がリストされたら、リストから削除して有効にします。

## 無効なSSL証明書でのPPM Serverへの接続

PPM Server 上のSSL証明書が無効である場合、PPM Serverに接続しようとする  
と警告メッセージが表示されます。[常に無視] (この警告メッセージを常に無  
視する)、[セッションのみ] (このMicrosoft Projectセッションでのみ警告メッ  
セージを無視する)、または[キャンセル] (PPM Serverに接続しない) から選択  
できます。

[常に無視] を選択すると、PPM Server への接続を変更するまでメッセージは  
常に無視されます。[常に無視] を選択した後に、警告メッセージを表示する  
場合は、PPM Server 接続を変更し、変更を保存してから、PPM Server 接続を  
元の接続に戻します。

## システムへのシングルサインオンと Microsoft Internet Explorer

システムのシングルサインオンのアクセスに問題がある場合、Plug-in for PPM プロキシ設定と Microsoft Internet Explorer のプロキシ設定が同じであることを確認します。

### HP PPM Center メニュー

HP PPM Center メニューには、最後にアクティブであった Microsoft Project ファイルのメニュー選択が表示されます。例えば、Microsoft Project で 2 つのプロジェクトファイルを開いていて、1 つは Microsoft Project により制御され、もう 1 つは共有制御である場合に、Microsoft Project 制御のファイルを開くと、HP PPM Center メニューには (共有制御プロジェクトが唯一の開いていて表示されているプロジェクトであっても) Microsoft Project 制御プロジェクトのメニュー選択が表示されます。正しいメニュー選択を表示するには、共有制御プロジェクトの任意の場所をクリックして、アクティブにする必要があります。

### PPM Center から Microsoft Project で作業計画を開く

Internet Explorer と Microsoft Project 2007 を使用して PPM Center から Microsoft Project で作業計画を開くと、Microsoft Project ファイルのロックファイルが生成されます。ただし、Microsoft Project ファイルを閉じて、ロックファイルはリセットされません。PPM Center から Microsoft Project で (Internet Explorer を再起動することなしに) 同じ作業計画を開くと、「使用中のファイル」メッセージが表示され、Microsoft Project ファイルは読み取り専用でのみ開けます (ファイルが使用中ではなくなっても通知するように選択することもできます)。

PPM Center から開いた Microsoft Project ファイルを閉じた後、次のいずれかの操作を実行してロックファイルをリセットします。

- ロックファイルを削除します

任意の Internet Explorer ウィンドウから、次のいずれかの操作を実行します。

- a. [ツール] > [インターネットオプション] を選択します。
- b. [全般] タブ領域の [インターネット一時ファイル] セクションで、[ファイルの削除] をクリックします。

- c. [ファイルの削除] ダイアログで [検索] をクリックします。
- d. [インターネットオプション] ダイアログで [OK] をクリックします。
- Internet Explorer を再起動します
- Internet Explorer が実行中のシステムを再起動します

## Microsoft Projectでの手動スケジュールモード

このオプションを選択しなかったにもかかわらず、Microsoft Project ファイルが手動スケジュールモードである場合、次のいずれかが原因である可能性があります。

- HP Project Management との前回の同期が失敗した。同期中、HP Project Management 制御モードまたは共有コントロールモードでは、スケジュールモードは手動に設定され、同期が完了すると自動に戻ります。同期が完了しないと、スケジュールモードが手動のままになる可能性があります。
- 手動モードのプロジェクトを開いて Microsoft Project ファイルを作成した結果、プロジェクトが手動モード設定をデフォルトとして継承した。

## ロールアップ値がMicrosoft Projectで再計算されません

Microsoft Project には、自動と手動の2つのスケジュールモードがあります。デフォルトで、プロジェクトは自動スケジュールモードであり、ロールアップ値は自動的に再計算されます。なんらかの理由でプロジェクトが手動スケジュールモードになった場合（「[Microsoft Projectでの手動スケジュールモード](#)」を参照）、次のいずれかの操作を実行できます。

- プロジェクトを自動スケジュールモードに設定する。
- [F9] を選択して、ロールアップ値を再計算する。



作業計画がHP Project Management制御の場合、ロールアップ値を再計算する必要はありません。ロールアップ値を再計算すると、プロジェクトの日付が変更されます。

## 同期の失敗

同期は、次の理由により失敗したり、失敗したかのように見えることがあります。

- Microsoft Project のヘルプのダイアログが開いて、対応が必要な場合。ダイアログが開いている場合、Windows のタスクバーで Microsoft Project のボタンが点滅するはずですが、[今後表示しない] チェックボックスを選択して、ダイアログを閉じて同期を続行します。
- Microsoft Project のダイアログが開いて、対応が必要な場合。ダイアログが開いている場合、Windows のタスクバーで Microsoft Project のボタンが点滅するはずですが、Microsoft Project ダイアログに対応して、同期を続行します。



ダイアログで求められた場合でも、別の Microsoft Project ファイルを開かないでください。

- 別の Microsoft Project ファイルが開いている。同期を再開する前に、開いている Microsoft Project ファイルと Microsoft Project をすべて閉じます。

## 必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除

Microsoft Project と HP Project Management 間で作業計画を共有する場合、Microsoft Project で次のエンティティタイプのいずれかを削除すると、次回の統合処理が停止するエラーが発生します (HP Project Management で実績のあるタスクやリソースは削除できません)。

- 作業計画が最初に HP Project Management で作業計画テンプレートから作成された場合の、作業計画テンプレートで必要としてマークされたタスク。
- 実績のあるタスクやリソース。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エラーが発生する場合、次の操作のいずれかを実行できます。

- 最新の編集を再適用するための起点としてバックアップコピーを使用する。バックアップの詳細については、「[Microsoft Project ファイルのバックアップ](#)」(291 ページ)を参照してください。
- Microsoft Project で [HP PPM Center] > [関連付けのリフレッシュ] を選択して、タスクと依存関係を復元する。

## Microsoft Projectの関連付けを使用する削除済みタスクの復元

Microsoft Projectで[HP PPM Center]>[プロジェクトの詳細]を選択することにより、作業計画をMicrosoft Projectファイルに手動で再リンクできます(「Microsoft ProjectとHP Project Managementの関連付けの復元」(317 ページ)を参照)。再度確立するリンクのプロジェクトを選択すると、統合はタスクごとに作業計画を調査し、Microsoft Project側対応物が不明瞭であったり存在しない作業計画タスクのリストを表示します。各タスクについて、以下のオプションから選択できます。

- Microsoft Project計画で一致するタスクを選択する
- Microsoft Project計画で新規タスクを作成する
- なにもしない

HP Project Managementタスクに関連付けられていないMicrosoft Project計画にあるすべてのタスクが無視されます。

## リンクが解除されたファイルからのリソースマッピングの削除方法

PPM CenterプロジェクトとMicrosoft Projectファイル間の関連付けを削除しても、(ファイルの再関連付けを行う場合に備え)リソースマッピングは保持されます。

リンクが解除されたファイルからリソースマッピングを手動で削除できます。リソースマッピングを手動で削除した後、ファイルを再リンクすると、自動リソースマッピングが作成されます。

リンクが解除されたファイルからリソースマッピングを削除するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectでプロジェクトを開きます。
2. マッピングに使用されたPPM Center IDが含まれる列を見つけます。列の名前はMicrosoft Project統合ポリシー内の[PPMリソース情報には、1つのMicrosoft Projectリソースカスタムフィールドが必要です]フィールドで設定されます(デフォルトで列の名前は**Number20**です)。
3. この列からすべてのPPM Center IDを削除します。
4. プロジェクトを保存します。



# 11 HP Time Management との統合

## HP Time Management 統合の概要

本章では、HP Project Management を HP Time Management と統合することより、リソースがさらに細かな方法でプロジェクトの作業時間をレポートできるようにする方法を説明します。本章は、HP Time Management をご購入いただきインストールがお済みのお客様のみを対象としております。

プロジェクト設定で、[コストと工数] ポリシー (主に [Time Management] セクション) を使用して、特定プロジェクトについて HP Time Management と HP Project Management を統合します。以下の項目を指定します:

- タイムシート上でプロジェクトのタスクを追跡する詳細レベル
- プロジェクトの時間を記録できるユーザ
- 特定のプロジェクト代表者が記録された時間を承認する必要の有無
- トラック対象工数フィールド
- タスク完了後に時間を記録可能かどうか

統合を構成する際には以下の点を検討します:

- HP Time Management のライセンスが付与された任意のリソースは、統合されたプロジェクトの実績を入力するのに、プロジェクトの作業計画ではなく、タイムシート、またはマイタスクポートレットを使用する必要があります。
- トラックする実績を構成できます。プロジェクトの実績のトラックに HP Time Management が使用される統合プロジェクトの場合、実際の工数をトラックするリソースが必要です。

- リソースがログする時間に対する、プロジェクトのレベル(プロジェクト、サマリタスクレベル1～6、またはタスク)を構成できます。例えば、時間がサマリタスクレベル2で記録される場合、階層的にレベル2より下の任意のタスクにアサインされたリソースは、サマリタスクレベル2にあるタスクの時間のみをレポートします。
- 見積もり残存工数がトラック対象の場合、タスクレベルで時間を記録する必要があります。
- 統合プロジェクトに対して時間を記録した後は、記録はどのサマリタスクレベルからもタスクレベルに変更できず、プロジェクトレベルからサマリタスクレベルに変更できなくなります。ただし、タスクレベルからサマリタスクレベルに、サマリタスクレベルからプロジェクトレベルに記録を変更することはできます。
- 統合プロジェクトに対して時間を記録した後は、統合を無効にできなくなります。
- リソースは、HP Project Management と HP Time Management の両方から同じタスクに時間を寄与することはできません。このため、部分的に完了しているタスクがあるプロジェクトの統合を検討している場合、まず実績が最新であることを確認し、次に部分的に完了しているタスクそれぞれを完了済みタスクと新規タスクとに切り分けます。
- HP Time Management アサインによって更新される一部の実績フィールドは、[タスクの詳細] ページで読み取り専用になります。アサインされたリソースが工数を入力した後は、そのアサインされたリソースのみが工数を削除できます。
- アサインされたリソースによって記録された時間は、タスクとサマリタスクの寄与のように表示されます。
- 統合プロジェクトのマネージャはHP Time Management ユーザにすべての作業計画タスクをアサインする必要はありません。HP Project Management ユーザと未アサイン工数の実績は自動的にロールアップされます。

タイムシート更新サービス(TM-PM同期サービス)は、サービスが指定する間隔(デフォルトで3時間毎)で、タイムシートのタスクに入力された実際の工数の更新を、プロジェクト作業計画の同じタスクに送信します。このような更新をサービスとして提供することにより、HP Time Managementのパフォーマンスが向上します。サービスの構成の詳細については、『システム管理のガイドとリファレンス』を参照してください。

[Time Management] セクションの他、[コストと工数] ポリシーには、[リソース負荷の設定] セクションと [Financial Management] セクションもあります。

[リソース負荷の設定] セクションの詳細については、「[リソース負荷の設定](#)」(51 ページ)を参照してください。

[Financial Management] セクションでは、自動コスト計算を使用するかどうかを指定できます。自動コスト計算を使用する場合には、リソースがタイムシートを更新して保存すると、HP Time Management は工数データを HP Project Management に自動的に転送し、HP Project Management はプロジェクトの実際のコストを計算して更新します(その後、HP Project Management で実際のコストを直接的に編集することはできなくなります)。作業計画からすべての値をロールアップしない場合(財務サマリにコストデータを手動で入力する場合)にも、HP Time Management は HP Project Management に工数データを転送します。しかし、HP Project Management は実際のコストを計算しません。詳細については、「[Financial Management](#)」(53 ページ)を参照してください。

[プロジェクトフィールド] ポリシーは、[予想終了日] とその他のフィールドをトラックするかどうかを決定します。

## プロジェクトの Time Management の有効化

[コストと工数] ポリシーは、指定されたプロジェクトタイプで HP Time Management がアクティブであるかどうかを決定します。Time Management が有効なプロジェクトタイプを使用して作成されたプロジェクトは、実績を収集するのに HP Time Management を使用できます。HP Time Management を使用するための [コストと工数] ポリシーの構成の詳細については、「[コストと工数](#)」(49 ページ)を参照してください。

## マイタスクポートレットの使用

マイタスクポートレットは、複数タスクの情報を表示します。表示するタスクの最大数は、ポートレットのタイトルと同様、ユーザが指定できます。マイタスクポートレット内のほとんどのフィールドは、リソースによる更新が可能です。

**Time Management** を有効にすると、マイタスクポートレットで **HP Time Management** を使用するプロジェクトのタイムシートを使用して時間を入力できます。サマリタスクも、統合プロジェクトのマイタスクポートレットに表示されます。

**HP Time Management** を使用するプロジェクトの作業中、マイタスクポートレットでは、各タスクの [実際の工数] フィールドに工数の内訳の計算済みロールアップが表示されます。各タスクは、関連タスクのみにフィルタされた [タイムシートの使用] フィールドに指定されているタイムシートに対応します。実際の工数の値をクリックすると、工数の内訳が開き、直接編集できます。工数の内訳には、マイタスクポートレットに示されるタスクのみが表示されます。



工数の内訳に入力する値は、[タイムシートの使用] フィールドに指定されたタイムシートに反映されます。別のタイムシートに値を入力する場合は、タスクやサマリタスクの工数の内訳を編集する前に、目的のタイムシートを選択します。

マイタスクポートレットから、タイムシート上のプロジェクトの実績情報を入力するには、次の手順を実行します。

1. マイタスクポートレットに移動します。
2. [タイムシートの使用] フィールドに正しいタイムシートが表示されていることを確認します。

入力した期間のタイムシートがない場合、新しいタイムシートを作成できます。新しいタイムシートは [保存] をクリックすると作成されます。

“再作業中”および“承認待ち”ステータスのタイムシートは、マイタスクポートレットから編集できません。“凍結”および“クローズ”ステータスのタイムシートは、利用可能なタイムシートのリストに表示されません。

3. 入力する実績情報のタスクに対応する **実際の工数** の値をクリックします。

[工数の内訳] ダイアログボックスが開きます。

4. 目的のタイムシート行の情報を入力します。

異なるアクティビティがあるタスクに対して、行を変えて時間を入力します。

5. **[完了]** をクリックします。

6. **[保存]** をクリックします。

マイタスクポートレットから **[タイムシートに移動]** をクリックすることで、いつでも影響を受けるタイムシートを開けます。

マイタスクポートレットに表示され、実績のあるタスクのデータは、**[タイムシートに移動]** をクリックするとタイムシートに自動的に保存されます。



工数の内訳に対して行った未保存の変更は、**[タイムシートに移動]** をクリックすると、すべて破棄されます。



# 索引

## F

### Financial Management

プロジェクトポリシーに対する有効化,  
**53**

## M

### Microsoft Excel

Microsoft Internet Explorer のインターネット  
トオプションの設定, **191**  
作業計画のエクスポート, **190**

### Microsoft Project

Microsoft Project での作業計画の維持, **266**

Microsoft Project を介した Project  
Management の公開, **264**

PPM 用プラグイン, **228**

PPM 用プラグインのアップグレード, **232**

PPM 用プラグインのインストール, **229**

PPM 用プラグインの削除, **233**

Project Management から作業計画を開く,  
**298**

Project Management 作業計画を開く, **299**

Project Management での実績のトラック,  
**266**

Project Management での条件付き編集,  
**314**

Project Management 統合の方針, **264**

Project Management 統合の要件, **228**

Project Management との統合, **32, 225**

Project Management との統合の概要, **225**

Project Management への作業計画情報の送  
信, **306**

Project Management への作業計画の送信,  
**301**

Project Management を介した公開, **265**

アクセス許可, **228**

アクティビティのマッピング, **281**

エンタープライズリソースの手動マッピ  
ング, **311**

関連付けの削除, **316**

計画と実績のルール, **240**

条件付き編集サマリ, **259**

大規模プロジェクトのインポート, **141**

同期のトラブルシューティング, **323**

同期モード, **234**

同期モードの設定, **269**

同期ログ, **292**

ノートのマッピング, **277**

フィールドに対するルールの影響, **240**

フィールドのマッピング, **238**

プロジェクトポリシー設定, **267**

プロジェクトマネージャ向け同期の解決  
策, **241**

リソースの自動マッピング, **245**

リソースの手動マッピング, **309**

### Microsoft Project 統合

Microsoft Enterprise Project Management の  
操作, **320**

- Microsoft Project Server ベースプロジェクトの操作, **319**
- PPM Server URL の変更, **293**
- PPM 用プラグインのアップグレード, **232**
- PPM 用プラグインのインストール, **229**
- PPM 用プラグインの削除, **233**
- PPM 用プラグインの要件, **228**
- Project Management 機能の無効化, **259, 314, 315**
- Project Management の要件, **228**
- Project Management 保存プロンプトの無効化, **289**
- アクセス許可, **228**
- アクティビティのマッピング, **281**
- エラーと警告, **323**
- エンタープライズリソースの手動マッピング, **311**
- カレンダーの構成, **296**
- 関連付けの削除, **316**
- 言語の構成, **288**
- ノートのマッピング, **277**
- ファイルのバックアップ, **291**
- フィールドのマッピング, **238, 274**
- フィールドマッピングの無効化, **277**
- プラグイン, **228**
- プロキシサーバの構成, **295**
- プロジェクトポリシー設定, **267**
- マッピングファイルのアップロード, **276**
- マッピングファイルの作成, **275**
- マッピングファイルの例, **275**
- リソースの自動マッピング, **245**
- リソースの手動マッピング, **309**
- Microsoft Project 統合ポリシー, **56, 68, 267**
- Microsoft Project ストレージ, **274**
- 実際の工数オプション, **273**
- 実績の転送, **272**
- 達成率 (%) と実際の日付オプション, **272**
- 達成率オプション, **272**
- 同期モード, **269**
- 統合モード, **269**
- フィールドのマッピング, **274**
- リソースの作成, **272**
- リソースの特定, **272**
- Microsoft Project の同期
- Microsoft Project からの作業計画情報の送信, **306**
- Microsoft Project 制御モード, **235, 269, 270, 277**
- Microsoft Project 制御モードでの編集, **314**
- Project Management からの作業計画の更新, **304, 307**
- Project Management からの実績の取得, **304**
- Project Management 機能の無効化, **259, 314, 315**
- Project Management 制御モード, **234, 269, 270, 277**
- Project Management 制御モードでの編集, **314**
- Project Management での条件付き編集, **314**
- アクティビティのマッピング, **281**
- エラーと警告, **323**
- エンタープライズリソースの手動マッピング, **311**
- カスタム Microsoft Project テーブル, **242**
- カスタム Microsoft Project フィルタ, **242**
- カレンダーのトラブルシューティング, **256**
- 共有制御モード, **235, 269, 270, 274, 277**
- 共有制御モードでの編集, **315**
- コストのロールアップのトラブルシューティング, **257**
- 作業計画の再リンク, **328**
- 削除済みタスクの復元, **328**
- 実績のあるタスクの削除, **327**
- 手動スケジュールモードのトラブルシューティング, **326**
- 条件付き編集サマリ, **259**
- 単位のトラブルシューティング, **258**
- トラブルシューティング, **323**



ノートのマッピング, **277**  
必要なタスクの削除, **327**  
フィールドに対するルールの影響, **240**  
フィールドのマッピング, **238**  
負荷率のトラブルシューティング, **258**  
プロジェクトマネージャ向け解決策, **241**  
ヘルスのロールアップのトラブルシューティング, **257**  
モード, **234**  
モードの設定, **269**  
リソースの自動マッピング, **245**  
リソースの手動マッピング, **309**  
ログ, **292**

## P

### PDF

作業計画のエクスポート, **189, 210**  
タスクスケジュールのエクスポート, **210**  
プロジェクトの概要ページのエクスポート, **177**

### PPM Server

PPM 用プラグインの言語の構成, **288**  
PPM 用プラグイン向け URL の変更, **293**  
PPM 用プラグイン向けプロキシサーバの構成, **295**

### PPM 用プラグイン

Microsoft Project との統合, **228**  
PPM サーバの要件, **228**  
Project Management の要件, **228**  
Server URL の変更, **293**  
アクセス許可, **228**  
アップグレード, **232**  
インストール, **229**  
カレンダーの構成, **296**  
クライアントの要件, **229**  
言語の構成, **288**  
削除, **233**  
プロキシサーバの構成, **295**

### Project Management

Microsoft Enterprise Project Management の操作, **320**  
Microsoft Project Server ベースプロジェクトの操作, **319**  
Microsoft Project 関連付けの削除, **316**  
Microsoft Project 作業計画情報の送信, **306**  
Microsoft Project 作業計画の送信, **301**  
Microsoft Project 作業計画を開く, **298**  
Microsoft Project でのリソースの作成, **272**  
Microsoft Project 同期モードの設定, **269**  
Microsoft Project 統合の方針, **264**  
Microsoft Project との条件付き編集, **314**  
Microsoft Project との統合, **32, 225**  
Microsoft Project の公開, **265**  
Microsoft Project の作業計画を開く, **299**  
Microsoft Project の同期のトラブルシューティング, **323**  
Microsoft Project ポリシー設定, **267**  
Microsoft Project を介した作業計画の公開, **264**  
Time Management との統合, **21, 31, 329**  
Time Management との統合の有効化, **331**  
アクティビティ, **21, 31**  
概要, **15**  
検証, **20**  
検証の設定, **24**  
コントロールプロセス, **21**  
コントロールプロセスの設定, **28**  
設定, **19**  
タスクユーザデータ, **32**  
地域, **20, 24**  
フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響, **240**  
プロジェクト詳細の設定, **27**  
プロジェクトタイプ, **21, 30**  
プロジェクトプロセスの設定, **28**  
リソース, **19, 22**  
リソース戦略, **23**  
リソースプール, **19, 23**

## T

### Time Management

プロジェクトポリシーに対する有効化,  
**52**

### Time Management と Project Management との

統合

一般的な検討事項, **329**

概要, **329**

マイタスクポートレット, **212, 332**

有効化, **331**

## U

### URL

タスクに追加, **137**

## あ

アーンドバリュビュー, **105**

アーンドバリュ分析  
表示, **170**

アクセス

作業計画テンプレートへ, **221**

アクセス許可

Project Management 統合の要件, **228**

アクティビティ, **116**

Microsoft Project 統合でのマッピング, **281**

Project Management 内, **21, 31**

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

アサイン

スキルをタスクに, **124**

リソースをタスクに, **121**

ロール, **124**

アップグレード

PPM 用プラグイン, **232**

アップロード

Microsoft Project 統合マッピングファイル,  
**276**

マッピングファイル, **276**

## い

移動

作業計画階層内のアイテム, **86**

印刷

作業計画のガントチャート, **189**

ポートレット設定, **63**

印刷ビュー, **107**

インストール

PPM 用プラグイン, **229**

インポート

作業計画, **84**

大規模プロジェクトを Microsoft Project に  
, **141**

## え

エクスポート

作業計画を Microsoft Excel に, **190**

作業計画を PDF に, **210**

タスクスケジュールを PDF に, **210**

プロジェクトの概要ページを PDF に, **177**

エラー

Microsoft Project 統合, **323**

スケジュール, **97**

延期された計算

作業計画, **159**

## お

オーバーライド

プロジェクトに関するヘルス, **168**

## か

開始日

タスクのデフォルト, **45**

階層

表示と修正, **144**

カレンダー

PPM 用プラグイン向け構成, **296**

ガントチャート  
作業計画用の印刷, **189**  
表示, **205**

ガントビュー, **106**

管理  
作業計画, **139**  
作業計画テンプレート, **220**  
プロジェクト, **139**  
ベースライン, **187**

完了  
作業計画, **194**

## き

キーボードショートカット  
作業計画, **93**

キャンセル  
作業計画, **195**

許容範囲  
スケジューリング時, **46**

## く

クリア  
タスク警告, **176**

クリティカルパス  
作業計画, **113**  
設定, **160**  
タスクのマーキング, **162**  
表示, **159, 205**

クリティカルパスとしてタスクをマーキング  
, **162**

クリティカルパスのしきい値  
作業計画に設定, **45**

## け

警告  
Microsoft Project 統合, **323**  
スケジュール, **97, 185**

タスクに対するクリア, **176**  
表示, **173**

警告ルール  
作業計画内, **46**

言語  
PPM 用プラグイン向け構成, **288**

検索  
タスク, **199**  
プロジェクト用, **164**  
マイタスク, **197**  
マイタスクポートレット, **212**  
マイタスクポートレットを使ってタスク  
を, **198**

検証  
Project Management での設定, **24**  
Project Management 内, **20**

## こ

更新, **144**  
Project Management から Microsoft Project  
作業計画, **304, 307**  
Project Management 実績による Microsoft  
Project の更新, **304**  
タスク, **197**  
タスクページ内の参照情報, **213**  
タスクページ内のメモ, **213**  
マイタスクポートレットを使ってタスク  
を, **211**

コスト  
分析, **188**

コスト設定ビュー, **103**

コストデータ  
表示, **172**  
表示の有効化, **67**

コストとアーンドバリュヘルスポリシー,  
**55**

コストと工数ポリシー, **49**  
Financial Management の有効化, **53**

Time Management の有効化, **52**  
実績工数, **52**  
スケジュールされた工数, **51**  
リソースの作業負荷, **51**

コストの分析  
プロジェクト用, **188**

コストパフォーマンス指数, **55**

コピー, **84**  
データを作業計画からテンプレートに,  
**223**

コントロールプロセス  
Project Management での設定, **28**  
Project Management 内, **21**

**さ**

サービス  
タスクに対するフィールドの有効化, **38**

財務サマリ, **77**  
スケジュールの同期, **185**

財務ベネフィット  
スケジュールの相殺, **185**

作業計画, **77, 84, 144**  
Microsoft Excel ファイルへのエクスポート,  
**190**  
Microsoft Project から Project Management  
への情報の送信, **306**  
Microsoft Project から Project Management  
への送信, **301**  
Microsoft Project 関連付けの削除, **316**  
Microsoft Project での維持, **266**  
Microsoft Project での更新, **304, 307**  
Microsoft Project で開く, **299**  
Microsoft Project への再リンク, **328**  
Microsoft Project を介した公開, **264**  
PDF ファイルへのエクスポート, **189**  
PDF へのエクスポート, **210**  
Project Management から Microsoft Project  
計画を開く, **298**

Project Management から Microsoft Project  
の更新, **304, 307**  
アーンドバリュビュー, **105**  
依存関係の更新, **156**  
印刷ビュー, **107**  
インポート, **84**  
延期された計算, **159**  
階層の表示と修正, **144**  
ガントチャートの印刷, **189**  
ガントビュー, **100, 106**  
管理, **139**  
完了, **194**  
キーボードショートカット, **93**  
既存作業計画からのテンプレートの作成,  
**221**  
キャンセル, **195**  
クリティカルパス, **113, 159**  
クリティカルパスのしきい値, **45**  
警告ルール, **46**  
更新, **144**  
コスト設定ビュー, **103**  
コピー, **84**  
再スケジュール, **157**  
作業計画ページ, **82**  
実績工数, **52**  
実績による Microsoft Project の更新, **304**  
実績ビュー, **102**  
手動で完了させた場合の未完了アイテム  
の動作, **194**  
手動でキャンセルした場合の未完了アイ  
テムの動作, **195**  
スケジュール, **95**  
スケジュールされた開始日の変更, **156**  
スケジュールされた期間の変更, **156**  
スケジュールされた工数, **51**  
スケジュールされた工数の変更, **156**  
スケジュールされた終了日の変更, **156**  
スケジュールの更新, **156**  
スケジュールビュー, **101**  
ステータス, **145**

- ステータスの変更, **146**
- ゼロからの作成, **79**
- 先行タスクの変更, **157**
- タスクの設定, **114**
- タスクの追加, **83, 118**
- タスクの編集, **109**
- テンプレート, **39, 219**
- テンプレートからの作成, **224**
- テンプレートにコピーされるデータ, **223**
- テンプレートの管理, **220**
- テンプレートの作成, **220**
- テンプレートのセットアップ, **219**
- テンプレートへのアクセス, **221**
- テンプレートへのタスクの設定, **221**
- テンプレートへのタスクの追加, **220**
- 同時編集, **158**
- ビュー, **100**
- 表示, **100, 166, 205**
- 表示オプション, **109, 111**
- フィールドの有効化, **37**
- フィルタ, **100, 107**
- プロジェクトからの作成, **80**
- プロジェクトフィールドポリシー, **37**
- ベースラインデータの表示, **188**
- ヘルスインジケータ, **47**
- マイルストーンの表示, **169**
- リスク, **45**
- リソースアクティビティ, **197**
- リソースの使用状況ページ, **110**
- 履歴のトラッキング, **192**
- レベル, **100**

作業計画階層, **86**

- アイテムの移動, **86**
- アウトデント, **87**
- インデント, **87**
- 複数アイテムの選択, **88**

作業計画ポリシー, **39**

作業負荷

- トラッキングの設定, **51**

作業負荷のトラッキング, **51**

削除

- Microsoft Project と Project Management の  
関連付け, **316**
- PPM 用プラグイン, **233**
- Project Management 内の参照情報, **217**
- プロジェクト, **195**

作成

- Microsoft Project 統合マッピングファイル,  
**275**
- Microsoft Project のリソース, **272**
- 作業計画からテンプレートを, **221**
- 作業計画テンプレート, **220**
- ゼロからの作業計画, **79**
- テンプレートから作業計画を, **224**
- プロジェクト, **69, 71**
- プロジェクトから作業計画, **80**
- プロジェクトタイプ, **36**
- ベースライン, **186**
- マイルストーン, **93, 119**
- マッピングファイル, **275**

サマリ条件

- プロジェクトに関する表示, **167**

サマリタスク

- 作業計画を手動で完了させた場合のス  
テータス, **194**
- スケジュール, **96**
- 先行タスク関係, **90**
- 編集の有効化, **67**

サマリタスクのオーナー, **74**

参加者

- プロジェクト, **74**
- プロジェクトに対する設定, **75**

参照情報, **116**

- Project Management での URL 追加, **215**
- Project Management での削除, **217**
- Project Management での追加, **214**
- Project Management での表示, **214, 216**

Project Management でのファイルの追加,  
**214**

Project Management での編集, **216**

タスクに添付, **131**

タスクページでの更新, **213**

タスクへの添付ファイル, **214**

参照タブ

表示, **208**

## し

実際の開始日

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

実際の期間

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

実際の工数オプション, **273**

実際の終了日

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

実績

Microsoft Project での更新, **304**

Microsoft Project 用ルール, **240**

Microsoft への転送, **272**

複数のタスクでの編集, **151**

マイタスクポートレットからの入力, **332**

実績工数, **52**

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

実績ビュー, **102**

修正

作業計画階層, **144**

主要なマイルストーン

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

使用

作業計画テンプレート, **219**

## す

スキル

タスクにアサイン, **124**

スケジューリングポリシー, **44**

開始日, **45**

許容範囲, **46**

作業計画内のクリティカルパスのしきい  
値, **45**

作業計画内の警告ルール, **46**

リソースの依存関係, **45**

スケジュール

PDF へのエクスポート, **210**

エラー, **97**

警告, **97, 185**

警告ルール, **46**

財務ベネフィットに対する相殺, **185**

作業計画の更新, **157**

サマリタスク, **96**

制限, **125**

制限の設定, **125**

生成, **95**

同期, **185**

複数のタスクでの編集, **154**

ヘルスインジケータ, **47**

優先, **185**

スケジュール業績指数, **55**

スケジュールされた開始日

作業計画での変更, **156**

タスクに対するフィールドの有効化, **37**

スケジュールされた期間

作業計画での変更, **156**

タスクに対するフィールドの有効化, **37**

スケジュールされた工数, **46, 51, 123**

作業計画での変更, **156**

タスクに対するフィールドの有効化, **37**

スケジュールされた終了日

作業計画での変更, **156**

タスクに対するフィールドの有効化, **37**

スケジュールビュー, **101**

スケジュールヘルスポリシー, **47**

ヘルスインジケータ, **47**

例外ルール, **48**

スコープ変更  
表示, **170**  
ロギング, **182**

スタッフィングプロファイル, **76**  
スケジュールの同期, **185**  
デフォルトのリソースプールの設定, **58**  
表示, **171**

スタッフィングプロファイルアサインポリ  
シー, **58**

ステータス  
作業計画, **145**  
作業計画に対する変更, **146**  
タスク, **117**  
タスクに対する変更, **138**  
複数のタスクに対する設定, **155**  
プロジェクト, **142**

## せ

生成  
スケジュール, **95**

設定, **51**

Microsoft Excel へのエクスポート時の  
Microsoft Internet Explorer, **191**  
PPM 用プラグイン向けのカレンダー, **296**  
PPM 用プラグインの言語, **288**  
PPM 用プラグイン向けプロキシサーバ,  
**295**  
Project Management, **19**  
外部先行タスク, **92**  
クリティカルパス, **160**  
作業計画内のタスク, **114**  
タスク, **115**  
タスクの先行タスク, **125**  
タスクを作業計画テンプレートに, **221**  
内部先行タスク, **91**  
複数のタスク, **150**  
複数のタスクにステータスを, **155**  
プロジェクト参加者, **75**  
プロジェクトに対する変更, **74**

プロジェクトポリシー, **36**

セットアップ  
作業計画テンプレート, **219**  
先行タスク, **88**  
タスク内の通知, **129**  
プロジェクト, **141**

全工数, **46**

先行タスク  
外部タスクの設定, **92**  
関係, **90**  
サマリタスク関係, **90**  
セットアップ, **88**  
タスク関係, **90**  
タスクに設定, **125**  
タスクに対する変更, **157**  
内部タスクの設定, **91**  
複数タスクへのリンク付け, **155**  
リクエスト関係, **90**  
リクエストの設定, **92**

## そ

送信

Microsoft Project から Project Management  
への作業計画情報の送信, **306**  
Microsoft Project から Project Management  
への作業計画の送信, **301**

## た

タイムシート  
マイタスクポートレットからの実績の入  
力, **332**

タイムシートでの時間の拒否, **173**  
タイムシートでの時間の承認, **173**

タスク  
作業計画テンプレートへの追加さぎょう  
けいかくてんぶれーとへのつか,  
**220**

PDF へのスケジュールのエクスポート、  
**210**

Project Management での参照情報の追加、  
**214**

URL の追加、**137, 215**

アクティビティフィールドの有効化、**38**

開始日のデフォルト、**45**

クリティカルパスとしてマーキング、**162**

警告のクリア、**176**

検索、**199**

個人的検索、**197**

サービスフィールドの有効化、**38**

作業計画テンプレート内での設定、**221**

作業計画内での設定、**114**

作業計画内での編集、**109**

作業計画に追加、**83, 118**

作業計画を手動で完了させた場合のステータス、**194**

作業計画を手動でキャンセルした場合のステータス、**195**

参照情報の削除、**217**

参照情報の添付、**131**

参照情報の表示、**216**

参照情報の編集、**216**

参照用添付ファイル、**214**

実際の開始日フィールドの有効化、**38**

実際の期間フィールドの有効化、**38**

実際の終了日フィールドの有効化、**38**

実績工数フィールドの有効化、**38**

主要なマイルストーンフィールドの有効化、**38**

スケジュールされた開始日フィールドの有効化、**37**

スケジュールされた期間フィールドの有効化、**37**

スケジュールされた工数、**51**

スケジュールされた工数フィールドの有効化、**37**

スケジュールされた終了日フィールドの有効化、**37**

ステータス、**117**

ステータスの変更、**138**

設定、**115**

外部先行タスク、**92**

スケジュールリングの制限、**125**

ステータスを複数に、**155**

通知、**129**

内部先行タスク、**91**

先行タスク関係、**90**

先行タスクとしての複数タスクのリンク付け、**155**

先行タスクの設定、**125**

タスクに追加、**135**

達成率(%)フィールドの有効化、**38**

通知内、**202**

ドキュメントの追加、**136**

パッケージの追加、**134**

ファイルの追加、**214**

複数設定、**150**

複数のタスクでの実績の編集、**151**

複数のタスクでのスケジュールされた日付の編集、**154**

複数のタスクでのリソースアサインの編集、**152**

複数のタスクでのロールの編集、**153**

編集、**120**

マイタスクポートレット、**198**

マイタスクポートレットを使った更新、**211**

見積もり残存工数フィールドの有効化、**38**

メモの追加、**128**

予想終了日フィールドの有効化、**38**

リクエストの追加、**132, 133**

リソースのアサイン、**121**

リリースの追加、**136**

履歴のトラッキング、**193**

ロールフィールドの有効化、**38**

タスク監査ポリシー、**62**

タスク検索ページ  
アクセス、**199**



## タスクページ

メモと参照情報の更新, **213**

## タスクユーザデータ

Project Management 内, **32**

## ダッシュボード

プロジェクトの表示, **177**

## 達成率 (%)

タスクに対するフィールドの有効化, **38**

達成率 (%) と実際の日付オプション, **272**

達成率オプション, **272**

## ち

### 地域

Project Management 内, **20, 24**

## つ

### 追加

URL をタスクに, **137, 215**

タスクを作業計画テンプレートに, **220**

タスクを作業計画に, **83, 118**

タスクをタスクに, **135**

ドキュメントをタスクに, **136**

パッケージをタスクに, **134**

ファイルをタスクに, **214**

プロジェクトマネージャをプロジェクトに, **75**

メモをタスクに, **128**

利害関係者をプロジェクトに, **75**

リクエストをタスクに, **132, 133**

リリースをタスクに, **136**

## 通知, **116**

タスクでのセットアップ, **129**

タスクの検索, **202**

## て

### データベース

統計情報の再取得, **141**

## テーブル

Microsoft Project 向けカスタマイズ, **242**

## 適用

プロジェクトポリシー, **34**

## 添付

参照情報をタスクに, **131**

## テンプレート

作業計画からの作成, **221**

作業計画にセットアップ, **219**

作業計画に対するアクセス, **221**

作業計画に対する管理, **220**

作業計画に対する作成, **220**

作業計画の作成, **224**

作業計画の変換でコピーされるデータ, **223**

作業計画へのタスクの設定, **221**

作業計画へのタスクの追加, **220**

作業計画用, **219**

## と

### 同期

スケジュール, **185**

マッピングファイル, **277**

### ドキュメント

タスクに追加, **136**

### トラッキング

作業計画履歴, **192**

タスク履歴, **193**

プロジェクトでのコストヘルス, **55**

プロジェクト履歴, **192**

### トラブルシューティング

Microsoft Project でのコストのロールアップ計算の同期, **257**

Microsoft Project でのヘルスのロールアップ計算の同期, **257**

Microsoft Project 同期での手動スケジュールモード, **326**

Microsoft Project のカレンダーの同期, **256**

Microsoft Project の単位の同期, **258**

Microsoft Project の同期, **323**  
Microsoft Project の同期で削除されるタ  
スク, **327, 328**  
Microsoft Project の負荷率, **258**

## は

バックアップ  
Microsoft Project 情報, **291**

パッケージ  
タスクに追加, **134**

## ひ

ビュー  
作業計画, **100**

表示  
Project Management 内の参照情報, **216**  
アーンドバリュー分析, **170**  
関連プロジェクトとプログラム, **171**  
ガントチャート, **205**  
クリティカルパス, **159, 205**  
警告, **173**  
コストデータ, **172**  
コストデータに対する有効化, **67**  
作業計画, **100, 166, 205**  
作業計画階層, **144**  
参照情報, **208**  
参照タブ, **208**  
スコープ変更, **170**  
スタッフイングプロファイル, **171**  
プロジェクト, **177**  
プロジェクトデータに対する有効化, **67**  
プロジェクトに関するヘルス, **167**  
プロジェクトのサマリ条件, **167**  
プロジェクトの詳細タブ, **206**  
プロジェクトの例外タブ, **207**  
ポートレット設定, **63**  
マイルストーン, **169, 206**  
問題, **170**  
リスク, **170**

リソース情報, **209**  
例外, **173, 174, 175, 207**

開く  
Microsoft Project の作業計画, **299**  
Project Management から Microsoft Project  
作業計画, **298**

## ふ

フィールド  
Microsoft Project 統合でのマッピング, **238**

フィールドのマッピング  
無効化, **277**

フィルタ  
Microsoft Project 向けカスタマイズ, **242**  
作業計画, **100, 107**

プロキシサーバ  
PPM 用プラグイン向け構成, **295**

プログラム  
関連プロジェクトの表示, **171**

プロジェクト  
Microsoft Enterprise Project Management の  
操作, **320**

Microsoft Project Server ベースプロジェク  
トの操作, **319**

概要ページ, **72, 163**

管理, **139**

関連プログラムの表示, **171**

クリティカルパス, **159**

検索, **164**

コストヘルス, **55**

作業計画の作成目的, **80**

削除, **195**

作成, **69, 71**

サマリ条件の表示, **167**

参加者, **74**

参加者の設定, **75**

参照情報の表示, **208**

スケジュールの同期, **185**

- スケジュールの優先, **185**
- スコープ変更のロギング, **182**
- ステータス, **142**
- 設定の変更, **74**
- セットアップ, **141**
- 日付制御, **184**
- 表示, **177**
- 表示の有効化, **67**
- プロジェクトマネージャの追加, **75**
- ヘルスインジケータ, **59**
- ヘルスのオーバーライド, **168**
- ヘルスの表示, **167**
- 問題のロギング, **178**
- 利害関係者の追加, **75**
- リスクのロギング, **180**
- 履歴のトラッキング, **192**
- 例外ルール, **48**
- プロジェクトコントロールエンティティ, **178**
  - スコープ変更, **182**
  - 問題, **178**
  - リスク, **180**
- プロジェクトセキュリティポリシー, **67**
- プロジェクトタイプ, **33**
  - Project Management 内, **21, 30**
  - 作成, **36**
- プロジェクトの概要のレイアウトポリシー, **63**
- プロジェクトの概要ページ, **72, 163, 202**
  - 参照タブ, **208**
  - プロジェクトの詳細タブ, **206**
  - プロジェクトの例外タブ, **207**
- プロジェクトの詳細
  - Project Management での設定, **27**
- プロジェクトの詳細タブ
  - 表示, **206**
- プロジェクトの例外タブ
  - 表示, **207**
- プロジェクトフィールドポリシー, **37**
- プロジェクトプロセス
  - Project Management での設定, **28**
- プロジェクトヘルスポリシー, **59**
- プロジェクトポリシー, **34**
  - Microsoft Project 統合, **56**
  - Service Manager, **68**
  - オーバーライドステータス, **35**
  - コストとアーンドバリューヘルス, **55**
  - コストと工数, **49**
  - 作業計画, **39**
  - スケジューリング, **44**
  - スケジュールヘルス, **47**
  - スタッフイングプロファイルアサイン, **58**
  - 設定, **36**
  - タスクの監査, **62**
  - 適用, **34**
  - 非プロパゲート, **35**
  - プロジェクトセキュリティ, **67**
  - プロジェクトの概要のレイアウト, **63**
  - プロジェクトフィールド, **37**
  - プロジェクトヘルス, **59**
  - 変更, **35**
  - 問題ヘルス, **60**
  - リクエストタイプ, **43**
- プロジェクトマネージャ, **74**
  - 担当業務, **139**
- へ
- ベースライン
  - 管理, **187**
  - 作業計画内のデータ表示, **188**
  - 作成, **186**
  - 比較, **188**
- ベースラインの比較, **188**
- ヘルス

プロジェクトに関するオーバーライド,  
**168**  
プロジェクトに関する表示, **167**

ヘルスインジケータ  
作業計画, **47**  
スケジュール, **47**  
プロジェクト, **59**  
問題, **60**

変更  
PPM 用プラグイン向け PPM Server URL,  
**293**  
作業計画ステータス, **146**  
作業計画内のスケジュールされた開始日,  
**156**  
作業計画内のスケジュールされた期間,  
**156**  
作業計画内のスケジュールされた工数,  
**156**  
作業計画内のスケジュールされた終了日,  
**156**  
タスクステータス, **138**  
プロジェクト設定, **74**  
プロジェクトポリシー, **35**

編集  
Microsoft Project 制御モード, **314**  
Project Management 制御モード, **314**  
Project Management 内の参照情報, **216**  
共有制御モード, **315**  
作業計画のタスク, **109**  
作業計画を同時に, **158**  
サマリタスクに対する有効化, **67**  
タスク, **120**  
複数のタスクにスケジュールされた日付,  
**154**  
複数のタスクに対する実績, **151**  
複数のタスクに対するリソースアサイン,  
**152**  
複数のタスクに対するロール, **153**

## ほ

ポートレット  
印刷設定, **63**  
表示設定, **63**

保存プロンプト  
Project Management での無効化, **289**

## ま

マイタスクポートレット  
Time Management と Project Management と  
の統合, **332**  
Time Management との統合, **212**  
アクセス, **198**  
検索, **212**  
実績の入力, **332**  
タスクの検索, **198**  
タスクの更新, **211**

マイルストーン, **93**  
作成, **93, 119**  
タスクに対するフィールドの有効化, **38**  
表示, **169, 206**

## マッピング

Microsoft Project 統合でのリソースの手動  
マッピング Microsoft Project とうごう  
でのりそーすのしゅどうまっぴんぐ,  
**309**

Microsoft Project 統合でのアクティビティ,  
**281**

Microsoft Project 統合でのフィールド, **238**

Microsoft Project 統合でのメモ, **277**

Microsoft Project 統合でのリソース自動  
マッピング, **245**

Project Management データから Microsoft  
Project フィールド, **274**

エンタープライズリソース  
Microsoft Project 統合での手動マッピ  
ング, **311**  
アクセス許可, **313**

マッピングファイル

アップロード, **276**  
作成, **275**  
同期モード, **277**  
例, **275**

## み

見積もり残存工数  
タスクに対するフィールドの有効化, **38**

## む

無効化  
Microsoft フィールドマッピング, **277**  
Project Management 保存プロンプト, **289**

## め

メモ  
Microsoft Project 統合でのマッピング, **277**  
タスクに追加, **128**  
タスクページでの更新, **213**

## も

問題  
表示, **170**  
ヘルスインジケータ, **60**  
ロギング, **178**

問題ヘルスポリシー, **60**

## ゆ

有効化  
Microsoft Project 同期ログ, **292**  
Time Management と Project Management との統合, **331**  
コストデータの表示, **67**  
作業計画内のフィールド, **37**  
タスクのアクティビティフィールド, **38**  
タスクのサービスフィールド, **38**  
タスクの実際の開始日フィールド, **38**  
タスクの実際の期間フィールド, **38**

タスクの実際の終了日フィールド, **38**  
タスクの実績工数フィールド, **38**  
タスクの主要なマイルストーンフィールド, **38**  
タスクのスケジュールされた開始日フィールド, **37**  
タスクのスケジュールされた期間フィールド, **37**  
タスクのスケジュールされた工数フィールド, **37**  
タスクのスケジュールされた終了日フィールド, **37**  
タスクの達成率(%)フィールド, **38**  
タスクの見積もり残存工数フィールド, **38**  
タスクの予想終了日フィールド, **38**  
タスクのロールフィールド, **38**  
プロジェクトデータの表示, **67**  
プロジェクトポリシーに対する Financial Management, **53**  
プロジェクトポリシーに対する Time Management, **52**

優先  
スケジュール, **185**

## よ

要件  
PPM 用プラグインの要件, **228**

予想終了日  
タスクに対するフィールドの有効化, **38**

## り

利害関係者, **74**  
リクエスト  
先行タスク関係, **90**  
先行タスクとしての設定, **92**  
タスクに追加, **132, 133**  
リクエストタイプポリシー, **43**  
リスク

- 表示, **170**
  - ロギング, **180**
  - リソース, **74, 197**
    - Microsoft Project での作成, **272**
    - Microsoft Project 統合での自動マッピング, **245**
    - Microsoft Project 統合での手動マッピング, **309**
    - PDF へのタスクスケジュールのエクспорт, **210**
    - Project Management での戦略, **23**
    - Project Management 内, **19, 22**
    - エンタープライズ
      - Microsoft Project 統合での手動マッピング, **311**
      - アクセス許可, **313**
    - 可用性, **45**
    - 作業負荷トラッキングの設定, **51**
    - 実績工数, **52**
    - 情報の表示, **209**
    - タスクにアサイン, **121**
  - リソースアサイン
    - 複数のタスクでの編集, **152**
  - リソースの使用状況ページ, **110**
  - リソースの表示ページ, **209**
  - リソースプール
    - Project Management 内, **19, 23**
    - スタッフィングプロファイルに対するデフォルトの設定, **58**
  - リソースリクエスト
    - デフォルトのリソースプール, **58**
  - リリース
    - タスクに追加, **136**
  - 履歴
    - 作業計画に対するトラッキング, **192**
    - タスクに対するトラッキング, **193**
    - プロジェクトに対するトラッキング, **192**
  - リンク付け
    - 先行タスクとしての複数のタスク, **155**
- ## れ
- 例外
    - 表示, **173, 174, 175, 207**
  - 例外ルール
    - プロジェクト用, **48**
  - レベル
    - 作業計画, **100**
- ## ろ
- ロール
    - アサイン, **124**
    - タスクに対するフィールドの有効化, **38**
    - 複数のタスクでの編集, **153**
  - ロギング
    - スコープ変更, **182**
    - 問題, **178**
    - リスク, **180**
  - ログ
    - Microsoft Project の同期, **292**